

「プローム・カンフル」 0.5—0.6 Camphorae monobromat. 0.5—0.6

上記 爲 1 日量, 1 日 3 回毎 食後分服 D.S. auf 3×tägl. n.d.E. z.n.

〔註〕「プローム」樟腦ハ無色鱗狀又ハ板狀ノ結晶, 水ニ不溶. 鎮靜劑トシテ「ヒステリー」, 癲癇, 神經痛等ニ試ミラル. 一般ニ「プローム」劑ハ中樞神經ノ興奮性ヲ低下セシム. 「クロール」ニヨリ「プローム・イオン」ハ排泄ヲ促進サレルカラ, 慢性「プローム」中毒 Bromismus chronicus ニハ食鹽水ヲ與ヘテソノ排泄ヲ促ス. 又砒素劑ノ伍用ニヨリ皮膚發疹ヲ豫防シ得.

【用法, 用量】 1 回 0.1—0.2; 1 日 0.2—0.5. 極量 1 回 0.3; 1 日 1.0

本劑ハ避光ニテ貯ヘル

「グリセリン」磷酸「カルチウム」ハ白色粉末. 「レチチン」, 「プロタゴン」ノ分解産物. 神經衰弱, 結核, 恢復期等ニ用フ.

【用法, 用量】 1 回 0.2—0.5; 1 日 0.6—1.5

(41) 處方 (「ヒステリー」) Rp.
 「プローム・カンフル」 0.3 Camph. monobromat. 0.3
 重曹 2.0 Natr. bicarb. 2.0
 「ヴァリドール」 5—6 滴 Validol 5—6 gtt.
 蒸餾水 100.0 Aq. dest. 100.0
 上記 1 日 3 回分服 D.S. auf 3×tägl.

(42) 處方 (偏頭痛, 神經痛, 「レウマチス」) Rp.
 「クリオゲニン」 1.0 Kryogenine 1.0
 上記 1 日量 3 回分服 D.S. auf 3×tägl. z.n.

〔註〕「クリオゲニン」(Metabenzamin-semicarbazide) ハ白色結晶性粉末, 微苦味, 無臭, 水ニ難溶. 「エーテル」, 「クロ・ホルム」, 「アセトン」ニ可溶. 還元力強ク過「マンガン」酸「カリ」, 重「クローム」酸「カリ」, 「フェーリング」氏液ヲ還元ス.

作用 { 消化器 → 消化酵素ニ無影響, 胃, 腸液ノ影響僅少
 血行器, 呼吸器 → 共ニ殆ンド無影響. 動物ニ 2% 溶液ヲ 1.0 gr, 體重 1 匹ノ割合ニ靜脈内注射ヲ行フトモ呼吸稍緩慢トナリシノミ. (ルミエル氏及チエプロチール氏)
 解熱作用 → 連續的, 規則的

【適應症】 解熱作用—肺結核, 腸「チフス」, 「インフルエンザ」, 丹毒肺炎, 天然痘, 肋膜炎.

鎮痛作用—頭痛, 頭痛, 神經痛, 腰痛, 痛風, 其他一般疼痛性疾患

【用法, 用量】 大量 (1.0—1.5 gr) ヨリ初メテ奏効スレバ次第ニ減量ス. 長時使用ハ注意ヲ要ス. 貧血, 浮腫ヲ來スコトアリ. 副作用ナク, 迅速ニ奏効ス. 錠劑 1 個 0.5 gr.

3—5 歳 0.25—0.40. 5—15 歳 0.40—0.70

大人 0.75—2.50. 必要ニヨリ之以上ヲ與ヘル.

(43) 處方 (偏頭痛, 神經痛, 「ヒステリー」) Rp.

「マルコフエン」 0.5 Marukophen 0.5
 「アミノピリン」 0.3 Aminopyrin 0.3
 乳糖 1.0 Sacc. lact. 1.0

上記 1 日量, 3 回分服 D.S. auf 3×tägl. z.n.

〔註〕「マルコフエン」ハ「フェニールアミン」誘導體ニ「プローム」, 「テオプロミン」ヲ結合セシメタモノ. («ウンフェルドルベン」氏). 無色鱗片狀又ハ白色結晶性, 微苦, 光輝アル粉末. 鎮痛, 鎮靜作用迅速且著明, 偏頭痛, 神經痛, 「ヒステリー」等ニ用ヒ, ソノ他急劇ナル發作ニ用ユ. 配合禁忌ナシ.

【用法, 用量】 大人 1 回 0.2—0.3; 1 日極量 1.0 頓服 0.5.

(44) 處方 (頭痛) Rp.
 「チドール」 3 錠 Tidol 3 Tab.
 上記微温湯ニテ頓服 D.S. auf 1×mit lau. Wasser z.n.

〔註〕「チドール」ハ解熱劑ト催眠劑ノ結合物, 神經不眠, 就眠困難, 頭痛, 偏頭痛, 齒痛, 胃痛, 「レウマチス」性疼痛ニ用フ.

【用法, 用量】

- (1) 催眠劑 1 回 3—5 錠 就眠前 30—60 分, 微温湯ニテ服用
- (2) 鎮痛劑 1 回 3—5 錠 微温湯ニテ
- (3) 鎮靜劑 1 回 2—3 錠 冷水ニテ
- (4) 1 日極量 10 錠迄

(45) 處方 (鎮痛, 鎮靜) Rp.
 「ペロナール・フェナセチン」 3 錠 Veronal-phenacetin 3 Tab.
 上記 1 日量, 3 回分服 D.S. auf 3×tägl. z.n.

〔註〕本劑ハ「ペロナール」及「フェナセチン」ヲ同量配合ス. 1 錠 0.5 含有.

頭痛, 船暈, 月經痛, 神經痛, 疼痛性不眠ニ用フ.

【用法, 用量】 1 回 1—2 錠

(46) 處方 (鎮靜, 鎮痛, 催眠) Rp.
 「オスバニール」 0.5 Osvanyl 0.5
 上記頓服 D.S. auf einmal z.n.

〔註〕「オスバニール」ハ Bromvalerylharnstoff 60, Dimethylaminoantipyrin 2 ト Diäthylbarbitursäure 1 ヨリナル化合物 25, Diäthylbarbitursäure 15 ヨリナル. 水ニ殆ンド不溶, 熱湯ニ可溶粉末.

諸種疼痛, 興奮時, 咳嗽時 (感冒, 百日咳, 喘息等) 皮膚疾患疼痛及癢痒, 齒科眼科領域ノ疼痛, 興奮時ニ用フ.

【用法, 用量】

- (1) 鎮靜劑 1 日 0.75—1.0—1.5 (冷水ニテ)
 1 日 3—6 錠 (,,)
- (2) 催眠劑 1 回 0.5—0.75—1.0 (温湯ニテ)
 1 回 2—4 錠 (,,)

本劑ハ「モルヒン」, 「パピナール」, 「コデイン」等ト伍セバ少量ニテ可.

(47) 處方(靜脈内注射用鎮痛鎮靜) Rp.

「カリブロン」 2.0 Kalibron 2.0
上記靜脈内注射 D.S. intravenös zu inj.

〔註〕「カリブロン」ノ組成

「プローム・カリウム」 1.0
「プローム・カルチウム」 1.0
「ヨード・カルチウム」 0.3
硝酸「ストリキニーネ」 0.002

1管 5.0 錠

【作用】鎮靜作用—「プローム・イオン」ニヨリ
血行佳良、利尿、消炎作用—「カリウム」、「カルチウム」、
「ヨード・イオン」ニヨリ
中樞作用—「ストリキニーネ」ニヨリ反射興奮ノ適當刺激、精
神爽快、頭重頭痛輕快
消化系緊張亢進—「アウエルバツハ」神經叢ノ興奮、消化不
良治療

【適應症】

- (1) 鎮靜劑—頭重、頭痛、眩暈、不眠、神経痛、腰痛、肩凝
- (2) 精神病—「ヒステリー」、躁狂、癡癡、子癇
- (3) 胃腸病—神經衰弱性消化不良、胃「カタル」、惡心、嘔吐
- (4) 利尿消炎劑—肋膜炎、腹膜炎、關節炎、「ネフローゼ」、浮腫
- (5) 其他初期結核

【用法、用量】1回 2.0—3.0—5.0 錠(隔日又ハ毎日靜脈内注射)

- (1) 癡癡發作時ニハ増量ス
- (2) 速用スルモ副作用ナシ、但シ疲勞感ヲ訴フル時ハ中止ス、
- (3) 皮下ニ漏ルル時疼痛ヲ感ズルガ後胎症(炎症)ヲ残サズ、

(48) 處方(神経痛、頭痛、腦膜炎、「チフス」) Rp.

「ノバミドン」 2錠 Novamidon 2 Tab.
上記頓用 D.S. auf einmal zu neh-
men.

〔註〕「ノバミドン」ハ「チメチール・アミドアンチピリン」デアツテ1個
中純「ノバミドン」0.1ヲ有ス、

頭痛、神経痛等ノ疼痛性疾患、熱性病(結核、腦膜炎、腸「チフス」、
急性關節炎、「レウマチス」等)ニ用フ、

【用法、用量】1回 2—3錠 通常朝夕2回ニ服用、

(49) 處方(頭痛、癲癇) Rp.

「ハセスロール」 0.3 Hasethrol
「ルミナール」 0.3 Luminal aa 0.3
上記1日量、3回分服 D.S. auf 3×tägl. z.n.

〔註〕「ハセスロール」ハ白色、無味、無臭ノ粉末、水、「アルコール」、
「エーテル」ニ不溶、主體 $C(CH_2ONO_2)_4$

【作用】體內(胃中)ニテ還元サレ亞硝酸鹽ヲ遊離シ、腦血管、冠狀
動脈、末梢血管ヲ擴張シテ血壓ヲ下降シ、血管痙攣緩解、血行佳
良等ヲ起シ、鎮痛、鎮靜作用アリ、血壓降下作用ハ持續シ、又治
療用量ニテハ副作用ナク、持長スルモ差支ナイ、

【適應症】

- (1) 鎮靜劑—心臟喘息、氣管支喘息、偏頭痛、高血壓、大動脈
痛、間歇性跛行症、指端異常感覺、レーノー氏病、
- (2) 血壓亢進—高血壓、動脈硬化症、慢性腎炎、萎縮腎、尿毒
症、腦溢血豫防、半身不隨、
- (3) 心悸亢進、心臟神經痛、バセドウ氏病、
- (4) 鎮痛劑—頭痛、偏頭痛、狭心症、胃痛等、
- (5) 其他植物神經系性諸疾患、

【用法、用量】

1日3回 1回 0.1—0.2—0.3(粉末)

1日3回 1—2—3錠

頓用 1回 0.1—0.3 1—3錠

- (1) 狭心症ニハ1回 0.5—1.0(5—10錠)又ハ少量ゾツ 0.1—
0.2(1—2錠)ヲ奏効スル迄
- (2) 高血壓、偏頭痛、動脈硬化、心臟神經症、心悸亢進、胃痛
ニハ 0.1—0.6(1—6錠)ヲ持長、
- (3) 作用ハ服用後 15—20分ニシテ現レ、
- (4) 配合禁忌ナシ、「ババヴエリン」、「ルミナール」、「テオチ
ン」、「デギタリス」葉末、「ヂウレチン」又ハ「ヂウレチン・
カルチウム」等ト併用スレバ奏効著明、
- (5) 血壓甚シク低キ時ハ少量 0.1—0.2(1—2錠)宛與ヘル、
- (6) 偏頭痛ニハ 0.1—0.3(1—3錠)ヲ頓服、

【食餌療法】

- (1) 刺激性食餌(香辛料例ヘバ胡椒、山椒、芥皮桂皮)及「アルコール」
性飲料嚴禁、
- (2) 偏食中止、主トシテ植物性食餌トナシ、便秘ニ注意、果實ハ可、
- (3) 暗示療法(精神療法)

頭痛ニ精神療法ハ是非必要ナモノデアル、殊ニ神經性ノモノニハ必要
デアツテ「ヒステリー」ノ頭痛ガ暗示ヲ治療スル事ガ屢々アル、器械療
法、藥物療法ノ何レニシテモ精神療法上ヨリ見タ効果ハ見逃シ得ラレナ
イ、同ジ藥劑モ名醫ト庸醫ノ投藥ニヨツテ効果ヲ異ニス、即チ外面的ニ
ハ或ハ形質的ニ精神療法デアクトモ、内容的ニ精神療法デアルモノガ甚
ダ多イ、

【精神療法】

- (1) 安靜療法
 - (a) 臥床療法
 - (b) 隔離療法
 - (c) 持續浴
- (2) 訓練療法
 - (a) 生活正規法
 - (b) 轉地療法(境遇變化)
 - (c) 水治療法
 - (d) 體操、旅行、交際、教育、禱
 - (e) 腹式呼吸法

- (f) ツボア氏説得療法
 (g) 作業療法
- (3) 症候療法
 (a) 催眠術
 (b) 精神分析療法 (プロイエル 及 フロイド 1896)
 (c) 感動療法
 (d) 水治療法
 (e) 睡眠療法
 (f) 信仰療法
 (g) 物理療法 (「マツサーヂ」, 「ヂテアルミー」等)
 (h) 民間ニ行ハル精神療法ノ或種 (呪咀, 禁厭, 祈禱, 邪宗等)
- (4) 間接療法
 (a) ツボア氏説得療法
 (b) 教育, 宗教
 (c) 催眠術
 (d) 醫師ノ人格, 言動, 病狀ノ説明, 診断, 豫後, 診察法等

(G) 新陳代謝病 及 ビ 泌尿器疾患 = 於ケル頭痛

勿論原病治療ヲ主眼目トスル。

1. 糖尿病 Diabetes mellitus.

- (a) 食餌療法
 耐容力 Toleranz ノ測定. 次第ニ含水炭素耐容力ヲ鍛練ス. 炭水化物ノ多カラザルコト又ハ瀟瘦ニナラザルコト, 含水炭素制限, 蛋白脂肪ニヨル代補. 血糖, 糖尿ニ注意. 場合ニヨツテハ無含水炭素食日又ハ飢饉日 Hungertag ヲ挿入ス.
- (b) 「インシュリン」皮下注射. 經口の膵臓「ホルモン」投與. 「プローム」劑ハ神經症狀ニ作用ス.
- (c) 強心劑, 乏水補給 (「ロチノン」等). 酸毒中和 (重曹等「アルカリ」劑).
 強心劑トシテ「カンフル」ヲ用フレバ「グリコロン」酸昏睡ヲ助長セシムルカラ用ヒナイ.

2. 痛風 Gicht, gout.

- (a) 食餌
 イ) 蛋白質, 刺戟性食物及飲料ノ制限 又ハ禁止 (茶, 「コ、ア」, 「アルコール」等)
 ロ) 乳汁, 植物性食物ハ可. 但シ「プリン」體ニ貧シキモノナルコト.
 ハ) 尿酸ハ K^+ , Mg^{++} ニヨリ體內沈着ガ緩抑制サレ, Na^+ , Ca^{++} ニヨリ増強サル.
- (b) 轉地, 戶外運動.
- (c) 藥物療法
 例ヘバ「ヨード・カリ」, 「アトフアン」, 「グリセリン」, 安息香酸, 「サリチール」酸, 「フェナセチン」, 「ザロール」等ヲ用フ.

3. バゼドウ氏病

甲状腺ノX線放射, 腺腫切除又ハ血管結紮, 電氣療法, 鎮靜劑投與 (殊ニ「プローム」劑), 「アンチチレオイジン」療法, 極少量ノ「ヨードカリ」内服. 磷酸「ナトリウム」投與.

4. 肢端巨大症 Akromegalie.

- (a) 藥物療法
 「ヨードカリ」, 「ヒポフィチン」, 「プローム」劑, 「モルヒン」ノ投與.
- (b) 外科的療法
 鼻腔ヨリノ腦下垂體一部切除(困難)

5. 尿毒症

- (a) 食餌—蛋白制限乃至嚴禁, 含水炭素, 脂肪ハ可.
 鹽類, 香辛料, 「アルコール」飲料禁忌.
- (b) 心臓, 腎臓ノ庇護—安靜, 轉地, 強心劑, 利尿劑投與, 洗腸.
- (c) 藥物療法
 「ヨード」劑, 利尿劑, 強心劑, 血管擴張劑, 下劑ノ投與.

【處方例】

(1) 處方 (腎炎)	Rp.		
「ロート・エキス」	0.1	Extr. Bellad.	0.1
抱水「クロラール」	2.0	Chloral. hydrat.	
「プローム・カリ」	2.0	Kali. bromat.	aa 2.0
上記 1 日量	(ゲッツ氏)	D.S. tägliche Menge zu nehmen.	

〔註〕 ゲッツ氏ハ子劑ニ抱水「クロラール」ノ佳良ナルコトカラ本處方ヲ考案シ, 尿毒症發作ニ用ヒテ尿中蛋白含量ノ減少ヲ認メタト云フ. 然シ單獨ニ各成分ノ藥劑ヲ用ヒタノデハ無効デアルト云フ. 勿論從前ノ治療法ト安靜ハ必要デアル.

(2) 處方 (強心, 利尿; 慢性腎炎, 尿毒症) Rp.

醋剝液	15.0—20.0	Liq. Kalii acet.	15.0—20.0
「ヂウレチン」	2.0	Diuretin	2.0
「ヂガレーン」	2.0	Digalen	2.0
苦味「チンキ」	1.0	Tr. amarae	1.0
「シロップ」	8.0	S. s.	8.0
淨水	100.0	Aq.	100.0
上記 爲 1 日量, 毎食後 3 回分服		D.S. auf 3×tägl. z.n.	

(3) 處方 (強心劑) Rp.

「ヂギタリス」葉末	0.2	Pulv. fol. Digit.	0.2
安息香酸「ナトリウム・カフエイン」	0.6	Caffein, Natriobenzoic.	0.3
重曹	2.0	Natr. bicarb.	2.0
健末	0.5	Pulv. Gentian.	0.5
上記 1 日量, 毎食後 3 回分服		D.S. auf 3×tägl. n. d. E. z.n.	

(H) 血管疾患及血液病ニ於ケル頭痛

1. 動脈硬化症

(a) 原因療法 Kausaltherapie

- イ) 慢性鉛中毒 chronic lead-poisoning.
ロ) 痛風 Gicht, gout.
ハ) 梅毒 Syphilis.

(b) 食餌療法

- イ) 過食過飲禁止
ロ) 刺激性食餌, 蛋白制限, 牛乳野菜食 Laktovegetabilische Diät, 卵, 牛乳, 野菜食 Ovolaktovegetabilische Diät.
ハ) 減食鹽

(c) 藥物療法

「ヨード」劑, 睡眠劑 (「アスピリン」, 臭素劑, 「アダリン」, 「カルモチン」等), 利尿劑 (醋劑, 「コフエイン」) ノ投與.

(d) 精神療法

2. 萎黃病

還元鐵大量投與 (Eisenstoss), 止血劑, 強壯劑 (フオーレル水等) 投與, 人工太陽燈照射.

【處方例】

(1) 處方 (貧血)

還元鐵 0.3 Ferr. reduct. 0.3
上記 1 日量, 3 回分服 D. S. auf 3× tägl. z. n.

〔註〕還元鐵ハ鐵 90% ヲ含ム灰黑色, 水ニ不溶ノ細粉。「ヒニン」, 砒素ト伍用スル.

【用法, 用量】1 回 0.03—0.3; 1 日 0.2—2.0 近來ハ大量 (1 回 0.5—1.0; 1 日 1.5—3.0) ヲ用フル. (Eisenstosstherapie)

鐵劑ハ局所刺激作用ガアルカラ「アルカリ」劑ト伍シ食後ニ與ヘ, 便秘ヲ來シ易イカラ「マグネシア」, 「ロカイ」等ノ下劑ヲ配伍スル. 鐵劑服用中ニ「タンニン」化合物 (赤酒, 茶, 「コーヒー」) ヲ與フレバ黑色「タンニン」鐵ヲ生ズルカラ禁忌デアル.

(2) 處方 (萎黃病)

水素還元鐵 10.0 Ferr. hydrogen. reduct.
重曹 10.0 Natr. bicarb. aa. 10.0
上記 1 日 2 回 1 刀尖「オブラート」ニ包ミテ服用 S. 2×tägl. 1 Messerspritze in Oblaten.

(3) 處方 (萎黃病)

含糖炭酸鐵 1.0 Ferr. carb. sacch. 1.0
鹽酸「キニーネ」 2.0 Chinin. muriat. 2.0
白糖 3.0 Sacch. alb. 3.0
上記混和爲 10 包, 1 日 3 包 M. f. Pulv. div. in dos. X. S. 3 Pulv. tägl. z. n.

(4) 處方 (萎黃病)

水素還元鐵 5.0 Ferr. hydrogen. reduct 5.0
亞砒酸 0.2 Acid. Arsenic. 0.2
甘草末及羔 適宜 Pulv. et succ. Liquirit q. s.
上記爲 100 丸, 1 日 1—4 丸 n. f. pill. Nr. C. S. tägl.
漸次増量 (ノールデン氏) 1—4 Pill. steigend (Noor-den).

(5) 處方 (萎黃病, 神經衰弱)

「ヘモグロビン」錠 12 錠 Hämoglobin-tab. 12 Tab.
上記 1 日量, 毎食後 3 回分服 D. S. auf 3×n. d. E. z. n. (mit
(白湯又ハ冷水ニテ) lau. od. kalt. Wasser)

〔註〕「ヘモグロビン」錠ハ百分中 0.42 ノ鐵物性鐵ヲ有スル乾燥「ヘモグロビン」製劑. 萎黃病, 貧血, 腺病, 拘攣病, 病後恢復期. 服用中ハ茶ヲ禁ズ.

(6) 處方 (貧血)

「ヨード」鐵「シロップ」 8.0—15.0 Syrupi ferri jodati 8.0—15.0
「シロップ」 8.0 S. s. 8.0
淨水 100.0 Aq. dest. 100.0
上記 1 日量, 食後 3 回分服 S. three times a day (no
(茶ヲ禁ズ) tea).

3. 惡性貧血

肝劑食餌療法 Leberdiät, 強壯劑 (鐵, 燐, 砒素劑) 投與.
裂頭絛蟲ニ注意.

【處方例】

(1) 處方 (惡性貧血)

亞砒酸 0.06 Acid. arsenicos 0.06
黑胡椒液 1.5 Piper nigr. 1.5
甘草末 3.0 Pulv. Liquirit 3.0
「アラビアゴム」漿液 適宜 Mucil. Gummi arab. q. s.
上記爲 60 丸, 1 日 1 丸, 毎
4 日 1 丸増加, 1 日 10 丸ニ
達シ反覆 S. Tägl. 1 Pille, jod. 4.
Tag um 1 Pille steig. bis
10 Pil. die u. zurück.

(2) 處方 (貧血)

亞砒酸「カリ」液 3.0 Liq. Kalii arsenicosi 3.0
林檎鐵「チンキ」 至 30.0 Tr. ferr. pomat. ad. 30.0
上記 1 日 3 回 10—15 滴宛 D. S. auf 3×tägl. 10—15
Tropfen.

(3) 處方 (貧血)

「アルゼン・メタフェリン」錠 1 日 3—4 回, 1 回 1—2 錠宛
服用小兒ハ其半量 Tabl. Arsen-Metafferin
S. 3—4×tägl. 1—2 Tabl.,
Kindern die Hälfte.

4. 白血病

- (a) 砒素及鐵劑ノ内服, 注射
 (b) 「ベンツオール」内服 (「カプセル」ニ入レ 1 日 2—4.0 gr.)
 (c) 「レントゲン」照射

【處方例】

(1) 處方 (白血病, 萎黃病, 貧血, 「ノイローゼ」) Rp.

鐵「エラルソン」 3 錠 Eisen-Elarson 3 Tab.
 上記 1 日量, 1 日 3 回分服 D.S. auf 3×tägl. z.n.

〔註〕 鐵「エラルソン」ハ「エラルソン」ニ還元鐵ヲ結合セシモノ, 腸ヨリ吸収サレルタメ胃ヲ害セズ, バゼドー氏痛, 舞蹈病, 惡性貧血等ニモ用フ

【用法, 用量】 1 日 3 錠, 次第ニ増量シテ 1 日 6—9 錠トス. 小兒ハソノ半量又ハ 1—3 錠, 1 錠中砒素 0.5 mgr.

(2) 處方 (白血病) Rp.

純「ベンツオール」 0.5—1.0 Benzol. pur. 0.5—1.0
 「オレーフ」油 0.5 Ol. Olivar. 0.5
 上記 1 回分, 1 日 3 回毎食後 D.S. auf 3×tägl. in Kap-
 「カプセル」ニ入レ服用 seln.

〔註〕 毎日 3—4 「カプセル」ヨリ増量シテ毎日 5 回 2 「カプセル」宛トナス.

(3) 處方 (白血病, 貧血) Rp.

フオレル水 5.0 Liq. Fowleri 5.0
 林檎鐵「チンキ」 25.0 Tr. Ferri pomati 25.0
 「キナ・チンキ」 2.0 Tr. Chinae 2.0
 上記 1 日 3 回 12 滴宛食後服 D.S. auf 3×tägl. 12gtt. n.
 用 d.E.z.n.

(I) 諸種中毒ニヨル頭痛

原因ニヨリ色々治療ヲ施スベキデアル. 一般處置法ハ次ノ如キデアル. (急性中毒ヲ主トス)

【要旨】

1. 可及的速カニ毒素ヲ完全ニ體外ニ排出スル事
2. 體內殘留ノ毒素ハ中和セシムル事
3. 對症療法

1. 體內毒素排出法

- (1) 胃洗滌 Magenspülung 微温湯, 解毒劑, 吸着劑等ヲ用フ.
- (2) 吐劑
鹽酸「アポモルヒン」0.01 皮下注射.
吐根末 (0.5—1.0) 約 10 分毎ニ嘔吐スル迄.
硫酸銅 (0.1—0.2) 嘔吐スル迄.
- (3) 下劑
鹽類下劑 (「カルルス」泉鹽, 硫苦等)

「ヒマシ」油等油ニ溶解スルモノ (燐中毒等) ハ不可.

- (4) 腸洗滌
解毒, 吸着劑
- (5) 利尿劑, 體內洗滌劑, 發汗劑.
リンゲル氏液, ロック氏液, 「ロヂノン」, 葡萄糖液, 輸血.
「ピロカルピン」 0.005—0.01 皮下注射 (強心劑併用)
- (6) 酸素吸入, (「ガス」中毒)

2 體內毒素中和乃至解毒

- (1) 拮抗的:— 酸ニ對スル「アルカリ」
「アトロピ」ト「モルヒン」等.
- (2) 水溶性毒物ヲ不溶性トス.
「アルカロイド」, 阿片, 「モルヒン」, 「アトロピン」, 「ストリヒニン」, 「ニコチン」ニ「タンニン」(0.1—0.3) ヲ數回, 1 日 2.0ニ至ル迄.
- (3) 皮膜形成, 溶解物吸收抑制
卵白, 葛湯, 牛乳服用.
- (4) 毒物破壊

〔例〕 酸化劑投與. 燐, 「モルヒン」, 「ストリヒニン」ニ過「マンガ」酸「カリ」0.1% 又ハ「オキシフル」.

3. 對症療法

- (1) 心臟衰弱
「カンフル」(水溶性「カンフル」, 「ビタカンファー」)「ヂギタリス」, 「アドレナリン」, 「コフエイン」, 「ステラレーン」, 「ロデアリン」, 「カルヂオトニン」, 「コンウアロン」, 「チマリン」等.
- (2) 血管運動神經麻痺及痙攣
「コフエイン」, 「カンフル」, 「ストリヒニン」, 「コラミン」, 醋酸エーテル, 「アドレナリン」, 「アミール・ニトリット」.
- (3) 呼吸中樞麻痺
人工呼吸, 酸素吸入. 強度ノ呼吸困難ニハ「ロベリン」, 「アトロピン」, 「コラミン」, 「ビタカンファー」.

頸痛・喉頭痛

Halsschmerz (m.); pain in the neck
or throat, sore throat; mal de gorge

頸

殊ニ喉頭痛ハ種々ノ疾患ニ隨伴シテ來ル。例ヘバ「ヂフテリー」、喉頭結核、喉頭癌等デアル、而シテ又疼痛トシテ威ゼズニ單ニ搔爬ノ威、Kratzen, itching, 粗糙ノ威 Rauheit, 灼熱ノ威 Brennen, 創傷威 Wundseinsgefühl, 異物ノ威 Gefühl von Fremdkörper トシテ威ズルコトガアル。

咽喉頭疾患ノミナラズ頸部局所疾患トシテモ頸痛ハ起ル。例ヘバ筋肉「レウマチス」等ノ如キデアル。又頸椎ノ疾患カラモ頸痛ハ起リ得ル。(脱臼, 「カリエス」)

頸痛ヲ伴フ諸疾患

A. 急性傳染病

(1) 猩紅熱

重症デハ屢々頸部淋巴腺ガ腫脹シ、時ニハ壞疽性トナル (Angina gangraenosa)。又腺ノ周圍モ腫脹スル、一般ニ「ヂフテリー」ニ比シ化膿シ易イ。ルードウィツヒ氏「アンギーナ」ヲ作ル。

(2) 「インフルエンザ」

多クハ扁桃腺炎ヲ併發スルタメニ頸痛ヲ訴ヘル。筋肉痛 Myalgie ヲ訴ヘルコトモアル。

(3) 「ヂフテリー」

本症デハ時ニ激シイ喉頭痛ヲ訴ヘル。又屢々頸下淋巴腺ガ腫脹シテ甚シイ時ハ自發痛又ハ壓痛ヲ訴ヘル、淋巴腺ハ化膿スルコトスラアル。重症「ヂフテリー」デハ嚥下時ニ疼痛ガアル。

(4) 其他

腺「ベスト」(自發性痛又壓痛)

B. 呼吸器疾患

(1) 喉頭結核 Kehlkopftuberculose

自發痛ト嚥下痛アリ。

(2) 急性氣管支「カタル」及氣管炎

咽頭部疼痛ト同時ニ胸側痛トアリ。創傷威、壓迫威、癢痒威トシテ威ズルコトモアル。

C. 消化器疾患

(1) 流行性耳下腺炎 Parotitis epidemica.

開口時、談話及嚥下時ニ輕度ノ疼痛ト緊張感トヲ感ズル。此ノ威ハ寧ロ耳下腺ノ部ニ著シイ。

(2) 「アンギーナ」 Angina, entzündliche Krankheit des Isthmus faucium (der Mandeln, des Zäpfchens, des weichen Gaumens)

嚥下時疼痛アリ

(3) 食道痙攣

此ノ場合ノ疼痛ハ胸骨後方深部ニ多クアル。

D. 其他

神經痛、頸椎骨々折、髒ソノ他ノ化膿症及頸椎疾患(「カリエス」等) 氣道異物、動脈瘤、狭心症等ノ疼痛ヲ頸痛トシテ威ズルコトガアル。

〔附〕 筋肉痛

筋肉痛ヲ伴フ疾患

(1) 筋肉「レウマチス」急性熱性傳染病(「インフルエンザ」、ワイル氏病、敗血症、「コレラ」、流行性腦脊髄膜炎、破傷風、七日熱、羌蟲病、等)

(2) 其他貧血、筋炎、筋化膿症、ソノ他ノ外科的疾患及「ノイローゼ」

頸痛及ヒ筋痛ノ療法

原因除去(微毒、「ロイマチス」、筋過勞)、外科的手術、鎮痛、鎮靜劑投與(「サリチール」酸劑、阿片、「モルヒネ」等) 其他場合ニヨリ臟器製劑等ヲフル。

物理療法モ有効デアル。「マツサージ」、「ヂアテルミー」其他水治療法)

頸痛・喉頭痛ニ對スル處方例

(1) 處方(「ロイマチス」、「インフルエンザ」等) Rp.

「ザロフェン」 0.5—1.0 Salophen. 0.5—1.0
上記1日數回ニ分服 S. auf mehrmals tägl. z. n.

〔註〕1) 「ザロフェン」ハ「アセチル・パラ・アミド・ザロール」白色、無臭、殆ンド不溶ノ結晶性粉末。「サリチール」酸「ソーダ」ニ代用ス。

2) 「インフルエンザ」デハ就床靜臥、熱飲料ヲトリ發汗ヲ促ス。

3) 藥物トシテハ「アスピリン」(1日 1.0)、「キノニネ」(1日 0.5)、「ザリピリン」(1日 1.0)、又抗連鎖球菌血清皮下注射(25 銖)、多價連鎖狀肺炎球菌血清(100—150 銖)、「インフルエンザ」恢復期患者ノ血清注射。心臟機能ニ注意。

4) 近來「オムナジン」、「エルスチン」等モ用フ。

(2) 處方(「ロイマチス」) Rp.

「サロメチール」 Salomethyl.
上記外用 S. äusserlich

- 〔註〕 1) 「サロメチール」ハ「サリチル」酸「メチル」ヲ主成分トスル、
筋肉痛、關節痛ニ用フ。
2) 同様ニ「アンチフロヂスチン」、「エキネス」等ハ頸部濕布トシ
テ頸痛、筋肉痛ニ用ヒラル。

(3) 處方 (蜂窩織炎性「アンギナ」)

石炭酸	0.3	Acid. Carbol.	0.3
蒸餾水	10.0	Aq. dest.	10.0
上記局所注射料		S. Injekt.	
(膿瘍ノ自潰ヲ促進スルタメニ温 電法)		(Um den Durchbruch zu beschleunigen warme Um- schläge)	

(4) 處方 (「アンギナ」扁桃腺膿瘍) Rp.

「アルテア」根煎	200.0	Decoct. rad. Altheae	200.0
阿片「チンキ」	15 滴	Tr. Opii	gtt. XV
桑實「シロップ」	20.0	Sir. Mororum	20.0
上記含嗽水、用時加温		S. Erwärme z. gurgeln	

(5) 處方 (喉頭「カタル」)

「プローム・カリ」	6.0	Sodium bromide	6.0
鹽酸「コカイン」	0.2	Cocaine hydrochloride	0.2
蒸餾水	200.0	destillate	200.0
上記吸入料		S. for inhalation	

- 〔註〕 1) 急性喉頭炎ニハ安靜、臥床保温、熱飲料、刺戟物ノ禁止 (煙草、
「アルコール」等) プリースニッツ氏電法
2) 含嗽料トシテハ 1% 「クロール」酸「カリ」溶液、1—3% 食鹽
水、1—2% 重炭酸「ソーダ」水、等。
3) 咳嗽甚シキトキハ「パントポーン」(0.01—0.02 宛毎日 3 回)
又ハ「コデイン」ソノ他ノ麻醉劑、又鎮咳、祛痰劑 (咳嗽ノ項
參照)

(6) 處方 (喉頭結核) Rp.

薄荷腦	5.0	Menthol	5.0
「オレーフ」油	20.0	Ol. Olivar	20.0
上記注入料		S. zum Einspritzen	

- 〔註〕 1) 喉頭結核ニヨル頸痛ニハ談話中止、局所ノ日光照射、乳酸 20%
ヨリ塗布シ始ム。
2) 疼痛甚シケレバ「コカイン」塗布。

(7) 處方 (喉頭結核)

「クレオソート」	1.0	Creosot	1.0
「アルコール」	10.0	Spir. vini	10.0
「グリセリン」	40.0	Glycerin	40.0
上記塗布		S. Bepinselung.	

(8) 處方 (喉頭結核) Rp.

85% 温「アルコール」	0.5—1.0 cc	85% warmer Alkohol	0.5—1.0 cc
--------------	------------	--------------------	------------

上記上喉頭神經内ニ注射(0.5%
ノ「ツトカイン」ヲ加フ) S. In den N. laryngeus
sup. z. inj'. (½—1.0 cm³.
mit 0.5% Tutokain ver-
setzt)

(9) 處方 (諸種疼痛) Rp.

「ベラモン」	0.5	Veramon.	0.5
上記頓用		S. auf einmal	

- 〔註〕 「ベラモン」ハ「ヂエチールバルピツール」酸ト「アミノピリン」ト
ノ複合體。1 回 0.4—0.8; 又ハ 1 日 3 回分服。

(10) 處方 Rp.

「プロバリン」	0.3	Brovarin.	0.3
「フェナセチン」	0.5	Phenacetin.	0.5
上記頓用		S. auf einmal.	

- 〔註〕 「プロバリン」ハ局方「プロム・ワレリル」尿素、白色、結晶性粉末。
消化、循環、呼吸系ヲ害セズ。

(11) 處方 (鎮痛) Rp.

「プロバリン」	0.5	Brovarin.	0.5
「ナルコボン」	0.03—0.05	Narcopon.	0.03—0.05
乳糖	1.0	S. lactis	1.0
上記 1 日 3 回ニ分服		S. auf 3×tägl. z. n.	

(12) 處方 (「インフルエンザ」) Rp.

「プロバリン」	0.3	Brovarin.	0.3
「アスピリン」	0.5	Aspirin.	0.5
上記頓用		S. auf einmal	

(13) 處方 Rp.

「クロロホルム」	20.0	Chloroformi	20.0
「オレーフ」油	80.0	Ol. Oliv.	80.0
上記外用		S. äusserlich	

胸痛

Thoracodynia; Thorakodynie (f.) Brustschmerz (m.); chest pain or ache; douleur thoracique

(背痛 Rückenschmerz, pain in back)

胸痛

ソノ原因ニヨリ分類スレバ胸壁自體ニ病變ガアル場合ト胸部内臓ニ病變ガアル場合トノ 2 ツニ分ツコトガ出來ル。「ノイローゼ」ニヨルモノハ何レニモ來ル。

胸痛ノ原因ノ分類

A. 胸壁組織ノ異常——直接痛

肋間神経痛, 神経壓迫, 筋痛, 神経纖維腫, 帯状皰疹, 皮膚及皮下炎症, 乳房疾患 (乳房緊張, 乳房炎, 及腫瘍, 結核, 囊腫等)

ダーカム氏病 Adipositas dolorosa, Dercum's disease., 骨(胸骨及肋骨)疾患.

B. 内臓疾患

肋膜炎, 肺炎, 膿胸, 氣胸, 肺ノ惡性腫瘍, 急性氣管支炎, 心臟病 (心囊炎, 心内膜炎, 狭心症), 大動脈瘤, 大動脈炎, 縱隔竇ノ腫瘍及炎症, 食道狹塞, 胃病, 脊髄病, 内臓痛ニ關シテハ腹痛ノ條參照.

胸痛ヲ伴フ重要ナル疾患

1. 肋膜炎 Pleuritis; pleurisy; pleurésie.

肋膜炎ノ胸痛ハ屢々胸部側痛 Seitenstich, stabbing pain in the side, point de côté トシテ現ハル. コノ側胸痛ハ深呼吸ニヨリ増強スル. 乾性肋膜炎ノ特有ナル點ハ革伊軋音 (Knarren, crackling friction) デアル. 肋膜炎ノ疼痛ハヘッド氏知覺過敏帶ノ壓痛點ト同様ニ對稱的ノモノデアルト云フ. 又肋膜炎ハ腦脊髄神経ガ分布シテキル (innervieren, innerve) ガ皮膚 Haut; skin; cuir トハ異ナリ器械的又ハ溫熱的刺戟ニ對シ無感覺デアル. ソレニモ不拘炎症性刺戟ニ鋭敏デアル.

2. 肺炎 Pneumonie, Lungenentzündung; pneumonia, inflammation of the lungs.

「クルップ」性肺炎ノ充血期ニ胸痛ヲヨク訴ヘル, 同時ニ肋膜炎ヲモ

伴フコトガアル. 本症デハ捻髮音 (Knistern, Crepitatio indurata) ガ重要デアル, 捻髮音ハ融解期ニモ聞ヘル (Crepitatio redux, râle redux).

3. 肋間神経痛 Neuralgia intercostalis, Interkostalneuralgie; intercostal neuralgia; névralgie intercostale.

多クハ多數ノ肋間神経ガ侵サレ, 神経系路中ニ多數ノ壓痛點ガアル, 即脊椎側方, 腋窩線, 胸骨近側等デアル. 疼痛ハ「チクチク」感ズル場合 (darting pain) 又灼熱感 (burning sensation) 等デアル, ヨク帯状疹 Herpes zoster ヲ生ジ, 「インフルエンザ」ニ屢々伴フ. 心囊炎, 肋膜炎, 大動脈瘤, 肺炎, 肋膜腫瘍 (内皮腫), 「カリエス」, 筋痛, 神経衰弱, 「レウマチ」等トノ區別ガ必要デアル.

4. 胸椎「カリエス」

疼痛ハ不定ノコトガ多ク, 又部位モ不定ノコトが多い. X線透射ガ必要デアル, 「ギプス」デ安静ニスレバ輕快スル.

5. 食道痛

病竈部ノ疼痛, 局所ヨリ上部食道ノ擴張, 嘔吐, 嚥下障礙等ガアル. 時ニハ大量ノ吐血ヲナス, 食道破裂デハ劇痛ガアリ, 稀ニ見ル疾患デアルガ食道ノ炎症, 潰瘍等デモ疼痛ヲ訴ヘル. 此等デハヨク刺戟性物質ノ嚥下, 近接器官ヨリノ壓迫, 腫瘍等ガ證明サル, 一體迷走神経ハ食道ノ蠕動ヲ高メ, 交感神経ハ之ヲ抑制スル. 食道疾患ノ疼痛ハヨク胸骨カラ劍狀突起ノ間ニ感ズルガ, 之ハ交感性内臓反射ニヨル D V—VI 胸部神経カラ支配サレテキル部ニ放散スルニヨル.

時ニハ又肩胛骨ヤ頸部ニ迄波及スル, 癌デハヨク氣管支分岐部ニ疼痛ヲ訴ヘル.

6. 大動脈痛

胸内ニ疼痛ヲ覺ヘ, 此レハヨク手, 背ニ放散スルオリヴァー・カルダレリ氏徴候 Oliver-Cardarelli's Symptom ガ現ハレ, 患者ニハヨククワ氏反應陽性ニ現ハル, 時ニハ壓迫症狀 (嚥下困難, 呼吸困難) アリ.

7. 狭心症 Angina pectoris, Stenokardie; Herzbräune (Heberden 1768).

發作的ニ心臟部ニ疼痛又壓迫感ヲ覺ヘル. 疼痛ハ他ノ部ニ, 特ニ左腕ニ放散スル. 發作中ハ恐怖又苦悶感 Angstgefühl, sensation of extreme anguish, angoisse 死ニ對スル恐怖感 Todesfurcht, fear of impending death, 蒼白 Blässe, pallor, 發汗多量又ヨク脈搏ハ不規則, 緩徐 irregularity and slowness of the pulse トナリ, 時ニハ意識ヲ失フ (Synkop, syncope) 疼痛ハナイコトモアル.

眞性狭心症 Angina pectoris vera, Heberden ハ冠狀動脈硬化症 Sklerose der Koronararterien ニヨククル. 神経衰弱ノ人デハヨク狭心症發作ニ似タ發作ヲ起ス. (假性又偽性狭心症, false angina pectoris, Angina pectoris nervosa.)

8. 胃潰瘍

(胃潰瘍、胃癌、膽石症ハ大體ニ於テ上腹部心窩部ニ疼痛ヲ感ズレドモ時ニハ胸痛トシテ放散サルルコトガアルカラ附記スル)

疼痛ハ食後心窩部ニ感ジ又ハ背部、肩胛部ノ方迄放散スル、胸椎左側ニ壓痛ヲ訴ヘルコトガアル、穿ツキウニ、又燒キツケル様ニ痛イト云フ、疼痛ハ不消化物ヲ取ツタ時ニ著シイ、過冷、過熱ノモノモ影響スル、食物ガ腸ニ進ムカ又ハ嘔吐ニヨリ胃ガ空虛ニナレバ疼痛ハ減ズル、時ニハ空腹時殊ニ夜間ニ疼痛ヲ訴ヘ(飢饉疼痛 Hungerschmerz)攝食ニヨリ止マルコトガアル、蛋白質ヲ攝レバ輕快スル、コレハ過生サレタ胃酸ト結び付カラデアル、疼痛ハ體位ニヨリソノ強サヲ變ヘルコトガアルノデ、患者ハ胃部ヲ壓シタリ身體ヲ屈曲シタリスル、

9. 胃癌

疼痛ハ食物ト無關係ノコトガヨクアル、時ニハ晝夜モ持續シテ麻酔劑ニヨラナケレバ救治出來ナイコトガアル、通常壓迫ニヨリ疼痛ハ増シ、ヨク背部又ハ腰部ニ激痛ヲ訴ヘ、胃部ニハ少シモ疼痛ノナイコトガアル、

10. 膽石症

膽石痛發作前ニ前兆(違和、惡心、嘔吐等)ガアルカ又ハ全く急ニ劇痛ガ現ハレ、疼痛ハ往々増強シテ耐ヘ得ラレナクナルコトスラアル、發作ノ間歇時ニハ肝、胆嚢部ニ穿通性鈍痛ガアリ、疼痛ハ心窩部、肩胛部、脊柱、四肢等ニ放散スル、疼痛時ニハ屢々戰慄 Schütteln ヲ伴ヒ、次デ一時的ニ發熱ス、黃疸ノ出現ハ不定デアル、疼痛發作ハヨク反復サレ時ニハ數日間モツツク、結石ガ排出サレルト疼痛ハ消失シ(erfolgreicher Anfall)、然ラザレバ又痛發作ヲ反復スル、(erfolgloser Anfall)痛發作ノ症狀ハ必ズシモ定型的デナイ、

11. 腎石症

初メ腎臟部又ハ輸尿管ニ沿ヒ輕度ノ疼痛ヲ訴ヘル、結石痛ハ急ニ腹部ニ起リ、輸尿管ニ沿ヒ膀胱、外陰部ニ放散スル、脊髄癆デモ之ニ似タ發症ガアル、(renale Krisen der Tabes dorsalis)胃部ニ過敏帶ヲ認スル(Head's Zone)、

12. 脊髄癆 Tabes dorsalis, locomotor atxia, posterior spinal sclerosis.

本症デハ初メ電擊様疼痛アリ、(lazinierende Schmerzen, lancinating pains)、失調期ニ入レバ知覺ノ過敏又ハ脱失アリテ、内臟ハノ刺戟症狀(Krisen)アリ、

13. 乳房痛 Mastodynne.

乳房部ノ神經痛デアツテ疼痛ハ時ニ甚ダ激シクナリ、發作中乳汁ヲ分泌シ又嘔吐スルコトガアル、通常 II—VI 胸椎ニ壓痛點ガアル、中年ノ女子ニ多く、「ノイローゼ」、授乳等ガ原因トナル、腫瘍トノ鑑別が必要デアル、

14. 心囊炎 Pericarditis.

心臓部疼痛アリ、「レウマチ」、傳染病、肺炎、肋膜炎、肺結核等ガ原因トナル、心内膜炎ニテモ心臓部疼痛アリ、心筋炎デハ時ニ胸痛以外ニ狭心症様症狀ヲ伴フコトアリ、

胸痛ノ療法

疼痛ヲ起ス疾患ニ就キ原因療法ヲ行フ、例ヘバ急性肺炎、乾性肋膜炎ニ於ケル肋膜摩擦ニヨル疼痛ハ安靜ニシ、患部ニ濕布、芥子泥貼用、絆創膏ヲ貼リテ呼吸ニヨル胸廓運動ヲ抑ヘ、心臟冠狀動脈微毒ニヨル狭心症ニハ注意シテ驅療療法ヲ、動脈硬化ニ用フルモノハ動脈硬化ニ對シテ療法ヲ講ズルガ如キデアル、胸壁ヘ濕布、泥劑等ノ外適用ハ呼吸ニヨル胸廓運動ヲ制限スル他多分ニ誘導療法ノ目的ニ適スルモノデアル、

胸痛ニ對スル處方例

(1) 處方(神經痛、筋肉痛、「インフルエンザ」) Rp.
「ザロヒニン」 1.0 Salochinin. 1.0
等量 5 包ヲ與ヘ、1 日 3 回包宛 D. t. d. No. V. S. 3×tägl 1
服用 Pulv.

[註] 「ザロヒニン」ハ「サリチール」酸「キニーネ・エステル」無色、不溶ノ結晶、1 日數回 1.0—2.0; 「レウマチス」、 「インフルエンザ」、肋膜炎、神經痛、筋肉痛等ノ疼痛ニハ解熱鎮痛劑ヲ用フ、故ニ「アリストヒン」 Aristochin («キニーネ」ノ中性炭酸鹽、0.5 宛 1 日 3 回)、 「ヒネオナール」(Merck, 1 日 6 錠迄)「サリチール」酸「ナトリウム」(1 日 1.5—10.0)、 「アスピリン」(1 日 1.5—3.0)、 「ザリピリン」(1 日 1.5—3.0)、 「ノバスピリン」(1 日 3.0—6.0)、 「デプロザール」(Böhringer, 1 日 1.5—4.0; 3—8 錠)、 「アンチピリン」(1 日 1.5—3.0)、 「ピラミドン」(1 日 1.5 迄)、 「メルブリン」(1 日 3.0—8.0)「ノバルギン」(1 日 1.5—6.0)「フェナセチン」(1 日 1.5—2.0)等モ用ヒラル、此等ニ鎮靜劑(「アローム・ナトリウム」又「アローム・カリ」等)、睡眠劑ヲ配伍スレバ更ニ作用ハ強盛サル、

(2) 處方(「ロイマチス」、神經痛) Rp.
「ロイマサン」 Rheumasan.
上記外用(塗擦用) S. for external use (painting)

[註] 「ロイマサン」ハ「サリチール」酸 8%、「サリチール・エステル」2%ヲ含ム過脂肪石鹼「クリーム」、少量ノ硫黃ヲ含ム、「サロメチール」モ同様ニ外用ニ供ス、

(3) 處方 Rp.
「ピラミドン」 0.2 Pyramidon. 0.2
「アスピリン」 0.8 Aspirin. 0.8
上記 1 日 3 回毎食間ニ分服 D. S. auf 3×tägl. zw. d. E.
z. n.

(4) 處方(神經痛) Rp.
「フェナセチン」 0.2 Phenacetin. 0.2
「アスピリン」 0.3 Aspirin. 0.3

「ヴェロナール」	0.2	Veronal.	0.2
乳糖	0.3	S. lact.	0.3
上記頓用		S. auf einmal z. n.	
(5) 處方 (「レウマチ」, 痛風)		Rp.	
「メルブリン」	1.0	Melubrin.	
「アトファン」	1.0	Atophan.	aa. 1.0
上記爲 1 包, 1 日 3 回 1 包		As 1 powder, make 3 doses	
宛服用		S. thrice a day.	
(6) 處方		Rp.	
「ブロムラール」	0.3	Bromural.	
「フェナセチン」	0.3	Phenacetin.	aa. 0.3
「グレラン」	0.2	Grelan.	0.2
上記頓用		S. auf einmal.	
(7) 處方		Rp.	
「パントボン」	0.02	Pantopon.	0.02
「ブローム・ナトリウム」	1.0	Natrii bromat.	1.0
上記等量 10 包ヲ與ヘ		D. t. d. no. X.	
1 日 2-3 回 1 包宛		S. 2-3×tägl. 1 Pulver	
(8) 處方		Rp.	
「クロロホルム」	20.0	Chloroform.	20.0
「アムモニア・カンフル・		Liniment, Ammoniat,	
リニメント」	至 100.0	Camphorat.	ad 100.0
上記外用		D. S. Äusserlich.	
(9) 處方		Rp.	
「メソタン」	15.0	Mesotan.	
「オレーフ」油	15.0	Ol. Olivar	aa. 15.0
上記塗擦用		D. S. zum Einreiben	
(10) 處方		Rp.	
「クロロフォルム」油	25.0	Ol. Chloroformi	
「ヒヨス」油	25.0	Ol. Hyoscyami	aa. 25.0
上記外用		D. S. äusserlich	
(11) 處方		Rp.	
阿片「エキス」	0.5	Extract, Opii	
「ベラドンナ・エキス」	0.5	Extr. Bellad.	aa. 0.5
單軟膏	25.0	Ungt. simp.	25.0
豌豆大ヲ塗擦		D. S. erbsengross einzurei-	
		ben	
(12) 處方 (「ノイローゼ」)		Rp.	
吉草酸	0.3	Acid Valerian	0.3
「ブローム・カンファー」	0.3	Camphorae monobramat.	
乳糖	1.0	S. lactis	1.0
上記爲 3 包, 1 日 3 回ニ分服		D. S. auf 3×tägl.	

(13) 處方 (神經衰弱)		Rp.	
「ブローム・カリ」	3.0	Kal. bromat.	3.0
重曹	2.0	Natr. bicarb.	2.0
苦味「チンキ」	2.0	Tr. amarae	2.0
淨水	100.0	Aq.	100.0
上記 1 日 3 回ニ分服		D. S. auf 3×tägl. z. n.	
〔註〕 神經衰弱ニハ可及的鎮靜, 麻酔劑ヲ避ケタ方ガヨイ。與フルナラバ			
少量ヲ與ヘ, 早く中止スル。「ヒニン」, 砒素劑, 鐵劑, 磷劑, 石灰			
劑等ノ投與ハ行ハル。自家血清療法, 刺戟體療法等モ行ハル。心身			
ノ過勞ハ一番避クベキデアル。			
(14) 處方 (「ノイローゼ」)		Rp.	
「ブローム・ナトリウム」	10.0	Natr. bromat.	10.0
「パントボン」	0.1	Pantopon.	0.1
上記混和爲 10 包, 毎日 2-3		Als 10 Pulv.	
回 1 包宛		S. 2-3×tägl. 1 Pulv.	
(15) 處方 (「ノイローゼ」)		Rp.	
「ブローム・ナトリウム」	3.0	Natr. bromat.	
吉草「チンキ」	3.0	Tr. Valerian.	aa. 3.0
淨水	100.0	Aq.	100.0
上記 1 日 3 回分服		D. S. auf 3×tägl. z. n.	
〔註〕 神經衰弱ニハ内分泌腺製劑ヲモ試ムベシ。「ヨヒンビン」, 「ユベニ			
ン」等モ用ヒラル。			
(16) 處方 (各種疼痛)		Rp.	
「スパスマルギン」(1.1 cc) 1 筒		Spasmalgin. (1.1 cc) 1 Amp.	
上記皮下注射料		S. for hypodermic inj'.	
〔註〕 心内膜炎, ソノ他心臓疾患ニヨリ來タレル疼痛ニハ強心劑ヲ併用ス			
ル方ガヨイ。			
(1) 急性單純性心内膜炎デハ心臓部氷囊, 「ブローム」劑, 「ワク			
チン」療法, 「サリチール」酸劑等ヲ用ヒ敗血症性ノモノナラ			
マリシゲル, ロック氏等ノ液體供給ガ必要デアル。			
(2) 心筋炎デハ吉草劑モ用ヒラル。心臓神經症デモ同様デアル。			
後者デハ精神療法モ必要トナル。			
(17) 處方 (動脈硬化症)		Rp.	
鹽酸「パバヴェリン」	0.03	Papaverin, hydrochlor.	0.03
「ヂウレチン」	0.5	Diuretin.	0.5
「アンチピリン」	0.25	Antipyrin.	0.25
上記混和爲 1 包, 「パラフィン」		M. f. p. D. ad ch. cer.	
紙ニ包ム頓用		S. auf einmal z. n.	
〔註〕 (1) 動脈硬化症ニヨル胸部疼痛ニハ「アスピリン」, 「アダリン」, 及			
ソノ他ノ「ブローム」劑ガヨク用ヒラル。			
(2) 勿論心身ノ過勞ヲ避ケ「アルコール」, 煙草, 香辛料ヲ禁ジ,			
微毒, 痛風, 鉛中毒等ニモ注意スル。			
(3) 食餌ハ植物性ノモノガヨイ, 通利ヲ圖リ精神療法ヲ施ス。適			

當ノ運動,「レントゲン」深部照射,「デアテルミ」等モ行ハレル.

(4) 「ヂウレチン」,「ロダン」製劑,亞硝酸鹽,利尿劑,「ヨード」劑等ガ用ヒラレ,心臟衰弱ニハ強心劑.

(5) 大動脈瘤ノ療法モ之ニ準ジ得.

(18) 處方(狹心症) Rp.
0.1%「ニトログリセリン」溶液 0.1% Nitroglycerin-lös.
5 滴 gtt.5

上記發作時頓服 S. Auf einmal beim Anfall.

(19) 處方(狹心症) Rp.
「クロロホルム」 10—20 滴 Chloroform. 10—20 drops
上記疼痛時吸入 S. May be inhaled for the pain.

〔註〕 狹心症發作ニハ醋酸水,芥子糖,芥子紙,芥子泥或ハ重曹ヲ以テ心臟部ヲ摩擦シ強キ酒ヲ與フ。(Rombert 氏). 發作劇烈ナル時ハ「モヒ」(1% 溶液 1 筒),「モヒ・アトロピン」,「パントボン」(1—2 cc)「スパスマルギン」,「ナルコボン」,「パバヴェリン」等ヲ注射シ,脈搏小ナル時ハ「アルコール」,「カンフル」,「カフェイン」,「ヂギタリス」,「エーテル」,「コラミン」等ノ注射. 酸素吸入,高張葡萄糖溶液,心臟「ホルモン」劑(「カルヂノン」)等,又外科的ニハ交感神經ノ頸神經節及胸神經節ノ剔出(Jonnescu-Brüning 氏),場合ニヨリ減壓神經 N. depressor ノ切斷(Eppinger) (腹痛ノ項内臓痛ノ條參照)

(20) 處方(狹心症) Rp.
「ヂウレチン」 3.0 Diuretin. 3.0
重曹 2.0 Natr. bicarb. 2.0
淨水 100.0 Aq. 100.0
上記 1 日 3 回ニ分服 D. S. auf 3×tägl. z. n.

〔註〕 「テオプロミン」劑ハ冠狀動脈ヲ擴張スルカラ奏効スル. 之ニ「ルミナール」ヲ加ヘテモヨイ.(Theominal 等). 疼痛ノ烈シイ時ハ強心劑ト伍シテ鎮痛劑ヲ用ヒル方ガヨイ.

(21) 處方(狹心症) Rp.
「ニトログリセリン」 0.025 Nitroglycerin. 0.025
「エーテル」性吉草「チンキ」 25.0 Tr. Valerian, aeth.
甘硝石精 25.0 Spir. aether, nitr. aa. 25.0
上記混和 15—20 滴ヲ服用 M. D. S. 15—20 Tropfen im Anfall

(22) 處方(狹心症) Rp.
「エーテル」性吉草「チンキ」 10.0 Tr. Valerian, aeth.
「エーテル」精 10.0 Sp. aether. aa. 10.0
上記發作時 20 滴 S. 20 Trop. im Anfall.

(23) 處方(狹心症) Rp.
「ニトログリセリン」 0.1 Nitroglycerin. 0.1
「アルコール」 10.0 Alcohol. 10.0
上記 1 日 2—3 回 1—8 滴宛 S. 2—3 mal tägl. 1—8 Tropf.

(24) 處方(急性氣管支炎,「インフルエンザ」,肋膜炎) Rp.
「アンチフロヂスチン」 1 錠 Antiphlogistine. 1 can
上記濕布料 S. for compress.

〔註〕 胸痛甚シキ時ハ「アスピリン」,「ヒニン」,「コデイン」,「フェナセチン」等ヲ用フ,直接胸痛ニハ作用シナイガ吸入モ必要ナル.

(25) 處方(「マラリア」,肺炎) Rp.
「バグノン」 2.0—5.0 錠 Bagnon 2.0—5.0 錠
上記皮下注射料 S. for hypodermic inj.

〔註〕 「バグノン」ハ鹽規,「カフェイン」,「ウレタール」ヨリナル. 1 回 1—2 錠, 1 日 1—2 回皮下又ハ靜脈内注射,扁桃腺炎ニモ用ヒラル. 胸痛ニハ濕布「クロロホルム」塗擦,芥子泥等ヲ行フ. 肺炎デハ強心劑が必要ナル. 高張葡萄糖溶液ノ靜脈内注射等ヲナス. 呼吸困難高度ナラバ刺絡,酸素吸入,譫妄ニハ抱水「クロラール」,痰痰不十分ナラバ祛痰劑,「ヒニン」製劑(「オプトヒン」,「レミヂン」,「ヒネロン」等)ハ特效劑トサレテキル.

(26) 處方 Rp.
「アンチツツシン」 0.03—0.06 Antitussin. 0.03—0.06
上記 1 日 3 回ニ分服 S. auf 3×tägl. z. n.

(27) 處方(諸種疼痛) Rp.
鹽酸「パバヴェリン」 0.015 Papaverin, hydrochlor 0.015
「ロート・エキス」 0.06 Extr. Scopoliae 0.06
乳糖 1.5 Sac. lact. 1.5
上記 1 日 3 回ニ分服 S. auf 3×tägl. z. n.

(28) 處方(胃潰瘍) Rp.
「クロロホルム」 1.0 Chloroform. 1.0
次硝酸蒼鉛 5.0 Bism. subn. 5.0
薄荷油 3 滴 Al. Menth. pip. gtt. III.
淨水 190.0 Aq. dest. 190.0
上記振盪シテ毎時 1 食匙宛 S. Aufgeschüttelt stundl. 1 Esslöf.

(29) 處方(過酸症,胃潰瘍) Rp.
「オイミドリン」 0.1 Eumydrin 0.1
淨水 20.0 Aq. dest. 20.0
上記毎 1 日 2 回 10—20 滴宛 S. 2×tägl. 10—20 Tropf.

〔註〕 「オイミドリン」ハ硝酸「メチル・アトロピン」,白色無臭ノ粉末水溶性. 「アトロピン」代用. 盜汗ニ 0.001—0.0025 ヲ内用.

(30) 處方(胃痛) Rp.

鹽酸「コカイン」	0.1	Cocain, hydrochlor.	0.1
苦扁桃水	10.0	Aq. Amygd. amar.	10.0
上記 1 日量	10—20 滴	S.	3—4×tägl. 10—20 Tropf.
同分服			

(31) 處方 (胃痛, 例ヘバ胃炎, 潰瘍, 中毒, 癆, 萎黃病, 中樞神經疾患)

「アナステジン」	0.3	Anaesthesin.	0.3
上記爲 1 包, 毎日 2—3 回	1	Als 1 Pulv.	2—3×tägl. 1
包宛食前		Pulv. v. d. E.	

[註] 「オルトホルム」0.5 ニテ代用サル。

(32) 處方		Rp.	
鹽酸「モルヒネ」	0.01	Morph. mur.	0.01
鹽酸「コカイン」	0.03	Cocain, mur.	0.03
淨水	100.0	Aq. dest.	100.0
上記 1 日量食後ニ分服		S.	3×tagl. n. d. E.

(33) 處方		Rp.	
鹽酸「コカイン」	0.1	Cocain, mur.	
鹽酸「モルヒネ」	0.1	Morphin. mur.	aa. 0.1
淨水	100.0	Aq. dest.	10.0
上記毎時間 10 滴宛		S.	stündl. 10 Tropf. z. n.

(34) 處方 (胃痛)		Rp.	
萘酸「セリウム」	0.3	Oxalate of cerium	0.3
炭酸蒼鉛	1.0	Subcarbonate of bismuth	1.0
炭酸「マグネシウム」(輕)	1.0	Carbonate of magnesium (light)	1.0
上記一茶匙宛水ニテ攪拌, 毎食間及就寢時服用, 疼痛時ニハ更ニ頻回内服。		Even teaspoonful stirred in water between meals and bed time; more frequently if in pain.	

(35) 處方 (「ヘルペス」)		Rp.	
3% 石炭酸		3% Karbolsäure	
上記外用		S. äusserlich.	

[註] 0.5% 「チモール」, 10% 「チゲノール・コロヂウム」, 10% 「アナステジン」軟膏又ハ「テクロホルム」軟膏, 鹽酸「コカイン」0.2, 「アンチピリン」, 1.5, 「ザロール」, 1.0, 「ワゼリン」, 20.0 ヲ軟膏トシテ用フ。内服ニハ消石灰, 「ウロトロピン」(共ニ 0.5—1.0 ヲ毎日 3 回ニ内服)。「フェナセチン」, 「アスピリン」, 「ピラミドン」, 「キニーネ」等, 發汗療法, 「デアテルミー」等ヲモ試ム。

(36) ソノ他用ヒラル・藥劑

- (イ) 「パントボン・スコボラミン」又「ナルコボン・スコボラミン」。
- (ロ) 「ラウダノン」(Ingelheim) 1 回 1 錠, 1 日 2—4 錠。
- (ハ) 「アトニン」(Merck) 神經衰弱, 脊髄癆等。

- (ニ) 1% 「ヨード, カルチウム」1 回 1 錠ヨリ初ム, 肋膜炎, 結核等
- (ホ) 「エレクトラルゴール」(Heyden) 1 回 5.0—10.0 皮下又筋肉内, 丹毒「レウマチス」, 化膿症等。
- (ヘ) 1% 「テトロドトキシシン」1 回 1.0 神經痛, 「レウマチス」等。
- (ト) 鹽酸「シノメニン」1 筒 (1.0) 「レウマチス」, 神經痛等。
- (チ) 40—60% 「アルコール」溶液 0.5—1.5 神經幹ヲ考慮シツ、神經痛ニ適用。
- (リ) 異種蛋白。例ヘバ「アオラン」, 「カゼオザン」, 「オムナジン」, 「エリオサン」, 「ヤトレン」, 「カゼイン」, 「ツベルクリン」。
- (ヌ) 「ソラルゾン」(Bayer) 1 回 1 筒 11.0 cc 貧血, 神經衰弱等。
- (ル) 「イクテロサン」(Schering) 1 回 1 筒 「カタル」性黄疸, 胆石症等。
- (ヲ) 3% 「タカモール」隔日ニ 20 錠, (靜脈内) 肋膜炎, 「ロイマチス」, 肺結核。
- (ワ) 「トリパフラビン」1 回 1 筒, 敗血症, 腎盂炎。
- (カ) 「アトファニール」(Schering) 1 筒 (5.0 cc) 痛風, 「ロイマチス」, 神經痛, 肋膜炎。
- (ヨ) 「ベチン」Petin (田邊) 1 日 0.5—1.0; 胃痛ニ用フ。

腹痛

Dolor abdominis; Bauchschmerz; abdominal pain; douleur abdominale

(内臓痛 Organschmerz)

腹痛

腹痛ハ腹部臓器疾患ニ於テ最重要ナ症状ノ一ツデアアルガ腹部以外ノ疾患ニヨツテモ起リ得ル。腹痛ハ腹膜ノ腹壁葉 parietales Blatt ノ侵サレタル時ニ殊ニ著シク感ズルモノデアアル。

元來内臓 Eingeweide, internal organ, viscère ニハ知覺ハナイガ、周圍組織ニ分布スル知覺神經末端刺戟ニヨリ恰モ内臓自體が疼痛ヲ感ズルガ如ク知覺スルデアアル。然シ大體ニ於テ疼痛ノ部位ヲ以テ罹患器官 affected organs ヲ暗示スルモノトシテヨイ。

内臓痛 Organschmerz

内臓疾患ニ當リテ當該内臓部ニ疼痛ヲ訴ヘルコトガアル。然シ此ノ疼痛ハ脊髄神經ノ知覺枝ヲ通ジテ感受サレルモノデアライシイ。勿論胸部、腹部ニ於テハ肋膜 Pleura, 腹膜 Peritoneum ノ漿液膜 seröse Häute ノ體壁葉 parietales Blatt, 腦ニ於テハ硬腦膜 Dura mater ニ病變ガ波及影響スル時其處ニ分布セル脊髄神經ノ知覺纖維ノ終末装置が刺戟サレテ、自發性ノ疼痛、壓痛ガ益々顯著トナル。内臓痛ハ内臓ニ分布シテ居ル自律神經、殊ニ交感神經ヲ經テ刺戟ガ中樞ニ傳達サレテ所謂内臓痛トシテ感受サレルモノデアアル。内臓ハ皮膚、粘膜ト異ナリ切斷ニヨリテハ疼痛ヲ起サズ、其ノ收縮ニヨリテ疼痛ヲ強度ニ起ス。所謂痙痛Kolik ノ如キハ内臓ニ於ケル平滑筋 glatte Muskulatur ノ收縮ニヨリテ起ルモノデアアル。胃痙攣痛、膽石痙痛、腎石痙痛、狹心症、腸痙痛等ハ之レデアアル。斯カル内臓ヨリノ交感神經ヲ通ジテノ刺戟ハ脊髄ヲ通りテ中樞ニ傳達サレ、疼痛トシテ感知スルモノデアアルガ、更ニ一定高サニ於テ脊髄ニ其ノ交感神經ガ入ル脊髄神經節 Segment ヲ通ジテ其脊髄神經ノ分布域ニ投射サレルコトガアル。從ツテ又此ノ部位ニ壓迫等ノ器械的刺戟ヲ加フル時ハ(内臓疾患ガアツテ内臓痛ヲ中樞ニ傳達シテ居ル場合ニハ) 鋭敏デ又臟器部ニ疼痛ヲ訴ヘル(Head'sche Zone ヘッド氏帶)、膽囊、蟲様突起ヨリノ交感(知覺)神經ハ太陽神經節 Ganglion solare ニ入り、子宮、同附屬器ヨリノ交感神經ハ下腹部神經節ニ入ツテ居ル關係上、前者ノ場合ニハ其疼痛ハ太陽神經節ニ即チ上腹部ニ、後者ノ場合ニハ下腹部ニ疼痛ヲ訴ヘルト説明スル學者ガアル。

腎臓、肝、肺、腦等ハ收縮ヲ起シ難キ臟器ナレバ從ツテ痙痛性ノ内臓痛ハナイト云ハル。

穿孔性ノ腹膜炎 Peritonitis perforativa ヲ起シテ(胃、十二指腸潰瘍、蟲様突起炎等) 腹膜ノ體壁葉ヲ侵カス時ニハ激烈ナル腹痛ヲ招來スルモノデアアル。

内臓ハ又其收縮ノミナラズ被膜 Kapsel ヲ以テ包被サルルモノニ就テハ臟器ノ腫脹ト共ニ被膜ガ緊張、伸展サルル時ニ疼痛ヲ訴ヘルガ、多クノ場合鈍痛デアアル。腎臓、脾臓、肝臓等ニ於テ屢々證セラレルモノデアアル。

痙痛 Colica, Kolik

内臓殊ニ其ノ平滑筋ノ收縮ニヨリテ發スルモノデ、突然ニ始マリ一定時間持續スル發作性ノ疼痛デアアル。腸管、膽囊、腎盂、輸尿管、子宮、同附屬器等ノ内臓器管ニ屢々起ルモノデアアル。

診斷上ノ注意

- (A) 汎發性腹痛 diffuse Bauchschmerzen, diffuse or vaguely abdominal pains.
腹膜炎、腹筋「レウマチス」又ハ「ヒステリー」等ニ見ラル。
- (B) 限局性腹痛 lokalisierte Bauchschmerzen localized abdominal pains.
之ハ殆ンド常ニ罹患部位ニテ感ズル。神經痛ニヨルモノナラバ壓痛點 Druckschmerzpunkt, points of tenderness, point douloureux アリ、又時ニ貧血ヲ伴フ。
- (C) 急性腹痛 akute Bauchschmerzen, acute abdominal pains.
炎症、穿孔、胃痛、腸痙痛等ニヨル。特ニ急激、重症ナル疼痛ハ外傷、穿孔、痙痛等ニヨリ起ル。痙痛ハ發作性 paroxysmal ニ起リ嘔吐、時ニヨク痙攣ヲ伴ヒ、脈搏迅速、冷汗ヲ出シ時ニハ虚脱ニ入ル。
- (D) 永續性(恒久性)腹痛 dauernde Bauchschmerzen, persistent abdominal pains.
色々ノ内臓疾患ヨリ起ル。例ヘバ慢性腹膜炎、潰瘍、胃腸「ノイローゼ」Magendarmneurose, gastrointestinal neurosis, 脊椎疾患、腹部動脈瘤 abdominal aneurysm 等ニヨリ起ル。後ノ二者ノ疼痛ハ間歇性 intermittent デアツテ臍 Nabel, umbilicus, navel ノ周圍ニ限局スル。
- (E) 腹痛ト部位
 - (1) 左前胸部下方又ハ咽喉頭後方ニ放散スル疼痛ハ胃疾患ニヨルモノガ多イ。
 - (2) 右側半部又ハ右側肩胛部ニ疼痛アル時ハ肝、膽囊等ニ關係アリ。
 - (3) 右腸骨部 right iliac region 低部ノ疼痛ハ蟲様突起炎、粘液痙痛等ニヨリヨク起ル。
 - (4) 左下腹部下方ニ疼痛アル時又ハ肛門近カク疼痛アルハ直腸疾患 Rectalleiden, rectal trouble ニヨル。
 - (5) 腹痛ガ汎發性デアツテ殊ニ臍部周圍ニ甚シキ時ハ腹膜炎又ハ小腸 Dünndarm, small intestine ノ運動不規則性ニヨル。

(F) 腹痛ノ性質

- (1) 鈍痛 dumpfer Schmerz, dull, aching pain.
慢性腹膜炎, 便秘等ニ來ル。
- (2) ヒネル様ナ引緊メル様ナ痛ミ twisting, griping pain, twisting gripes, 小腸ノ痙攣様運動 spastische Bewegung, spasmodic movement, 食餌不攝生 Dietfehler, error by diet 等ニヨリ起ル。(痙痛), 小兒ニ多イト云フ。
- (3) 便意頻繁ヲ伴フ牽引痛 straining pain with frequent calls to stool.
大腸 Dickdarm, large bowel 下部ノ刺戟ヲ意味スル。
- (4) 胃病ニヨル疼痛ノ性質ハ色々。
- (5) 急劇ニクル痙痛性疼痛 sudden, colicky, agonizing pain
膽石 Gallenstein, gall-stone, 腎石 Nierenstein, renal calculus 等ニ見ル。膽石症ノ疼痛ハ背方ニ射ルガ如ク (shooting pain), 腎石症ノ疼痛ハ鼠蹊 Leiste, groin ノ方ヘト放射 ausstrahlen, radiate スル。
- (6) 壓迫過敏 Druckempfindlichkeit, tenderness on pressure
蟲様突起炎, 腹膜炎等ニ見ラル。内臟知覺反射 (viscero-sensibler Reflex) ニヨル, 又腹壁筋ノ緊張ガ充マル (内臟運動反射 visceromotorischer Reflex) 即チ筋肉性防衛 défense musculaire デアル。腹膜, 胃ノ刺戟大ナル時ハ惡心, 嘔吐ヲ催ス。

腹痛ヲ伴フ諸疾患

A. 汎發性腹痛

- (1) 「シヨック」ト「イレウス」トヲ伴フモノ
 - a. 腸捻轉 Achsendrehung, (Volvulus)
 - b. 腸疊積症 Invagination
 - c. 腸絞窄 Strangulation
腸ノ一部ガ腹膜ト共ニ絞窄サレテ 栄養障礙ニ 陥入り壞疽ヲ起ス。之ハ外「ヘルニア」箆頓 aüssere Brucheinklemmung, 十二指腸, 廻腸窩 Fossa duodenojejunalis へノ腸管箆頓 (Hernia Treitz) 軸廻轉, 等ヨリ起ル。
 - d. 腹部外傷。例ヘバ胃, 腸穿孔, 内臟破裂。
 - e. 穿孔性腹膜炎 Peritonitis perforativa, Perforationsperitonitis.
 - f. 腸血管ノ血栓, 栓塞。
- (2) 「シヨック」ノミヲ伴フモノ。
 - a. 脊髄癆ノ内臟發症。
例ヘバ胃發症 gastrische Krisen, Crises gastriques.
 - b. 外傷ニヨル腹腔内出血 intraperitoneale Blutung infolge von Trauma.
- (3) 「シヨク」ヲ伴ハザルモノ
 - a. 急性腹膜炎 Peritonitis acuta

- 初メハ限局性腹痛アリ。稀ニ全ク無痛ナリ。腹痛ハ腹膜ノ腹壁葉ガ侵カサレテ初メテ強ク起ルモノデアアル。
- b. 「イレウス」Ileus
痙攣性, 反射性「イレウス」ニ著明。
 - c. 粘液痙痛 Colica mucosa, Enteritis membranacea Schleimkolik, mucous Colitis.
「ノイローゼ」ニ多イ。
4. 汎發性腹痛
慢性蟲様突起炎及腹膜炎, 「ヘルニア」(癒著性)「ヒステリー」ノ如キ「ノイローゼ」等。
- B. 限局性腹痛 lokalisierter Bauchschmerz, localized abdominal pain.
 - (1) 胃痛 Gastralgia, Gastralgie, Magenschmerz, gastralgia, pain of gastric region; gastralgie. (心窩部疼痛 Epi-gastralgie)
 - a. 急性持續性胃痛
急性胃擴張, 急性中毒性胃「カタル」(内因性及外因性), 食道下部破裂 Rupture of the oesophagus at lower part (虚脱ニ陥入ルコトアリ), 胃ノ穿孔, 膽囊炎, 脾臟炎, 肝腫瘍, 横隔膜下膿瘍, 過酸症 (食事時間ト密接ナル關係アリ), 化膿性 (蜂窩織炎性) 胃「カタル」, 胃潰瘍ノ或時期。
 - b. 痙痛様胃部疼痛
膽石症, 膽囊炎及周圍炎, 十二指腸潰瘍, 胃發症 («ターベス») 脾臟炎及壞死, 幽門狭窄, 幽門痙攣, 膽道腫瘍, 蟲様突起炎ガ胃部疼痛ニテ初マルコトアリ。
 - c. 慢性胃痛 chronische Gastralgie.
胃「ノイローゼ」及周圍炎, 鬱血肝 Stauungsleber 慢性膽囊炎, 膿瘍等。
 - (2) 右季肋部疼痛 rechte Hypochondralgie
 - a. 痙痛
膽石症, 膽囊及膽道病, 肝腫瘍 («ゴム」腫等) 及肝膿瘍, 十二指腸潰瘍, 脾臟結石, 腎石症, 横隔膜下膿瘍, 蟲様突起炎, 肋骨々折, 局所ノ刺傷等。
 - b. 持續性疼痛
膽囊及膽道腫瘍, 炎症及結石。
 - (3) 右下腹部疼痛 rechter hypogastrischer Schmerz.
 - a. 痙痛
蟲様突起炎, 腎石症, 粘液痙痛, 子宮外妊娠。
 - b. 持續的疼痛
蟲様突起炎, 腎臟囊腫, 盲腸周圍炎, 筋化膿症 (膿瘍) 及「レウマチス」, 子宮附屬器炎, 子宮位置異常, 卵巢囊腫 Ovarialzyste, ovarian cyst, 限局セル癒着性腹膜炎, 移動盲腸。
 - (4) 左下腹部疼痛 left lower abdominal pain.

- a. 疝痛様
腎石症, 大腸下部炎症, 粘液疝痛, 腫瘍, 赤痢.
- b. 永續性
便秘, 膜様性結腸炎, 結腸ノ痙攣又ハ潰瘍, 子宮附屬器炎.
- (5) 左季肋部疼痛 linke Hypochondralgie
横隔膜下腫瘍, 脾及子宮疾患 (位置異常等) 結腸痙攣.
- (6) 兩側季肋部疼痛 bilaterale Hypochondralgie
腸「カタル」膽石症, 神經痛, 頑固ナ咳嗽時.
- (7) 側腹部疼痛 Lumbalgie
腎盂炎, 結腸彎曲部疾患, 鉛疝痛, 神經痛, 遊走腎等.
- (8) 臍部疼痛 Mesogastralgie
小腸「カタル」, 蟲様突起炎, 腸痙攣, 腹膜炎, 赤痢, 「ノイローゼ」, 胃癌, 十二指腸及空腸潰瘍, 横行結腸癌, 急性脾臟炎及壞死.
- (9) 下腹部疼痛 Hypogastralgie
泌尿器疾患 (膀胱炎及尿石症, 膀胱癌), 生殖器疾患 (子宮内膜炎, 位置異常, 子宮癌, 流産), 骨盤腹膜炎, 直腸癌及痔核等ノ大腸下部疾患.

各系統別ニヨル腹痛ヲ伴フ疾患

A. 消化器病

胃腸ノ急性及慢性「カタル」, 胃液過剰症, 胃及十二指腸潰瘍, 胃及腸癌, 胃内異物, 内臓下垂症, 「イレウス」, 便秘, 腸寄生蟲, 腸「アクチノミコーゼ」, 膽道及膽管ノ炎症及腫瘍, 急性黄色肝萎縮症, 肝膿瘍及腫瘍 (癌, 「ゴム」腫等), 急性脾臟炎及脾臟壞死, 脾臟癌, 毒物嚥下.

B. 脾及ビ腹膜疾患

脾硬塞, 脾肥大 Splenomegalie, Typus Gaucher (寧口胸骨痛), 腹膜炎 (急性)

C. 泌尿器疾患

腎臟結核, 腎石症 (ヨク胃部ニ過敏帶ヲ證ス), 腎盂炎, 膀胱炎, 遊走腎.

D. 血液病

萎黃病 (胃壓痛), 惡性貧血, 白血病, 紫斑病.

E. 新陳代謝病

アヂソン氏病 (胃痛), バゼドウ氏病.

F. 呼吸器病

頑固ナル咳嗽ヲ伴フ氣管支「カタル」, 肺炎 (小兒)

G. 循環器疾患

急性心内膜炎 (主ニ心臓部), 遷延性心内膜炎, 動脈瘤 (殊ニ腹部),

狭心症, 靜脈炎.

H. 傳染病

「インフルエンザ」(消化器系「インフルエンザ」), 赤痢, 疫痢, ワイル氏病.

I. 神経系統疾患及中毒

「ヒステリー」, 神經衰弱, 鉛及水銀中毒 (鉛疝痛), 脊髓炎, 脊髓癆 (Krisen), 神經痛.

J. 婦人生殖器疾患

月經痛 (生理的, 及病的), 子宮位置異常, 子宮内膜炎, 子宮附屬器炎, 流産, 子宮外妊娠, 子宮内蓄膿 Pyometra, 骨盤腹膜炎等

腹痛ノ療法

腹痛ノ原因ハ色々アルカラ各々ノ場合ニヨリ處置ヲ異ニシテキルガ何レノ場合ニシテモ原因ノ判ツタモノハ原因ヲ除去ス可キデアル. 例ヘバ食餌ノ不攝生 Diätfehler, dietetic indiscretion ニヨルモノナル時ハ爲害物 offending material ノ除去 (胃洗滌, 下劑, 吐劑等) ヲナシ, 蟲様突起炎ノ如キデハ鎮靜劑ヲ與ヘテ冷置法ヲナス.

ヨツテ次ニハ臨床家ノヨク遭遇スル主ナル疾患ノ腹痛ヲ中心トセル治療法ヲ略述スル.

1. 虫様突起炎 Appendicitis, Entzündung des Wurmfortsatzes, inflammation of appendix, appendicite.

- (1) 安靜臥床 Bettruhe, rest in bed
- (2) 食餌
初メハ嚴重ナ絶食次第ニ流動食, 牛乳, 卵等ニス.
- (3) 洗腸
急性期ニハ不可. 此ノ期ヲ過ギテ洗腸 (油劑等) ヲナス.
- (4) 置法 Umschlag, compress, compresse
初メハ冷置法カ又ハ氷嚢 ice-bag, 後ニハ溫置法.
- (5) 藥劑
阿片劑, 「ロート・エキス」, 「ヨード・チンキ」, 「ヨード」軟膏ノ塗擦.
- (6) 手術
 - (a) 早期手術 Frühoperation, early operation
發病後 24—36 時間以内.
 - (b) 緊急手術 Notfalloperation
症狀ノ益々悪クナツテ穿孔性腹膜炎ノ危險アル時.
 - (c) 間歇期手術 Intervaloperation, operation during the interval.
急性期治癒後 8—10 週ヲ經テナス.
 - (d) 慢性蟲様突起炎
蟲様突起切除.

2. 流産 Abortus, Abort, abortion miscarriage ; fausse couche, avortement

- (1) 子宮口未開 (drohender Abort, threatening abortion)
安静ニヨル流産阻止. 阿片, 「ステプチン」等ノ投與. (經口的, 坐藥等)
- (2) 頸管擴張
子宮内容除去, emptying of the uterus, 後ニハ「アルコール」又ハ之ニ「ヨードチンキ」ヲ入レルカ或ハ生理的食鹽水ニテ子宮腔洗滌ヲナス.
- (3) 習慣性流産
原因療法 (徽毒, 内膜炎, 子宮後屈, 纖維腫等).

3. 膿瘍 Abscessus, abszess, abscess, suppuration.

- (1) 熱性膿瘍
尖刀切開又ハ穿刺ニヨリ排膿. 或ハ吸收, 切開創ノ開大等. 濕性綳帶, 安静.
- (2) 寒性膿瘍 (結核性)
細針ノ頸回穿刺, ビール氏鬱血療法, 穿刺後「ヨードフォルム」乳劑注入, X線, 榮養療法, 原病治療.

4. 動脈瘤 Aneurysma

- (1) 原因療法
驅微, 酒精禁止, 身心ノ安静.
- (2) 藥物療法
「ゲラチン」1—2 瓦ヲ每週 1 回腹部皮下注射, 「カリウム」, 「カルシウム」, 「テオプロミン」, 「アスピリン」, 「ピラミドン」, 「フェナセチン」, 「パントボン」等ノ應用.
- (3) 物理療法及食餌療法
安静臥床, 輕キ食餌 light diet.
- (4) 外科的療法
壓迫, 結紮 Unterbindung, ligation, 剔出 Exstirpation, 動脈瘤成形術 Aneurysmorrhaphy, 動脈瘤切除術 Aneurysmektomie, 動脈瘤成形術 Aneurysmoplastik, 電氣穿刺法 Galvanopunktur, galvanopuncture.

5. 十二指腸蟲病 Ankylostomiasis

緩下劑ト驅蟲劑 (「ベタナフトール」, 「チモール」, 「マクニン」等) ノ投與.

6. 蛔蟲寄生症 Ascariasis

下劑ヲ與ヘオキテ「サントニン」ヲ, 次ニ緩下劑ヲ與フ. (「ヒマシ」油不可)

7. 肝臓癌 Carcinoma hepatis

X線, 滋養食, 對症的.

8. 子宮癌 Carcinoma uteri

早期ノ根治手術, X線, 「ラヂウム」放照射, 疼痛ニハ鎮痛劑 (「アスピリン」, 「ピラミドン」, 「フェナセチン」, 阿片劑, 「パントボン」, 「グレラン」, 「セダロン」, 鎮靜劑例ヘバ「ルミナル」, 「カルモチン」, 「アダリン」等)

9. 胃 癌 Carcinoma ventriculi

可及的早期ノ手術. 榮養食餌, 胃擴張ニハ胃洗. 疼痛ハ温又冷罨法. 「パントボン」, 「スパスマルギン」等ノ注射.

10. 膽石症 Cholelithiasis

- (1) 理學的療法
絶對安静 (發作時), 疼痛限局スレバ温罨法. メルツァ・リヨン松尾十二指腸「ゾンデ」ニヨル硫酸注入法, (技術篇参照)
- (2) 食餌療法
流動食トシ蛋白質, 刺戟性物質ヲ禁ズ. 少量ツツ數回ニ攝食ノコト.
- (3) 藥物療法
鎮痛, 鎮靜劑. 膽道蠕動亢進劑, 膽汁分泌劑ノ投與 (膽道閉鎖ノ場合ハ禁忌).
- (4) 「ワクチン」注射
主因ハ大腸菌デアルカラ, 十二指腸液ヨリ分離培養シ自家「ワクチン」ヲ注射スルコトアリ.

11. 腸痙痛 Colica, Kolik

- (1) 原因療法
寄生蟲, 鉛毒, 「レウマチス」等ノ考慮.
- (2) 物理療法
安静, 下腹部温罨法, 腸管挿入ニヨル「ガス」排出.
- (3) 藥物療法
阿片, 「パントボン」, 「ロート・エキス」, 「クロロホルム」, 「エーテル」等ノ投與.

12. 膀胱炎 Cystitis, Blasenkatarrh

- (1) 急性期
絶對安静, 牛乳, 「アルカリ」液又醗酵性飲料刺戟物禁止, 便通整調, 膀胱部冷罨法, 温坐浴.
藥物療法 (「ザロール」, 「ウハ」煎「ウロドロピン」, 「ポロベルチン」, 「チロドロピン」, 「トリパフラピン」, 「イスラピン」, 「パンセプチン」, 「ヘルミトール」等)
疼痛ニハ「パントボン」, 阿片等.
- (2) 慢性

原因療法 (結石, 尿道狭窄等)
 便通整調, 無刺激性食餌, 膀胱洗滌 (2% 硼酸等) 藥物療法ハ急性期ニ同ジ坐薬ヲ用フルコトアリ。

13. 赤痢 Dysenterie, Ruhr

- (1) 食餌
流動食, (重湯, 葛湯, 「スープ」等) 牛乳, 卵黄ハ酸酵シ易シ。
- (2) 安靜, 溫罨法
- (3) 藥物療法
「エメチン」, 「ヤトレン」, 下劑, 鎮痛鎮靜劑, 吸著劑, (白陶土等), 強心劑, 下劑 (硫苦, 「カルルス」泉鹽)

14. 月經困難 Dysmenorrhoe, dysmenorrhea

- (1) 原因療法
頸管擴張, 子宮位置異常整復, 便秘ノ治療。
- (2) 物理療法
安靜, 溫罨法, 外科的ニハ内膜搔把 Auskratzung, Ausräumung, Curretage, Curretment.
- (3) 藥物療法
「ピラミドン」, 「フェナセチン」, 「アスピリン」, 「モルヒン」, 「パントポン」, 「ロートエキス」, 「コデイン」, 「スパスマルギン」, 「グレラン」, 「セダロン」, 「ノバポン」等。

15. 腸「カタル」 Enteritis catarrhalis

- (1) 急性期
安靜臥床, 溫罨法, 斷食後流動食, 灌腸, 藥物トシテハ下劑, 吸著劑, 鎮痛鎮靜劑, 收斂劑, 消化劑。
- (2) 慢性期
腹部保温, 便通整調, 食餌療法, 灌腸, 藥物ハ急性期ニ同ジ。

16. 胃痛, (胃痙攣) Gastralgie (Magenkrampf)

- (1) 原因除去
胃「カタル」, 胃癌, 胃潰瘍, 中毒, 萎黃病, 「ノイローゼ」其他ノ神経系疾患アレバ除去。
- (2) 發作時ニハ熱罨法, 芥子泥, 鎮痛劑。
- (3) 藥物療法
「モルヒン」, 「アトロピン」, 「ロート・エキス」, 「スパスマルギン」, 「パントポン」, 「クロロホルム」, 「コカイン」, 「オルトフォルム」, 「アネステジン」等。
- (4) 理學的療法
感傳電氣, 「マツサージ」, 溫浴, 「ヂアテルミー」等。

17. 過酸症 Hyperacidität

- (1) 食餌療法
蛋白質脂肪ニ富ム食餌 (肉, 卵, 牛乳, 「バター」等), 過冷, 過熱ノモノヲ禁ジ, 空腹ニセザルコト。

- (2) 胃洗滌, 便秘アレバ灌腸。
- (3) 藥物療法
重曹, 「マグネシア」, 「ロート・エキス」, 「パントポン」等。

18. 黄疸 Icterus, Gelbsucht, icterus, jaundice.

- (1) 原病治療, (胃腸「カタル」, 肝臟病等)。
- (2) 食餌療法
蛋白質 (肝臟機能過重 Overwork of hepatic function!)
脂肪, (吸收障礙) 香料ノ禁止或ハ少量トナスコト。
野菜 (「スープ」), 含水炭素食餌可。多量ノ液體ヲ與フ。便秘ヲ防グコト。
- (3) 理學的療法
胃, 肝臟部ノ溫罨法, メルツァ・リヨン氏硫苦流入法, 灌腸。
- (4) 藥物療法
「インシュリン」, 「カルルス」泉鹽其他ノ鹽類下劑, 硫酸「マグネシア」, 「ザロール」, 「サリチール」酸「ソーダ」, 「イクテロサン」。

19. 「イレウス」 Ileus

- (1) 絶食, 渴ニハ氷片又ハ番茶, 食鹽水注入。
- (2) 腹部溫罨法, 胃洗滌 (上部), 灌腸 (高壓)。
- (3) 鎮痛鎮靜劑
「ベリスタルチン」, 「パントポン」, 阿片, 「モルヒネ」, 「アトロピン」, 「フィズクチグミン」, 「アドレナリン」, 生理的食鹽水。
- (4) 外科的手術

20. 「インフルエンザ」 Influenza

- (1) 安靜, 臥床, 液體攝取 (特ニ熱キモノ) ニヨリ發汗セシム。
- (2) 「ザロフェン」, 「アスピリン」, 「キニーネ」, 「ピラミドン」, 「オイクピン」強心劑。
抗連鎖球菌, 多價連鎖球菌血清, 「インフルエンザ」恢復期患者ノ血清注射, 咳嗽ニハ燐酸「コデイン」, 「フスタギン」, 「プロチン」, 「ネオ・エバニン」, 其他祛痰劑。

21. 坐骨神經痛 Ishias

- (1) 原因療法
骨, 關節疾患, 骨盤内腫瘍, 脊髄疾患, 便秘, 女子生殖器疾患, 感冒, 恢復期過勞, 糖尿病, 痛風, 鉛中毒, 「アルコール」及砒素中毒等ヲ適當ニ處置ス。
無刺激性食餌。
- (2) 溫罨法, 溫浴, 平流電氣, 「ヂアテルミー」。
- (3) 「サリチール」酸劑 (「アスピリン」, 「ザリピリン」), 「ピラミドン」, 「フェナセチン」, 「アンチピリン」, 「グレラン」, 「セダロン」等ノ内服。
「ヨード・チンキ」外用。激烈ナ時ニハ「パントポン」注射, ソノ他注射料トシテハ「カゼオザン」, 食鹽水, 「アルコール」, 「メ

チレン」青、「オイカイン」食鹽水、「スパスマルギン」、「テトロドトキシシン」等、時ニハ神經切除、又ハ捻挫ヲナス。

22. 腎石病 Nephrolithiasis, Nierensteinkrankheit, calculus affection of kidney

(1) 食餌療法

「プリン」體ヲ含有セザル植物性食餌(牛乳汁等)、磷酸鹽結石ニハ肉食、尿酸鹽結石ニハ茶、「ココア」、砂糖、胡椒等ヲ制限シテ肉、魚、脂肪、卵等ヲ與フ。溫浴、熱電法。

(2) 「マグネシア」、硫酸「マグネシア」、「サリチール」酸、「ウロトロピン」、重曹、「スパスマルギン」、「パントポン」、「ヒポグランドール」等。

(3) 外科的

23. 神經衰弱 Neurasthenie, neurasthenia

精神療法、水浴法、轉地、榮養増進、鐵、砒素劑ノ投與、鎮痛鎮靜劑(吉草「チンキ」、「プローム・カリ」等)、其他電氣療法。

24. 便秘 Obstipatio

原因療法、食餌療法(野菜食)、平流又感傳電氣、體操、(ラヂオ體操)、一定時上回ノ慣習、下劑洗腸。

25. 腹膜炎 Peritonitis

- (1) 原因療法(蟲様突起炎、胃及十二指腸潰瘍、膽囊炎、子宮周圍炎)。
- (2) 安靜臥床、絶食後液體攝取。
- (3) 「パントポン」、「モルヒン」、「コカイン」、「ヨード・グリセリン」、「エーテル」、「アルコール」、「チオコール」(内服)。
- (4) 結核性ノモノニハ榮養療法、日光浴、動物脂肪。
- (5) 外科的。

26. 腎盂炎 Pyelitis

- (1) 原因療法(膀胱炎、結石、結核)。
- (2) 安靜臥床、腎部電法、液體供給(牛乳等)。
- (3) 「ウワウルシ」煎、「ザロール」、「ウロトロピン」、「トリパフラビン」、「イスラビン」、「パンセプチン」、「ヘサチラミン」、「チロトロピン」、「ネオスチロール」。

27. 幽門筋痙攣

食餌ハ少量ツツ分チ與フ、胃部温電法、胃洗滌(冷食鹽水)、「パントポン」、「スパスマルギン」、阿片「チンキ」、吉草「チンキ」、生理的食鹽水、葡萄糖、胃腸吻合術、幽門成形術。

28. 筋肉「レウマチス」Maskelrheumatismus

發汗、電氣、「マツサージ」、保温、植物性食餌、「ヂアテルミー」、溫泉、砂浴、プリースニツツ電法、「サリチール」酸、「アスピリン」、「アトフアン」、「サロメチール」、「イヒチオール」、「クロロフォルム」、刺戟療法

(「カゼオザン」、「アオラン」、「オムナヂン」、「エリオサン」、「ヤトレン・カゼイン」)、「ヨード」劑。

29. 脊髄癆 Tales dorsalis (胃發症 gastrische Krisen)

驅癆療法、臥床安靜、平流電氣、溫浴(初期)疼痛ニハ「アンチピリン」、「フェナセチン」、「ピラミドン」、「スパスマルギン」、「パントポン」、「クロロホルム」等ノ投與、Swift-Ellis 氏注射(技術篇参照)。

30. 胃及十二指腸潰瘍 Ulcus ventriculi et duodeni, Magen- und Duodenalgeschwür.

出血アレバ安靜、愛護、時ニハ絶食。次第ニ流動食ヲ始ム、(牛乳、「ラロサン」乳、「ビスケット」、「マカロニー」)、香辛料(「コーヒー」、赤酒等)ハ禁ズ。疼痛ニハ電法、藥物的ニハ「カルシウム」(止血)、「マグネシア」、「スパスマルギン」、「パントポン」、「パバヴェリン」、「クロ・ホルム」、「オルトフォルム」、次硝酸蒼鉛、硝酸銀、「ノルモザン」、「ノイトラロン」等ヲ用フ。

止血ヲ得ザレバ切開手術。

腹痛ニ對スル處方例

(1) 處方(過酸症、胃潰瘍)	Rp.		
重碳酸「ソーダ」	5.0	Natr. bicarb.	5.0
「マグネシア」	1.0	Mag. ustae	1.0
薄荷腦	0.1	Mentholi	0.1
上記1日3回毎食後服用		D. S. auf 3×tägl. n. d. E. z. n.	

〔註〕「マグネシア」ニハ制酸緩下ノ作用ガアル、他ニ炭酸「ガス」ト結合スル作用ガ強イ。鼓腸、中毒ニモ用フ。

(2) 處方(過酸症)	Rp.		
「サリチール」酸「ソーダ」	1.0	Natr. salicyl.	1.0
重碳酸「ソーダ」	4.0	Natr. bicarb.	4.0
薄荷腦	0.1	Mentholi	0.1
上記1日3回毎食後分服		D. S. auf 3×tägl. n. d. E.	

〔註〕「サリチール」酸「ソーダ」ハ胃ノ鹽酸ニヨリ「サリチール」酸ヲ發生スルカラ重曹ト伍用スル。初メ少量ヲ試験的ニ與ヘテ特異質ノ有無ヲ確メル。用量1回0.5—2.0、「レウマチス」ノ特效藥。

(3) 處方(過酸症、胃潰瘍、十二指腸潰瘍)	Rp.		
重曹	2.0	Natr. bicarb.	2.0
次硝酸蒼鉛	3.0	Bism. subnitr.	3.0
「マグネシア」	1.5	Mag. ustae	1.5
水	100.0	Aq.	100.0
上記振盪1日3回食間分服		D. S. umschütteln, auf 3×tägl. zw. d. E. z. n.	

〔註〕次硝酸蒼鉛ノ制酸作用ハ「マグネシア」、重曹等ノ伍用ニヨリ更ニ強メラレル。粘膜炎面ヲ保護シ「トキシシン」ヲ吸着ス。用量1回0.5—2.0; 1日2.0—6.0。

(4) 處方 (胃潰瘍) Rp.
 次硝酸蒼鉛 20.0 Bism. subnitr. 20.0
 重曹 1.5 Natr. bicarb.
 「マグネシア」 1.5 Mag. ustae aa 1.5
 上記 1 刀尖宛 3 回分服 (特ニ便秘時)
 D. S. auf 3×tägl. 1 Messerspitze voll. (speziell bei Verstopfung).

(5) 處方 (過酸症) Rp.
 過酸化「マグネシア」 5.0 Mag. peroxydat. 5.0
 上記 1 日 3 回毎食後分服
 D. S. auf 3×tägl. n. d. E. z. n.

(6) 處方 Rp.
 「クエン」酸「マグネシア」 1.0 Mag. citr. 1.0
 「クエン」酸「ソーダ」 2.0 Natr. citr. 2.0
 硫酸「ナトリウム」 3.0 Natr. sulf. 3.0
 「ペラドンナ・エキス」 0.06 Extr. Bellad. 0.06
 上記混和 3 包, 毎食前 30 分服用
 D. S. auf 3×tägl. v. d. E. z. n.

〔註〕「ペラドンナ・エキス」ハ分泌機抑制作用アリ, 用量 1 回 0.01—0.02; 1 日 0.06.

(7) 處方 (膽石症, 幽門痙攣) Rp.
 鹽酸「パパベリン」 0.01 Papaverini hydrochlor. 0.01
 「ロート・エキス」 0.06 Extr. Scopoliae 0.06
 乳糖 1.5 Sacch. lact. 1.5
 上記 1 日 3 回食間分服
 D. S. auf 3×tägl. zw. d. E. z. n.

〔註〕鹽酸「パパベリン」ハ阿片「アルカロイド」デアツテ滑平筋 (胃腸, 子宮, 胆嚢, 氣管支, 血管等)ノ緊張ヲ緩和ス. 狭心症, 喘息, 胃發症, 尿毒症, 子痲, 等ニ鎮痙鎮靜劑トシテ用フ.
 用量 1 回 0.005—0.05; 1 日 0.05—0.1. 注射用アリ.

(8) 處方 (過酸症) Rp.
 重曹 10.0 Natr. bicarb.
 「ブローム・ナトリウム」 10.0 Natr. bromat. aa. 10.0
 「マグネシア」 6.0 Mag. usta 6.0
 炭酸蒼鉛 5.0 Bism. carb. 5.0
 乳糖 10.0 Sacch. lact. 10.0
 茴香油 4 滴 Ol. Foeniculi gtt. IV.
 上記 1 日 3 回毎食後 1—2 時間, ½—1 「コーヒー」匙宛服用. 疼痛時ニハ適宜 1 「コーヒー」匙宛.
 S. 3×tägl. 1—2 St. n. d. E. ½—1 Kaffee-löffel u. eine Extrados, bei Schmerz-anfällen.

(9) 處方 Rp.
 「エーテル」性吉草「チンキ」 20.0 Tr. Valerian. aeth. 20.0
 「メントール」油 1.0 Ol. Menthae 1.0
 上記 20 滴ヲ砂糖水ニ滴下服用
 S. 20 Tropfen auf Zuckerwasser

(10) 處方 (胃痙攣其他ノ胃痛) Rp.
 次硝酸蒼鉛 2.0 Bism. subnitr. 2.0
 「パントポン」 0.05 Pantopon. 0.05
 重曹 3.0 Natr. bicarb. 3.0
 上記 1 日量分 3 包, 毎食後服用
 Make 3 doses, one dose after meals.

(11) 處方 Rp.
 「クロロホルム」 1.5 Chloroformi. 1.5
 次硝酸蒼鉛 3.0 Bism. subnitr. 3.0
 淨水 至 150.0 Aq. dest. ad. 150.0
 上記毎 3—4 時間 1 匙宛服用
 D. S. 3—4 stündl. 1 Esslöffel. z. n.

(12) 處方 (胃痛) Rp.
 「クロロホルム」水 100.0 Aq. Chloroform. 100.0
 鹽酸「コカイン」 0.3 Cocain, mur. 0.3
 淨水 100.0 Aq. dest. 100.0
 上記食匙ニテ與フ
 S. Esslöffelweise.

(13) 處方 (胃潰瘍, 過酸症) Rp.
 「ノイトラロン」(Kahlbaum) 10.0 Neutralon (Kahlbaum) 10.0
 上記 1 日 3 回微温湯 100.0 ト S. 3×tägl. mit lau. Wasser
 共ニ食前ニ分服 100.0 z. n.

〔註〕「ノイトラロン」ハ胃ノ鹽酸ニヨリ鹽化「アルミニウム」ト硅酸ヲ分解シ膠様沈澱ヲ生ジテ胃内面 (殊ニ潰瘍面)ヲ保護シ制酸, 收斂, 止血作用アリ. 蒼鉛ノ如ク便秘ヲ起スコトナク, 粉末トシテ與ヘテモヨイ. 硅酸ハ胃ノ粘膜ヲ被ヒ吸着作用ヲ發揮ス.
 「ペラドンナ・ノイトラロン」ハ 0.6% ノ「ロート・エキス」ヲ含有ス. 用量 1 回 3.0—4.0 (2 錠); 1 日 10.0 (6 錠).

(14) 處方 (胃痛, 過酸症) Rp.
 「タンナルビン」 3.0 Tannalbin.
 「デルマトール」 3.0 Dermatoli
 次硝酸蒼鉛 3.0 Bism. subnitr. aa. 3.0
 磷酸「コデイン」 0.06 Cod. phosphor. 0.06
 上記 1 日 6 回ニ分服
 S. auf 6×tägl. z. n.

(15) 處方 (胃痛) Rp.
 「メントール」 3.0 Menthol. 3.0
 「エーテル」製吉草「チンキ」 Tr. Valerian. aeth. ad. 20.0
 至 20.0
 上記 1 日 3 回 20 滴宛
 D. S. auf 3×tägl. 20 Tropf.

(16) 處方 (胃痛) Rp.
 「ワリドール」 5.0 Validol. 5.0
 上記 1 日 3 回 8 滴宛
 S. 3×tägl. 8 Tr.
 〔註〕「ワリドール」ハ糖水, 赤酒ニ滴下シ用ヒタ方がヨイ.

(17) 處方 (胃潰瘍, 狭心症)	Rp.		
鹽酸「モルヒン」	0.01	Morphin, hydrochlor.	0.01
「オイミドリン」	0.001	Eumydrini	0.001
乳糖	1.5	Sacch. lact.	1.5
上記 1 日 3 回食間分服		D. S. auf 3×tägl. zw. d. E.	
		z. n.	

〔註〕「オイミドリン」ハ硝酸「メチル・アトロピン」, 白色無臭, 水溶性粉末, 「アトロピン」代用品.

(18) 處方	Rp.		
鹽酸「モルヒネ」	0.01	Morph. hydrochlor.	0.01
次硝酸蒼鉛	0.5	Bismut. subnit.	0.5
等量 5 包ヲ與へ		D. t. d. no. V.	
1 日 3 回 1 包宛服用		S. 3×tägl. 1 Pulv.	

(19) 處方 (胃「カタル」)	Rp.		
重曹	3.0	Natr. bicarb.	3.0
「レゾルチン」	0.5	Resorcini	0.5
「メントール」	0.04	Menthol	0.04
上記 1 日 3 回ニ分服		Als 3 Pulv. auf 3×tägl. z. n.	

〔註〕悪心, 嘔氣アリテ胃粘膜ニ「カタル」ノアル時ニ用フ.

(20) 處方 (慢性胃「カタル」)	Rp.		
重曹	3.0	Natr. bicarb.	3.0
「タカ・ジアスターゼ」	0.6	Taka-diastrase	0.6
「マグネシア」	0.4	Mag. ustae	0.4
「ゲンチアナ」末	0.3	Pulv. Gentian.	0.3
上記分 3 包, 1 日 3 回毎食後分服		Als 3 Pulver auf 3×tägl. n. d. E. z. n.	

(21) 處方 (胃痛)	Rp.		
「パントポン」	0.4	Pantopon	0.4
硫酸「アトロピン」	0.01	Atropin. sulf.	0.01
餾水	10.0	Aq. dest.	10.0
上記滅菌 1/2—1/3 筒ヲ注射		S. 1/2—1/3 Spritze sukut. z. inj.	

(22) 處方 (胃潰瘍)	Rp.		
次硝酸蒼鉛	0.5	Bism. subnit.	
重曹	0.5	Natr. bicarb.	aa. 0.5
上記 1 包ト爲シ毎時 1 包宛服用		Als 1 Pulver. jede Stunde z. n.	

(23) 處方 (胃潰瘍)	Rp.		
硝酸銀	0.05—0.07	Argent. nitric.	0.05—0.07
「メンタ」水	3.0	Aq. Menthae	3.0
餾水	30.0	Aq. dest.	30.0
上記 1 回量空腹時頓用		Auf 1×nüchtern z. n.	

(24) 處方 (胃潰瘍)	Rp.		
---------------	-----	--	--

硝酸銀	0.05	Argent. nitr.	0.05
「グリセリン」	15.0	Glycerin.	15.0
餾水	200.0	Aq. dest.	200.0
上記褐色瓶ニ入レ 2 日量 1 日 3 回分服		Dtr. ad. vitr. nigr. 2 Tage lang, 3×tägl. z. n.	

(25) 處方 (胃潰瘍)	Rp.		
硝酸銀	0.25	Argent. nitr.	0.25
淨水	60.0	Aq. dest.	
薄荷水	60.0	Aq. Menthae	aa. 60.0
上記 1 日 2 回 1 食匙宛 3—5 週間持續		S. 2×tägl. 1 Esslöffel. 3—5 Wochen lang.	

(26) 處方	Rp.		
「マグネシア」	1.5	Mag. ustae	1.5
磷酸「コデイン」	0.06	Cod. phosphor.	0.06
鹽酸「コカイン」	0.05	Cocain, hydrochlor.	0.05
上記 1 日 3 回分服		D. S. auf 3×tägl. z. n.	

(27) 處方 (胃潰瘍, 過酸症)	Rp.		
重曹	6.0	Natr. bicarb.	6.0
「マグネシア」	1.0—2.0	Mag. ustae	1.0—2.0
「ロート・エキス」	0.05—0.07	Extr. Bellad.	0.05—0.07
次硝酸蒼鉛	2.0—5.0	Bismut. subnit.	2.0—5.0
上記 1 日 6 回食後 1—3 時ニ服用		Auf 6×tägl. 1—3 Stunden n. d. E. z. n.	

〔註〕分泌抑制ニ用フ.

(28) 處方 (胃潰瘍, 過酸症)	Rp.		
重曹	2.0	Natr. bicarb.	2.0
次硝酸蒼鉛	3.0	Bismut. subnit.	3.0
「マグネシア」	1.5	Mag. ustae	1.5
淨水	100.0	Aq.	100.0
上記振盪 (浮遊體) 1 日 3 回食間分服		S. Schüttern, auf 3×tägl. zw. d. E.	

(29) 處方 (胃潰瘍, 過酸症)	Rp.		
重曹	4.0	Natr. bicarb.	4.0
「マグネシア」	1.0	Mag. ustae	1.0
「ロート・エキス」	0.06	Extr. Bellad.	0.06
上記 1 日量分 6 包, 食後 1—3 時間ニ分服		Als 6 Pulver, auf 6×tägl. 1 u. 3. Stunden jeden mahlzeit, z. n.	

(30) 處方 (胃潰瘍)	Rp.		
次硝酸蒼鉛	0.5	Bismut. subnit.	
重曹	0.5	Natr. bicarb.	aa. 0.5
上記 20 包ヲ與へ, 毎時 1 包宛服用		S. gebe 20 Dosen, 1 Dosis stündl.	

(31) 處方 (胃痛, 過酸症)	Rp.
次硝酸蒼症 0.5	Bismut. subnitr. 0.5
「オルトフォルム」 0.2	Orthoform 0.2
上記 1 日 3 回 1 包宛	D. S. auf 3×tägl. z. n.

〔註〕「オルトフォルム」ヲ「アネステジン」0.3 ニテ代用サル。

(32) 處方 (胃癆)	Rp.
重曹 2.0	Natr. bicarb. 2.0
精製「クロロホルム」6—8 滴	Chloroform. gtt. VI—VIII
鹽酸「コカイン」0.04—0.06	Cocain, hydrochlor. 0.04—0.06
苦味「チンキ」1.0	Tr. amarae 1.0
淨水 100.0	Aq. 100.0
上記 1 日 3 回毎食前服用	Auf 3×tägl. v. d. E. z. n.

(33) 處方 (胃癆)	Rp.
磷酸「コデイン」0.5—1.0	Codein phosphor. 0.5—1.0
杏仁水 (ローレル水) 15.0	Aq. Laurocerasi 15.0
上記混和 1 日 3 回 15—20 滴宛服用	S. 3×tägl. 15—20 Tropfen. z. n.

(34) 處方 (胃癆)	Rp.
磷酸「コデイン」0.06	Codein phosphor. 0.06
重曹 2.5	Natr. bicarb. 2.5
「ホミカ・チンキ」1.0	Tr. Vomicae 1.0
「メンタ」水 4.0	Aq. Menthae 4.0
淨水 100.0	Aq. 100.0
上記 1 日 3 回食前分服	D. S. auf 3×tägl. v. d. E. z. n.

(35) 處方	Rp.
重曹 2.0—3.0	Natr. bicarb. 2.0—3.0
「ホミカ・チンキ」1.0	Tr. Vomicae 1.0
「ロート・エキス」0.05	Extr. Bellad. 0.05
「メンタ」水 4.0	Aq. Menthae 4.0
淨水 100.0	Aq. 100.0
上記 1 日 3 回毎食前又ハ後ニ分服	S. auf 3×tägl. v. d. E. z. n.

〔註〕少量ノ重曹ハ胃酸ヲ分泌セシム。

(36) 處方 (過酸症)	Rp.
結晶重曹 6.0	Natr. bicarb. crystal. 6.0
「マグネシア」1.0	Mag. ustae 1.0
「ロート・エキス」0.05—1.0	Extr. Bellad. 0.05—1.0
上記毎食後 ½—3 時間分服 6 回	Auf 6×tägl. ½—3 Stunden n. d. E. z. n.

(37) 處方 (胃痛, 胃痙攣)	Rp.
-------------------	-----

「ロート・チンキ」5.0	Tr. Scopoliae 5.0
吉草「チンキ」10.0	Tr. Valerian. 10.0
上記混和 1 日 3 回毎食前 30 分, 10—15 滴ヲ 1 盞ノ水ニ滴下シ服用	S. 10—15 Tropf. in ein Glas Wasser, auf 3×tägl. ½ St. v. d. E. z. n.

(38) 處方 (胃痛, 胃痙攣)	Rp.
鹽酸「モルヒン」0.1	Morphin, hydrochlor. 0.1
杏仁水 10.0	Aq. Laurocerasi
蒸餾水 10.0	Aq. dest. aa. 10.
上記滴瓶ニ貯ヘ, 疼痛時 8—15 滴頓服	S. 8—10 Tropfen bei Schmerzanfällen, z. n.

(39) 處方 (胃痛)	Rp.
「クロロホルム」5.0	Chloroform. 5.0
鹽酸「コカイン」0.6	Cocain, hydrochlor. 0.6
蒸餾水 10.0	Aq. dest. 10.0
上記振盪, 疼痛時 5—10 滴ヲ糖水ニ滴下シ頓服	S. 5—10 Tropfen in Zuckerwasser beim Schmerzen nach Schütteln.

(40) 處方 (胃痛)	Rp.
「メントール」0.1	Menthol. 0.1
「クロロフォルム」5.0	Chloroform. 5.0
上記 1 日數回 5 滴宛	S. 5 Tropfen mehrmals tägl. z. n.

(41) (胃痛, 異常醗酵)	Rp.
「レゾルチン」2.0	Resorcin. 2.0
阿片「チンキ」2.0	Tr. Opii 2.0
「シロップ」20.0	S. s. 20.0
淨水 180.0	Aq. dest. 180.0
上記黒色瓶ニ入レ與ヘ毎 2 時間 1 食匙宛服用	Dtr. ad. vitr. nigr. 2 stündl. 1 Esslöffel.

(42) 處方 (悪心ヲ伴フ胃痛)	Rp.
蓚酸「セリウム」0.3	Cerii oxalic. 0.3
「アネステジン」1.0	Anästhesin. 1.0
重曹 2.0	Natr. bicarb. 2.0
上記 1 日 3 回ニ分服	D. S. auf 3×tägl. z. n.

(43) 處方 (神經性胃痛, 「ノイローゼ」)	Rp.
「ブロム・カリ」3.0	Kal. bromat. 3.0
鹽酸「コカイン」0.06	Cocain, hydrochlor. 0.06
苦味「チンキ」1.5	Tr. amarae 1.5
淨水 100.0	Aq. 100.0
上記 1 日 3 回分服	D. S. auf 3×tägl. z. n.

(44) 處方	Rp.
---------	-----

「セルテル」水 100.0 Aq. Selteri 100.0
 鹽酸「コカイン」 0.06 Cocain, hydrochlor. 0.06
 上記 1 日 3 回毎食前分服 S. Auf 3×tägl. v. d. E. z. n.
 [註] 嘔吐ヲ伴フ胃痛ニヨシ。

(45) 処方 (腸「カタル」)
 次硝酸若鉛 1.5 Bismut. subnitr. 1.5
 阿片末 0.06 Pulv. Opii 0.06
 上記分 3 包, 1 日 3 回分服 S. Als 3 Pulver, 3×tägl. z. n.

(46) 処方 (大腸「カタル」) Rp.
 「タンニン」酸 0.05—0.1 Acid. tannic. 0.05—0.1
 阿片末 0.02 Pulv. Opii 0.02
 乳糖 0.5 Sacch. lact. 0.5
 上記 1 包ト爲シ 1 日 5 包宛
 服用 Als 1 Pulver, tägl. 5 Pulver.

(47) 処方 (腸内制菌) Rp.
 重曹 1.0 Natr. bicarb.
 「マグネシア」 1.0 Mag. ustae
 「ファゴール」 1.0 Fagol. aa. 1.0
 「ロート・エキス」 0.06 Extr. Bellad.
 「ホミカ・エキス」 0.06 Extr. nuc. Vomicae aa. 0.06
 「メントール」 0.1 Menthol. 0.1
 上記 1 日 3 回分服 S. Als 3 Pulv. 3×tägl. z. n.

(48) 処方 (腸「カタル」) Rp.
 「タンナルビン」 1.5 Tannalbin. 1.5
 「チオコール」 1.0 Thiocol. 1.0
 「パントボン」 0.01 Pantopon. 0.01
 上記 1 日 3 回毎食後分服 D. S. auf 3×n. d. E. z. n.
 [註] 「パントボン」ニヨリ蠕動ヲ抑制シ「カタル」ノ進行ノ傳波スルヲ防グ。

(49) 処方 (消化管疼痛) Rp.
 阿片「チンキ」 6—10 滴 Tr. Opii 6—10 gtt.
 上記 1 回量, 1 日 3 回服用 S. 3×tägl. z. n.

(50) 処方 Rp.
 「ラクトスターゼ」 1.0 Lactostase 1.0
 「ロート・エキス」 0.06 Extr. Bellad. 0.06
 上記 1 日 3 回分服 D. S. auf 3×tägl. z. n.

[註] 「ラクトスターゼ」ハ「ビオフィエルミン」ト同様乳酸菌製剤デアル。

(51) 処方 Rp.
 重曹 2.0 Natr. bicarb. 2.0
 磷酸「コデイン」 0.05 Cod. phosphor. 0.05
 「ロート・エキス」 0.05 Extr. Bellad. aa. 0.05
 「タンナルビン」 1.5 Tannalbin. 1.5
 「アベチン」 1.0 Apetin. 1.0

上記 1 日 3 回毎食間服用 D. S. auf 3×tägl. zw. d. E. z. n.

[註] 「アベチン」ハ「エビオス」, 「エンツアイマ」ト同様ニ酵母新製剤デアツテ矯味, 食欲亢進ノ目的ニ用ヒラル。

(52) 処方 Rp.
 磷酸「コデイン」 0.1 Codein, phosphor. 0.1
 「パントボン」 0.2 Pantopon. 0.2
 淨水 10.0 Aq. dest. 10.0
 上記満瓶ニ入レ 10 滴宛服用 S. 10 Tropfen mehrmal tägl. z. n.

(53) 処方 Rp.
 鹽酸「コカイン」 0.1 Cocain, hydrochlor. 0.1
 蒸餾水 10.0 Aq. dest. 10.0
 上記溶液 15—20 滴ヲ 1 日數回
 服用 S. Mehrmals tägl. 15—20 Tropfen. z. n.

(54) 処方 (蟲様突起炎) Rp.
 阿片「チンキ」 10—20 滴 Tr. Opii gtt. X—XX
 上記劇痛時頓用, 尙疼痛甚シキ
 時ハ 3 時間置キニ服用 S. Beim heftigen Schmerzen z. n. noch bei heftiger schmerzen 3 stündl. z. n.

[註] 2% 「パントボン」(又ハ阿片「エキス」0.03)ノ 10—20 滴ニテ代用サル。

(55) 処方 (蟲様突起炎) Rp.
 阿片末 0.06 Pulv. Opii 0.06
 「ロート・エキス」 0.06 Extr. Bellad. 0.06
 乳糖 0.5 Sacch. lact. 0.5
 上記 3 包トナシ, 1 日 3 回分
 服 Als 3 Pulv. S. auf 3×tägl. z. n.

[註] 時ニ阿片末, 「ロート・エキス」ヲ増ス。

(56) 処方 (制菌, 鎮痛, 收斂) Rp.
 「タンナルビン」 1.0 Tannalbin.
 「チオコール」 1.0 Thiocol. aa. 1.0
 「パントボン」 0.01 Pantopon. 0.01
 上記 1 日 3 回毎食後服用 D. S. auf 3×tägl. n. d. E. z. n.

[註] 「チオコール」=「ズルフオグアヤコール」酸「カリ」ハ水ニ可溶, 制菌作用アリ。

(57) 処方 Rp.
 「アドソルビン」 6.0 Adsorbin 6.0
 「マグネシア」 1.0 Mag. ustae 1.0
 「ロート・エキス」 0.05 Extr. Bellad. 0.05
 1 日 3 回毎食前分服 D. S. auf 3×tägl. v. d. E. z. n.

[註] 「アドソルビン」ハ非晶硅酸ト抱水「アルミニウム」トノ複合物デアリ。

(58) 處方 (膀胱痙攣)	Rp.	
「プローム」樟腦	3.0	Camphor, monobromat. 3.0
「クアツシア・エキス」	2.0	Extr. Quassiae 2.0
「ペラドンナ・シロップ」	適宜	Sir. Bellad. q. s.
上記 30 丸ヲ作り, 1 日 3—4 粒宛服用		u. f. pil. No. XXX. S. 3—4 Pillen tägl.
(59) 處方 (膀胱痙攣)	Rp.	
磷酸「ナトリウム」	30.0	Natr. phosphor.
重曹	30.0	Natr. bicarb.
臭素「ナトリウム」	30.0	Natr. bromat. aa. 30.0
上記 1 茶匙ヲ 0.5 立ノ水ニ和シ 1 日ニ服用		S. 1 Kaffel. i ½ 1 Wasser. tagsüb. z. n.
(60) 處方 (痙痛)	Rp.	
「ロート・エキス」	0.3	Extr. Bellad. 0.3
「ホミカ・エキス」	0.15	Extr. Strychni 0.15
「パントポン」	0.3	Extr. Opii 0.3
甘草末及恙	適宜	Pulv. rad. et succi Liquir q. s.
右爲 30 粒石松子ヲ衣トス, 1 日 2—3 回 1 粒		u. f. pil. XXX. consp. lycopod. S. 2—3×tägl. 1 Pille.
(61) 處方 (痙痛)	Rp.	
「サリチール」酸「マグネシウム」	1—2 瓦	Magn. salicyl. 1—2 gr.
上記 1 日 3 回 (ボアス氏)		S. 3×tägl. (Boas)
(62) 處方 (膀胱炎)	Rp.	
「ザロール」	1.5	Salol. 1.5
上記 1 日 3 回分服		S. 3×tägl. z. n.
(63) 處方 (膀胱炎)	Rp.	
「ザロール」	1.0	Salol.
「ウロトロピン」	1.0	Urotropin. aa. 1.0
上記 1 日 3 回分服		D. S. auf 3×tägl. z. n.
(64) 處方 (膀胱炎)	Rp.	
「ヘルニアリア」草	20.0	Herb. Herniariae
「ウワウルシ」葉	20.0	Fol. Uvae Ursi
「アリタ」草	20.0	Herb. Chenopod. ambr. aa. 20.0
上記 爲茶劑, 1 日 3 回服用		S. Tee, 3×tägl.
(65) 處方 (膀胱炎)	Rp.	
「ルプリン」	1.0	Lupulin. 1.0
「パントポン」	0.1	Pantopon. 0.1
白糖	3.0	Sacch. alb. 3.0
上記 6 包トナシ, 1 日 3—5 包		M. f. pulv. div. in dos VI. S. 3—5 Pulv. tägl.

(66) 處方 (膀胱炎, 腎盂炎)	Rp.	
「ウワウルシ」葉煎	10.0—100.0	Decoct. Uvae Ursi 10.0—100.0
「ウロトロピン」	2.0	Urotropin. 2.0
「パントポン」	0.05	Pantopon. 0.05
「シロップ」	8.0	S. S. 8.0
上記 1 日 3 回分服		D. S. auf 3×tägl. z. n.
(67) 處方 (膀胱炎, 胆石症, 「カタル」性黄疸)	Rp.	
「ボロベルチン」	2.0	Boroverdin 2.0
臭素「ナトリウム」	2.0	Natr. bromat. aa. 2.0
「シロップ」	8.0	S. s. 8.0
淨水	100.0	Aq. 100.0
上記 1 日 3 回毎食後分服		D. S. auf 3×tägl. n. d. E. z. n.
(68) 處方 (膀胱炎)	Rp.	
「ウワウルシ」煎 (10—20)	100.0	Decoct. Uvae Ursi (10—20) 100.0
稀鹽酸	0.8	Acid. mur. dil. 0.8
「シロップ」	8.0	S. s. 8.0
上記 1 日 3 回分服		S. auf 3×tägl. z. n.
(69) 處方 (膀胱炎, 腎盂炎)	Rp.	
「ボロヴェルチン」	3.0—4.0	Boroverdin 3.0—4.0
上記 爲 3 包, 1 日 3 回分服		Als 3 Pulv. 3×tägl. z. n.
(70) 處方 (膀胱炎, 腎盂炎)	Rp.	
「ボロヴェルチン」	2.0	Boroverdin 2.0
「サリチール」酸「ナトリウム」	2.0	Natr. salicyl. aa. 2.0
「メント」水	8.0	Aq. Menthae 8.0
淨水	100.0	Aq. dest. 100.0
上記 爲 1 日量, 1 日 3 回食後分服		D. S. auf 3×tägl. z. n.
(71) 處方 (膀胱炎)	Rp.	
「ウワウルシ」葉煎 (8.0—1.0)	100.0	Decoct. foliae Uvae Ursi (8.0—1.0) 100.0
「ウロトロピン」	2.0	Urotropin. 2.0
苦味「チンキ」	1.5	Tr. amarae 1.5
「シロップ」	8.0	S. s. 8.0
上記 1 日 3 回食後		D. S. auf 3×tägl. n. d. E. z. n.
(72) 處方 (神經性消化不良)	Rp.	
鹽酸「コカイン」	0.05	Cocain hydrochlor. 0.05
「アルコール」	2 滴	Alcohol. gtt. II.
蒸餾水	100.0	Aq. dest. 100.0
上記 1 日 3 回毎食後分服		D. S. auf 3×tägl. n. d. E. z. n.

(73) 處方(腸「カタル」)	Rp.		
鹽酸「コカイン」 0.2	Cocain, mur.		
磷酸「コデイン」 0.2	Cod. phosphor.	aa.	0.2
淨水 10.0	Aq.		10.0
上記 1日3回 10滴宛服用	S.	3×tägl.	10 Tr.
(E. Fuld)			
(74) 處方(腸「カタル」)	Rp.		
鹽酸「コカイン」 0.1	Cocain, mur.		
磷酸「コデイン」 0.1	Cod. phosphor.	aa.	0.1
淨水 至 10.0	Aq. dest.		10.0
上記 1日3回 10滴宛服用	D. S. auf 3×tägl.		10 gtt.
(「コーンハイム」)	(O. Cohnheim)		
(75) 處方(腸「カタル」)	Rp.		
「パントポン」 0.2	Pantopon.		0.2
磷酸「コデイン」 0.1	Cod. phosphor.		0.1
淨水 10.0	Aq. dest.		10.0
上記 1日3回 10滴宛服用	D. S. auf 3×tägl.		10 gtt. z. n.
(76) 處方(風氣)	Rp.		
「マグネシア」 2.0	Mag. ustae		2.0
重炭酸「ソーダ」 1.0	Natr. bicarb.		1.0
薄荷腦 0.1	Menthol.		0.1
上記 1日量分 3包食後服用	D. S. auf 3×tägl.		n. d. E.
	z. n.		
(77) 處方(風氣)	Rp.		
重曹 0.1	Natr. bicarb.		0.1
「ザロール」 0.05	Salol.		0.05
「ホミカ」粉末 0.01	Pulv. Nuc. Vom.		0.01
上記爲 1包, 10包ヲ與ヘ毎 2時間 1包宛服用	M. f. pulv. d. tal. dos. XX.		
	S.	2 stündl.	1 Pulv.
(78) 處方(「ノイローゼ」)	Rp.		
吉草浸 (4.0) 100.0	Inf. Rad. Valerian (4.0)		100.0
「プローム・カリ」 3.0	Kalii bromat.		3.0
「シロップ」 8.0	S. s.		8.0
上記 1日量, 食後 3回ニ分服	D. S. auf 3×tägl.		n. d. E.
	z. n.		
(79) 處方(「ノイローゼ」, 妊娠嘔吐)	Rp.		
臭素「カリ」 3.0	Kalii bromat.		3.0
「ロート・エキス」 0.06	Extr. Scopoliae		0.06
苦味「チンキ」 1.5	Tr. amarae		1.5
「シロップ」 8.0	S. s.		8.0
淨水 100.0	Aq. dest.		100.0
上記 1日 3回食間分服	D. S. auf 3×tägl.		n. d. E.
	z. n.		

(80) 處方(黃疸)	Rp.		
「サリチール」酸「ソーダ」 1.0	Na. salicyl.		1.0
硫酸「ソーダ」 2.0	Na. sulf.		2.0
重炭酸「ソーダ」 2.0	Na. bicarb.		2.0
上記 1日 3回毎食後服用	D. S. aub 3×tägl.		n. d. E.
	z. n.		
(81) 處方(腎石症)	Rp.		
蓆酸 0.3	Acid. oxalic		0.3
重曹 3.0	Natr. bicarb.		3.0
淨水 200.0	Aq. dest.		200.0
上記毎 3時間 1茶匙宛 8日間 連続(クレンペレル)	S. 3 stündl. 1 Esslöffel, 8 Tage lang (Kremperer)		
(82) 處方(「ノイローゼ」)	Rp.		
「プローム・ナトリウム」 10.0	Sod. bromatis		10.0
「パントポン」 0.1	Pantopon		0.1
上記混和散薬 10包トナシ毎日 2-3回 1包宛服用	Make 10 doses, 2 or 3 doses daily.		
(83) 處方(「ノイローゼ」)	Rp.		
吉草「チンキ」 30.0	Tr. Valerian.		30.0
上記 1日 3回 20滴宛糖水ニ 添加シ服用	S. 3×tägl. 20 Tr. auf Zuckerwasser.		
(84) 處方(「ノイローゼ」)	Rp.		
吉草浸 (4.0) 100.0	Inf. Valerian. (4.0)		100.0
苦味「チンキ」 2.0	Tr. amarae		2.0
「シロップ」 10.0	S. s.		10.0
上記 1日量毎食後 3回ニ又服	D. S. auf 3×tägl.		n. d. E.
	z. n.		
(85) 處方(便秘)	Rp.		
「センナ」浸 (5.0) 100.0	Inf. Sennae (5.0)		100.0
「シロップ」 5.0	S. s.		5.0
上記 1日 3回服用	D. S. auf 3×tägl.		z. n.
(86) 處方(便秘)	Rp.		
硫酸「マグネシウム」 10.0-12.0	Mag. sulf.		10.0-12.0
上記水ニテ服用	Auf einmal mit Wasser.		
(87) 處方(便秘)	Rp.		
「イサツエン」 1-3粒	Isazen.		1-3 Pillen
上記 1回ニ服用	Auf einmal z. n.		
(88) 處方(腎盂炎)	Rp.		
「ウワウルシ」葉煎 (10.0) 100.0	Decot. fol. Uvae Usi (10.0)		100.0
苦味「チンキ」 2.0	Tr. amarae		
「ヘルミトール」 2.0	Helmitol.	aa.	2.0
上記 1日 3回分服	D. S. auf 3×tägl.		z. n.

(89) 處方 (幽門筋痙攣) Rp.
 「パントポン」 0.2 Pantopon. 0.2
 吉草「チンキ」 10.0 Tr. Valerian. 10.0
 上記 1 日 2-3 回 3 滴宛内用
 D. S. auf 2-3×tägl. 3 gtt.
 z. n.

〔註〕「パントポン」ヲ阿片「チンキ」ニテ代用サル。

(90) 處方 (鉛中毒) Rp.
 「ベラドンナ・エキス」 0.2 Extr. Bellad. 0.2
 「パントポン」 0.2 Pantopon. 0.2
 甘草「エキス」及末 適宜 Extr. et Pulv. Liquir. q. s.
 上記 10 丸トナシ毎日 3 丸宛
 u. f. pil. no. X.
 内服 S. 3 Pillen t. z. n.

(91) 處方 (蟲様突起炎) Rp.
 「ロート・エキス」 0.03 Extr. Bellad. 0.03
 阿片末 0.03 Pulv. Opii aa. 0.03
 「カカオ」酪 2.00 Butyl. Cacao 2.00
 上記爲坐薬 1 個 1 日數回必要
 Als 1 Zäpfchen, nach dem
 ニ應ジテ挿入 Bedarf einigmals einzu-
 führen.

〔註〕 蟲様突起炎ニテ蠕動抑制ニハ阿片ノ經口的又ハ直腸内適用ヲ行フ。
 阿片ハ腸ノ蠕動機ヲ抑制シ反射性ノ興奮ヲ減少サスカラ、之ガ爲ニ
 蟲様突起ノ炎症波及ヲ防止スル。

(92) 處方 (鎮痛) Rp.
 阿片「エキス」 0.1 Extract. Opii 0.1
 「カカオ」脂 2.0 Ol. Cacao. 2.0
 上記坐薬 1 劑トナシ 10 個ヲ
 D. t. d. No. X.
 與ヘ 1 日 3 個宛挿入 S. tägl. 3 Suppositorien zu
 Verbrauchen.

(93) 處方 (腸洗液)
 單ナル洗滌 { 1% 食鹽水
 2-5% 重曹水
 0.5-1.0% 「カル・ス」泉鹽
 3% 硼酸水
 0.3% 「サリチール」酸水
 0.5% 「チモール」水
 0.1-0.5% 「サリチール」酸「ソーダ」水
 0.2-0.5% 「リゾール」水溶液
 0.1-0.2% 硝酸銀溶液
 0.5% 「プロタルゴール」溶液
 2% 「クロール」鐵液

(94) 處方 (裏急後重, 肛門疼痛) Rp.
 「タンニン」酸 0.2-0.3 Acid. tannic. 0.2-0.3
 「ロート・エキス」 0.2 Extr. Scopoliae 0.2
 鹽酸「コカイン」 0.1 Cocain, hydrochlor. 0.1

鹽化「アドレナリン」液 0.1 Adrenalin hydro chloric
 (0.1%) 0.1
 「カカオ」酪 20.0 Butyl. Cacao. 20.0
 上記坐薬 10 本ト爲シ、1 個宛
 M. f. suppositorii no. X. 1
 適用 Zäpfchen nach Bedarf.

(95) 處方 Rp.
 「ロート・エキス」 0.2 Extr. Scopoliae 0.2
 「オルトフォルム」 2.0 Orthform. 2.0
 「カカオ」酪 20.0 Butyl. Cacao 20.0
 上記爲坐薬 10 個、疼痛時 1 個
 M. f. supposit. no. X. 1
 適用 Zäpfchen beim Schmerz

(96) 處方 Rp.
 「デルマトール」 0.5-1.0 Dermatol 0.5-1.0
 阿片 0.03-0.05 Opii 0.03-0.05
 「カカオ」酪 1.5-2.0 Butyl. Cacao. 1.5-2.0
 上記爲坐薬 1 個 M. f. suppos. no. I.

(97) (處方) (鎮痛劑) Rp.
 鹽酸「モルヒン」 0.1 Morphin, hydrochlor. 0.1
 蒸餾水 至 10.0 Aq. dest. ad. 10.0
 上記 1 日 3 回半筒宛皮下注射
 M. D. S. 3×tägl. ½ Spritze
 subk. z. inj.

(98) 處方 (凡テノ疼痛) Rp.
 2% 「パントポン」「アムブレ」入 2% Pantopon in amp. 1.1 cc
 上記皮下注射料 S. zur subkutanen Injektion

(99) 處方 (凡テノ疼痛) Rp.
 「スパスマルギン」「アムブレ」入 Spasmalgin in Amp. 1.1 cc
 上記皮下注射料 S. subk. Injektion. 1.1 cc

〔註〕「スパスマルギン」(Roche) ノ 1 錠又ハ 1 「アムブレ」中ニハ
 「ババヴェリン」(Roche) 0.02, 「パントポン」0.01, 「アトリナ
 ール」0.00 1 ヲ含有スル。「ババヴェリン」ハ平滑筋ノ緊張ヲ弛緩
 シテ鎮痙作用ヲ呈シ、「パントポン」ハ鎮痛鎮靜作用アリ。「アトリ
 ナール」ハ合成「アトロピン」誘導體デアツテ「モルヒン」ノ神經
 中樞ニ對スル麻痺作用ヲ抑制シテ「ババヴェリン」ノ作用ヲ強メル。
 【用法、用量】1 日 1-4 回 (1 錠宛), 1 「アムブレ」皮下又ハ筋肉内
 (注射) 一般ニ「モルヒン」ノ副作用ハ硫酸「アトロピン」1 回 0.1
 -0.2 匙ヲ加ヘル事ニヨリ防ギ得。殊ニ胃酸過多症、胃潰瘍ノ胃痛
 ニハ必ズ「アトロピン」ヲ伍用シテ鹽酸分泌ヲ抑制ス。「モルヒン」
 ハ時ニ嘔吐ヲ招クカラ胃ノ安靜ヲ要スル時ハ有害ナルコトアリ。

(100) 處方 (神經痛, 「レウマチス」, 附屬器炎, 「インフルエンザ」等) Rp.

「フェナセチン」	1.0	Phenacetin.	
「アスピリン」	1.0	Aspirin.	aa. 1.0
「マグネシア」	0.5	Mag. ustae	0.5
磷酸「コデイン」	0.05	Cod. phosphor.	0.05

上記 1 日 3 回服用

〔註〕 (neuralgia powder)

(101) 處方 (胃痛, 過酸症等)	Rp.		
重碳酸「ソーダ」	2.5	Sod. bicarbonatis	2.5
「ペラドンナ・エキス」	0.05	Extr. Belladonnae	0.05
「メントール」	0.01	Menthol.	0.01

上記 1 日 3 回服用

〔註〕 所謂 Soda belladonna powder.

(102) 處方	Rp.		
重碳酸「ナトリウム」	5.0	Natr. bicarb.	5.0
「ロート・エキス」	0.1	Extr. Scopoliae	0.1
「ホミカ・エキス」	0.1—0.2	Extr. Vomic.	0.1—0.2

上記 1 日 3 回 1 茶匙宛食前分服用

(103) 處方	Rp.		
鹽酸「コカイン」	0.01	Cocain, hydrochlor.	0.01
炭酸蒼鉛	0.5	Bismut. carbon.	0.5

等量 5 包ヲ與ヘ、1 日 3 回 1 包宛服用

(104) 處方	Rp.		
「パントボン」	0.01	Pantopon.	0.01
「ロート・エキス」	0.01	Extr. Scopoliae	0.01
重曹	1.0	Natr. bicarb.	1.0

等量 10 包ヲ與ヘ 1 日 2 回 1 包宛服用

(105) 處方	Rp.		
「パントボン」	0.02	Pantopon.	0.02
「ブローム・ナトリウム」	1.0	Natr. bromat.	1.0

上記等量 10 包ヲ與ヘ 1 日 2—3 回 1 包宛服用

(106) 處方	Rp.		
「アスピリン」(Bayer)	3.0	Aspirini (Bayer)	3.0
「ロート・エキス」	0.04	Extr. Scopoliae	0.04
「ゲンチアナ」根末	0.3	Pulv. rad. Gent.	0.3

上記 1 日 6 回分服用

(107) 處方 (「ノイローゼ」)	Rp.		
--------------------	-----	--	--

「ブローム・カリ」	5.0	Kal. bromat.	
「ブローム・ナトリウム」	5.0	Natr. bromat.	aa. 5.0
「ブローム・アムモニウム」	2.5	Ammon. bromat.	2.5
淨水	100.0	Aq. dest.	100.0

上記 1 日 3 回 茶匙宛内服

D. S. auf 3×tägl. einen Teelöffel z. n.

(108) 處方 (十二指腸蟲病)	Rp.		
「チモール」	1.0	Thymol.	1.0

上記毎 1—2 時間, 1 日 10 瓦ニ至ル

S. 1—2 stündl. bis 10 gr. tägl

(109) 處方 (十二指腸蟲病)	Rp.		
「ベタ・ナフトール」	1.0	β-Naphtol.	1 gr.

上記 2—4 回 2 日間ニ與フ

S. 2—4×an 2 Tagen

〔註〕 驅蟲後ハ鐵砒素劑投與

(110) 處方 (十二指腸蟲病)	Rp.		
「ヘノボデー」油	0.3—0.5	Ol. Chenopod.	0.3—0.5

以上「カプセル」ニ入レ投與。早朝頓用, 1—2 時間後緩下劑服用

D. ad. caps. gel.

S. Morgens früh auf einmal und nach 1—2 stunden Laxantia.

〔註〕 時ニ起ル中毒ヲ防グ目的ニ下劑ヲ投與ス。「ヘノボデー」油 1.0 gr. = 49gtt.

(111) 處方 (蛔蟲驅除)	Rp.		
「サントニン」	0.1	Santonin.	0.1
「ヒマシ」油	30.0	Ol. Ricini.	30.0

上記 2 回ニ分チ 2 時間ヲ隔テ與フ。

D. t. d. No. II. S. 2 stündl. z. n.

(112) 處方 (蠕蟲驅除)	Rp.		
綿馬「エキス」	6.0	Extr. Fil. mar.	6.0
「センナ」舐劑	至 30.0	Electuar. e. Senna ad.	30.0

上記 30 分内ニ服用

M. D. S. Im Laufe einer halben Stunde z. nehmen.

(113) 處方 (膽石症, 胃痛)	Rp.		
「ロート・エキス」	0.02	Extr. Scopoliae	
「パントボン」	0.02	Pantopon.	aa. 0.02
「カカオ」脂	2.0	Buty. Cacao.	2.0

上記爲坐藥 6 個, 3—4 個ヲ適

Als 6 Zäpfchen, 3—4 Zäpfchen einzuführen.

(114) 處方 (月經困難)	Rp.		
「パントボン」	0.03	Pantopon.	0.03
「ペラドンナ・エキス」	0.015	Extr. Bellad.	0.015
「カカオ」脂	1.5	Butyl. Cacao.	1.5

上記坐藥 1 個ト爲シ 6 個ヲ與

M. f. suppos. VI.

へ、1日2-3個腔内挿入 S. 2-3 Sup. in Scheide, in 24 Stunden.

(115) 處方(胃痛) Rp.
「アネステジン」 0.3 Anaesthesin. 0.3
上記1回量、1日2-3包宛
食前服用 a.c.

〔註〕「アネステジン」ハ局所麻酔劑。
a.c.=ante cibum=vor dem Essen.

(116) 處方(胃「カタル」) Rp.
鹽酸「モルヒン」 0.01 Morphin, hydrochlor. 0.01
鹽酸「コカイン」 0.03 Cocain, hydrochlor. 0.03
淨水 100.0 Aq. dest. 100.0
上記1日3回毎食後服用 D. S. auf 3×tägl. n. d. E. z. n.

(117) 處方(胃「カタル」) Rp.
「パントポン」 0.02 Pantopon. 0.02
重曹 0.5 Natr. bicarb. 0.5
上記爲1包、毎食後1包宛服用 Als ein Pulver, 3×tägl. n. d. E. z. n.

(118) 處方(附屬器炎) Rp.
「チゲノール」 0.3 Thigenol. 0.3
「パントポン」 0.02 Pantopon. 0.02
「ペラドンナ・エキス」 0.01 Extr. Bellad. 0.01
「カカオ」脂 適宜 Butyl. Cacao. q. s.
上記腔坐薬等量10個トナシ毎
日1-2個腔内挿入 M. f. globuli vaginal. d. t. d. No. X. S. 1-2 Glob. tägl. einzuführen in Vagina.

〔註〕「チゲノール」(Roche)ハ吸收促進、局所防腐薬、分泌制限、癢痒鎮靜ノ作用アリ。「レウマチス」、痔、等ニモ用フ。

(119) 處方(鎮痛) Rp.
「ナルコボン」「アンプル」入 Narcopon in Amp. 1.1 cc
1.1 cc
上記皮下注射料 S. for hypodermic injection.

〔註〕「ナルコボン」ハ「パントポン」ト同様阿片「アルカロイド」ノ鹽酸鹽ニシテ、腸管運動ヲ抑制スルモ頭固ナル便秘ヲ來サズ。
【用法、用量】1回0.005-0.03; 0.5-3錠、注射1回1.アンプル(6.02含有)1日0.01-0.06.

(120) 處方(制酸) Rp.
「ソーダミント」錠 3-15錠 Sodamint pills 3-15 Pills
上記1日3回ニ分服 S. take three times a day

〔註〕1錠ハ重曹0.3、「メント」油適量ヨリナル。

(121) 處方(制酸防腐) Rp.

「ペルヒドロール・マグネシウム」 Perhydrol-Magnesii 1.5-3.0
1.5-3.0

上記1日3回分服 D. S. auf 3×tägl. z. n.

〔註〕本劑ハ純過酸化「マグネシウム」15-25%ヲ含ム。

【用法、用量】1回0.5-1.5, 1日3-4回「メルク」會社製。

(122) 處方(制酸、強壯) Rp.
「ホスカルピン」 1.5-3.0 Hoscalspin 1.5-3.0

上記1日3回分服 D. S. auf 3×tägl. z. n.

〔註〕本劑ハ炭酸「カルチウム」、磷酸「カルチウム」、硫酸「カリチウム」及少量ノ「アルカリ」鹽ヨリナル、白色無味無臭。

【用法、用量】1日1.5-3.0

(123) 處方(制酸) Rp.
「ノルモザン」 1.5 Normosan. 1.5
「ロート・エキス」 0.03 Extr. Scopoliae 0.03

上記1日3回分服 D. S. auf 3×tägl. z. n.

〔註〕「ノルモザン」(武田)ハ硫酸「アルミニウム」製劑ノ無色無味無臭ノ粉末、胃粘膜被覆、過剰酸中和等ノ作用アリ、連用スルモ習慣トナラズ。

【用法、用量】1日3回空腹時(毎食前 $\frac{1}{2}$ -1時間)ニ約2-3瓦ヲ約1立ノ微温湯ニ混和服用、神經性過酸症等ニハ「アトロピン」屬ト伍用ス。

(124) 處方(制酸緩下) Rp.
「マグネシア」乳 30-60 Milk of magnesia 30-60

上記服用 S. take at once.

〔註〕「マグネシア」乳(Parke Devis)ノ30ccハ2.08瓦ノ水酸化「マグネシア」ヲ含ム。

【用法、日量】制酸30-60, 緩下4-15.0.

(125) 處方(胃潰瘍) Rp.
「チクロフォルム」 0.1-0.2 Cycloform. 0.1-0.2

上記服用 S. auf 1×.

〔註〕「チクロフォルム」(Bayer)ハ「パラアミノ」安息香酸「イソプロチール・エステル」ニハ局所麻酔作用アリ。

(126) 處方(鎮痛制痒) Rp.
「ノボロフォルム」 0.3-0.6 No. roroform. 0.3-0.6

上記1日3回毎食前分服 D. S. auf 3×tägl. v. d. E. z. n.

〔註〕「ノボロフォルム」(武田)ハ「パラアミノ・ペンツオール・エチール・エステル」ハ白色結晶性水ニ難溶ノ粉末、鎮痛作用アリ。

【用法、用量】1回0.1-0.3; 1日3回(食前), 1日2.0瓦迄可。

(127) 處方
其他用ヒラレル新藥ノ二三ヲ次ニ掲ゲル。

イ、「アネステジン」Anaesthesin (Höchst)

【用法、用量】0.3-0.5; 1日3回; 1日2.0迄

- ロ. 「アナルゲシン」 Analgesin (萬有)
【用法, 用量】 0.3—0.5 ヲ 1 日 2—3 回食前ニ與フ.
- ハ. 「パボン」 Pavon (Ciba) (鎮痛麻醉)
【極量】 1 回 0.075; 1 日 0.25; 1 アムプレ (0.02 含有).
- ニ. 「ペラモン」 Peramon (Schering) (鎮痛鎮靜)
【用法, 用量】 1 日 0.4—0.6 (3 回); 1—3 錠.
- ホ. 「トリヴァリン」 Trivarin (Parke Devis) (鎮痛鎮靜)
【用法, 用量】 1 回 1.0 cc ヲ内用又ハ皮下.
- ヘ. 磷酸「ヘリドニン」 Chelidonium phosphoricum (Merck) (阿片代用品).
【用法, 用量】 1 回 0.1—0.2.
- ト. 「オイトルミン」 Eutolmin (三共) (鎮痛止瀉劑)
【用法, 用量】 1 回 0.5—1.0 (注射, 内服); 1 日 1.5—3.0—5.0 迄.
- チ. 「オイクピン」 Eukupin (Zimmer) (鎮痛劑)
【用法, 用量】 1 回 0.3—0.5 宛 1 日 5 回 0.5—3.0% 油溶液注射.
- リ. 「オイコダール」 Eukodal (Merck) (鎮痛, 鎮靜)
【用法, 用量】 1 回 0.005 瓦入錠 ½—1—2 錠; 1 日 4 錠, 1 回 0.01 瓦皮下注射.
- ヌ. 「ラウダノン」 Laudanon (Ingelheim) (鎮痛)
【用法, 用量】 1 回 1 アムプレ (注射), 1 回 20—30 滴; 1 日 2—3 回, 1 回 1—3 錠; 1 日 3—6 錠, 1 回 0.01—0.03; 1 日 0.03—0.06.
- ル. 「アムネジン」 Amnesin (Böhringer) (鎮痛)
【用法, 用量】 1 錠中「モルヒン」ヲ約 0.005 ヲ含有シ鹽酸「モルヒン」0.01 瓦ト同一効價アリ.
- ヲ. 「セダロン」 Sedalon (三共)
【用法, 用量】 1 回 0.4—0.6 迄.
- ワ. 「パピナール」注射液 Pavinal für Injektion (麻醉, 鎮痛, 鎮靜)
【用法, 用量】 1 回 1 アムプレ (1.1 cc 入).
- カ. 「ナルコボン, アトロピン」注射液 Narcopon-Atropin-Injektion (ラヂウム)
【用法, 用量】 1 回 1 アムプレ (1.1 cc 入)
- ヨ. 「アロナール」 Allonal (Roche) (鎮痛, 鎮靜)
【用法, 用量】 1 回 1—2—3 錠.
- タ. 「チバルギン」 Cibalgin (Ciba) (解熱, 鎮痛, 鎮靜)
【用法, 用量】 1 回 1 錠 (25 滴); 1 日 4 回, 1 回 1—2「アムプレ」(2—4 cc)
- レ. 「パピナール・パピヱリン」 Pavinal Papaverin (武田) (鎮痛, 鎮靜)
【用法, 用量】 1 回 0.3—0.5—1.0 (皮下注射)
- ソ. 「パピナール・アトロピン」 Pavinal-Atropin (武田)
【用法, 用量】 1 回 0.5—1.0 (皮下注射)
- ツ. 「パピロン」注射液 Pabiron (模範)
【用法, 用量】 1 回 0.5—1.0 皮下注射.

腰痛

Myalgia lumbalis, Lumbago; Lendenschmerz; backache, pain in loins; lumbago.

(肛門痛 Schmerz am After od. Anus)

腰痛

腰痛ハ解剖的傷害ノナキ急性又ハ慢性腰部筋痛, (腰部諸筋ノ限局性「レウマチス」) ヲ普通指シテ居ル.

【本態】 不明. 次ノ如キ諸説アリ.

- (1) 輕症筋炎ヲ以テ本態トスル
 - (1) 急性腰痛:— 筋緊張, 腫脹, 局所發熱.
 - (2) 慢性腰痛:— 筋纖維硬化, 筋停止部硬結 Insertionsknötchen.
- (2) 分布セル知覺神經ノ限局性神經痛トナシ組織的變化ナシトスルモノ. 解剖的ニ浸潤アル時ハ已ニ筋炎デアツテ筋痛デハナイト云フ.
- (3) 新陳代謝説, 細菌説

腰痛ノ原因的分類

以下單ニ腰痛ヲ訴フル疾患ヲ (腰筋「レウマチス」ヲ別ニシテ) 列舉スレバ

A. 諸種中毒

- (1) 外因的 exogen, exogenous
「アルコール」, 鉛, 砒素等ノ中毒 (神經炎ヲ主トス)
- (2) 内因的 endogen, endogenous.
急性傳染病 (腸「チフス」, 「インフルエンザ」, ワイル氏病, 七日熱痘瘡等) ノ毒素 («トキシン») 作用

B. 新陳代謝障碍

糖尿病 Diabetes mellitus, Zuckerharnruhr.

【素因】

妊娠 Graviditas, Gravidität, Schwangerschaft, pregnancy, grossesse, 痛風 Gicht, gout, goutte, 關節炎性素因 arthritische Diathese, diathèse arthritique 動脈硬化症 Arteriosklerose.

C. 消化器疾患

胃癌, 胃潰瘍, 便秘, 直腸癌, 胆管疾患, 胃腸下垂症, 神經性胃症 Magen-neurose, neurosis of stomach, 黃疸, 痔核等.

D. 神経系疾患

- (1) 器質的:— 脊髄病, 腦脊髄膜ノ炎症, 腫瘍及出血等.
- (2) 神経症 (非器質的):— 神経衰弱, 「ヒステリー」, 外傷性 「ノイローゼ」等.
- (3) 神経痛:— 肋間及坐骨神経痛.
- (4) 腰部帶狀 「ヘルペス」

E. 生殖器疾患

- (1) 婦人科の疾患
 - i 炎症:— 子宮内膜炎, 實質炎, 子宮周圍炎, 子宮附屬器炎等.
 - ii 位置異常:— 子宮後屈症, 子宮下垂, 子宮脱等.
 - iii 月經異常, 筋腫.
- (2) 男性生殖器疾患
 - i 淋疾, 攝護腺炎, 結核性副睪丸炎等.

F. 泌尿器疾患

腎臟結石, 膀胱結石, 急性腎盂炎其他尿道疾患.

G. 脊柱ノ疾患

- (1) 炎症:— 脊椎 「カリエス」, 「チフス」性脊椎炎, 急性化膿性骨髄膜炎, 脊椎骨梅毒, 畸形性骨炎 Ostitis deformans (ペーゼット氏病 Morbus Pageti) 等及其他ノ關節炎.
- (2) 畸形, 變形
 - i リチャード氏病, 腰椎, 薦骨ノ癒着, 脊椎分離 Spondylolysis.
 - ii 外傷後ノ キュンメル氏病 (X線ニヨリ壓迫性骨折 Kompressionsfraktur ヲ認ム), 薦骨化 Sacralisation, 腰椎化 Lumbalisation (共ニ X 線ニヨリ變化ヲ認メ得)
- (3) 其他ノモノ
 - i 脊髄過敏症 Wirbelirritation, 嚙在性脊椎披裂症 Spina bifida occulta, 椎骨 「アクチノミコーゼ」, 少年期後彎症 Insufficiencia vertebrae (形ノ異常ナク力學的關係ヨリ起ル腰痛)

H. 反射的ヨリ起ル腹痛

肋膜炎, 淋巴腺炎, 狭心症, 腹膜後方腫瘍, 悪性腫瘍轉移

腰痛ノ誘因

運動 (不自然體位ノ長時間保持), 疲労及壓迫, 寒冷 (寒風, 濕潤等), 睡眠不足, 便秘, 其他遺傳ハ重大ナル關係アリト.

【症状】

- (1) 疼痛 (劇逸デハ Hexenschuss, Drachenschuss, Schmerzensstoss 等ト呼ブ) 及壓痛 (慢性デハ鈍痛).
- (2) 攣縮及不定症状 (局部硬結, 發熱等).

腰痛ノ療法

- (a) 原因除去

- (b) 安靜及食餌療法
- (c) 物理療法 (轉地, 器械療法等ヲ含ム)
- (d) 外科的療法
- (e) 藥物療法

以下「レウマチス」性腰痛ヲ中心トシテ治療法ヲ述ベル.

A. 安靜及食餌療法 Ruhe u. Diätkur, rest and dietetic treatment.

食餌ハ消化シ易ク便通ヲ佳良ナラシムルモノガヨイ. 急性傳染病ニヨル腰痛ハ榮養保持ニ注意シツツ適當ナル食物ヲ與フ.

B. 物理療法

局所處置 (溫貼用等) Applications of local remedies.

- a. 「マッサージ」 Massage.
頑固ナモノニヨイ. 但シ熟練シタ人デナケレバナラヌ.
- b. 蒸氣浴 Dampfbäder, 熱氣浴 Heissluftbad, hot-air bath.
ハ鎮痛, 炎症産物吸收作用アリ.
- c. 蒸氣壓注法 Dampfdouche.
「デアテルミー」 Diathermie (hochfrequenter Wechselstrom, high-frequency current).
- d. 砂浴 Fangobad, 電氣浴 hydroelektrische Bäder, ミニン氏燈 Mininsche Lampe, 電光浴 Elektrische Lichtbäder.
- e. 其他用フルモノニハ, 全身砂浴又ハ部分砂浴 Ganz- od. Teil-sandbäder, 電熱壓迫法 Elektrothermkompression, 自他働的運動, 溫罌法, 轉地, 「ラヂウム」 X 線放射.
- f. 藥物應用
「テルペンチン」 Terpentine, 阿片劑 Laudanum, Opium 等ヲ「フランネル」ニテ局所貼用又ハ阿片, 「ペラドンナ」, 「クロホルム・アルコール」等ノ塗擦法 Einreibung, rubbing.

C. 外科的療法

屈伸繃帶, 「ギプス」繃帶, 滑液膜切除術, 關節切除術, 婦人科の手術等.

D. 藥物療法

腰痛ニ對スル處方例

1. 「サリチール」酸製劑 Salizylate.

「サリチール」酸ハ「カルボール」誘導體 Carbolderivat デアツテ, 下熱 (溫調節中樞麻痺) 發汗作用アリ. 但シ「ヒニン」ノ如キ新陳代謝抑制作用ナシ.

【副作用】 聽力, 視力障礙, 胃腸障礙等.

【配合禁忌】 鐵鹽, 「アルカリ」.

【用法, 用量】 1 回 (大人) 0.5; 1 日 1.5—10.0.

【代用品】「ザロール」、「アスピリン」、「ノバスピリン」、「ザリピリン」、「エルボン」等。

【處方例】

(1) 處方(腰痛, 神経痛, 頭痛「レウマチス」等) Rp.

「アスピリン」 0.5—1.0 Aspirin. 0.5—1.0
上記1回量, 12包ヲ與ヘ1日 D. tal. dos no. XII.
3回1包宛服用 S. 3×tägl. 1 Pulv. z.n.

〔註〕「アスピリン」(アセチルサルチル酸)ハ分解サレズニ其儘吸收サル。「サリチール」酸ヨリモヨク奏効ス。鎮靜, 催眠, 發汗, 解熱ノ諸作用ヲ有シ「レウマチス」ノ特效藥 Antirheumaticum デアル。副作用少ク作用モ緩和デアル。

【用法, 用量】1回 0.5; 1日 1.5—3.0.

(2) 處方(神経痛, 慢性「レウマチス」, 感冒) Rp.

「ノヴァスピリン」 1.5 Novaspirin. 1.5
上記1日3回服用 D.S. auf 3×tägl. z.n.

〔註〕「ノヴァスピリン」Anhydromethylencitryl-disalicylsäureハ結晶性, 不溶性粉末。「アスピリン」ヨリモ作用弱ク, 胃ヲ害スルコトモ少シ。從ツテ慢性症ニ用フ。

【用法, 用量】1日 0.5—1.0; 1日 3.0—6.0

「メチレン」枸橼酸ノ「サリチール」酸「エステル」(「サリチール」酸 62%ヲ含ム)

(3) 處方 Rp.

「アスピリン」 0.8 Aspirini
「ラクトフェニン」 0.8 Lactophenini aa 0.8
上記分3包, 1日3回毎食間 D.S. auf 3×tägl. zw. d. E.
内服 z.n.

〔註〕「ラクトフェニン」ハ「フェネチジン」誘導體 Phenetidinderivatデアツテ白色結晶性粉末, 難溶。鎮痛, 鎮靜作用強シ。

【用法, 用量】1回 0.25—0.5; 1日 1.5—2.0.

【應用】「インフルエンザ」, 神経痛, 頭痛, 腸「チフス」, 結核。

(4) 處方 Rp.

「ザリピリン」 1.5 Salipyryn. 1.5
上記1日3回分服 S. 3×tägl. z.n.

〔註〕「ザリピリン」ハ「アンチピリン」58%, 「サリチール」酸 42%ヲ含ム副作用少ナキ下熱劑。

【用法, 用量】1回 0.5; 1日 1.5—3.0; 極量 1.0—3.0

2. 「ピラツオロン」誘導體 Pyrazolonderivate.

「アンチピリン」 Antipyrin, Phenyl-dimethylpyrazolon
(Knorr-Filehne 1884).

「ピラミドン」 Pyramidon, Dimethylamido-antipyrin
(Höchst) (「アミノピリン」).

「サリピリン」 Salipyryn, Antipyrinum salicylicum.

「ツツソール」 Tussol.

「ヨドピリン」 Jodopyrin.

「ミグレニン」 Migränin, Antipyrin coffeinocitricum.

「トリゲミン」 Trigemim „Höchst“.

「メルブリン」 Melubrin, Pylazonum phenyldimethyl-
amidometansulfosaures Natrium.

「ノヴァルギン」 Novalgin, Methylmeluburin „Höchst“.

「アロイタン」 Aleuthan „Ingelheim“

【處方例】

(1) 處方(神経痛, 腰痛, 頭痛) Rp.

「ミグレニン」 1.5 Migränin. 1.5
上記1日3回分服 D.S. auf 3×tägl. z.n.

〔註〕「ミグレニン」ノ成分「アンチピリン」85%, 「コフェイン」9%
「クエン」酸。

1回 0.5; 1日 1.5—2.0; 極量 1.0—3.0.

(2) 處方(神経痛, 腰痛, 頭痛) Rp.

「アンチピリン」 0.4 Antipyrin. 0.4
「クエン」酸「コフェイン」 0.1 Coff. citr. 0.1
上記1回分, 1日3包ヲ服用 S. Als 1 Pulv. 3×tägl. z.n.

〔註〕「アンチピリン」ハ白色稜柱狀ノ結晶。温中樞麻痺, 皮膚血管擴張, 内臓血管收縮等ニヨル放熱促進及鎮痛ノ作用アリ。發汗ハ解熱ニ關係ナク, 又甚シクナイ。(「アトロピン」又ハ「アガリチン」ニテ汗分泌ヲ抑制スルモヨク解熱ス)。

【用法, 用量】

1回 0.5 (内服); 1日 1.5—3.0. 極量 1回 1.0; 1日 3.0 皮下 20%, 靜脈内 (4%) ヲ用フルコトアリ。

【副作用】惡心, 嘔吐, 虚脱, 發疹, 其他呼吸器症狀, 嗜眠等。

【配合禁忌】「ヒニン」, 鐵劑, 「ウロトロピン」, 甘毒, 抱水「クロラール」, 「タンニン」酸, 「ヨード」, 「サリチール」酸「ナトリウム」等。

(3) 處方 Rp.

「ピラミドン」 0.2 Pyramidon.
「マレチン」 0.2 Maretini aa. 0.2
上記1日3回食間ニ分服 D.S. auf 3×tägl. zw. d. E.
z. n.

〔註〕「マレチン」ハ「アニリン」誘導體 Anilinderivat. 作用緩和テ効力ハ永續スルカラ慢性熱テ「アミノピリン」ノ無効ナ時ニ用フ。然シ肺結核ノ如キデハ發汗, 虚脱症狀等ヲ起シ易イカラ用ヒヌ方がヨイ。又連用ハ血球崩壊, 重症貧血ヲ來タスカラ不可能デアル。

(4) 處方(神経痛, 頭痛, 腰痛等) Rp.

「トリゲミン」 0.6 Trigemim. 0.6
上記1日3回分服 D.S. auf 3×tägl. z.n.

〔註〕「トリゲミン」(Höchst)ハ「アミノピリン」ト「ブチール」抱水「クロラール」トノ化合物, 引濕性アリ。

鎮靜, 鎮熱(殊ニ腦神經ヨリ來タルモノ)作用ヲ有スルガ空腹時ニ用フルト嘔吐, 胃ノ灼熱感等ヲ起スカラ食後ニ用フルノガヨイ。

【用法,用量】1回 0.1—0.3; 1日 1.0—2.0. 1錠ハ(0.25)ヲ含ム.

(5) 其他ノ處方

「ノバルギン」 1.5 3回分服
「アロイタン」 1錠 疼痛時服用
「ピラミドン」 0.5—1.0 3回分服

3. 「フェネチジン」誘導體 Phenetidinderivate.

「フェナセチン」 Phenacetin, Paraacetphenetidin
「ラクトフェニン」 Lactophenin, Lactylphenetidinum.
「シトロフェン」 Citrophen, p-Phenetidincitrat.
「アポリジン」 Apolysin.
「テルモジン」 Thermodin.

【處方例】

(1) 處方(神経痛, 頭痛, 不眠症) Rp.
「フェナセチン」 0.25 Phenacetin.
「アンチフェブリン」 0.25 Antifebrin. aa. 0.25
等量 10包ヲ與ヘ D.t.d. Nr. X.
1日 2—3回 1包宛服用 S. 2—3×tägl. 1 Pulver z.n.

〔註〕「フェナセチン」ハ鎮痛, 鎮靜作用強ク, 1回 0.25ノ内服ニテ漸次下熱シ長時間ニ亘ル. 催眠, 鎮痛劑, 鎮靜劑ト伍用サル.

【用法,用量】1回 0.25—0.5; 1日 1.5—2.0.

【副作用】稀デアルガ發汗, 心悸亢進, 呼吸困難, 悪心, 嘔吐, 「チアノーゼ」, 頭痛, 虚脱等.

(2) 處方 Rp.
「チトロフェン」 0.5 Citrophen. 0.5
等量 10包ヲ與ヘ D.t.d. Nr. X.
1日 3—4回 1包宛服用 S. 3—4×tägl. 1 Pulver z.n.

〔註〕「チトロフェン」ハ「クエン」酸「フェネチジン」デ「フェナセチン」ノ代用藥デアルガ毒性ハソノ 2倍デ發汗ガ著シイ.

【用法,用量】1回 0.5; 1日 1.5.

(3) 處方 Rp.
「フェナセチン」 0.8 Phenacetini.
「ザリピリン」 0.8 Salipyryn. aa. 0.8
上記 1日 3回食間分服 D.S. auf 3×tägl. zw. d.E. z.n.

(4) 處方(神経痛) Rp.
「フェナセチン」 0.2 Phenacetini 0.2
「ピラミドン」 0.05—0.1 Pyramidon. 0.05—0.1
「ヴェロナール」 0.2 Veronal. 0.2
乳糖 適宜 S. lactis. q.s.
上記就眠前 1包服用 D.S. auf 1×vor dem Schlaf z.n.

(5) 處方 Rp.
「フェナセチン」 0.3 Phenacetin. 0.3
「ブロムラール」 0.3 Bromural. aa. 0.3
「アミノピリン」 0.1 Aminopyrin. 0.1
上記 1包ト爲シ疼痛時頓用 S. As one powder, take one dose at pain time.

4. 「アエリン」誘導體 Anilinderivate.

「アンチフェブリン」 Antifebrin, Aceranilidum.
「クリオゲニン」 Cryogenine, Metabenzaminosemixarbazid.
「アンチネルヴイン」 Antinervin.
「マレチン」 Maretin, Carbaminsäure-metatolyhydracid.
「ノイロファイブリン」 Neurofibrin.

【處方例】

(1) 處方 Rp.
「クリオゲニン」 0.5 Cryogenin. 0.5
「エルボン」 1.5 Elbon. 1.5
上記 1日 3回食間分服 D.S. auf 3×tägl. zw. d.E. z.n.

〔註〕「クリオゲニン」ハ解熱劑トシテ著効ヲ有スルガ 1日 0.5ヲ 1週間連用シ全身浮腫ヲ起スコトガアル. 一般ニ榮養, 消化器, 呼吸循環等ニ影響シナイ. 解熱ハ確實且ツ連續的デアル.

【用法,用量】1回 0.2—0.5; 1日 0.75—1.5.

初メ大量(1.0)ヨリ始メ奏効セバ翌日ヨリ減量.

(2) 處方 Rp.
「アスピリン」 0.1 Aspirin.
「アミノピリン」 0.1 Aminopyrin aa. 0.1
「マレチン」 0.2 Maretin. 0.2
上記 1日 3回食間分服 D.S. auf 3×tägl. zw. d.E. z.n.

〔註〕「マレチン」ハ「アミノピリン」ノ奏効セザル慢性熱ニ用フルモ副作用(發汗, 溶血等)アルタメ連用サレズ. 尙屢々用ヒラレル處方ヲ次ニ列擧スル.

(3) 處方(膽石症) Rp.
「サリチール」酸「ナトリウム」 1.0 Natr. salicyl. 1.0
重曹 1.0 Natr. bicarb. 1.0
硫酸「ナトリウム」 1.0 Natr. sulfur. 1.0
上記 爲 1包, 30包ヲ與フ. S. Als 1 Pulv. D.t.d. no.
1日 2—3回包宛服用 XXX S. 2—3×tägl. z.n.

(4) 處方(神経痛, 發熱, 「インフルエンザ」, 扁桃腺炎) Rp.
「アスピリン」(Bayer) 1.0 Aspirin. (Bayer) 1.0
鹽酸「キニーネ」 0.5 Chinin, hydrochlor. 0.5
乳糖 1.0 S. lact. 1.0
上記 爲 3包, 1日 3回分服 S. Als 3 Pulv., 3×tägl. z.n.

〔註〕「キニーネ」ノ解熱作用ハ溫熱產生ヲ抑制スルタメニヨル. 又鎮痛

作用ハ「アンチピリン」ヨリモ微弱デアル。

【用法、用量】 1回 0.3—0.5; 1日 0.5—1.0.

(5) 處方 (神経痛, 腰痛, 頭痛, 結核熱) Rp.

「クリオゲン」	0.8	Cryogenin.	0.8
「ピラミドン」	0.5	Pyramidon.	0.5
上記 爲 3 包, 1 日 3 回分服		D.S. auf 3×tägl. z.n.	

(6) 處方 (凡テノ疼痛) Rp.

「グレラン」	1.5	Grelan.	1.5
上記 爲 3 包, 1 包ヲ疼痛時服用		S. divided in 3 doses, one dose at pain time.	

〔註〕「グレラン」ハ「デエチール・マロニール」尿素ト「チメチール・アミド・アンチピリン」ノ化合物體, 無臭苦味ノ非「アルカロイド」鎮痛鎮靜劑, 各種疼痛ニ用フ。

【用法、用量】 1回 0.2—0.5—0.8; 1日 0.6—1.5 1回 2cc (皮下注射)

(7) 處方 Rp.

「サリチール酸」	2.0—3.0	Natr. salicyl.	2.0—3.0
重曹	3.0	Natr. bicarb.	
メント水	3.0	Aq. Menthae	aa. 3.0
苦味「チンキ」	1.0	Tr. amarae	1.0
淨水	至 90.0	Aq. dest.	ad. 90.0
上記 1 日 3 回毎食後 2 食匙宛服用		D.S. auf 3×tägl. 2 Esslöffel n.d.E. z.n.	

(8) 處方 Rp.

「フェナセチン」	1.0	Phenacetin.	
「アスピリン」	1.0	Aspirin.	aa. 1.0
「マグネシア」	0.5	Mag. ustae	0.5
磷酸「コデイン」	0.05	Cod. phosphor.	0.05
上記 1 日 3 回服用		S. take 3 times a day	

〔註〕本處方ハ腰痛, 腹痛, 頭痛, 肩凝リ等ニ用ヒラレ, Neuralgia powder ト呼バレテキル。

磷酸「コデイン」ハ交感神經ヲ輕ク麻痺シ從ツテ副作用モ少ク, 一般ニ交感神經ニ支配サル、部分ノ刺激興奮時ニ用ヒラル。習慣性モ少ク, 毒力モ「モルヒン」ニ比較シテ遙カニ弱イ。腰痛ノ強烈ナモノニハ本處方ノ如ク麻酔劑ノ伍用ヲ餘儀ナクサレル事ガ屢々アル。ソノ他麻酔劑ノ用ヒラレルモノハ「ペラドンナ」, 阿片, 「アトロピン」, 「クロ・ホルム」等デ之等ハ内用又ハ外用或ハ注射料トナス。

(9) 處方 (膽石ニヨル反射性腰痛) Rp.

鹽酸「パバベリン」	0.01	Papaverin, hydrochlor.	0.01
「ロート・エキス」	0.06	Extr. Bellad.	0.06
乳糖	2.0	S. lact.	2.0

上記 爲 1 日量, 1 日 3 回食間分服 D.S. auf 3×tägl. zw. d.E. z.n.

(10) 處方 (腰痛)

磷酸「コデイン」	0.5	Cod. phosphor.	0.5
石炭酸	0.01	Acid. carb.	0.01
蒸溜水	10.0	Aq. dest.	10.0
上記 注射料, 1—2 筒ヲ注射		S. 1—2 Spritze z. inj.	

(11) 處方 (諸種疼痛) Rp.

2%「パントポン」	0.5—1.0	2% Pantopon.	0.5—1.0
上記皮下注射料		S. zur subcutanen Injektion.	

(12) 處方 (胃痛ニヨル放散性腰痛) Rp.

「ロート・エキス」	0.2	Extr. Scopoliae	0.2
「アンモニア・アニース」液	2.0	Liq. Ammon. anisat.	2.0
淨水	10.0	Aq. dest.	10.0
上記 毎 2 時間 10—20 滴宛服用		S. 2 stündl. 10—20 Tropf. z. n.	

(13) 處方 (胃痛ニヨル放散性腰痛) Rp.

「オルトフォルム」	0.5—1.0	Orthoform.	0.5—1.0
上記 爲 1 包, 5 包ヲ與ヘ 1—2 包ヲ服用		D. t. d. no. V. S. 1—2 Pulv. z.n.	

〔註〕「オルトフォルム」ハ局所麻酔作用ヲ有シ胃腸ノ潰瘍, 胃酸過多症等ニ 1 回 0.5—1.0, 1 日 1.0—1.5 ヲ用フ。

(14) 處方 (諸種疼痛) Rp.

「クロロホルム」	5.0	Chloroformi	5.0
鹽酸「コカイン」	0.6	Cocain, hydrochlor.	0.6
淨水	10.0	Aq. dest.	10.0
上記 5—10 滴ヲ疼痛時糖水ト 共ニ服用		S. 5—10 Tr. in Zuckerwasser bei Schmerzen.	

(15) 處方 (神経痛) Rp.

「ブローム・ナトリウム」	3.0	Natr. bromat.	3.0
「フェナセチン」	0.5	Phenacetin.	0.5
上記 1 日 3 回分服		S. 3×tägl. z.n.	

〔註〕臭剝ハ止血鎮靜作用アリ。

【用法、用量】 1回 3.0; 1日 10.0—15.0.

(16) 處方 (「レウマチス」, 神経痛) Rp.

「ロイマサン」		Rheumasan.	
上記塔擦料		S. zur Einreibung.	
〔註〕「ロイマサン」ハ「サリチール酸」8%, 「サリチール・エステル」2% ヲ含有スル過脂肪状態ノ石鹼「クリーム」。			

(17) 處方 (神経痛) Rp.

「クロロホルム」	25.0	Chloroform.	
「ヒヨス」油	25.0	Ol. Hyoscian.	aa 25.
上記塗擦料		S. Zum Einreiben.	

(18) 處方 (神經痛, 特ニ坐骨神經痛) Rp.
 「ペラドンナ・エキス」 2.0 Extr. Bellad. 2.0
 「ラノリン」 40.0 Lanolin. 40.0
 上記外用 D.S. äusserlich.

(19) 處方 (神經痛) Rp.
 「ヨード・チンキ」 8.0 Tr. Jod. 8.0
 五倍子「チンキ」 12.0 Tr. Gallar. 12.0
 上記塗布料 D.S. zur Einpinselung.

(20) 處方 (神經痛) Rp.
 25% 「ヨヂピン」 100.0 25% Jodipin 100.0
 上記 1 日 10—20.0cc 宛 10 日 S. tägl. 10—20 cc. 10 Tage
 間又ハソレ以上臀部皮下注射 lang od. längerer sub-
 kutan in die Gluttealge-
 gend z. inj.

(21) 處方 (神經痛) Rp.
 精製重曹 0.25 Natr. bicarb. pur. 0.25
 「クロール・ナトリウム」 0.5 Natr. chlorat. 0.5
 「ノボカイン」 1.0 Novocain. 1.0
 上記 100cc ノ水ニ溶解後半煮 In 100cc Aq. dest. auslöst,
 沸トス。硬腦膜外注射料 dann noch 1×halb aus-
 (ランゲハイム氏) Injektion. (Langheim)

(22) 處方 (腰痛) Rp.
 「テトロドトキシシン」 Tetrodotoxin in Ampulle
 「アンブレ」入
 上記毎日又ハ 2 日ニ 1 筒注射 S. tägl od. 2. tägl. 1 Amp.
 z. inj.

[註] 「テトロドトキシシン」ハ河豚毒素ノ純正品, 白色無晶形粉末, 可溶性,
 末梢及中樞神經ノ神經毒 少量ハ知覺, 運動神經ノ順ニ麻痺セシメ
 最後ニ痙攣中樞ヲ, 更ニ迷走, 血管運動神經ヲ麻痺ス。鎮痛, 瘧疾
 鎮靜, 呼吸鎮靜, 鎮痙ノ目的ニ用フ。
 【用法, 用量】 通常 1 回 1cc.

(23) 處方 (神經衰弱) Rp.
 「ブローム・カリ」 3.0 Kal. bromati 3.0
 吉草「チンキ」 1.0 Tr. Valerian. 1.0
 苦味「チンキ」 2.0 Tr. amarae 2.0
 淨水 100.0 Aq. 100.0
 上記 1 日 3 回分服 S. auf 3×tägl. z.n.

(24) 處方 Rp.
 「イヒチオール」 5.0 Ichthyol 5.0
 「グリセリン」 25.0 Glycerin 25.0
 「アルコール」 25.0 Alcohol aa. 25.0
 上記外用 S. äusserlich

(25) 處方 Rp.
 「クロロホルム」 25.0 Chloroform
 「オレーフ」油 25.0 Ol. Oliv. aa. 25.0
 上記外用 S. äusserlich.

(26) 處方 (「レウマチス」) Rp.
 「イヒチオール」 10.0 Ichthyol.
 「グリセリン」 10.0 Glycerin. aa. 10.0
 上記外用 S. äusserlich.

(27) 處方 (筋肉「レウマチス」) Rp.
 「クロロホルム」 20.0 Chloroform. 20.0
 「カンフル・チンキ」 80.0 Tr. Camphor. 80.0
 上記外用 S. äusserlich

(28) 處方 (脊髄癆ニヨル腰痛) Rp.
 抱水「クロラール」 5.0 Chloral. hydrat. 5.0
 橙皮「シロップ」 20.0 S. cort. Aurant. 20.0
 淨水 100.0 Aq. 100.0
 上記毎 ¼ 時間 1 食匙宛服用 S. jede ¼ stündl. 1 Ess-
 loeff. z.n.

(29) 處方 (疼痛) Rp.
 「グレラン」 0.6 Grelan. 0.6
 「ヴェロナール」 0.3 Veronal. 0.3
 上記 1 日 3 回分服 D.S. 3 times a day.

(30) 處方 (神經痛及疼痛性不眠) Rp.
 「フェナセチン」 0.2 Phenacetini 0.2
 「ピラミドン」 0.1 Pyramidon. 0.1
 「ヴェロナール」 0.1—0.2 Veronali 0.1—0.2
 乳糖 0.3 S. lact. 0.3
 上記爲 1 包, 疼痛時又ハ就床 S. As 1 powder, take at
 時頓服 pain or bed time.

(31) 處方 (「レウマチス」, 神經痛) Rp.
 「サリチール酸「ソーダ」」 2.0—5.0 Natr. salicyl. 2.0—5.0
 重曹 2.0 Natr. bicarb. 2.0
 「メンタ」水 8.0 Aq. Menthae 8.0
 淨水 100.0 Aq. dest. 100.0
 上記 1 日 3 回食後分服 D.S. auf 3×tägl. n.d.E.
 z. n.

(32) 處方 (「ノイローゼ」, 不眠症) Rp.
 臭剝 3.0 Kal. bromat. 3.0
 抱水「クロラール」 1.0 Chlor. hydrat. 1.0
 苦味「チンキ」 1.5 Tr. amarae 1.5
 「シロップ」 8.0 S. s. 8.0
 淨水 100.0 Aq. 100.0

上記 1 日 3 回食後分服	S. take three times a day P.C. (post cibum)
(33) 處方 (神經性腰痛)	Rp.
臭剝 1.5	Natr. bromat.
「ブローム・アムモニウム」 1.5	Ammon. bromat. aa. 1.5
吉草「チンキ」 1.0	Tr. Valerian. 1.0
「メンタ」水 5.0	Aq. Menthae 5.0
淨水 100.0	Aq. dest. 100.0
上記 1 日 3 回服用	D.S. auf 3×tägl. z.n.
(34) 處方 (「レウマチス」)	Rp.
「サリチール」酸「ソーダ」 5.0	Natr. salicyl. 5.0
阿片「チンキ」 5 滴	Tr. Opii 5 gtt.
水 50.0	Aq. dest. 66.0
上記 1 日 1 回灌腸料	S. auf 1×tägl. z. klystieren.
(35) 處方 (「レウマチス」)	Rp.
「アスピリン」(Bayer) 0.5	Aspirin. (Bayer) 0.5
「アンナカ」 0.05	Caff. natriobenz. 0.05
上記 爲 1 包, 毎時 1 包宛服用	S. als 1 Pulv, 1 stündl. 1 Pulv. z. n.
(36) 處方 (痛風)	Rp.
「アスピリン」 3.0	Aspirini 3.0
鹽酸「ヘロイン」 0.01	Heroin, hydrochlor. 0.01
上記 爲 1 日量, 1 日 3 回分服	D.S. auf 3×tägl. z.n.
(37) 處方 (關節「レウマチス」, 膀胱炎)	Rp.
「ザロール」 1.5	Salol. 1.5
上記 1 日 3 回分服	D.S. auf 3×tägl. z.n.
(38) 處方 (膀胱炎, 腎盂炎)	Rp.
「ザロール」 0.5—4.0	Salol. 0.5—4.0
「メンタ」油 適宜	Ol. Menthae q. s.
上記「オブラート」ニ包ミ 毎 2 時間服用	S. 2 stündl. im Oblaten z.n.
(39) 處方 (神經痛)	Rp.
「アンチピリン」 1.0	Antipyrin. 1.0
「ブローム・ナトリウム」 2.0—3.0	Natr. bromat. 2.0—3.0
淨水 100.0	Aq. dest. 100.0
上記 1 日 3 回分服	D.S. auf 3×tägl. z.n.
(40) 處方 (「インフルエンザ」)	Rp.
「アンチピリン」 1.5	Antipyrin. 1.5
臭剝 3.0	Kal. bromat. 3.0
苦味「チンキ」 1.0	Tr. amarae 1.0
シロップ 8.0	S. s. 8.0
淨水 100.0	Aq. dest. 100.0
上記 1 日 量 3 回分服	D.S. auf 3×tägl. z.n.

(41) 處方 (「マラリア」)	Rp.
「アンチピリン」 2.0	Antipyrin. 2.0
鹽酸「ヒニン」 3.0	Chinin, hydrochlor. 3.0
蒸溜水 6.0	Aq. dest. 6.0
上記注射料 1 日 1—3 筒皮下注 射	S. Auf 1—3×tägl. 1 Spritze z. inj.
(42) 處方 (痛風)	Rp.
「メルブリン」 1.5	Melubrin. 1.5
「シロップ」 8.0—10.0	S. s. 8.0—10.0
重曹 1.5	Natr. bicarb. 1.5
淨水 100.0	Aq. 100.0
上記 1 日 3 回分服	D.S. auf 3×tägl. z.n.
(43) 處方 (褥瘡ニヨル腰痛)	Rp.
「デルマトール」 10.0	Dermatol. 10.0
上記吹粉料	S. Als Streupulver
(44) 處方 (褥瘡ニヨル腰痛)	Rp.
「アイロール」 10.0	Airol 10.0
上記吹粉料	S. Als Streupulver.
[註] 「アイロール」ハ次没食子酸化「ヨード」蒼鉛, 組織ニ接シテ「ヨ ード」ヲ分離シ赤變ス。「ヨード」24.8% 蒼鉛 44.5% ヲ含ム, 分 泌ヲ制限シ, 「ヨード・フォルム」ノ如キ毒性ナシ.	
(45) 處方 (同上)	Rp.
「アイロール」 5.0	Airol 5.0
「ワゼリン」 45.0	Vaselin 45.0
上記軟膏トス	S. Als Salbe.
(46) 處方 (糖尿病ニヨル腰痛)	Rp.
阿片末 0.2	Pulv. Opii 0.2
重曹 2.0	Natr. bicarb. 2.0
上記 10 包ト爲シ, 1 日 3 回 1 包宛服用	M.f.D. div. in. dos. 10 S. 3 pulv. tägl. z.n.
(47) 處方 (同上)	Rp.
「アンチピリン」 1.5	Antipyrin. 1.5
乳糖 1.0	S. lact. 1.0
上記 爲 3 包, 1 日 3 回 1 包 宛	Div. in dos 3 S. 3×tägl. z.n.
(48) 處方 (痔核ニヨル腰痛)	Rp.
「ベラドンナ・エキス」 0.02	Extr. Bellad. 0.02
阿片「チンキ」 0.02	Extr. Opii aa. 0.02
「カカオ」露 2.0	Butyr. Cacao. 2.0
上記 疼痛時 1 本宛肛門挿入	D.S. 1 Zäpfchen einzufüh- ren beim Schmerzen.

(49) 處方 (同)	Rp.
「オイカイン」A. 1.0	Eucaïn A. 1.0
「メントール」 0.2	Menthol. 0.2
「オレフ」油 2.0	Ol. Oliv. 2.0
「ラノリン」 10.0	Lanolin. 10.0
上記軟膏トナス.	S. Salbe

(50) 處方	Rp.
「パピナル」 1.0cc (1筒)	Pavinal. 1.0 (1 Amp.)
上記注射料	S. zur Injektion

(51) 處方	Rp.
「ヘパトキシ」 1.0	Hepatoxin 1.0
上記皮下注射料	S. for hypodermic injection.

〔註〕「ヘパトキシ」(田邊)ハ河豚毒素ノ有効成分。注射後四肢倦怠、口唇麻痺ヲ來ス事ガアルノ豫メ患者ニ告ゲテ置イタ方ガヨイ。
【用法、用量】1回 0.7—2.0; 1日1回又ハ2日1回初メヨリ2.0ヲ用ヒザルコト。

(52) 處方	Rp.
「ベラフオリン」(Sandoz) 1.0	Bellafolin (Sandoz) 1.0
上記皮下注射料	S. zur subk. Injektion.

〔註〕「ベラフオリン」ハ「ベラドンナ」葉ノ純粹「アルカロイド」デ「ヒヨスタミン」、
「ヒヨレスチンアトロパミン」及「ベラドン」ガ主成分デアル。交感神經末梢ヲ麻痺ス。

【用法、用量】1回 1—2cc (皮下注射)
1回 1—2錠 (内服) 10—20滴 (内服)
1日 2—3回服用

(53) 處方 (諸種疼痛)	Rp.
「ヒネオナル」 0.3	Chineonal. 0.3
上記疼痛時頓用	S. beim Schmerzen z.n.

〔註〕「ヒネオナル」(Merck)ハ「ヴェロナル」36.22%、「キニーネ」63.78%ヨリナル白色、苦味アル粉末。「ヴェロナル」及「キニーネ」ノ鎮靜催眠、鎮痛解熱作用ヲ有ス。頭痛、神經痛、腰痛、神經衰弱、「インフルエンザ」、陳痛微弱及緩和ニ用フ。

【用法、用量】1回 0.2—0.3; 1日 2—3回
1回 0.3—0.4 (頓用)

其他用フルモノニ

「セダロン」Sedalon (三共) 1回 0.4—0.6
「メソタン」Metsotan (Bayer)「ワゼリン」ト共ニ外用。
「スパスマルギン」Spasmalgin (Roche) 1回 1—2錠 (0.03—0.06) 1回 1—2筒注射
「ベカイン」Becain 1回 1.0—2.0; 1日 3.0—6.0
「オイクピン」Eukupin (Zimmer) 0.5—3.0% 油溶液。1回 0.3—0.5; 1日 5回

「クロレトーン」Chloretone (三共) 1回 0.25—0.5; 1日 3回
「グリコサール」Glycosal (Merck) 1日數回 0.5—1.0
「アトフアン」(Schering) 1日 3—4回 0.5—1.0.
「ローヂン」Rhodine (ローレンブーレンク化學會社) 1回 0.3—0.5; 1日 2—3回
「バグワン」(武田) 1回 2.0cc (皮下又ハ靜脈内).
「インドラミン」1日 0.5—1.0 (分3包)
「カフエチリン」Kafetylin 1回 2—3錠, 1日 1—3回
「カルプロミン」Calbromin 1回 0.2—0.4 1日 3回
「カタロイシン」Cataroisin 0.1—0.3 (筋肉内注射)
「ガルダン」Gardan 1回 0.25—0.5, 1/2—1錠, 1日 3回.
「オルトフォルム」Orthoform (Höchst) 外用
「アガチン」Agathin (Höchst) 1回 0.15—0.5 1日 2—3回
「アナルゲン」Analgen (Schering) 1回 0.5—1.0 1日數回又ハ1回 1.0—2.0 1日 3—4回

四肢痛

Schmerzen an der Extremitäten; pains at the extremities; douleurs en extrémités.

四肢 Extremitas ノ疼痛ハ諸種疾患ニ來ル。多クノ場合ハ四肢構造因子殊ニ知覺神經分布ノ濃厚ナ部分ニ於テ疼痛ハ激シク起ル。即チ皮膚、皮下、骨膜ナドニ傷害 Läsion ガアツテ知覺感受装置ノ刺戟サレタ場合ニ強度ノ疼痛ヲ覺ヘルノデアアル。外傷ヤ炎症ナドニヨリ起ルモノガ此レデアアル。

然シ四肢ニハ又他ノ部分カラノ疼痛ガ放散シテ來テ、所謂放散痛トシテ覺ヘルコトモアル。例ヘバ狭心症デハ胸痛ヲ訴ヘルケレドモ、上肢殊ニ左方ニ放散スル疼痛ヲモ覺ヘル。

四肢ノ疼痛ノ中デ重要ナルモノハ關節痛デアアル。コレハ「レウマチス」性ノモノガ多イガ、淋毒性及尿酸性關節炎(痛風)モ考慮シナケレバナラス。又神經痛、神經炎ナドニヨルモノモヨクアル。

四肢ノ疼痛ヲ訴ヘル疾患

1. 關節炎 Arthritis; Gelenkentzündung; inflammation of the joint; arthrite.

之ハ急性ト慢性ニ分ツ。

(A) 急性

- a. 單純性 Arthritis simplex acuta.
- b. 化膿性 Arthritis purulenta acuta.
- c. 淋毒性 Arthritis gonorrhoeica acuta.
- d. 「レウマチス」性 Arthritis rheumatica acuta (et chronica).

(B) 慢性

- a. 單純性 A simplex chronica.
- b. 微毒性 A syphilitica chronica.
- c. 結核性 A. tuberculosa chronica.
- d. 畸形性 A. deformans chronica.
- e. 尿酸性(痛風) A. urica (or Gout).
- f. 血友病性 Blutergelenk.
- g. 神經病性 A. neuropathica.

(1) 急性單純性關節炎

關節ノ疼痛ヲ訴ヘルト同時ニ局所ノ腫脹、發赤、熱感等ヲ訴ヘル。

全身状態ハ侵サレヌコトモアルガ、多少ナリトモ熱感スルコトガアル。原因ハ色々デアアルガ關節ノ捻挫ヤ挫傷、過勞等ニ原發シ、骨髓骨膜炎、「フレグモーネ」ナドニ續發シ、或ハ又淋疾ヤ「インフルエンザ」、「ロ

イマチス」、急性傳染病等カラ續發シタリ轉移シタリスル。

手、足、膝、肘、肩ナドノ大關節ガヨク侵害サレ。

初期ノ中ニ「イヒチオール」塗布等ヲ行ヒ誘導ト又局所ノ安静ヲ旨トス。ソノ上ニ冷濕布ヲナシ炎症々狀消退スレバ温電法、熱氣浴、温浴等デ吸收ヲ促シ自ラ運動ヲ行ハシム。時ニハ穿刺ヲ必要トスルコトモアル。

(2) 急性化膿性關節炎

此ノ場合ノ疼痛ハ甚シクテ發赤、腫脹、灼熱感、機能障礙、波動、熱症狀(惡寒、戰慄等)ヲ呈シ、屢々治癒後ニ強直ヲ殘ス。

開放性創傷、附近創傷ヨリノ轉移(骨髓骨膜炎)、急性傳染病等ニ關聯シ起ル。

穿刺、關節切除等ヲ行フ。

(3) 淋毒性關節炎 gonorrheal arthritis.

疼痛ハ甚シクテ動カスコトハ全ク出來ナイ。發赤、腫脹、熱感等ガアツテ體温ハ昇ルコトモアルガ、甚シクナイコトモアル。

一例ノ膝關節ヲ侵スコトガ多く、足關節、腕關節、肩胛關節等之ニ次ガ、多クノ關節ニ多發スルコトモアル。尿道淋經過中ニヨク來ル。淋菌「ワクチン」注射、穿刺、「デアテルミー」、X線療法等ヲ行ヒ切開モ必要ノコトガアル。「マツサージ」ヲ適宜ニ行ハスト強直ヲ殘ス。

(4) 「レウマチス」性關節炎(急性、慢性)

コノ場合ノ疼痛ハ腫脹ト共ニ諸關節ニ遊走スル。(Polyarthritis rheumatica)

膝、足、肘、手關節ガヨク侵カサレ、體温ハ 39°C — 40°C 位ニ達シ、前驅症狀トシテ「アンギナ」ヤ不定ノ四肢痛ヲ訴ヘルコトガアル。

腦脊髄「レウマチス」Cerebrospinalrheumatismus. デハ循環及神經病狀(頻脈、昏睡、痙攣等)ヲ呈シテ虚脱ニ陥リ死ス。

本症ハ心内膜炎、辨膜症、等不快ナル合併症ヲ伴ヒ又ハ殘胎スル。

「サリチール」酸劑ガ特效的ニ作用スルガ、原因不明ナルタメ如何ナル機序ヲ以テ奏效スルカ判ラナイ。

(5) 慢性單純性關節炎

初メカラ慢性トシテ來ルモノハ少ナク、多クハ急性型ヨリ移行スル。

膝關節ニ多ク來タリ、局所ノ腫脹ハ著シイガ疼痛ハ甚シクナイ。

結核、微毒等ヨリ鑑別シナケレバナラス。

理學的療法ヲ主トスル。

(6) 慢性微毒性關節炎

微毒 II, III 期ニ起ルガ、稀デアアル。

一般ニ疼痛ガナイカ又輕微デアアル。

(7) 結核性關節炎 tubercular arthritis.

疼痛ハ初期ニ不定ナルコトアルモ、多クハナシ。但シ末期ニハ屢々疼痛ヲ發スルコトアリ。關節部腫脹シ、病的位置ニ固定サレ、運動障礙等ヲ呈ス。時ニ寒性膿瘍形成ス。原發性ノコトモアリ、續發性ノコトモアル。乾性「カリエス」ハ壯年後ニ多イ。疼痛ハ輕イ。

「レントゲン」診斷法ハ最モ確實デアアル。内科的ニ肺結核ト同ジ様ニ治療スル。

(8) 畸形性關節炎

疼痛ハ朝烈シク、夜ハ殆ンド感ジナイ。摩擦音ヲ發スルコトモアル。股、膝關節ニ最モ多ク、肘、手、指、肩等ニモ來ル。多クハ單發性デア
ル。

本症ノ原因ハ不明デアル。經過長ク、20—30年ニ亘ルコトスラアル。慢性ノ關節「ロイマチス」ト鑑別シナケレバナラヌガ、年齢、經過等ヲ考
ヘル。治療ハ慢性關節「ロイマチス」ニ準ズ。

骨端ノ變化著明ナラバ關節切除ヲナス。

(9) 尿酸性關節炎 Arthritis urica 又ハ痛風 Gicht; gout; goutte.

疼痛ハ多ク夜間急ニ一側跣趾又ハ拇指ニ劇シク起リ、發赤腫脹モ甚シイ。晝間ハ緩和シ夜分ニナルト又烈シクナル。多クハ一關節ニ限ラレテキル
ガ、他ノ趾ヤ指ヤ大關節ニ發病スルコトモアル。

カ、ル痛風發作 Gichtanfall ハ 2—8 日位續行場合ニヨリ關節ノ變
化(畸形、強直)ヲ殘ス。多クハコノ發作前ニ全身倦怠、憂鬱、消化障
碍(便秘、舌苔等)ヲ訴ヘテ食物ガマツイト云ヒ、「ガス」排泄(放屁)
ガ多クナル。然シ全ク前驅症狀ノナイコトモアル。

跣趾 Podagra 及拇指關節 Chiragra、肘、腕、膝、足等ノ關節ノ
侵サレルコトモアル。

痛風結節 Tophus, Gichtknoten, ト云フノハ皮下組織内ヤ鼻耳ナ
ドノ軟骨ニ生ズル白聖様ノ尿酸沈著物ヲ云フデアル。

療法トシテハ「アトファン」、重炭酸「ソーダ」ノ投與、物理療法ガ行
ハレル。

外國特ニ英國ニハ相當本病者ヲ見ルト云フガ本邦ニハ少イ。

(10) 血友病性關節 bleeder joint.

幼若年、男子ニ發病スル。膝關節、足、肘、手腕關節ニ多イ。關節内
ニ出血スレバ肘ニ激痛ヲ訴ヘル。此レヨリ全關節炎ヲ起シ、退行期ニ到
ル。關節ノ結核ト鑑別シナケレバナラヌ。

(11) 神經病性關節炎

脊髓旁ヤ脊髓空洞症等ニヨリ生ズ。

脊髓旁デハ膝、股關節ニ、脊髓空洞症デハ上肢關節ヲヨク侵カス。外
傷ヤ炎症ハ原因タリ得。全ク無痛ノコトスラアル。原因療法ガ第一デア
ル。

2. 外傷

(1) 關節捻挫 Gelenkdistorion; sprain or distorsion of joint.

疼痛激シク官能障碍ヲ起シ、腫脹發赤スル。「踏み違ひ」ト一般デハ呼ンデキル。挫傷ヤ脱臼トノ鑑別ガ必要デア
ル。

療法ハ安靜、溫罌法、溫浴、「マッサージ」等ヲ主トス。

(2) 關節挫傷 Gelenkkontusion od. Quetschung, contusion of joint.

衝突ヤ打撲ニ原因スルモノデ、捻挫ト同ジヤウナ症狀ヲ呈スル。

(3) 脱臼 Luxation; dislocation of joint.

肩脾ニツギ肘、手指、股、膝關節ナドニ多イ。直接的ニモ間接的ニモ
外力ガ作用シテ起ル。疼痛、關節機能不全又變絶ヲ主ナ症狀トスル。

(4) 骨ノ挫傷ト創傷

(5) 骨折 Fraktur; fracture.

疼痛激シク マルゲーマ氏骨折痛 Malgaine's Bruchschmerz ア
リ。マ氏骨折痛ハ骨折部ニ局限セル劇痛デアツテ、壓迫スレバ益々烈シ
クナル。ソノ他骨折部ヲ觸知シ、軋轆音 Krepitation アリ。

(6) 創傷 Wunde; wound.

(7) 火傷 Combustio; Verbrennung; burns or scalds.

特ニ X 線火傷。

(8) 凍傷 Congelatio; Erfrierung; frostbite.

(9) 毒虫ソノ他ノ刺傷 Stichwunde der giftigen Insekten etc.; Poisoning by insects etc.

3. 皮膚疾患

(1) 癰 Furunkel; furuncle or boil.

毛囊、皮脂腺ニ化膿菌(殊ニ葡萄狀球菌)ノ浸入シタル場合、糖尿病
者ニ多シ。

(2) 癰疽, 癰 Carbunkel; carbuncle

癰ノ群生融合セル大ナル滲潤性硬結。蜂窩織炎 Phlegmone ヲ起ス
コトアリ。

(3) 蜂窩織炎 Phlegmone; cellulitis.

皮下ニ多ク、筋膜下 subfaszial 又ハ筋間ニ起ルコトアリ。指趾ニ來タ
ルモノヲ癰疽 Panaritium ト云フ。

患部ニ發赤、腫脹、疼痛アリ。惡寒、發熱モアリ。

(4) 膿瘍 Abscessus; Abszess; abscess.

疼痛、皮膚緊張、發赤、腫脹、熱感アリ。全身症狀(惡寒、高熱等)
モ呈スル。

(5) 褥瘡 Decubitus, bed-sores.

下肢ニ多シ。

4. 血管及ビ淋巴管疾患

(1) 疼痛性股白腫 Phlegmasia alba dolens.

子宮靜脈ニ炎症性血栓ヲ生ジ下腹靜脈ヲ經テ外腸骨靜脈内ニ至リ猶下
方股靜脈ニ迄増大シ血管腔ヲ閉塞スルタメニ一側又兩側ニ疼痛性ノ浮腫
ヲ生ズ。之ヲ疼痛性股白腫ト云フ。病理學的ニハ敗血性血塞性靜脈炎
Thrombophlebitis septica ノ像アリ。

症狀ハ産褥 2 週目ニ現レルコト多ク、全患側下肢ハ浮腫狀腫脹シ、
蒼白色ヲ呈ス。合併症ナキトキハ腫脹モ次第ニ減ズ。股白腫ハ連鎖狀球
菌ノ侵襲ニヨルモノ多シ。

(2) 靜脈瘤 Varix; Phlebektasie; varix.

(3) 壞疽及脱疽 Nekrose und Gangrän; necrosis and gangrene (褥瘡).

(4) 急性淋巴管炎 Lymphangitis acuta.

肘、腋窩、股腠、鼠蹊腺ニ多シ、淋巴周圍炎 Perilymphangitis
ヲ伴フモノアリ。

(5) 「ベスト」Drüsenpest.

股腺, 腋下腺, 鼠蹊腺, 等ニ疼痛, 發赤, 腫脹ヲ伴フ。

5. 神經疾患

(1) 外傷

i 神經震盪 Erschütterung.

鈍力ニヨル。「しびれ」ノ感ノコトガアルガ、又疼痛トシテ感ズルコトモアル。

ii 神經ノ挫傷斷裂及脱轉 Kontusion, Zerreissung und Luxation der Nerven.

(2) 神經痛 Neuralgie

原因ハ色々デアアル。外傷, 中毒, 傳染病, 感冒ナドガ考ヘラレテキル。癩痕, 骨膜肥厚, 脊椎疾患 (特ニ「カリエス」), 異物, 脱臼シタ骨又骨折ナドガ壓シテ神經痛ヲ起シタリ牽引シテ神經痛ヲ起シタリスルコトモアル。

附近ノ炎症カラ神經痛ヲ起スコトモアル。例ヘバ齒ノ「カリエス」ヤ副鼻腔患カラ三叉神經痛ヲ起スコトガアル。然シ又子宮ヤ腸ノヤウナ遠隔ナ臟器カラ反射的ニ三叉神經痛ヲ起スコトモアル。

神經痛ハ貧血, 惡液質, 神經病的素因 (「ヒステリー」, 神經衰弱) ニヨツテ誘發サル。

疼痛ノ繼續時間ハ色々デアアル。數秒カラ數分乃至數時間ニモ亘ルコトガアル。知覺異常ヲ伴フコトガアル。神經炎ノ症狀ヲ伴フコトモアル。

四肢ノ神經痛ノ中デヨク遭遇スルノガ坐骨神經痛 Ischias, Neuralgia ischiadica, Malum Cotunni, Hüftweh デアル。

原因トシテ感冒ニヨルモノガ多イ。妊娠子宮ノ壓迫ヤ, 糞便ノ壓迫カラモ起ルコトガアル。精神興奮モ誘因トナル。

獨立シテ來ルコトモアルガ、他ノ疾患ノ隨伴症狀トシテ來ルコトモアル。中毒性ノモノデハ「アルコール」, 糖尿病, 痛風ナドヲ考ヘルベキデアアル。

疼痛ノ性質ハ色々デアアル。引カレル様ナ痛ミ, 孔ヲウガチアケラレル様ナ痛ミ, 引キ裂カレル様ナ痛ミナドトナツテ現レル。壓痛點ハヨク坐骨結節ト大轉子トノ間大坐骨孔ヲ出ル所, 膝窩窩ノ中央, 腓骨小頭ノ後ニアル。ラセグユ Lassègue ノ徵候ト云フノハ仰臥サセテ脚ヲ伸バシタマハソノ脚ヲ舉上スルト痛ミヲ訴ヘルヲ云フ。

股關節炎ヤ間歇性跛行ト鑑別シナケレバナラス。

(3) 神經炎 Neuritis.

原因ハ大體神經痛ニ同ジ, 即 外傷, 壓迫, 感冒, 中毒 (内因ト外因) ナドデアアル。多ク疼痛アリ。神經ニ沿ヒ, 又皮膚發赤ヤ異常知覺ナドヲ認メル。榮養障礙ヲ起スト「ヘルペス」ヲ生ジ, 發汗シタリスル。

脚氣デハ腓腸部ヲ把握スルト痛ミヲ覺ヘル。之ハ多發性神經炎ト共ニ筋變化ヲ起シテキルカラデアアル。

(4) 脊髓癆

脊髓後索及後根ノ變性スル疾患デアアルカラ, マヅ後根症狀ヲ發スル。

原因ノ多クハ第四期微毒デアアル。外傷, 感冒ナドカラ誘發サレルト云フ。

本病患者ハヨク槍デ突キサ・ルル様ナ痛ミ又電撃様ノ痛ミヲ訴ヘル。(lanzinierende Schmerzen; lancinating pains).

コノ痛ミハ精神興奮時ナドニハ強クナル。コレ以外ニ所謂發症Crisis; Kriesen が現レル。

Charakter der lanzierenden Schmerzen

i blitzartig.

ii durchzuckend.

iii durchreissend.

iv stechend.

v brennend.

vi bohrend.

vii neuralgisch.

療法ハ驅微療法ヲ第一トスル。スウィフト・エリス氏法。

(5) 間歇性跛行 Claudicatio intermittens; intermittierendes Hinken.

本症ハ動脈硬化症ニヨルモノガ多イ。下肢ニ多ク來ル。即チ安靜ニシテキレバ何等苦痛ハナイガ、一定時歩行ヲスレバ疼痛ヲ覺ヘタリ, 色々ノ障礙ヲ起シテ來テ歩行ヲ續ケルコトが出来ナクナル。然シ一時休ムト又回復スル。之ハ歩行ニ限ラナイ。老年, 中年者ニ多イ。

療法トシテハ「アルコール」, 「ニコチン」等ヲ避ケ, 物理療法ヲ行ヒ, 「ヨード」劑ノ内服ナドヲ試ミル。神經性ノモノヤ微毒性ノモノガアルカラ「プローム」劑, 驅微療法モ試ミネバナラス。

(6) 血管運動神經障礙

四肢ニ於ケル特有ノ疼痛トシテ血管ノ自律神經支配異常ニヨル血管運動性及榮養性障礙トシテ「エリトロメラルギー」, 對側壞疽, 肢端知覺異常症 (「アクロパレスステジー」) 等ガアル。

i 「エリトロメラルギー」 Erythromelalgie; erythromelalgia; erythromelalgie (Weir-Mitchell).

血管運動, 知覺神經異常ニヨル症狀ヲ呈スル。發作的ニ現レテ充血, 灼熱感, 疼痛等ヲ覺ヘル。同時ニ多汗, 爪, 骨ノ變化, 皮膚肥厚又萎縮等ノ榮養障礙ヲ伴ヒ頭痛, 眩暈, 心悸亢進, 全身倦怠等ヲ伴フコトモアル。

疼痛ハ刺スヤウニ感ズルコトガアル。「ヒステリー」, 脊髓癆, 神經炎, 脊髓空洞症ナドデモ本症ニ似タ症狀ヲ呈スルコトガアル。

ii 對側壞疽 symmetrische Gangrän, Raynaud's Krankheit.

10—15 歳ノ女子ニ多ク, 精神感動, 傳染病ナドハ誘因トナリ神經質ヤ貧血, 衰弱モ誘因トナル。身體ノ對稱部分, コトニ指趾 (特ニ手指) ニ知覺異常ヤ疼痛ヲ發シテ, 蒼白色又變色, 厥冷, 知覺麻痺ヲ起シ, 次第ニ水泡ヲ作り變色シテ疼痛ヲ増シ。壞疽ニ陥ツテ脱落スル。治療ハ困難デアアル。

iii 肢端知覺異常症 Akroparästhesie (Nothnagel, Bernhardt, Schultze)

四肢殊ニ手先ニ癢痒感 Jucken, 轉ツタイ感ジ, 蟻走感, Kribbeln ナドヲ覺ヘ, 同時ニ知覺障礙ヲモ起ス。厥冷又ハ皮膚蒼白ハ必ずシモ

見ラレルモノデハナイ。純肢端知覺異常症(Schultzescher Typus)ト血管運動神經症狀ヲ伴フ型(Nothnagel's Typhus)トニ分ツ。ヨク婦人ノ性器機能障礙ニ關聯シテ起ル。急ニ起ルコトモアルガ徐々ノコトモアル。經過ハ慢性デアツテ、「エリトロメラルギー」ヤ「レノー氏病」、「ノイローゼ」、「ヒステリー」等、破傷風、ナドト區別シナケレバナラス。

電氣療法、「マッサージ」、ナドヲ行フ。

6. 其他

- (1) 筋肉痛 Myalgie (Muskelrheumatismus)

「レウマチス」性ノモノガ多イ。厥冷ニヨリ起リ、墜メルト痛ミハ和グ、急ニ痛ミ初メルコトガ多ク(z.B. Hexenschuss) 寒イ風ニ當ツタリ、隙間風ナドカラ起ルコトガヨクアル。腰部ヤ頸部ニ多イ(Lumbago, Torticollis, Schiefhals) 所患筋肉ハ硬クナリ、鈍痛ガアル。慢性ノモノハ著シイ症狀ヲ伴ハナイコトガヨクアル。「サリチール」酸劑ノ投與ヤ、温浴、「マッサージ」、通電法ナドヲ行フ。
- (2) 筋、筋膜外傷或ハ断裂、裂傷等。
- (3) 化膿性筋炎 Myositis purulenta.

多クハ惡寒戰慄ヲ以テ初マリ筋肉ノ疼痛、腫脹アリ、熱發ス。多發性ノモノハ豫後不良ノコトガアル。初期ニハ安靜、冷電法ヲ命ジ、時ニ温電法ヲ施ス。
- (4) 化膿性腱炎及腱鞘炎 Tendinitis et Tendovaginitis purulenta.

瘰癧カラ來ルモノガ多イ(Panaritium tendinosum)。血行性ニ來ルコトハ少イ。疼痛、波動等ヲ呈シテ、時ニハ蜂窩織炎ヲ起ス。全身症狀トシテハ熱發ス。早くヨリ切開排膿ニ努メル。淋毒性ノモノハヨク手腕關節ニ發熱ト共ニ發スルコトガ多イ。ソノ他腱鞘炎ニハ乾性、尿酸性、結核性ノモノガアル。結核性ノモノデハ放散性疼痛ヲ訴ヘルコトガアル。微毒性ノモノハ1-2週間後ニハ疼痛ノ消失スルコトガヨクアル。II期、III期ニ發病ス。
- (5) 急性化膿性骨髓骨膜炎 Osteomyelitis et Periostitis purulenta acuta.

葡萄狀球菌ニヨルモノガ多ク、連鎖狀球菌、肺炎菌、「チフス」菌、大腸菌、淋菌等ニヨツテモ起リ、外傷、轉移ニヨルモノモアルガ隣接ヨリ來ルコトモ特發性ノコトモアル。8-18歳位ニ多イ。惡寒戰慄發熱ノ下ニ色々ノ熱症狀ヲ呈シ、患骨ハ劇痛ヲ感ジ動カスコトモ出來ナイヤウニナル。腫脹ハ日ヲ經ルニツレテ著明トナル。發赤、熱感ナドモ伴フ。「チフス」性ノモノハ發病後4-6週ヲヨク起ル。然シ四肢骨ニハ稀デアルト云フ。安靜ヲ命ジ電法ヲナシ、時ニハ切開手術ス。
- (6) 骨軟化症 Osteomalacie.

產褥性ノモノハ產褥中ニ「ロイマチス」様ノ劇痛ヲ四肢骨ニ訴ヘルコトガアル。ヨク狭窄骨盤ヲ起ス。燐、肝油、「カルチウム」劑、鐵劑、砒素劑、「ヴァイタミン」D劑等ヲ與ヘル。

- (7) バルロー氏病 Barlow's Krankheit od. Möller's Krankheit.

人工營養中ノ小兒ニ發病スル(C-Avitaminoseデアルト云フ)。骨幹端ガ腫脹シ壓痛ヲ訴ヘル。大腿骨下端、脛骨上端、上肢ナドニ多イ。新鮮ナ果實ヤ野菜ヲ與ヘル。
- (8) 畸形性骨炎又 ベーゼット氏病 Ostitis deformans s. Paget's Krankheit 長管狀骨ガヨク起サレル。疼痛ハ不定デアル。原因モ不明デアルカラ療法モ適當ナモノガナイ。
- (9) 腓腸筋痙攣 Crampus; Wadenkrampf.

強直性疼痛性ニ腓腸筋ノ痙攣スルヲ云フデアツテ、妊娠ヤ骨盤腫瘍、血栓形成等ニヨル下肢鬱血、強行軍ヤ乘馬ニヨル腓腸筋過勞、「アルコール」中毒、下痢ナドニヨル體內乏水 Wasserarmut ナドニ原因スル。一定ノ運動ヲシタリスル時ニヨク起ル。筋肉デモ外轉筋ガヨク起サレル。腓腸部ヲ摩擦スルトヨクナル。豫防的ニハ原因トナルヤウナモノヲ除イテ下肢ノ血行ヲヨクナルヤウニスル。脚氣ニ於テ所謂「腓返リ=こむらかへり」トシテ來ルコトガアル。
- (10) 尾骶骨神經痛 Coccygodynie.

立ツ時ヤ、坐ル時、又排便ニ當ツテ起ル。疼痛ハV 薦骨神經及尾骶神經ヨリ起ル。療法トシテハ便通ヲ圖リ「ロイマチス」ト同ジ様ニ處置シ時ニハ薦骨ノ輪狀切除法 Zirkumzision ヲナス。
- (11) アヒレス腱痛 Achillodynie, Schmerz am Ansatz der Achillessehne, 跟骨痛 Talalgie, 跗骨神經痛 Tarsalgie, Schmerz in der Tarsusgegend, 蹠骨痛 Metatarsalgie, IV, V 蹠趾關節間ノ疼痛 Schmerz zwischen 4 und 5 Metatarsophalangealgelenk. ハ何レモ神經痛様ノ疼痛デ、器械的刺戟ニヨツテモ起ル。例ヘバ小サイ靴ヲ穿クトヨク起ル。「レウマチス」、痛風、「ヒステリー」等ガ誘因トナルコトモアル。
- (12) i 「サルワルサン」注射ニヨリ關節痛ヲ訴ヘルコトガアル。
ii 「アクリチン」色素劑(「トリパフラビン」、「イスラビン」、「パンセプチン」等)注射ニヨツテ四肢ノ疼痛ヲ訴ヘルコトガアル。
iii 熱病(ワイル氏病等)ノ經過中ニモ四肢ノ痛ミヲ覺ヘル。
iv 「アレルギー」ニ關聯シテ四肢痛ノ起ルコトガアル(血清注射後)。
v 結節性紅斑 Erythema nodosum 疼痛性浸潤ガ真皮深部ヤ皮下結締織 Unterhautgewebe ニ生ズ。下肢足背ニ多イ。「ロイマチス」性ノコトガヨクアツテ、熱發シタリ嘔吐シタリスルコトガアル。上肢、前膊モ侵カサルコトガアル。春秋ニ多イ。
vi 爪牀炎 Nagelbettentzündung.

四肢痛ノ療法

原因の處置ヲ必要トスル。外科的疾患ハ手術的操作ヲ必要トスルコトガアル。疼痛ヲ徐キ臟器ノ緊張状態ヲ除去スルコトハ必要デアルカラ

疼痛が餘り劇シケレバ鎮痛劑、麻醉劑、鎮靜劑等ヲ與ヘテ疼痛ニヨル生體ノ苦痛ヲ緩和シテヤラネバナラス。局所麻痺劑ヤ中樞麻酔劑ノ適用サル、ベキ場合モアルガ、其等ニツイテハ諸疼痛ヘノ處置ヲ參照スル。

1. 藥物療法

四肢痛ニ對スル處方例

- (1) 處方 (「レウマチス」, 神經痛) Rp.
 「アスピリン」 0.5 Aspirini 0.5
 上記爲 1 包, 頓用 S. Auf einmal z.n.
- (2) 處方 (「ロイマチス」) Rp.
 10—50% 「イヒチオール
 グリセリン」 10—15% Ichthyolglycerin
 上記塗布料 S. zur Bepinselung.
- (3) 處方 (慢性「レウマチス」) Rp.
 「ヨードカリ」 0.5 Kal. jod. 0.5
 重炭酸「ソーダ」 2.0 Natr. bicarb. 2.0
 上記 1 日 3 回分服 S. auf 3×tägl. z.n.
 [註] 慢性「レウマチス」デハ時ニ滑液膜切除術又ハ關節切除術ヲナス。
- (4) 處方 (痛風) Rp.
 「アトフアン」 1.5—3.0 Atophan 1.5—3.0
 上記 1 日 3 回分服 S. auf 3×tägl. z.n.
 [註] 大量ノ重曹 (5.0—9.0) ヲ伍用ス。
- (5) 處方 (局所麻酔劑) Rp.
 「ノボカイン」 0.5 Novocain 0.5
 純重炭酸「ソーダ」 0.15 Natr. bicarb. 0.15
 食鹽 0.5 Natr. chlor. 0.5
 蒸留水 100.0 Aq. dest. 100.0
 上記注射料 S. zur Einspritzung
 [註] 本液ハ 0.5% 「ノボカイン」液デアル。邦製ニハ「バンカイン」,
 「ノイカイン」等ガアル。
- (6) 處方 Rp.
 0.2% 「ツトカイン」液 0.2% Tutocainlösung.
 上記局所麻酔劑 S. zum Lokalnarkotikum
 [註] 「ツトカイン」ハ「パラアミノ・ベンツォール・ヂメチルアミノ・メチ
 ール・ブタノール」ノ鹽酸鹽デ、作用ハ「ノボカイン」ノ 4 倍デア
 ルト云フ。「アドレナリン」ヲ加ヘテ 0.2—0.5% ヲ用フ。
- (7) 處方 (クルムスキー氏液) Rp. (Chlumsky's Lösung)
 「カンフル」 60.0 Kampfer 60.0
 石炭酸 30.0 Karbolsäure 30.0
 無水「アルコール」 10.0 Alcohol. absol. 10.0
 上記外用 S. äusserlich.
 [註] 本液ハ創傷消毒藥トシテ用フ

- (8) 處方 (神經痛, 「レウマチス」) Rp.
 「アミノピリン」 0.1—0.2 Aminopyrini 0.1—0.2
 「ヴェロナール」 0.1 Veronal 0.1
 「アスピリン」 0.2 Aspirin 0.2
 上記頓用 S. auf einmal z.n.

- (9) 處方 Rp.
 「プロームカリ」 3.0 Kalii brom. 3.0
 「ヨードカリ」 0.5—1.0 Kal. jod. 0.5—1.0
 重炭酸「ソーダ」 2.0 Natr. bicarb. 2.0
 水 100.0 Aq. 100.0
 上記 1 日 3 回分服 S. auf 3×tägl. z. n.
 [註] 屢々苦味「チンキ」2.0 ヲ加フ。

2. 外科的療法

A. ランゲ氏神經幹内注射 Injektion in den Nerv nach Jer. Lange.

本法ハ最も屢々坐骨神經痛 Ischias ニ試ミラルルモノデアアル。

- 「オイカイン」B Eukain B. 1.0
 「クロール・カルシウム」Calc. chlorati 0.75
 「クロール・ナトリウム」Natr. chlorati 7.5
 溜水 Aquae destillatae 1000.0

ヲ煮沸消毒シテ、冷却後 千倍鹽化「キドレナリン」液 10 滴ヲ加ヘタルモノヲ 10.0cc ノ注射器ニ入レテ、8.0—10.0 cm ノ長サヲ有スル注射針ヲツケ、患者ヲ股關節及ビ膝關節ヲ曲ゲシメテ、健側ヲ下ニ横臥セシメ、坐骨結節ト大腿骨大轉子トノ中央部ニ於テ 大臀筋ノ下縁デ深ク (6—7 cm) 穿刺スル。針先ガ坐骨神經ニ達スル時ハ、患者ハ足先ヲ放散スル疼痛ヲ訴ヘ、同脚ヲ攣縮セシメル (zucken)。而ル後注射針ヲ若干引ク時ハ攣縮ハ更ニ新トナル。斯カル場合ハ注射針ハ確カニ坐骨神經幹中ヲ貫イテ居ルカラ、茲ニ神經幹中ニ入レル 積リテ藥劑ヲ注射スル。コノ注射ハ壓ヲ高メテ行フヲ要スト云ハル (高壓注射 Injektion unter hohem Druck)。之レハ藥液ニヨル藥理的效果ヲ期待スル外、外壓ニヨリテ癒着等ヲ剝離セントスル器械的作用モ望ムモノデアアル。從ツテ注射後ニハ患者ハ該部ニ緊張感ト疼痛ヲ訴ヘルコトガアル。場合ニヨリテハモット大量ノ藥液ヲ注射スルコトガアル。又單ニ生理的食鹽水或ハ若干之ニ麻痺劑ヲ加ヘテ行フコトモアル。

B. カテラン氏硬腦膜外注射 Cathelin's epidurale Injektion.

- 5.0—20.0 cc ノ生理的食鹽水, カテラン氏液。
 鹽酸「コカイン」 0.2
 「クロール・ナトリウム」 0.2
 溜水 200.0
 ノ 0.5—20.0 cc, 或ハ 1.0% ノ「ノボカイン」, 「オイカイン」食鹽水

10.0-20.0cc ヲ注射器ニテ尾椎骨上部ノ閉鎖膜 Membrana obtoratoria ヲ穿刺シテ、薦骨管内ニ硬脊髄膜外ニ注射スルモノデア。主トシテ遺尿症 Enuresis nocturna ニ用ヒラルルモ、時ニハ尾椎骨痛、坐骨神經痛等ニモ試ミラル。

C. スキフト・エリス氏法 *Swit Ellis'sche Methode.*

脊髄ノ「メタ」微毒タル脊髄癆 Tabes dorsalis ニ試ミラレル變形驅微療法デア。特ニソノ電擊性疼痛 lanzinierende Schmerzen ニ効果がアルコトガアル。

「サルツアルサン」靜脈内注射後 1 時間以内ニ注射器ヲ靜脈穿刺ヲナシ、無菌的ニ血清ヲ分離シテ、腰椎穿刺 Lumbalpunktion ヲナシ、大體稀釋血清ノ腦脊髄液ヲ採取シ (餘リ大量禁忌)、血清液ヲ脊髄管内 intraspinal ニ入レル。

其他疼痛ノ甚シキ時ハ知覺神經纖維ノ切斷 Neurotomie、切除 Neurektomie、捻除 Exaerese 等が行ハル。

狭心症 Angina pectoris, Stenocardie ノ如キ内臟性ノ疼痛ニ對シテハ、當該支配ノ自律神經切除 (切斷) が行ハル (内臟ヨリノ知覺枝即チ求心性導路ハ自律神經ヲ傳ハリテ中樞ニ達セラルルモノト考ヘラレテ居ル。)

D. 脊髄後根切斷法 *Radicotomia od. Rhizotomia posterior.*

フェルステル氏手術 *Förster'sche Operation.*

脊髄癆ニ於テ電擊性疼痛ノ甚シクシテ堪ヘ難キモノニ行フ手術デア。時ニハ脊椎骨弓ノ切除モ行ハル。

脊椎骨弓切除 *Laminektomie (McEwen 1886)*

脊髄ヲ露出スル目的乃至脊髄骨腫瘍等ニヨル脊髄壓迫ヲ除去スルタメニ行ハル手術デア。

E. 血管外膜ノ剝離 (交感神經切除) 法

レノ一氏病 *Raynaud'sche Krankheit.*

即チ特發性兩側性壞疽 spontane symmetrische Gangrän ハ、四肢末梢血管ノ攣縮ニヨリテ起ルモノト考ヘラレ、時ニ疼痛ノ甚シキコトガアル。斯カル場合ニ交感神經性ノ血管收縮神經ヲ切除ノ目的ヲ末梢血管ノ外膜剝離 *Abschälung der Adventitia* が手術的ニ行ハル。

其他ノ上肢ニ於ケル血管攣縮ニ對シテハ、頸部交感神經節剔出 *Exstirpation von Sympathicusganglien des Halsstrangs* が試ラルルコトガアル。

[附] 顔面痛 *Prosopalgie.*

即チ三叉神經痛 *Trigeminus-neuralgie* ニ於テ、ガツセル氏神經節 *Ganglion Gasseri* ノ切除が試ミラル。此等腦神經ニ附屬スル神經節 *Ganglion* ハ脊髄神經ノ脊髄神經節 *Spinalganglion* (即チ椎間神經節 *Intervertebralganglien* ニ相當スルモノデア、末梢性知覺「ノイロン」ノ存スル場所デアカラデア。

不眠症

Agrypnia; Schlaflosigkeit (f.), Insomnie (f.), Agrynie (f.), sleeplessness; insomnie.

睡眠

睡眠ハ疲勞ニヨリテ招來スト云ハルルモ、睡眠ノ本體ニ關シテハ尙不明ノ點ガ相當アル。筋ノ疲勞ニヨリテ生ズル所謂疲勞物質が睡眠ヲ催サシメルコトハ既知ノ事實デア。藥效上ニモ認メラレテ居ルガ、睡眠ハ疲勞物質ノミニヨリテ起ルモノトハ解シ難イ。腦内ニ於ケル所謂疲勞物質ノ作用機序等ニ關シテハ尙未開明シナイ點ガアル。

睡眠中ニ於テモ意識ハ全然消失シテ居ルモノデア。諸種外來ノ知覺・感覺性刺激ニ對シテ比較的突然性ニ反應シ得ルモノニシテ、又多少ノ意識機轉モ行ハルルモノデア。即チ夢ノ如キハ醒覺時ニ於ケルト同一ナル心理學上云フ綜合觀念列ヨリナリ、一ノ觀念ヨリ他ノ親近觀念ヲ喚起シテ進行スル、タゞ其ノ觀念領ハ狹少デア。過去ニ於ケル記憶ト全ク相反スルガ如キ觀念ヲ喚起シテ觀念列ヲ續ケテ進行セシメルコトガアル。即チ夢中ニ於テ既ニ死去シタルヲ知り居ル友人ト、種々談話交渉等ヲナシ、覺醒後ニ迷誤ト悟ルコトモアル。睡眠中ノ意識機轉ノ印象深クシテ記憶ニ留マルモノハ、之ヲ吾人ハ夢トシテ確カニ認識スルガ、夢トシテ認識セザル意識機轉モ相當ニアル。即チ俗ニイフ「タハゴト」ノ如キハ之デア。腦疾患、熱性病、中毒等ニテ大脳機能ノヨク行ハレザル時ニハ睡眠中ニアラズシテ譫語 *Delerien* ヲ發ス。

睡眠ヲ遂行セシメル爲メニハ、外來ノ諸種刺激ヲ遠ケテ意識領ノ興奮ヲ避ケルコトが必要デア。雜音、光線、惡臭、痛感、不快感、寒暑等ヲ避ケル。又此等ノ外來刺激ノ感受性ヲ低下セルタメニハ、諸種ノ睡眠劑 *Hypnotica*, *Schlafmittel*, 麻痺劑 *Anästhetica*, 鎮痛劑 *Analgetica*, 麻醉劑 *Narcotica* 等が必要デア。

就眠ノ惡キモノ、睡眠ノ淺クシテ中絶スルモノ、終始睡眠ノ障礙サルルモノ等ニ對スル對症療法ハ又自カラ異ナルモノデア。療法ノ條ヲ參照サレタイ。

生物ハ眠ラントスル時ニハ、筋働作ヲ最小限度ニナス體位ヲ取ルモノデア。又睡眠中ハ、筋肉ヲ弛緩シ、化學的機序モ低下シ、瓦斯代謝モ減少スル。心臟働作モ同様、即チ脈搏緩徐トナリ、呼吸數モ減少シ、深クナル。諸腺ノ分泌機轉モ減少スル。斯ク諸器管ノ働が睡眠中緩徐トナリ從ツテ頭蓋、脊髄管内壓力モ減ズル。臥位ハ又蓋シ腦・脊髄ヘノ血行、循環器、呼吸系等ノ睡眠中ノ機轉ニ對スル合目的性ノ本來ノ體位ト云ハザルヲ得ナイ。

腦ヘノ血液環流ノ増減ハ直接腦・脊髄ヲ、間接ニハ腦脊髄壓ヲ變化セシメテ、大脳ヘノ影響ヲ來シ、睡眠ヲモ障礙スルコトガアル。腦充血

ニ於テ之ヲ經驗シ(上衝 Kongestion), 腦貧血ニ於テモ亦吾々が屢々睡眠障礙ノ來ルノヲ經驗スル。

頭痛ハ又屢々睡眠ヲ障礙スル, 頭痛ハ他ノ外來刺戟ト共ニ大腦ヲ刺戟・興奮スル因子デアルト同時ニ大腦機能障礙ト屢々同一原因ニ基來スルコトが多い。(頭痛ノ條參照)。

精神感動 Affektion ハ屢々睡眠ヲ障礙スル, 感動自體が大體ノ所謂精神領ヲ興奮セシムル他, 自律神經系殊ニ其ノ交感神經系ニ興奮ヲ喚起シテ内臓, 血管等ニ其症狀ヲ現ハシ, 其等ニ基來スル刺戟ハ又益々コノ興奮ヲ大ニシテ睡眠ヲ困難ナラシムルモノデアアル。此ノ意味ニ於テノ氣分轉換ハ又睡眠補助ノ役ニ立ツモノデアアル。環境ノ變換モ亦同一目的ノモノデアアル, 神經衰弱, 「ヒステリー」, 神經疲勞症等神經系ノ刺戟性ニ富ンデ居ルモノニ對シテハ如上ノ注意が必要デアアル。尙睡眠ニ關スル事項ハ睡眠劑ノ條下ヲ參照サレタシ。

睡眠障礙ハ精神病ナラザルモノニハ大體上記諸種刺戟ニヨリテ起ルモノデアアルガ, 諸種精神病ニ於テハ何等ノ刺戟ヲ認メ得ズ, 唯發揚ト共ニ睡眠ノ障礙サレルモノガアル。不眠症, 夢遊病, 睡眠酩酊狀態等ハ精神病學ノ領域ニ於テ研究對象トナルモノデアアル。

不眠症ノ療法

原因除去ニ努メル。例ヘバ神經衰弱ヤ「ヒステリー」等ノ治療ヲナス。不規則ナ生活モ之ヲ改メネバナラス。就寢ヤ起臥ヲ規則正シクシテ, 日中ニ睡眠シナイヤウニスル精神的ノ興奮ヤ衝動ヲ避ケ, 就寢前食物ヲ攝取シタリ, 香辛料殊ニ「コーヒー」茶ナドヲ飲マヌ様ニスル。

就寢前ノ沐浴ヤ, 熱水浴, 全身ノ「マッサージ」, 輕イ室内運動等モヨイ。轉地デヨク睡眠出來ルヤウニナル人モアルガ, 今迄都會生活ニ馴レテキタ人ハ閑寂ナ地方ニ行ツタタメニ却ツテ反對ニ不眠症ニ襲ハレルコトガアル。海岸地方ニ轉地シタ人ハヨク波ノ音デ就眠出來ヌト云フ。

疼痛ニヨル不眠症ニハ此ノ疼痛ヲ除イテヤレバヨイ。例ヘバ「コムプラー」 Compural (Bayer) ノ 0.2-0.5 ヲ頓服サセルカ或ハ「グレラン」 0.5 ヲ頓服サセル。「プロムラール」 0.2, 「カルモチン」 0.2-0.5, 「アダリン」 0.1, 「プロバリシ」 0.2 ヲ伍用スルト尙効果ハ著シクナル。

藥物療法トシテ用フルモノハ主ニ「プローム」劑, 尿素誘導體デアアル。臨床上ニ用フル睡眠劑ハ大體三種ニ分ツコトが出来ル。

1. 就眠劑 Einschlafmittel

就床シテモ中々睡眠シ得ラレナイデ所謂「寢つきのわるい」人ニ用ラレシ寢ツイテ仕舞ヘバヨイワケデアアルカラ大量ノ溫湯ト共ニ服用サセル。「カルモチン」, 「プロバリシ」, 「アダリン」, 「プロムラール」等コレニ屬ス。

2. 持續睡眠劑 Dauerschlafmittel

寢ツキハ餘リ悪クナイガ, 熟睡スルコトが出来ナク, 夢バカリヲ見テキテ度々目覺メルヤウナ人ニ用フル藥劑デアアル。故ニ就眠劑ノ如ク吸收

モ排泄モ速カデハ工合が悪い。吸収ハ少シク悪クテモ排泄が悪ク長ク體內ニ残ツテキルモノガヨイ。

「ヴェロナール」, 「ズルフオナール」ガ此レニ屬ス。

3. 熟眠劑 Durchschlafmittel

A ト B ノ中間ニ位スルモノデアアル。

以上何レモ劇然タル區劃ガアルワケデナク, 用量, 用法ニヨツテソノ間ノ差違ハ除外シ得ル。又此等ノ藥劑ノ伍用ニヨツテ相互ノ副作用ヲ抑制シツ、効果ヲ増スコトが出来ル。

屢々睡眠劑ハ鎮痛劑ト伍用スル。疼痛性不眠ガ相當アルカラ, 此レハ適當ナ處置デアアル。手術後殊ニ開腹術後ノ不眠ハ疼痛ニヨルモノガ大部分デアアルカラ「パピナール・アトロピン」ヤ「アトモール」, 「ルミナール」ノ皮下注射ガ行ハレル。勿論心臟ノ狀態ヲ顧慮シテ行フベキデアアル。

「クロラール」屬ハ血壓ヲ下降サセルカラ注意ヲ要ス。「ズルフオナール」ヤ「トリオナール」ヲ連用スルト「ヘマトボルヒリン」尿ヲ起スカラ 2 週間以上ニ亘ツテ連用シナイ方がヨイ。又用ヒルトキハ「アルカリ」劑(重炭酸「ソーダ」等)ヲ伍用スル。

「ヒステリー」ノヤウナ疾患デハ藥物療法ヨリモ暗示等ノ方が奏効スルコトガアル。

不眠症ニ對スル處方例

(1) 處方	Rp.	
「アダリン」	0.5	Adalin 0.5
上記就寢時頓用		S. auf einmal z. n.

〔註〕「アダリン」ハ Bromdiaethylacetylcarbamid 覺醒後副作用(頭痛, 頭内騒々等)ナシト云フ。1 錠=0.5。

(2) 處方	Rp.	
「プロムラール」	0.5	Bromural 0.5
上記頓用		S. auf einmal z. n.

〔註〕邦製「プロムラール」ニ「ヒプロチン」, 「プロバリシ」, 「カルモチン」アリ。用量同一ナリ。

(3) 處方	Rp.	
「グレラン」	0.3	Grelan 0.3
「カルモチン」	0.2	Calmotin 0.2
上記頓用		S. auf einmal z. n.

(4) 處方	Rp.	
「カルモチン」	0.2	Calmotin 0.2
「ヴェロナール」	0.2	Veronal 0.2
上記頓用		S. auf einmal z. n.

〔註〕所謂熟眠劑トシテ使用ス。「ヴェロナール」ニハ蓄積作用ガアルカラ連用ハ不可デアアル。「メヂナール」 Medinal ハ「ヴェロナールナトリウム」ナル集成ヲ有スル。

(5) 處方	Rp.	
「ベラモン」	1 錠 (0.2)	Veramon 1 Pille (0.2)
上記頓用		S. auf einmal z. n.

〔註〕「ペラモン」ト同一集成ヲ有スル製品ニ「セダロン」Sedalon (三共) アリ。不眠症ノ他ニ頭痛、神經痛等ニモ用フ。

(6) 處方 Rp.
「ルミナール」 1—2 錠 Luminal 1—2 Tab.
上記頓服 S. auf einmal z. n.

〔註〕「ルミナール」ハ「ヴェロナール」ノ「フェニール」化合物。連用スレバ癲癇發作ヲ抑制スルモ、休藥スレバ再ビ發作ヲ發スルニ至ル。

(7) 處方 Rp.
「ファノドルム・カルチウム」 0.2 Phanodorm-Calcium 0.2
上記頓服 S. auf einmal z. n.

〔註〕「ファノドルム・カルチウム」(Bayer) ハ Cyclohexenyl-aethylbarbitursäures Calcium。「ファノドルム」ノ催眠鎮靜作用ハ「ルミナール」ト「ペロナール」ノ中間ニ位スルモ Ca ニヨリ強化サレ毒性ハ減ズルト云フ。H. Braun 氏ハ之ヲ直腸内ニ適用シテキル。即本劑 2.0 gr. ヲ「カカオ」脂 18.0 gr. ト混ジ主藥 10 個トナスノデア。之ヲ 1.5—2 時間毎ニ與フ。之ハ胃腸障礙、肝臟疾患ノアル時ニヨイト云フ。

熱

Febris, Fieber (n.), fever, fièvre

(發熱ト解熱 Fieberung u. Entfieberung)

1. 不變溫動物 (溫血動物) homoeotherme Tiere, homoeothermal animals.

體溫ハ外界ノ影響ヲ受ケズ大體一定デア。勿論僅カナ動搖ハアル。之ハ一方體內ニテ溫熱ヲ發生シ、他方體外ヘ放熱シテ温ノ平衡ヲ保ツカラデア。溫熱發生ト放散トハ一定ノ中樞(即チ中樞神經系ニ於ケル溫熱中樞 Wärmezentrum, heat centre) ニヨリ調節サレル。

2. 變溫動物(冷血動物) poikilotherme Tiere, poikilothermal animals.

下等動物ノ體溫ハ外圍ヨリ影響サレ色々ニ變化スル。之ヲ變溫動物ト云フ。

3. 溫熱ノ生成 Wärmeproduktion, production of heat.

溫熱ハ體組織ノ化學的變化殊ニ酸化 Oxydation ノ結果生ズルガ器官ニヨリ著シク違フ。熱源ハ主ニ筋、次ニ腺(殊ニ肝、腎)デアツテ、新陳代謝ノ盛ニナ筋、腺(殊ニ肝)デア盛ニ酸化が行ハレ 流血ニ溫度ヲ與ヘテ全身ニ熱ヲ分布スル。

體動時ニハ熱發生ガ 2 倍以上ニナリ、體溫ハ 1°C モ上昇スル事ガアルガハ骨筋が器械的ニ、化學的ニ酸化ヲ盛ニシテ溫熱ヲ生成スルカラニヨル。

攝食ニヨリ熱ハ上昇スル。燃燒物質ノ供給ノ他ニ消化、吸收等ガ一ツノ仕事デアラデア。

一般ニ小動物程體重ニ比シ多クノ熱ヲ生成スルシ、變溫動物デモ熱ヲ發生ス。

4. 溫熱ノ放散 Wärmeabgabe, loss of heat.

主ニ

(1) 傳導 Leitung, conduction, conducteur.

(2) 輻射 Strahlung, radiation, rayonnement, 對流 Konvektion.

(3) 蒸發 Verdunstung, evaporation, evaporation.

(a) 皮膚、粘膜等カラノ傳導、輻射、蒸發ニヨリ熱放散ノ割合ハ狀況ニヨリ色々デア。皮膚カラハ 70—80% ノ熱ガ失ハレル。

イ) 外圍ノ溫度力が高い時ハ蒸發ガ主トナル。即チ常ニ汗ガ蒸發シ

テ氣化熱 heat of evaporation トシテ熱ヲ奪ハレル。

ロ) 外圍ノ溫度ガ低イ時ハ傳導、輻射ガ主デアル。

(b) 外呼吸ニヨツテモ熱ヲ失フ。

(c) 排泄物(尿、尿)ヲ出スコトニヨリ一部ノ體溫ハ失ハレル。

(d) 皮下脂肪組織ヤ毛髮、被服ハ放熱ヲ妨グ。

5. 體溫ノ調節機轉(調整)

體溫調整ハ溫調節中樞ニヨリ主ニ反射的ニナサレル、之ニヨリ溫生成增加(筋運動等)、溫放散増減(寒冷等)時ニモ大體一定ノ溫度ヲ保ツ。

體溫調節ハ色々ノ器官(例ヘバ筋、血管、汗腺等)ニヨリナサレルカラ之ヲ統一スル中樞ガ考ヘラレル。此ノ中樞ハ大體ニ於テ 間腦(Zwischenhirn, middle brain, encéphale intermédiaire)ノ一部(底部ナリト云フ)ニアツテ 迷走及交感神經ノ自律神經中樞ニ隣接シテキルト云フ。

溫中樞、交感神經及迷走神經(抗交感神經)中樞ノ連絡ハ血管運動神經中樞及呼吸中樞ニ影響シ續イテ皮膚、汗腺等ニ作用シ溫ヲ調整スルト云フ。即チ

(イ) 化學的調節—溫熱生成ノ増減。

(ロ) 物理學的調節—溫熱放散ノ増減トニヨリ體溫ハ調整サレテキル。

(1) 化學的調節

主ニ體內酸化作用増進ニヨル。(即酸素ノ攝取、食慾亢進、運動慾亢盛等)。寒冷時骨骼筋ハ不隨意的ニ攣縮様ニ收縮(即戰慄 Schütteln, chill)シ、又起毛筋ハ收縮シテ鳥肌 Gänsehaut goose skin, chair de poule ヲ生ジ、溫ヲ生成ス。勿論體內ノ分解(酸化)作用モ強盛サル。

(2) 物理學的調節

寒冷時皮膚血管ハ反射的ニ收縮シ皮膚蒼白トナリ、(一部ハ寒冷刺戟ノ直接影響モアリ)輻射、傳導ニヨル放射熱ハ減ジ、溫血ノ皮膚ヘ灌注スル量モ少クナリ、汗腺ノ水分蒸發モ減ジ、呼吸緩漫、心搏動徐々トナリ體外表ノ流血量ヲ減ジ、無意識的ニ身體ヲ屈シテ外氣ニ觸レル體表面ヲ少クシテ熱ノ放散ヲ少クス。溫暖ニ會ヘバ之ニ反ス。

(a) 初生兒ニハ體溫調節能ガ不充分デアル。

(b) 下降セル血溫ハ上昇セル血溫ヨリモ更ニ體溫調節ニ影響スル。

(c) 體溫ヲ上昇サセ又下降サセル物質ガアル(或種ノ毒物)、「ホルモン」モ亦體溫調節ニ關係ガアル。

(d) 皮膚血管ガ擴張スレバ内臟血管ハ收縮ス。

(e) 汗ハ體內デ多量ノ熱ガ發シタ時ニハ分泌ガ促サレル。汗ノ分泌ヲシナイ動物デハ呼吸ガ速クナル。(夏期ノ犬)

(f) 體溫調節ハ外圍ガ 20°C 以上ノ時ニ最モヨク行ハレル。

發熱 Fiebern.

【定義】 體溫ノ病的昇騰狀態

體溫上昇ハ 溫ノ産出生成ト 放散ト差引勘定ニヨリ生ズルモノデアルガ、溫ノ生成ガ亢進、増強シテキルトコトガ多イ。

發熱ノ原因

溫調節中樞ノ異常 殊ニ其興奮ガ原因ナリト云フ。斯ク 溫中樞興奮ニヨリ生體ノ酸化機轉ヲ強盛セシメ、溫ノ生成ヲ多クシ、所謂「熱ノ狀態」ヲ喚起スルト考ヘルト同様ニ、學者ニヨツテハ 冷中樞 Kühlzentrum ノ存在ヲ考ヘ、兩者ノ拮抗作用ニヨリ溫ノ調節ガ平衡ヲ保タレテ居リ、冷中樞ノ麻痺モ亦發熱セシムルト云フ。又溫中樞ハ交感神經中樞ニ、冷中樞ハ反交感神經中樞ニ密接ナ關係ヲ有スト云ハレテキル。

溫熱中樞ヲ興奮セシムル物質(發熱性物質 pyogene Stoffe)

大體蛋白 Eiweiss, albumen, glair, glaïre, albumine, ト之ニ密接ナル關係アル特殊化學物質、即蛋白分解産物ノ如キモノガ考ヘラレテキル。又熱毒素 Pyotoxine トモ呼バレテキル。

熱ヲ伴フ場合

(1) 急性傳染病

病原菌ノ組織傷害 → 細胞破壊 → 分解産物ノ溫熱中樞興奮 → 發熱
菌自體(蛋白) →
菌ヨリノ「トキシン」 →

(2) 細菌感染ナキ發熱

無菌的創傷、出血等ノ如キ時、血球又ハ血小板崩壊時(白血病、重症貧血、血色素尿等)等ニテハ 蛋白分解産物が發熱性物質トナル。

發熱性物質ガ大量ナレバ虚脱 Collaps ヲ、少量ナラバ發熱ヲ起ス。(急性肺炎ヲ考慮ノ中ニ入レヨ)。

(3) 滲出液、瀘出液ノ吸收サレル場合(吸收熱 Resorptionsfieber)。

滲出性肋膜炎ノ經過中時々發熱ス。之ニ就テハ「アレルギー」Allergie トノ關係ガ又注目サレル。化膿ニヨル滲出液吸收、敗血症毒症、瀘出液吸收時ニモ發熱ス。何レモ蛋白質性物質ノ吸收ニヨルモノデアル。

(4) 蛋白質ノ非經口的投與(即注射)

刺戟療法 Reiztherapie, 血清療法 Serotherapie 等ヲナス時、發熱スルコトアリ。大量ノ注射ニヨリ時ニ虚脱ス。

(5) 交感神經刺戟劑

「コフェイン」、「コカイン」、「アドレナリン」等ノ注射。

(6) 副交感神經麻痺劑

「アトロピン」ノ注射

(7) 其他ノ化學的物質

食鹽、葡萄糖等ノ注射。何レモ化學的物質ガ直接溫熱中樞ヲ刺戟スルニヨル。

(8) 内分泌腺

バセドウ氏病 Morbus Basedowii, goiter, goitre exophthalmique ノ熱發ハ甲状腺「ホルモン」ガ溫熱中樞ニ直接作用スルタメデアルト云フ。

之ハ一定ノ「アミン」作用デアツテ中樞ヲ興奮シ生體ノ酸化機轉ヲ強盛ニスルタメデアル。

近時熱「ホルモン」ハ甲状腺 thyroid gland ニ關係シ、冷「ホルモン」ハ腺髓ニ關係スルト云フ。

(9) 其他

尿道「ブージー」挿入(尿道熱), 始メテノ演説(演壇熱), 始メテ戰場ニ出デタル兵士ノ熱(新兵熱)等。

〔註〕(1) 高等動物ガ恒温性デア事ハ, 活動ニ對シテ重要ナ意義ガアル, 然シ生體各部ノ溫度ハ部位ニヨリ不定デアル。

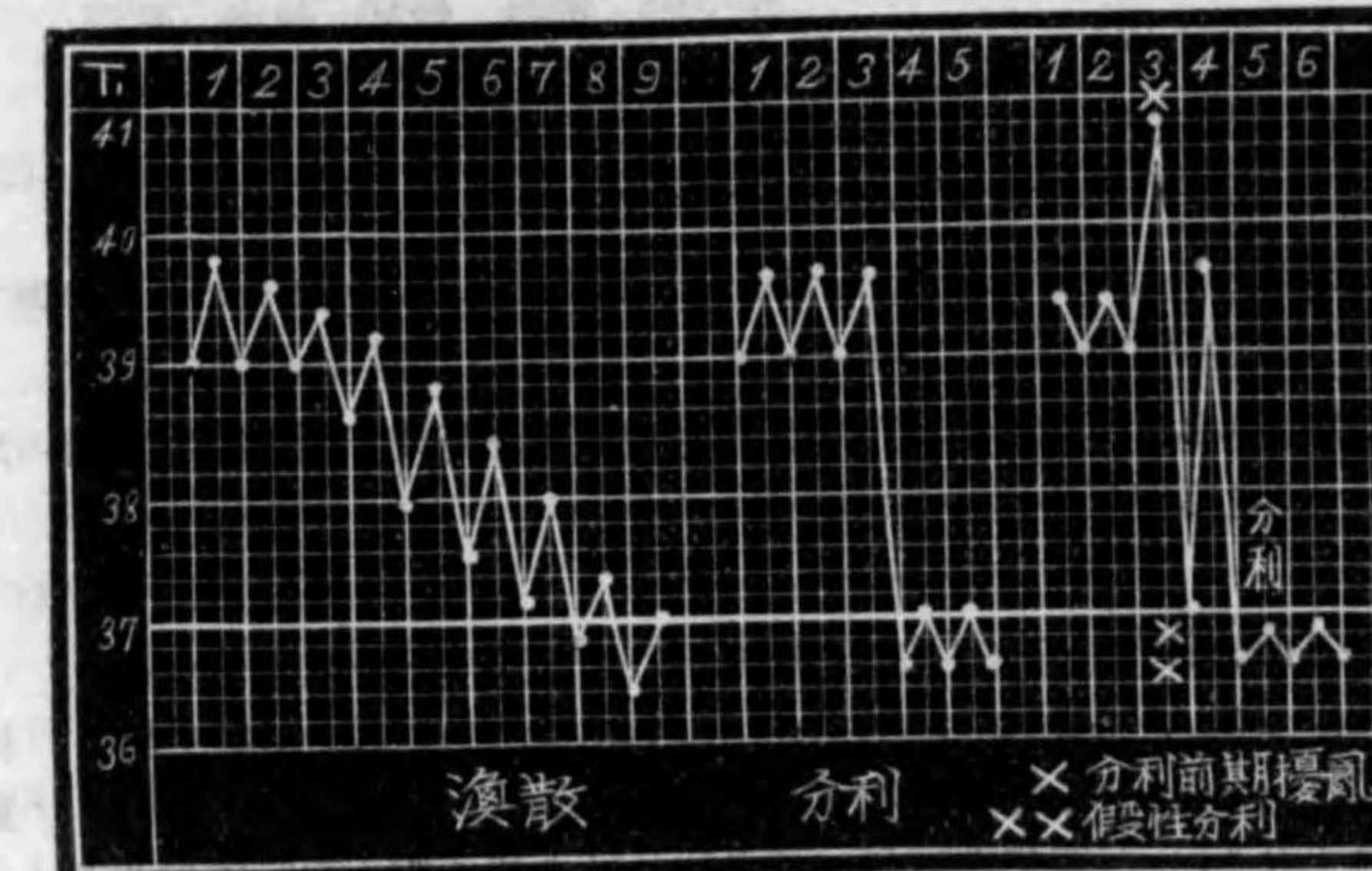
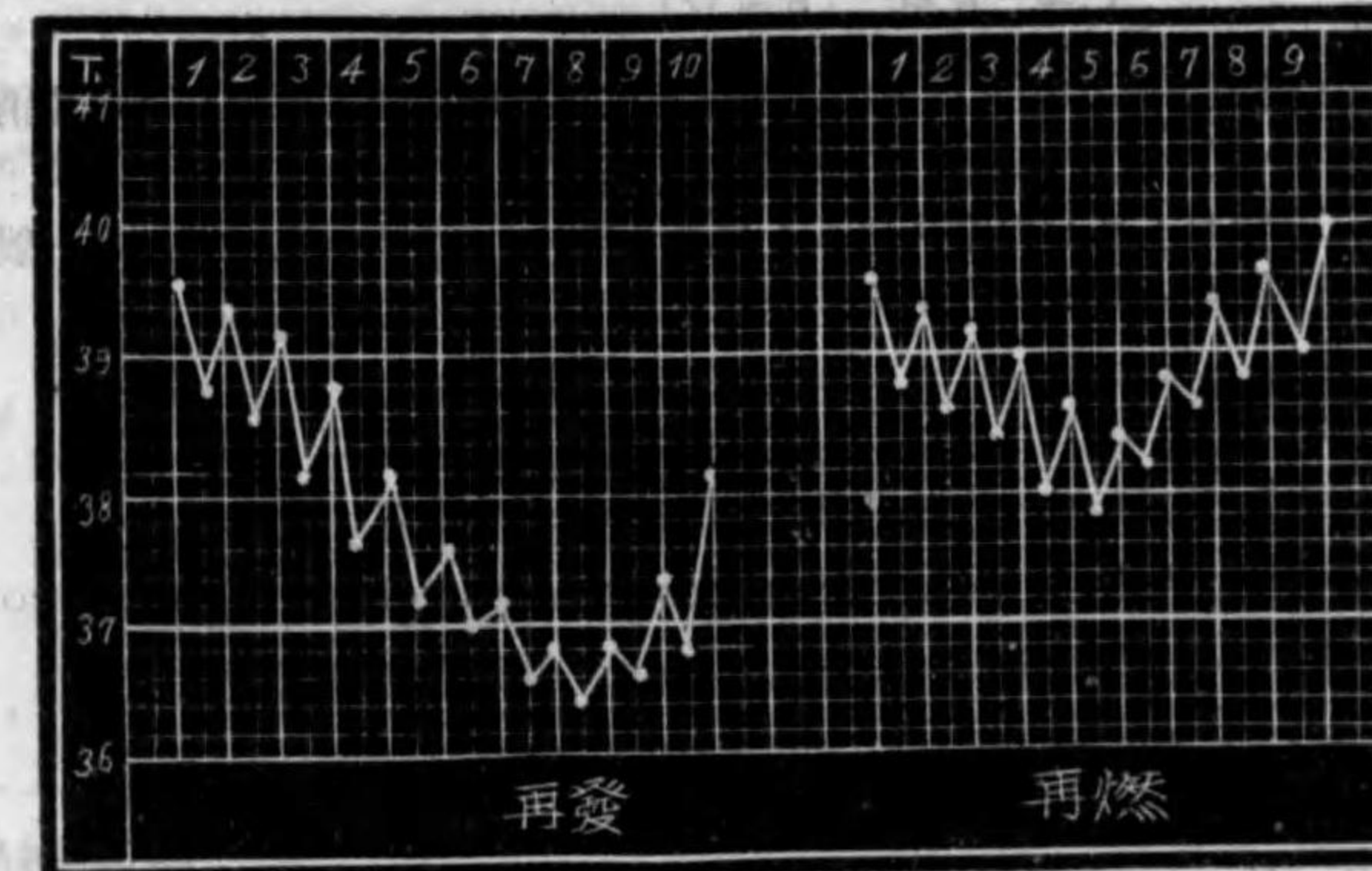
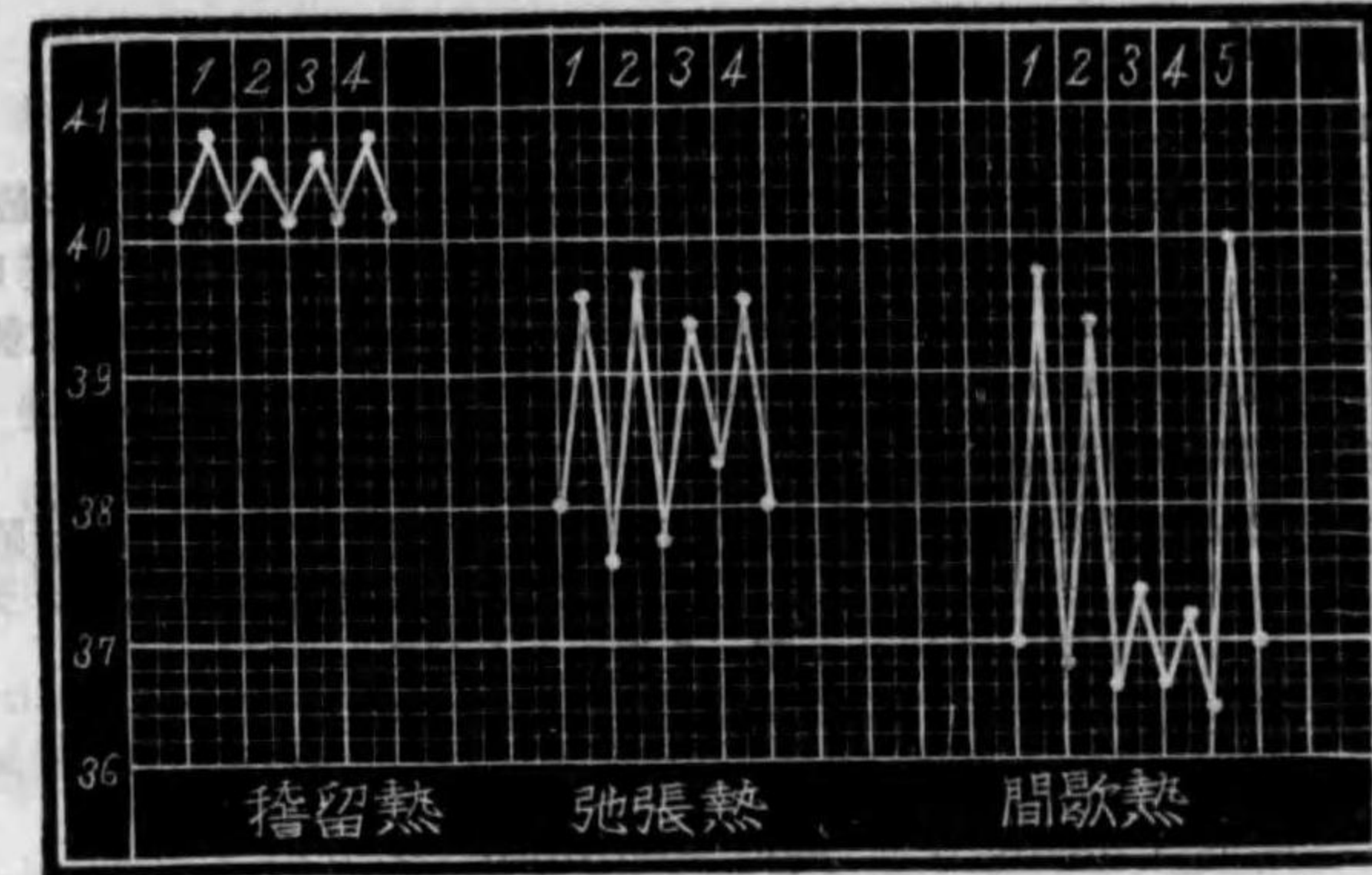
(2) 溫熱ハ中樞ニ關係ナク末梢性ニモ起リ得ルト云フ。即チ發熱中ハ體內ノ燃燒機轉ガ充進シ, 分解機轉モ正常ト異ナル, 有熱時ノ尿ニハ正常時ニ見ラレヌ「アルブモゼ」, 「ペプトン」, 「アセトン」等ヲ含ム。此ノ體細胞ノ崩壊分解ハ中樞興奮性熱ニヨル二次的現象デアルガ, 之ガ原發性ニ來得ル場合ガアルト考ヘル學者ガアル。

何レニスルモ有熱時ノ臟器蛋白質分解充進ハ事實デアル, 其結果「アチドージス」ヲ來シ心臟衰弱, 諸臟器變性ヲ招來ス。故ニ體蛋白質分解抑制作用アル解熱劑(「ヒニン」等)ノ投與ハ治療上又意義ガアル。

(3) 體温ト生活現象トハ或程度迄平行ス。

熱ノ分類

- (1) 微熱 subfebrile Temperatur.
37.0°C—38.0°C ノ有熱狀態
- (2) 輕熱 leichtes Fieber.
38.0°C—38.5°C
- (3) 中等熱 mässiges Fieber.
38.5°C—39.5°C
- (4) 高熱 beträchtliches Fieber, od. hohes F.
39.5°C—40.5°C
- (5) 甚高熱 sehr hohes Fieber.
40.5°C 以上
- (6) 過熱 hyperpyretisches Fieber.
41.5°C 以上
- (7) 弛張 Remission.
熱ノ動搖ノ甚シキ時ヲ云フ。
- (8) 増進 Exacerbation.
熱ノ急劇上昇。
- (9) 逆型 Typus inversus.
肺結核ニヨク見ル。
朝ニ熱ガ高ク, 夕方ニ下ルモノヲ云フ。一般ニ熱ハ夕方ニ昇ルモノデアル。



正常體温

- (1) 36.4°C—36.8°C (大人, 腋窩)
- (2) 朝ハ低ク (特ニ午前 3—6 時迄) 夕方 (午後 6—7 時) ニ最高. ソノ動搖ハ 0.3—0.5 度. 之ハ筋勞働, 食物ニ關係アリ. 晝ト夜ノ生活様式 Lebensweise, mode of life ヲ變ヘルト, 大體體温モ逆ニナル.
- (3) 體温測定部位
通常ニ腋窩, 特ニ精確ヲ要スル時ニハ口腔又ハ肛門. (但シ腋窩ヨリ 0.5—1.0°C 位高シ. 之ハ腋窩ヨリノ温放散量が多イカラニヨル). 兩者ニ平行スル體ニテ測ルコトガアル.
測定前ニハ食事, 過動, 興奮ヲサケル.
- (4) 檢温器 Thermometer.
攝氏 Celsius (C), 列氏 Réaumur (R),
華氏 Fahrenheit (F) ノ三様ヲ用フ.
$$C = \frac{5}{9}R = \frac{5}{9}(F - 32)$$
- (5) 體温下降が程度以上ニナルト高位ノ神經中樞が麻痺シテ意識消失シ更ニ延髓ヲ麻痺スレバ生命ノ危險アリ.
- (6) 體温上昇が程度ヲ超スト意識ヲ失フ. (高度ノ火傷等). 一般ニ低温ノ方が耐ハ易イ.

熱型

【注意】 T.D. = 一日中ノ熱ノ動搖 即朝夕ノ體温ノ差.

- (1) 稽留熱 Febris continua, kontinuierliches Fieber, continued fever.
T.D. < 1.0°C.
〔註〕 發熱要約ノ持續ニヨル.
 - (2) 弛張熱 Febris remittens, remittierendes Fieber, remittent f.
T.D. > 1.0°C
〔註〕 結核デハ本熱型ガ永續シ患者ヲ衰弱セシム.
(消耗熱 Hektisches Fieber)
 - (3) 間歇熱 Febris intermittens, intermittierendes Fieber, intermittent f. or ague.
間歇的熱襲來, 熱曲線ハ有熱又高熱時ト無熱時或ハ微熱時ト交替ニ來タル. 發熱要約ガ間歇的ニ加ハルニヨル.
3. 熱ノ經過 Fieberverlauf, course of fever.
- (1) 一般ニ熱ハ増進期 Stadium incrementi, (多ク惡寒ヲ伴フ) 極期 Fastigium 之レニ次ギ 減退期 Stadium decrementi ノ經過ヲ取ル. 勿論熱性病デハ減退期ヲ攝ラズニ死ノ轉歸ヲ取ルモノガアル.

- (2) 渙散 Lysis, Lyse.
熱ノ徐々ニ下降シテ平温ニ復スル場合.
- (3) 分利 Crisis, Krise.
熱ノ急激ニ下降シテ平温又ハ其以下ニナル場合 (例ヘバ急性肺炎).
- (4) 虚脱熱 Kollapstemperatur.
體温ガ 36°C 以下ニナル場合.
發熱物質ガ當相量ナル時温熱中樞ヲ刺戟興奮シ熱發セシムルガ, 更ニ發熱物質ガ多量トナレバ中樞ハ却ツテ麻痺シテ體温ヲ正常以下ニスル. ソノ結果虚脱熱ヲ呈ス. ヲツテ虚脱熱ハ又有熱状態ノ無熱現象 Fieberzustände ohne Temperatursteigerung トモ云ヒ, 生體ノ反應ガ減退消失シ豫後ノ驗照ナルトキニ見ラル.
- (5) 惡寒戰慄 Schüttelfrost, rigor.
體温ガ急ニ上昇スルニ先ダチ患者ハ「ゾクゾク」スルト云ヒ, (frösteln) 又骨筋ノ縮縮様收縮ニヨリ「ガタガタ」慄ヘル, 即チ戰慄, 關牙ヲナス. 同時ニ皮膚血管ハ收縮シテ蒼白トナルコトガ多イ. 之ハ斯クノ如キ行作ニヨリ温ノ放散ヲ減ジ, 温ノ產出ヲ増加シ, ソノ結果急ニ體温ガ上昇スルタメナリ.
- (6) 惡寒戰慄ヲ伴フ疾患
 - i 初期ニ來ルモノ
急性肺炎, 丹毒, 「インフルエンザ」等ノ急性熱性病等.
「マラリマ」デハ熱發ニ先行シ間歇的ニ正シク襲來ス.
 - ii 間歇期ノ不規則ナモノ
膿毒症, 深在性膿瘍, 心内膜炎等.
此等デハ解熱劑ノ作用ガ失ハレル頃ニモ亦惡寒又ハ惡寒戰慄ヲ發スル事アリ.

熱性徴候

- (1) 神經症狀
頭痛, 疲勞, 眩暈, 昏睡, 譫妄等.
高熱時ニハ重篤トナル事ガ多イ.
- (2) 循環系症狀
心動作亢進. 脈搏弱ク, 軟小, 毛細管ノ緊張ハ低下シ, 時ニハ血壓下降ス.
脈搏ハ體温 1 度上昇ニ伴ヒ 1 分間 10—12 回宛ソノ數ヲ増ス.
- (3) 呼吸器症狀
呼吸頻數 Tachypnoe, 時ニハ呼吸困難 Dyspnoe.
- (4) 消化器症狀
食慾不振, 煩渴, 便秘, 嘔吐, 舌苔 Zungenbelag, coated tongue, enduit de la langue 等.
- (5) 泌尿器症狀
尿量減少, 熱性尿 Fieberharn (濃厚, 色素ニ富ム), 時ニ熱性蛋白尿 febrile Albuminurie, 異常蛋白トシテ「アルブモーゼ」, 「ペプトン」

等ヲ證スルコトアリ。尿中ニ有機酸（例ヘバ「アセトン」）ヲ排出スル時ハ體內ノ豫備「アルカリ」ハ減ジ所謂「アチドージス」Acidosisヲ起シテ生命ヲ脅カスコトアリ。

(6) 血液ノ變化

白血球增多症 Leukozytose, 核ノ左方推移, Kernverschiebung nach links. 赤血球沈降速度ノ促進等。

「エオジン」嗜好細胞ガ出現スレバ其疾患ノ豫後ハ良好。

白血球減少, 幼若白血球減少, 沈降速度ノ著シキ促進ハ共ニ豫後不良。

〔註〕 熱發ト血球沈降反應 Blutsenkungsreaktion, blood sedimentation.

(イ) 正常時赤血球ハ陰性ニ荷電サレ血漿中デハ相互ニ反撥シ浮游 suspendieren ス。

(ロ) 熱發時體內酸化（燃燒）機轉旺盛トナリ, 分解産物ハ血中ニ入り陽性ニ荷電サル。兩者ハ中和シ赤血球 Erythrozyten, rote Blutzellen, erythrocytes, red cells ハ自己ノ重量ニヨリ沈降ス。

(ハ) 「デアツオ」反應ガ陰性デモ赤血球ノ沈降速度ガ大ナル時ハ尙痛變ノ進行セルヲ示ス。

高熱ノ危険

- (1) 恒温動物ハ正常體溫ヨリ約 6°C ダケ上昇スルトキハ死亡スルト云フ。
- (2) 高熱ニヨリ最モ容易ニ侵サレルモノハ中樞神經系デアル。
- (3) 體溫ノ昇騰ガ永續スル時ハ實質性臟器 parenchymatöse Organe 殊ニ肝, 腎, 心, 骨筋等ノ蛋白ヲ分解シ, 脂肪變性ヲ起サセル。熱ノ原因タル物質ガ中樞神經, 心, 肝, 腎, 血管等ニ直接作用シ昏睡, 心臓麻痺, 腎炎, 血管麻痺等ヲ起スコトガアル。

熱ノ臨床的意義

- (1) 熱ハ疾病治療上必要ナモノデ, 發熱ハ發熱性物質ニ對スル生體反應 vitale Reaktion デアル。謂ハバ生體保持ニ對スル防禦現象デ, 熱ニヨリ抗菌性解毒素 antibakterielle Gegenstoffe 殊ニ白血球增多症ヲ起シテ治癒機轉ヲ促進セシム。
- (2) 實驗的ニ熱發ハ傳染性疾患ヲ良好ナラシメ, 抗體, 白血球ノ機能ヲ喚起スル事ガ證明サレテキル。故ニ熱ハ必ズシモ之ヲ緩解ス可キデハナイ。
- (3) 急性熱性傳染病ノ熱ハ甚ダ高クナイ限り, 之ヲ無闇ニ下ゲ又ハ抑壓シテ自然治癒機轉ヲ妨害シテハイケナイ。正常血溫以上デハ病原菌ノ生活力ハ殺滅サレルカラデアル。例ヘバ慢性淋病患者ハ急性肺炎, 「マラリア」等ニ罹ツテ治癒スル事ガアル。

急性熱ト慢性熱

- (1) 急性熱—急性ノ經過ヲ取ルモノ。

〔例〕 急性熱性傳染病。

- (2) 慢性熱—慢性ノ經過ヲ取ルモノ。

〔例〕 結核急性熱ガ餘リ甚シクナク 生命ノ危険ノナイ時ニハ之ヲ無理ニ防壓スベキデハナイ。然シ 40°C 以上ニモナレバ熱自身ニヨル危険ガアルカラ解熱劑ヲ用フ可キデアル。

結核ノ慢性熱殊ニ間歇性ノモノハ 病竈融解ニヨル破壊産物ノ吸收ノタメソノ都度ニ熱發スルノデアルカラ 急性傳染病ノ熱ト多少異ナリ, 患者ノ苦痛ト瘦削ヲ増スカラ解熱劑ヲ用フ。之ニヨリ患者ハ爽快トナリ 食慾其他ニモ好影響ヲ及ボシ體力ノ恢復ヲ招來スル。

一般ニ結核デハ 病竈ノ炎症ニ對スル防禦的意義ヨリ患者ノ主訴ヲ増ス方ガ多く, 徒ラニ衰弱ニ導クカラ 解熱方針ヲ樹テタ方ガヨイ。

解熱（下熱）

熱緩解=解熱

發熱性物質ガナクナレバ解熱スルワケデアルガ, 自然ニ發熱要約ガ軽減, 緩解, 消失シテ解熱サレル事モアル。

高熱ガ持續スルト生命ノ危険ニ曝サレル事ガアルカラ斯カル際ニハ解熱ノ手段ヲ講ズ。

解熱ノ理想的, 根本的方法ハ發熱要約ヲ緩解, 除去スル事デアルガ, 極少數ノ場合ヲ除イテハ實施シ難イ。例ヘバ「マラリア」ニ對スル「ヒニン」ノ解熱作用ハ 抗病原體性ノ原因療法ニヨルモノデアル。「レウマチス」ニ對スル「サリチール」酸モ 之ニ同ジデアル。他ノ有熱狀態デハ對症的ニ過ギナイ。即チ溫熱ノ發生ヲ抑制シ, 溫熱ノ放散ヲ大ニシテ温ノ蓄積ヲ避ケルヤウニ努メル。

熱ノ療法

- (A) 安靜臥床, 氷嚢, 氷枕, 冷濕布等ノ物理療法。
- (B) 藥物療法（解熱劑ノ項參照）
解熱劑ハ好ンデ用ヒラル。

解熱劑

A. 適應

- (a) 高熱ニヨリ生命ノ危険アル時 (39° — 40°C 以上)
- (b) 特效藥トシテ（「キニーネ」, 「サリチール」酸劑）
- (c) 鎮痛, 鎮靜（シュミーデベルヒ氏熱麻酔劑 Fiebernarkotika）
- (d) 臟器蛋白質分解制限
- (e) 非特異性汎細胞抵抗力増進 unspezifische omnizelluläre Resistenzsteigerung。

B. 解熱劑使用上ノ注意

- (a) 解熱劑ハ種々ノモノヲ配伍スレバ副作用ヲ減ジ作用ヲ強クスル。

- (b) 中樞神經鎮靜劑、麻醉劑モ解熱作用アリ。温中樞ヲ鎮靜スルカラデアアル。
- (c) 「カルボール」誘導體 Carbolterivate ヲ大量用フルト發汗甚シク時ニ虛脱ス。又腎刺戟(蛋白尿、血尿)、弱視、重聽等ヲ來タス。大量又長連用ニハ注意。
- (d) 「アニリン」誘導體 Anilinderivate ハ「ヘモグロビン」ヲ「メトヘモグロビン」ニスル。甚シキ時ハ貧血ヲ起シ時ニハ臟器ニ脂肪變性ヲ來タスカラ、之モ大量又ハ連用スル事ハ注意。
- (e) 「ピラツオロン」誘導體 Pyrazalonderivate ハ發疹ヲ生ズルコトアリ(特異質)故ニ少量ヨリ初メ經過ヲ見ル。
- (f) 心臟衰弱者ニハ豫メ強心劑ヲ與ヘテ皮膚血行ヲヨクシテオイタ方がヨク奏效スル。心力恢復スレバヨク利尿サレ、發熱性物質ヲ早く體外ニ出ス。

C. 解熱劑ノ作用

- (a) 「ヒノリン」劑 Chinolinderivate.
 - (1) 代謝抑制 → 末梢性温生成抑制 → 緩徐ナル解熱
 - (2) 「マラリア・プラスモヂウム」ニ對スル特效劑
- (b) 「カルボール」誘導體、「ピラツオロン」誘導體、「フェネチデン」誘導體 Phenetidinderivate、「アニリン」誘導體ハ何レモ温放散ニヨリ解熱ス。

[註] 「ヒニン」ノ下熱作用ハ過熱セル室内ノ暖爐ノ消火ニ比スベク「アンチピリン」ノ下熱作用ハ窓戸ノ開效ニ比スベシ。(パウルソン氏 Poulsson).

解熱劑ノ分類、藥理等ニ就キテハ對症藥劑ノ項是非参照セラレタシ。

發熱ニ對スル處方例

- (1) 處方 Rp.

「ピラミドン」	0.2	Pyramidon	0.2
「アスピリン」	0.8	Aspirin	0.8
上記 1 日 3 回食間ニ分服		D.S. auf 3×tägl. zw. d.E.	
- (2) 處方(結核) Rp.

「クリオゲニン」	0.6	Kryogenine	0.6
「ピラミドン」	0.3	Pyramidon	0.3
上記 1 日 3 回食間ニ分服		D.S. auf 3×tägl. zw. d.E. z.n.	

[註] 「クリオゲニン」ハ「アニリン」誘導體、全身浮腫、貧血、腎變性ヲ起スコトアリ。

【用量、用法】 初メ 1 日 1.0 次第ニ減量。
1 回 0.2—0.5; 1 日 0.75—1.5.
- (3) 處方(結核) Rp.

「ピラミドン」	0.1	Pyramidon	0.1
上記 1 日數回		D.S. auf mehrmals tägl.	

[註] 結核熱ニ對シ本處方ノ如ク熱ニ緩和ナ作用ヲ與ヘテ患者ノ氣分ガ非常ニヨクナルコトガアル。(ゴールドシヤイデル)

- (4) 處方(尿路性發熱) Rp.

「ボロベルチン」	3.0	Borovertin	3.0
上記 1 日 3 回ニ分服		S. 3×tägl. z.n.	
- (5) 處方(尿路性發熱) Rp.

「ザロール」	1.0—1.5	Salol	1.0—1.5
上記 1 日 3 回ニ分服		S. 3×tägl. z.n.	

[註] (4) (5) 共ニ尿路殺菌性ニ作用ス云ハバ對病原處方療治デアアル。
- (6) 處方 Rp.

「アンチピリン」	1.0	Antipyrin	1.0
上記 1 日 3 回ニ分服		D.S. auf 3×tägl. z.n.	
- (7) 處方(結核) Rp.

「ノヴァルギン」	1.5	Novalgin	1.5
上記 1 日 3 回ニ分服		D.S. auf 3×tägl. z.n.	

[註] 「ノヴァルギン」(ヘキスト) ハ「フェニール・ヂメチール・ピラツオロン・メチール・アミド・メタン・ズルフオン」酸「ソーダ」、副作用ナク皮下、筋肉内、靜脈内注射ニモ用ヒラル。
- (8) 處方(結核熱) Rp.

「アンチピレチン」	1.0	Antipyretin	1.0
上記 1 日 3 回ニ分服		S. auf 3×tägl. z.n.	

[註] 「アンチピレチン」(鹽野義)ハ「ノヴァルギン」ト同一成分ノ邦産、「ノブポン」モ同一製品。
- (9) 處方 Rp.

「オイヒニン」錠 (0.5) 20 個		Tabl. Euchnin (0.5) no. XX	
上記 1 日 3 回 1 錠宛服用		S. 3×tägl. 1 Tablette.	
- (10) 處方(結核) Rp.

炭酸「グアヤコール」	0.8	Guaj. Carbonic.	0.8
次亜磷酸「カルチウム」	1.0	Calc. hypophosphor.	1.0
「ピラミドン」	0.3	Pyramidon	0.3
「ヂアスターゼ」	0.6	Diastase	0.6
「ゲンチアナ」根末	0.3	Pulv. Rad. Gent.	0.3
上記 1 日 3 回分服		D.S. auf 3×tägl. z.n.	
- (11) 處方 Rp.

「フェナセチン」	0.3	Phenacetini	0.3
上記等量 10 包ヲ與ヘ		D.t.d. no. X.	
1 日 1—3 回 1 包宛		S. 1—3×tägl. 1 Pulv. z.n.	
- (12) 處方 Rp.

「チオコール」	1.0	Thiocol	1.0
「エルボン」	2.0	Elbon	2.0
「タカ・ヂアスターゼ」	0.3	Taka-diastase	0.3
「ゲンチアナ」根末	0.3	Pulv. Rad. Gent.	0.3
上記 1 日 3 回分服		D.S. 3×tägl. z.n.	

(13) 處方 (「レウマチス」, 肋膜炎) Rp.
 「サリチール」酸「ナトリウム」 3.0 Natr. salicylici 3.0
 重炭酸「ソーダ」 2.0 Natr. bicarb. 2.0
 「メンタ」水 8.0 Aq. Menthae 8.0
 淨水 100.0 Aq. 100.0
 上記 1 日 3 回毎食後分服 D.S. auf 3×tägl. n.d.E.
 z.n.

(14) 處方 Rp.
 「ラクトフェニン」 1.0 Lactophenin 1.0
 「ノバスピリン」 0.5 Novaspirin 0.5
 上記 1 日 3 回ニ分服 D.S. auf 3×tägl. z.n.

〔註〕「ラクトフェニン」ニハ鎮靜、鎮痛作用モアリ、「フェネチジン」誘導體、「ノバスピリン」ハ胃刺戟症狀少ナク、慢性症ニ用フ。

(15) 處方 Rp.
 鹽酸「キニーネ」 0.05 Chinin. hydrochlor. 0.05
 丸劑塊 適宜 Mass. pil. q.s.
 混和丸トナス S. 3×tägl. 2—6 Pillen zw.
 1 日 3 回 2—6 丸宛食間服用 d.E.

(16) 處方 (「マラリア」熱) Rp.
 鹽酸「ヒニン」 0.8—1.0 Chinin. hydrochlor. 0.8—1.0
 上記發作前 5—8 時間ニ頓用 S. 5—8 h. vor dem Anfall z.n.

〔註〕「マラリア」熱ニ對スル「キニーネ」投與法トシテ上記ノ量ヲ發作前 5—8 時間ニ與ヘタ後ハ 0.5 ヲ 1 日 2—3 回數日間投與スル (成人)

(1) 發作ヲ考ヘズ毎日 0.2 宛 5 回ノ割ニ 7 日間連用。3 日間中止。後「キニーネ」2 日間、4 日間中止。次第ニ間隔ヲ 7 日間迄ニ達スレバ中止シタ後再び 2 日間「キニーネ」内服 (Nocht 氏)

(2) 「キニーネ」ノ内用ガ不可能ナ時ハ灌腸藥トシテ與ヘ又筋肉内注射ヲ行フ。(鹽酸「キニーネ」0.5) 重症デハ靜脈内注射 (Bacelli 氏)

(3) 豫防ニハ 1 日 1 回 夕食前 0.2—0.3 ヲ丸劑トシテ服用。又 1 日鹽規 0.2 ヲ 5 日間ノ間歇ニテ 2 日續ケテ與フ。之ハ「マラリア」危險時ヲ通ジ且傳染地方ヲ去リタル後 2 ヶ月間。

(4) 意識濁濁、嘔吐等アル時ハ鹽規 10.0、「アミール・ウレタン」5.0、滅菌水 18.0 ヲ 1.5 宛宛毎日 2 回臂筋内注射 7 日持長 (Giemsas 氏)

(5) 「プラズモヒン」Plasmochin (0.05—0.15, 1 日量數回分服) ヲ 5—7 日間連用、4—5 日中止、又續行シ後 3 日目毎ニ服用 4—6 週ニ及ブ。(Mählens 氏)
 「エテル」炭酸「キニーネ」、「ヒンコニテイン」、「メチレン」青ハ「キニーネ」程ニ効ナシト云フ。

(6) 「メチレン」青 0.2—0.3 (「カプセル」人) ヲ 1 日 5 回ニ分

服、又ハ 0.1 ヲ「オブラート」ニ包ミ發作時頓服 (エールリツヒ及グットマン)。「キニーネ」ニ耐ヘヌ時ハ本法ヲ試ム。
 (7) 「ヒニン・サルヴルサン」療法ハ卓効アリ。3 日熱デハ 0.45「ネオ・サルヴルサン」ノ靜脈内注射後 5 日間ヲ隔テノホト氏「キニーネ」療法ヲナス (Biedl 氏)。之ハ熱帶「マラリア」及「ヒニン」ニ抵抗スル原蟲ニヨシ。方法ハ色々アリ。

(17) 處方 (「インフルエンザ」, 肺炎, 敗血症等) Rp.
 「オムナジン」 (2cc) 1 筒 Omnadin (2cc) 1 amp.
 上記筋肉内注射料 S. zur intramusk. Inj.
 〔註〕「オムナジン」(カレー)ハ Prof. Dr. Much 氏創製。所謂ムツフ氏三大反應族ト稱セラル。

- 1) 非病原性分芽菌ノ新陳代謝產物ヨリ成ル免疫能働性蛋白體。
- 2) 免疫能働性膽汁「リボイド」
- 3) 免疫能働性動物脂肪體ヲ含有ス。非特異的ニ細胞原形質ヲ賦活シ網狀織内被細胞系統ヲ刺戟シ「アンチゲン」ノ作用ヲナス。「アンギーナ」、腎盂炎、産褥熱、「レウマチス」等ニ用フ。「エルスチン」(武田)ハ類似品デアル。

(18) 處方 (「チフテリー」) Rp.
 液體「チフテリー」血清 Serii antidiphtherici liq.
 3000—5000 單位 3000—5000 E.
 上記筋肉内注射料 S. zur intramusk. Inj.

〔註〕「チフテリー」血清ニハ直接解熱作用ナキモ、對病原性ニ間接的ニ解熱ノ效ヲ奏ス。

(19) 處方 (「インフルエンザ」, 頭痛, 神經痛「レウマチス」) Rp.
 「アンチピリン」 2.0 Antipyrin 2.0
 「コフエイン」 1.0 Coffein 1.0
 上記 爲 10 包 divide into 10 doses.
 每 30—60 分ニ 1 包宛奏效スル迄又ハ 6 包ヲ服用 S. one every 30—60 minutes until relieved or six doses are taken.

(20) 處方 (腎盂炎, 膀胱「カタル」) Rp.
 「ヘサチラミン」 (5cc) 1 筒 Hesaciramin (5cc) 1 Amp.
 上記靜脈内注射料 S. zur intraven. Inj.

〔註〕「ヘサチラミン」(ラヂウム)ハ「ヘキサメリチレン・テトラミン」溶液、尿路消毒劑。

(21) 處方 (神經痛) Rp.
 「フェナセチン」 0.6 Phenacetin 0.6
 「クエン」酸「カフエイン」 0.3 Citrated caffein 0.3
 乳糖 1.5 Sugar of milk 1.5
 上記 爲 10 包 Divide into 10 powders,
 每 2 時間疼痛アレバ 1 包宛服用 Give, 1 powder every 2 hours while the pain exists.

出血

Haemorrhagia; Hämorrhagie (f.) Blutung (f.)
hemorrhage, bleeding; hemorrhagic.

出血

心臓又ハ血管外ニ血液球ニ赤血球 Erythrozyten, rote Blutzellen; erythrocytes, red cells; globules rouges, hématies ノ脱出 (escape of blood esp. red cells from the heart or vessels) セル状態ヲ出血ト呼ブ。

血漿, 纖維素, 白血球 globules blancs; leucocytes ノミノ脱出デハ出血ト呼バナイ, 此ノ脱出機轉ヲ血液血管外裂出 Extravasation ト云ヒ, 脱出シタ血液ヲ血管外裂出物 Extravasat ト云フ。

出血ノ分類

A. 生成ニヨリ

① 破綻性出血 Haemorrhagia per rhexin (rhexin ハ破綻 Zer-reissung ヲ意味ス)

比較的大ナル血管ノ連続離断 Kontinuitäts-trennung ニ依ル出血。

(a) 外傷性出血 traumatische Blutung, traumatic bleeding. 之ヲ開放出血ト皮下出血ニ分ツ。切創, 刺創, 銃創, 挫創等ハ之ニ屬ス。

(b) 血管壁ノ變化。

血壓充進アレバ更ニ破綻シ易イ。(動脈硬化症, 等)

i 動脈硬化症, 動脈瘤 (脈管微毒)。

ii 血管壁ニ周圍組織ノ破壊機轉ガ侵蝕シテ來タ場合。

例ヘバ化膿, 結核性破壊機轉, 胃潰瘍, 腫瘍組織ノ潰滅, 白血病ニ於ケル血液壁内白血球浸潤, 内因及外因性毒物等 (侵蝕性出血 Haemorrhagia per diabrosin (diabrosin ハ侵蝕 Ätzung ヲ意味ス)。

② 滲出性出血

菲薄血管壁内皮細胞間ニ存スル間質 Stomata (Arnold 氏) ノ擴大セル部分ヨリ赤血球ノ脱出スルニヨル。コノ出血ニ關與スルモノハ 1) 血液充盈 2) 血壓充進 3) 血液脱出防止機轉アル血管壁ノ性状變化等デアル。此ノ出血ハ通常少量デアルガ時ニ廣汎性ニ出血ス。

B. 出血ノ様式部位等ニヨリ

I. 外傷性出血

(a) 開放出血 offene Blutung.

(1) 原因ニヨル分類

- | | |
|--------|----------|
| i 切創 | ii 刺創 |
| iii 挫創 | iv 搔創 |
| v 咬創 | vi 縛創 |
| vii 轆創 | viii 器械創 |
| xi 銃創 | x 彈片創 |

(2) 動機ニヨリ

- i 手術創
- ii 災害創(怪我)

(3) 程度ニヨリ

- i 單純創一皮膚ノミノ損傷
- ii 複雑創一筋, 神經, 大血管, 骨, 關節, 内臓等ノ共ニ損傷セラレタモノ。

(4) 細菌感染ノ有無ニヨリ

- i 傳染創
- ii 清淨創

(5) 新舊ニヨリ

- i 新鮮創
- ii 化膿創
- iii 肉芽創

(6) 鑄形ニヨリ

- i 鑄狀創
- ii 組織缺損創
- iii 剝皮創
- iv 切斷創

(b) 皮下出血 subkutane B.; subcutaneous bleeding.

主ニ毛細管 Kapillaren, capillaries 及ビ表在性靜脈ガ損傷サレル (lädieren)。

皮下出血ハ損傷部位及ビ外力ノ輕重ニヨリ状態ヲ色々ニスル。例ヘバ顔面, 頭部ノ出血ハ甚シイ。

(1) 血斑 Petechien 皮下又ハ粘膜下ノ限局性小血斑。

(2) 溢血斑 Sugillation, Ekchymose 血斑ノ稍大ナルモノ。

(3) 血液滲漏 Suffusion. 溢血著シキモノ。

(4) 出血性浸潤 hämorrhagische Infiltration. 溢血ノ深部組織マデモ浸潤シタルモノ。

(5) 血腫又ハ血瘤 Hämatoma, Blutbeule. 血液皮下ニ凝溜シ腫瘍狀ヲナセルモノ。

II. 病的出血 Pathologische B. pathological bleeding.

(a) 滲出性出血

i 毛細管, 小靜脈ノ血壓充進過重。

[例] 鬱血肝 Stauungsleber, 鬱血肺, 肺炎, 急性炎症竈 月經。

- ii 血管壁ノ變性。
「トキシン」ノ作用。
(イ) 急性傳染病—「ペスト」, 「コレラ」, 「チフス」, 等。
(ロ) 外因性「トキシン」
「アンチピリン」 其他自殺ノ目的ニ用ヒタル色々ノ毒物,
蛇毒等。
(ハ) 血液病。
血友病, 紫斑病, 壞血病, 等
- (b) 破綻性出血
血管壁自個ノ割合大ナル離斷。
- C. 侵蝕性出血ニヨリ
- (a) 體内性及ビ體表性ニヨリ
- (1) 内出血 innere B., internal bleeding.
(2) 外出血 äussere B., external b.
- (b) 出血竈ノ大小ニヨリ
- (1) 皮下出血又ハ溢血 (既述)
(2) 血腫 Haematoma.
(3) 多發性皮下溢血斑 Peliosis, 挫傷 Contusio, 紫斑 Purpura.
- (c) 臟器組織ニ依リ
- (1) 衄血 Epistaxis.
(2) 吐血 Haematemesis.
食道ヨリノ血液吐出。
(3) 咯血 Haemoptoe.
氣道ヨリノ血液咯出
(4) 「メレナ」 Melaena (大便 Stuhl = 血液 Blut ヲ混ズ)。
(5) 血尿 Hämaturie.
尿路ヨリノ出血。
(6) 子宮出血 Metorrhagie s. Menorrhagie.
子宮ノ病的出血
(7) 子宮血腫 Haematometra.
(8) 頭蓋血腫 Kephahämatom, Kopfblutgeschwülst.
(9) 血胸 Hämothorax.
肋膜腔内ノ出血。
(10) 關節出血 Hämathros.
關節内ノ出血
(11) 心囊内出血 Haemotopericardium.
(12) 陰囊血腫 Haematocele.
(13) 血液漏 Haemorrhoe, Blutung aus Analgegend.
肛門ヨリ出血
(14) 卒中, 腦溢血 Apoplexia cerebri.
(15) 月經 Menses, Mentruation; menstruation, menstrual discharge, 子宮ノ生理的出血。

出血ヲ起ス要約

- (1) 局部血壓増進
(2) 血管壁ノ粗大ナル破綻
(3) 傳染性疾患ト中毒
i 傳染病—敗血症, 菌血症, ワイル氏病, 腸「チフス」等。
ii 中毒 體外「トキシン」—燐, 水銀, 等。
體内「トキシン」—黃疸, 子癇, 壞血病, メレルーバルロー
氏病, 貧血等。
(4) 神經性出血
原因不明. 恐ラク血管神經ノ變化ナリト. 主ニ瀉出性出血。
〔例〕 代償性月經, 神經病ニ見ラル、皮膚出血

出血性素質 hämorrhagische Diathese.

極メテ出血シ易ク, 出血スレバ容易ニ止マラナイ素質。

- (1) 先天性—血友病 Hämphilie.
(2) 後天性—壞血病 Skorbut, Möller—Barlow's Krankheit, scorbut, 紫斑病. Marbus maculosus, Werlhofi, Pupura (hämorrhagica), 白血病 Leukose, 惡性貧血 perniciöse Anämie, pernicious anemia 等。

出血ノ命名

- (1) 動脈性出血 arterielle B, arterial b.
(2) 靜脈性出血 venöse B, venous b.
(3) 毛細管又ハ實質性出血 kapillare u. parenchymatöse B, capillary and pasenchymatous b.
(4) 心臟破裂ニヨル出血 B. infolge von Herzruptur, bleeding due to heart-rupture.

出血ノ症狀

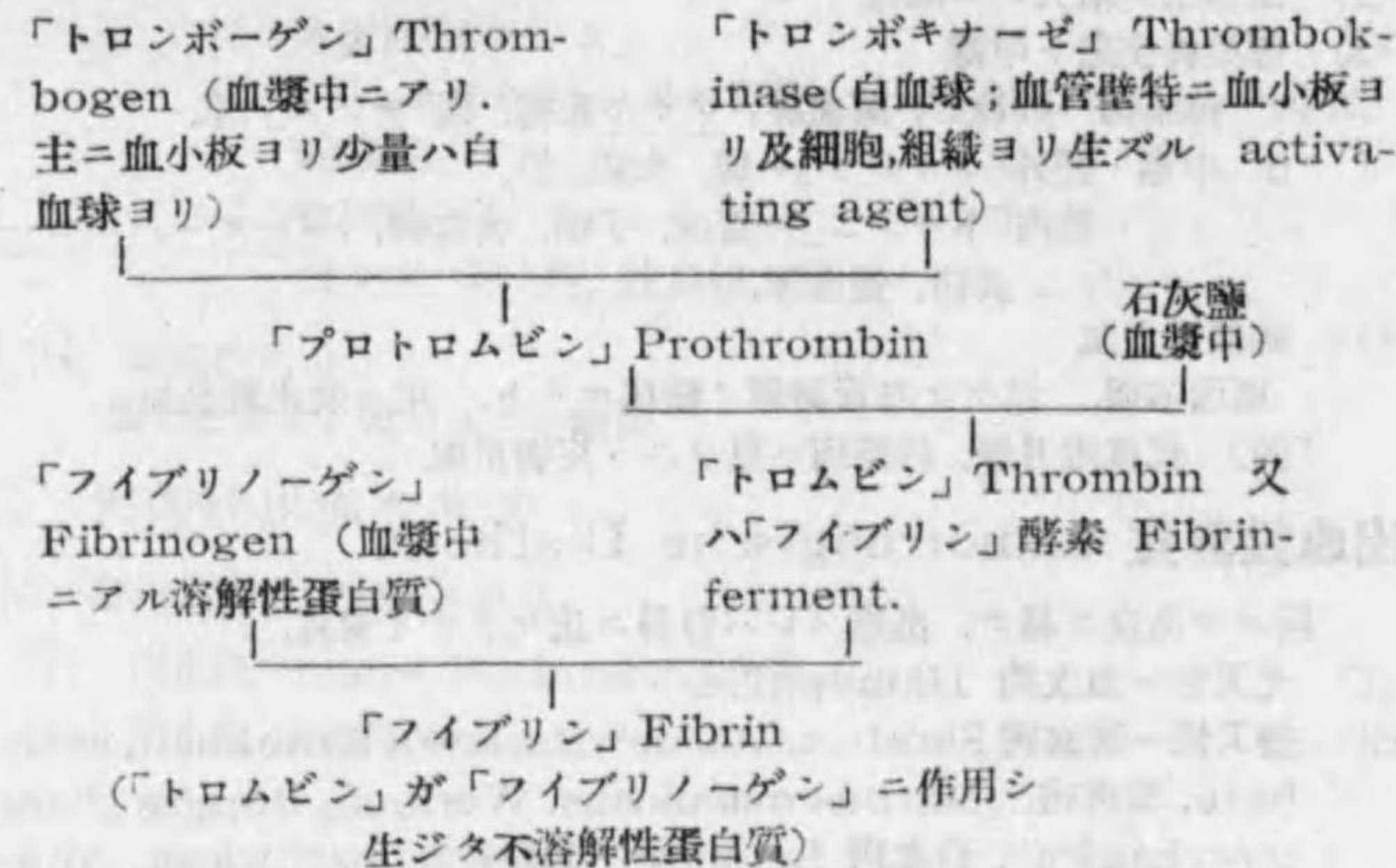
- (1) 少量—特別ナ症狀ナシ。
(2) 大量—急性貧血症狀アリ, 即 皮膚, 粘膜ノ蒼白, 脈搏細小頻數, 呼吸淺表, 頭痛, 眩暈, 耳鳴, 眼閃光感, 恐怖感, 惡心, 嘔吐等ヨリ失神, 呼吸困難, 瞳孔散大, 糞尿失禁, 抽搐等ヨリ死ノ轉歸ヲ取ル。
(3) 胸部, (肺, 心), 肝, 脾等ヨリノ出血デハ重篤症狀アリ. 出血量少量ナルトモ壓迫ニヨリ致死スルコトガアル。

出血ノ豫後

- (1) 重要ナ器官ヨリノ出血デハ豫後一般ニ不良, 特ニ大出血ナラバ全ク不良(腦出血, 咯血, 下血等)。
(2) 皮下, 組織内出血血液ノ滯溜スル時ハ吸收熱, 出血性黃疸ヲ見ルコトアリ。
(3) 囊胞形成ヲ見ルコトアリ. 又時ニ出血部位化膿スルコトアリ. 局所ニハ血性色素長ク遺殘ス。
(4) 出血量が血液全量ノ $\frac{1}{3}$ — $\frac{1}{2}$ ナル時ハ一般ニ生命ノ危險アリ. 全血量ハ體重ノ 5—7% ヨリ少ナク計上スル人モアル. 小人, 老人, 衰弱者デハ特ニ然リ。

(5) 動脈性出血が最も危険。出血性素質も同様。

出血凝固ノ化學的機轉



出血ノ療法

止血法 Blutstillung.

I. 手術的止血法

- A. 一時的止血法 vorläufige Blutstillung. (1) 壓迫 Druck. (2) 幹部緊縛法 Umschnürung des Stammes (3) 指壓 Fingerdruck (4) 高舉及強屈 (稀).
- B. 永久的止血法 dauernde Blutstillung.
 - (1) 壓迫法 Druckmethode.
 - (2) 創縁縫合法 Wundrändernaht.
 - (3) 結紮法 Unterbindung.
 - 1) 局所的結紮法
 - 2) 中樞的結紮法
 - (4) 捻捩法 Torsion.
 - (5) 血管端埋挿法 Gefäßdurchschlingung ステルン氏止血法.
 - (6) 血管縫合法 Gefäßnaht.
 - (7) 括約法或纏繞法 Umstechung.
 - (8) 燒灼法 Thermokauterisation.

II. 藥物療法

- (A) 局所的止血法. (止血劑 Hämostatica).
 - (1) 一半「クロール」過鐵液—「ガーゼ」又ハ綿ト共ニ出血部貼付。痂皮ヲ形成スルコトアリ。
 - (2) 1—2% 石灰水—用法 (1) ニ同ジ。
 - (3) 20% 「フェロピリン」(Knoll) 溶液—用法同前。
- (B) 全身の止血法.
 - (1) 8.5—10% 食鹽水 10—30,0 cc 靜脈内注射。血管内ニ入レラレタル濃厚食鹽水ハ滲透 Osmose ノ原理ニ從ヒ「トロムボキナーゼ」ヲ含ム組織淋巴ヲ組織ヨリ血管内ニ誘出ス。

- (2) 3—5% 「ゲラチン」食鹽水 10.0—20.0 ノ皮下注射。
- (3) 其他「カルチウム」劑, 「クロール」石灰, 血清, 葡萄糖, 「アラビアゴム」, 臟器製劑, 等ヲ用フ。

(C) 補血法及水分補給.

- (1) 貧血アレバ保温ニ注意。胸腹部, 下肢等ノ温器法。
- (2) 興奮劑 (赤酒, 「ブランデー」, 「コフェイン」等). 強心劑 (「カンフル」, 「ヂギタリス」, 「エーテル」) 及ビ水分補給 (湯, 茶, 生理的食鹽水, 葡萄糖).
- (3) 自家輸血法 Autotransfusion. 四肢ヲ末梢ヨリ體中心ニ向ヒ緊縛, 四肢舉上, 低位頭部等.
- (4) 輸血 Bluttransfusion.
 - 1) 直接輸血法 direkte B.
 - 2) 間接輸血法 indirekte B. 輸血ノ條参照

出血ニ對スル處方例

(1) 處方 (乏水補給, 出血) Rp.
 生理的食鹽水 800—1500.0 Physiological saline
 上記注射料 (皮下又靜脈内) solution 800—1500.0
 S. for injection (hypodermic or intravenous)

〔註〕 食鹽ハ組織内ノ「トロムボキナーゼ」ヲ血管内ニ移動シテソノ凝固性ヲ高メル。内服ニハ食鹽 10.0 ヲ水ト共ニ與フ。

(2) 處方 Rp.
 25% 葡萄糖溶液 50.0 cc 25% Glukose-lösung 50.0 cc
 上記靜脈内注射料 S. Zur intravenös. Inj.

〔註〕 高張葡萄糖溶液ハ滲透療法 Osmotherapie ノ意ニ適ヒ「トロムボキナーゼ」ヲ血管内ニ誘出シテ血液ノ凝固ヲ助ケル。

(3) 處方 Rp.
 乳酸「カルチウム」 4.0—6.0 Calc. lactici 4.0—6.0
 淨水 60.0 Aq. dest. 60.0
 上記頓用 D. S. auf einmal z. n.

〔註〕 「カルチウム」ニハ滲出抑制, 消炎, 血液凝固性促進, 血管滲透性減弱等ノ作用アリ。

(4) 處方 Rp.
 滅菌健康馬血清 Serii equin, norm, steril
 10.0—20.0—40.0 10.0—20.0—40.0
 上記皮下又ハ筋肉内注射料 S. subkut, od. intramuskulär z. inj.

〔註〕 他人又ハ動物ノ血液又ハ血清ハ血液凝固性ヲ増ス。通常 1 回 10.0—15.0 ヲ皮下又ハ筋肉内ニ用フ。血友病ノ如ク血液凝固性減退時ニハ市販ノ「ヂフテリー」血清ニテ一時的又ハ繼續的ニ血液凝固性ヲ増加シ得。細胞原形質賦活療法 Protoplasma-aktivierung ノ意ニ適ス。

(5) 處方 Rp.
 「クロール、カルチウム」 5.0 Calc. chlorat. 5.0
 桂皮水 至 200.0 Aq. Cinnamomi ad 200.0
 上記毎 2—3 時食 1 匙宛服用 D. S. 2—3 stündl. 1 Teelöffel z. n.

〔註〕「クロール・カルチウム」ハ「プロトロンビン」ヲ能働ス、即チ之ヲ「プロトロンビン」トナシテ止血作用ヲ呈スルガ、作用緩徐、持續的ナル、注射ハ内服ニ勝ル、1 回 0.5—1.0; 1 日 2.0—5.0

(6) 處方 Rp.
 「ゼカコルニン」(アムプレ人) 6 筒 Secacornin(in Amp.) 6 Amp.
 上記注射料 D. Zur Inj.
 1 日 2 回 1 筒宛 S. 2×tägl. 1 Spritze.

〔註〕「ゼカコルニン」(Roche) ハ麥角ノ總治療的有效成分、止血、血管收縮、滑平筋收縮等ノ諸作用アリ、子宮出血ニ多ク用フ。
 用量 1 回 0.25—0.5 1 日 0.75—1.5 (3—6 錠)。

(7) 處方 Rp.
 「トロンボゲン」 Thrombogen
 1 アムプレ(2.5 cc) 1 amp. (2.5 cc)
 上記注射料 S. for injection.

〔註〕「トロンボゲン」(藤澤) ハ肺及脾中ノ血液凝固性促進物質抽出物、一般出血、手術時出血豫防ニ用フ、用量 1 回 5.0—10.0 cc (注射); 1 回 5g (液)、2 錠又ハ 0.5 (半)ヲ多量ノ冷水ニテ空腹時頓用。

(8) 處方(咯血) Rp.
 「タンニン」酸 0.3 Acid. tannic
 醋酸鉛 0.3 Plumb acetic. ad 0.3
 白糖 5.0 S. alb. 5.0
 上記爲 10 包 Div. in part aequal X
 毎 1 時間 1 包宛 D. S. stündl. 1 Pulv. z. n.

(9) 處方(産褥出血、月經過多) Rp.
 麥角浸 (5.0) 100.0 Inf. Secale cornut. (5.0) 100.0
 稀鹽酸 0.5 Acid. hydrochlor. dilut. 0.5
 「シロップ」 8.0 S. s. 8.0
 上記 1 日量 1 日 3—6 回ニ分服 D. S. auf 3—6×tägl. z. n.

〔註〕麥角ニハ子宮收縮作用アリ、從ツテ分娩期ニハ用ヒヌガヨイ。
 用量 1 回 0.5—1.0; 1 日 3.0—4.0. 極量 1 回 1.0; 1 日 5.0.

(10) 處方 Rp.
 乳酸「カルチウム」 1.5 Calciim lact. 1.5
 「クロール・カルチウム」 1.0 Calc. chlorat. 1.0
 「シロップ」 8.0 S. s. 8.0
 淨水 至 100.0 Aq. ad 100.0
 上記 1 日 3 回 2 食匙宛毎食後分服 D. S. auf 3×tägl. 2 Esslöffel n. d. E. z. n.

(11) 處方 Rp.

「トロンブリン」(3 cc) 1 アムプレ Thrombrin (3 cc) 1 Amp.
 上記注射料 S. zur Inj.

〔註〕「トロンブリン」(中村)ハ贛ノ脾ヨリ抽出セル血液凝固促進物質 1 日 1—數回(皮下、筋肉内、靜脈内注射)、1 回 3 cc ヲ 30 gr ノ水ト共ニ内服、1 回 3—4 錠(1 日 1—2 回)

(12) 處方 Rp.
 「ゼラチン」 2.0 Gelat. alb. 2.0
 「クロールナトリウム」 0.6 Natr. chlorat. 0.6
 蒸餾水 至 100.0 Aq. dest. ad 100.0
 上記滅菌注射料 Steril.
 S. zur Inj.

(13) 處方 Rp.
 「ヒドラスチス」流動「エキス」10.0 Extr. Hydrastis canad. fluid. 10.0
 上記 3 時 10—15 滴宛服用 D. S. 3 stündl. 10—15 Trop. z. n.

〔註〕子宮出血、咯血等ニ有效、全身血管ヲ收縮シ血壓ヲ充進スルカラ内出血ニハ無効

(14) 處方 Rp.
 脱纖維人血 40.0 Sanguin. homin defibril. 40.0
 上記 1 日 1—2 回皮下、筋肉内注射 S. 1—2 mal tägl. sub. od. intramuskulär z. inj.
 〔註〕血清注射使用時ニハ「アナフィラキシー」ヲ顧慮ノコト。

(15) 處方 Rp.
 「ゼラチン」 15.0 Gelatinae alb. 15.0
 「クロール、ナトリウム」 10.0 Natr. chlor. 10.0
 乳酸石灰 3.0 Calc. lact. 3.0
 「メンタ」水 6.0 Aq. Menthae 6.0
 「シロップ」 8.0 S. s. 8.0
 淨水 100.0 Aq. dest. 100.0
 上記 1 日 3 回食間分服 D. S. auf 3×tägl. zw. d. E. z. n.

(16) 處方 Rp.
 「リエナリン」(2 cc) 1 「アムプレ」 Lienalin (2 cc) 1 Amp.
 上記皮下注射料 S. Zur subk. Inj.

〔註〕「リエナリン」(三共)ハ脾臟「ホルモン」劑、血液凝固性ヲ促進ス、1 回 2 cc 宛 1 日 2—3 回皮下注射又ハ 1 回 0.5—1.0; 1 日 3 回服用(粉末)、創面出血ニハ外用。

(17) 處方 Rp.
 「オポスタチン」(2 cc) 1 「アムプレ」 Opostatin (2 cc) 1 Amp.
 上記皮下注射料 S. zur subk. Inj.

〔註〕「オボスタチン」(武田)ハ脾臓ノ止血有效成分。出血殊ニ子宮出血、婦人科的實質性出血ニ可。

1回2cc皮下又筋肉内注射又1回0.5—1.0ヲ1日3回食前ニ服用

(18) 處方 Rp.
3—5—10%「コアグレン」溶液 3—5—10% Coagulen-lösung
10—30—100 珄 10—30—100.0 cc
上記皮下又ハ筋肉内注射料 D. S. zur subk. od. intramark, Inj.

〔註〕「コアグレン」(Ciba)ハ血小板「エキス」デ血液凝固作用強シ。内服ニハ3%液50.0ヲ1日ニ分服。又ハ1日3—5錠(1.5—2.5)局所出血ニハ塗布。

(19) 處方 Rp.
「クラウデン」 4—8 錠 Clauden 4—8 Pillen
上記1日3回ニ分服 S. 3× tägl, z. n.

〔註〕「クラウデン」(Riedel)ハ肺組織抽出液

(20) 處方

其他ノ新止血劑

- 1) 「ボスミン」Bosmin (第一製薬)一副腎有效成分ノ人工的品、皮下注射ニハ0.03—0.05% 溶液1cc.
- 2) 「オイスタプチン」Eustaptin (鹽野義)「コタルニン」ノ鹽酸鹽。止血鎮痙、鎮痛劑1日3—6錠内服；10%溶液注射、30% 溶液外用。
- 3) 「オイナリン」Eunarin (Knoll) —鹽化「アドレナリン」ト同一物質。1000 倍溶液トシテ市販ス
- 4) 「クロナトール」Chlonatol (厚生社) —10% 「クロールナトリウム」溶液。1.0—3.0—10.0 ヲ靜脈内注射。
- 5) 「プルスチン」Blustin (大日本製薬) —「コタルニン」ノ鹽酸鹽。1日1—2回10% 溶液ヲ皮下注射。又1日0.05—0.15 ヲ3回ニ分服。
- 6) 「ケージン」Kehsin (鹽野義) —脾臓製劑。1回1—2gr. 1日3回迄。
- 7) 「スプレニン」Sprénine (Byla) —豚ノ脾臓製劑。1日1筒(2cc)皮下又筋肉内注射。1日0.5—2瓦。4—8錠。
- 8) 「スプラレニン」Suprarenin (Bayer) —人工副腎有效成分。適宜千倍、5千倍、1萬倍溶液トシテ用フ。
- 9) 「エピネフリン」Epinephrin (Ciba) —化學的合成副腎有效成分。局方鹽酸「エピレナミン」ト同ジ用量
- 10) 「オポレニン」Oporenin (武田) —局方鹽酸「エピレナミン」液ニ相當ス。
- 11) 「アナプトール・ゼラチン」Anaptol—Gelatin (武田) —「ゼラチン」ニAnaptol 1% ニヲ配ス。1回10—20cc ヲ約37°Cニ

ナシ融解シテ上腿、肩胛間皮下ニ注射。

- 12) 「アナプチン」Anaptin (ラヂウム)「アナプトール」ニ「ヨード・カルチウム」ヲ配ス。1日2cc皮下注射。
- 13) 「チトナチン」Citnatin (ラヂウムウ) —「クエン」酸「ソーダ」ノ10%溶液、止血用ニハ10—20cc ヲ靜脈内ニ徐々ニ。

脳出血 (卒中, 脳溢血)

Haemorrhagia cerebri, Apoplexia sanguinea; Hirnblutung (f.) Apoplexie (f.) cerebral hemorrhage bleeding, apoplexy; hémorrhagie an cerveau, hémorrhagie cérébrale.

脳出血

脳出血ハ實地家ノヨク遭遇スル疾患デアツテ腦性麻痺 cerebral paralysis ノ大部分ハ之ニ原因ス。

Apoplexy ナル語ハ「地上ニ倒レル」to strike to earth ト云フ意味デアルガ、單ニ「出血」ト云フ意味ニ用ヒラレテキルコトガアル。

原因, 其他

- (1) 年齢 Alter, age.
高年者ニ多ク, 若年者ニ來タモノハ多ク微毒性デアル。
- (2) 微毒 Syphilis, Lues (閉塞性動脈内膜炎 Endarteriitis obliterans) ハヨク原因トナル。
即血管殊ニ動脈ガ「アテローム」様變性 atheromatöse Degeneration, atheromatous degeneration ヲナシテ破レ易ク brüchig ナツテキルカラデアル。
粟粒動脈瘤 miliare Aneurysmen, miliary aneurysms ガ廣範圍ニ生ジタ時ニモヨク起ル, 此レハ微毒, 動脈硬化症等ニ原因スルコトガ多イ。
- (3) 出血性素因
「ロイコーゼ」(白血病,) 惡性貧血 pernicious anemia, 壞血病 Skorbut, scurvy, 紫斑病 Purpura.
- (4) 「アルコール」, 鉛中毒等ハヨク誘因トナル。
飲酒家ニ本病者ノ多イノハ「アルコール」ガ動脈硬化症ヲ起シ易イカラデアル。
- (5) 遺傳, 素因。
(a) 體格, 榮養共ニ佳良, 肥滿, 短頸, 多血ノ人(所謂 卒中性體質 Habitus apoplecticus) ニ多イガ瘦身, 長頸, 皮膚蒼白ナル人ニモ發スルコトガアル。卒中性體質ノ人ハ動脈硬化症, 肺氣腫, 糖尿病等ニ罹リ易イ。
(b) 家族的又遺傳的ニヨク本病患者ヲ見ル。
- (6) 血壓亢進
之ハ誘因トシテ重要ナ役目ヲ演ズ。劇烈ナ筋肉勞働 muscular

effort, 精神興奮(憤怒等), 飽食 opulente Mahlzeit, 過飲等ヨリモ誘起サレル。慢性腎炎モヨク原因トナル。

(7) 其他

- (a) 冷水浴, 熱浴, 排便時努責 straining at stool, 重荷ノ舉揚, 烈シキ咳嗽 violent cough 等ニヨル一時性血壓亢進及腦溢血等ヨリ脳出血ヲ起スコトガアル。
- (b) 春, 秋ニ多ク午後殊ニ夜間ニ多イ。臥床睡眠中ハ腦ノ中ノ靜脈血液ガヨク環流シナイカラ殊ニ多イト。

血管破裂ノ好發部位 Prädilektionsstelle

ジルヴィエース氏動脈 A. Sylvii, Artery of Sylvius 殊ニソノ分枝 Äste, branches タル「レンズ」核線狀體動脈 A. lenticulostriata, 「レンズ」核視神經狀動脈デアル。

内囊 Capsula interna, innere Kapsel, internal capsule, capusule interne ニ出血シ易イノハ, 此ノ部ニ多クノ粟粒動脈瘤ヲ生ジ易ク, 中大腦動脈ヨリ直角ニ分歧シ。皮質ノ分枝ヨリモ強キ血壓ヲ受ケル事, 終末動脈デアル事等ニヨル。

出血竈ノ所在

中心神經節 Zentralganglien, Basalganglien, Stammganglien, 内囊, ニ最モ多ク, (内囊出血, kapsuläre Blutung) 半卵圓中樞 Centrum semiovale, 皮質, 腦脚 Hirnschenkel, 橋 Pons, Brücke, 小腦 Cerebellum, Kleinhirn 等ニ次グ。延髓, 四疊體, 胼脈體ニハ稀デアル。

症 狀

卒中發作 apoplektischer Anfall.

前驅症狀ハ不定。前驅症狀トシテハ頭重, 頭痛, 眩暈 Vertigo, Schwindel, giddiness, 嗜眠, 言語滯滯, 筋肉無力, 惡心 Nausea, 精神興奮又ハ鈍麻, 知覺異常 Parästhesie, 智力減退 diminution of mental capacity, 衄血, 複視, 構音障礙 Dysarthrie 等アリ。

然シ多クハ急ニ倒レテ 輕症ナラバ 眩暈, 頭痛ヲ覺ヘルノミデ直チニ恢復スルガ, 重キ場合デハ 意識消失 Bewusstseinsverlust, unconsciousness, 昏睡 Koma (hemorrhagic coma) ニ陥入り數時間ヨリ數日間ニ亘ル。

昏睡中ハ筋弛緩, 反射消失, 頸動脈強搏動, 瞳孔反應消失, 呼吸緩徐, 鼾聲 Stertor, stertorous breathing, 更ニ時ニハ チェーン・ストークス氏呼吸型 Cheyne-Stokes's Atmungstypus ヲ呈シ, 喘鳴ヲ發ス。

發作中ハ糞尿失禁ガアルガ後ニハ多ク尿閉, 蓄便 Retentio urinae et alvi ガアリ, 尿カラハ蛋白, 糖ヲ證明スルコトガアル。

體温ハ多ク變化ハナイガ 38.0—38.5°C 位 (亞熱性 subfebril) ニナレバ不良ノ徵デアル。

以上ノ外ニ共同偏視 Déviation conjugée 及ビ直接症狀アリ。直接症狀トシテハ漸次腦性痙攣性半身麻痺 zerebrale spastische

Hemiplegie, 錐體道症候 pyramidal symptoms (バビンスキー及ストリウムベル氏現象等ノ陽性), 構音障礙, 環狀歩行 Zirkumduktion, 智力減退, (後胎) 異常情緒表現 (後胎) 等ヲ現ハス。

診断及ヒ類症鑑別

卒中發作強ク, 半身麻痺アレバ容易, 其他ハ症狀ニヨル, 次ノモノトノ區別が必要デアル。

- (1) 腦貧血
顔面蒼白, 麻痺症狀ナク, 腱反射アリ。
- (2) 「ヒステリー」發作
錐體道徵候ナク, 特有徵候即チ「スチグマータ」アリ。
- (3) 尿毒性昏睡
尿ヨリ尿白ト圓柱ノ證明, 腎炎ノ既往症, 時ニハ尿白尿性網膜炎。
- (4) 糖尿病性昏睡
糖尿及ビ「アセトン」尿ノ證明。
- (5) 麻痺生癡呆
ワ氏反應, 精神異常。
- (6) 腦膜炎
熱發アリ, 腦脊髄液ノ検査。
- (7) 急性「アルコール」中毒
呼氣又ハ吐瀉物中ノ「アルコール」性臭氣。
- (8) 「モルヒネ」, 阿片中毒。
既往症ニ注意。
- (9) 腦栓塞及血塞
栓塞ノ原因探求 (擔膜症ノ指摘), 栓塞ハ急ニ, 血塞ハ徐々ニ來タル。
- (10) 微毒性閉塞性動脈内膜炎
ワ氏反應
- (11) 癲癇
若年者ニ多ク, 既往症ニ留意, 舌咬アリ。

腦出血ノ療法

1. 安靜

發作時ニハ就寤, 絶對安靜, 仰臥位トナス, 頭部ヲ高クス, 此ノ時脊部ヨリ次第ニ高クシ 靜脈血ノ環流ヲ妨礙セザルコト, 衣類ヲ寬解シ頭部, 心臟部ニ氷嚢, 四肢ヲ溫布ニテ被覆。

2. 瀉血, 芥子泥, 通利, 利尿

- (1) 瀉血ハ 200—300 迄, 頭部充血, 血壓亢進アル時ニ行フ。
- (2) 非觀血性瀉血トシテ水蛭貼用
- (3) 芥子泥, 腓腸部ニナス。
- (4) 氷嚢, 顔面蒼白ニナレバ除去。
- (5) 導尿, 洗腸ヲ行フ。
- (6) 褥瘡ヲ防グベシ。

3. 食餌

- (1) 昏睡中ハ鼻腔ヨリ「ゾンデ」ニヨリ又ハ直腸ヨリ營養供給。
- (2) 發作時ハヨク無意識ニ嘔吐 (腦内壓亢進) スルカラ頭ヲ側方ニ向ケ嚔下肺炎ヲ防グ, 口腔内ハ屢々清掃シ, 吸收装置ヲ用フ。

4. 藥物療法

- (1) 心臟衰弱ノ徵アレバ「カンフル」, 「ニコミン」, 「デギタリス」, 「カルヂアゾール」, 「ロデアリン」等ノ注射, 「アドレナリン」, 「麥角劑」ハ禁ズ (血壓亢進)。
- (2) 不安, 睡眠障礙, アル時ハ抱水「クロラール」注腸 (1.0—2.0), 睡眠劑「アダリン」, 「プロムラール」, 「アロナール」, 「ヴェロナール」, 「セドプロール」, 「トリオナール」等), 「ルミナール」曹達等ノ注射モ用ヒラル。

5. 發作後

- (1) 刺戟症狀消失後「マッサージ」, 他動的運動, 溫泉療法, 電氣療法。
- (2) 患側ノ疼痛ニハ「カンフル・チンキ」, 「クロ・フオルム・アルコール」ノ外用。
- (3) 微毒アレバ驅微療法, 麻痺ニハ「ヨードカリ」内服。
- (4) 3—4 週後入浴可。

6. 豫防

- (1) 身心ノ安靜, 酒, 煙草等ノ禁止。
- (2) 野菜食, 無刺戟性ナルコト, 過刊, 感情激變, 咳嗽發作, 便通時努責ヲ禁ズ, 發作後長ク臥床セバ筋ハ萎縮ス。

咯血

Hämoptoe (f.) Hämoptysis (f.) Blutspeien, (n.)
Bluthusten (m.) hemoptysis; hémoptyisie.

咯血

氣道ヨリノ出血 Blutung aus Luftwege, spitting up of blood from air passages, rejet de sang provenant des voies respiratoires ヲ咯血ト云フ。

然シ通常咯血ト云ヘバ 主ニ下氣道、殊ニ肺組織ヨリノ出血ヲ考ヘル。咯血ハ色々ノ程度ニ來タリ、咯痰中ニ混合スルコトアリ。又點狀又ハ線狀等トナリ。又ハ肺空洞ヨリ來ル場合ハ全ク純血トナル事スラアル。時ニ乾酪様物質ヲ混ズル。咯血ノ多量ナル時ハ血液ハ鮮紅色ヲ呈シ泡沫アリ。

咯血ハ大體次ノ場合ニ來ル。

- (A) 肺血管が浸蝕性機轉 ulcerative Prozesse ニテ浸蝕サレタル時 (Arrosion, arrodieren).
- (B) 小循環系内ノ血液過度充溢 Blutüberfüllung. 鬱血及ビ栓塞 Embolie 等。

咯血ヲ伴フ諸疾患

- (1) 肺結核 Phthisis pulmonum, Lungenschwindsucht, Lungentuberkulose
本病初期ニスラ咯血スルコトアリ (初期咯血 initiale Hämoptoe) 咯出サレタ血液量ハ色々デアアル。咳嗽ヲ伴フコト多シ。
- (2) 肺膿瘍 Lungenabszess, abscess of the lungs, 肺壞疽 Lungengangrän.
共ニ稀。前者ハ肺炎ヨリ續發スル事アリ。
- (3) 肺腫瘍
肺腫瘍ハ時ニ咯血アリ。惡液質、持續的激痛、淋巴腺轉移、胸部ノ理學的症狀等ニヨリ肺結核ト區別。
- (4) 肺寄生蟲。
例ヘバ 肺「ヂストマ」、及「エヒノコックス」等。一般ニ肺「ヂストマ」デハ血液汚穢デアアルガ、時ニ鮮紅色デアアル。
- (5) 肺炎、肺栓塞 (排膿症ニ注意)、肺水腫、肺氣腫 (淡鮮紅色、泡沫狀)。
- (6) 氣管支炎 (纖維素性、腐敗性等)。
- (7) 心臟病
高度ノ小循環鬱血特ニ僧帽辨々膜症
- (8) 胸部外傷 traumatism of the chest.
- (9) 大動脈瘤破裂
- (10) 「ノイローゼ」(「ヒステリー」等) 及ビ理學的原因ニヨルモノ (氣球、高山、壓迫等)。

- (11) 代償性出血 Hämatoplanesis, Hämatoplania vikariirende Blutung, vicarious bleeding.

例ヘバ月經時ノ代償性咯血。

- (12) 中毒 (尿毒症、膽毒症、「ガス」中毒等)、異物、出血性素因。

咯血ノ症狀

- (1) 量—不定。血痰 → 純血。
- (2) 色—鮮紅色 → 暗褐色等色々。
- (3) 時—突然又ハ徐々。
- (4) 口腔、鼻咽喉ヨリノ出血ハ唾液、鼻汁等ヲ混ズ。

咯血ト吐血ノ區別

咯血	吐血
(1) 多クハ咳嗽ニヨリ咯出サレル。	(1) 嘔吐ニヨリ吐出サル。
(2) 鮮紅色、泡沫ニ富ミ、凝固性ニ乏シ。但シ暗赤色ヨリ黒色ヲ呈スルコトアリ。	(2) 黒褐色(胃潰瘍)、「コーヒー」殘滓様 (胃癌)
(3) 多ク「アルカリ」性	(3) 多クハ酸性
(4) 食物殘滓ナシ。	(4) 多クハ食物殘滓アリ。
(5) 肺疾患ノ既往症。	(5) 胃疾患ノ既往症

咯血ノ療法

- I. 安靜 Ruhe, rest.
精神的ニモ肉體的ニモ安靜ハ必要デアアル。發語ヲ禁ジ、面會ヲ謝絶シ、近親者ト雖モ患者カラ遠ザケル。
血痰其他一般症狀輕快スル迄安靜ヲ守ラネバナラス。
- II. 四肢結紮
患側胸部ノ絆創膏貼付(呼吸運動抑制)、患部ノ氷嚢、打診嚴禁。氷片、食鹽水内服、「アルコール」類ヲ避クコト。
- III. 咳嗽
出來ルナラバ抑制スル。咳嗽甚ダシキ時ハ血凝栓遊離ノ惧アリ、カ、ル時ハ「モルヒン」劑(「パントボン」、「コデイン」、「デオニン」等)ヲ用フ。
「モルヒン」ハ血壓ヲ下降シ、精神不安ヲ除ク、但シ大量ヲ用フレバ咯出ヲ妨ゲ嚥下性肺炎ノ危険アリ。
- IV. 食餌
過熱ナラザル流動食又ハ粥食ヲ少量ツツ與ヘ、「アルコール」、香辛料、炭酸水等ヲ避ク。
消化管冷却) 肺血管擴張 } 消化管溫暖 } 肺血管縮少
皮膚ノ溫熱) 皮膚冷却 }

V. 藥物療法 (止血劑)

出血ノ項參照.

濃厚食鹽水, リンゲル氏液, ロック氏液, 高張葡萄糖, 「カルチウム」, 「ゼラチン」, 「クラウデン」, 「ペプトン」等ヲ用フ. 「アドレナリン」, 麥角劑ハ多クハ無效.

喀血ニ對スル處方例

- (1) 處方
「ゼラチン」 10.0 Rp. Gelatini 10.0
「クロール・ナトリウム」 10.0 Sodii chloridi 10.0
蒸餾水 1000.0 destilled water 1000.0
上記混合物ヲ加熱滅菌 40cc 宛
大腿又ハ臀部組織中ニ注射
S. Mixture must be sterilized by heat and 40cc injected into the tissues of the thigh or buttock.
- (2) 處方
「ゼラチン」 15.0—20.0 Rp. Gelatinae albae 15.0—20.0
乳酸「カルチウム」 2.0—5.0 Calcii lact. 2.0—5.0
「クエン」酸「リモナーデ」 200.0 Citronenlimonade 200.0
上記 1 日 3 回食間分服
D.S. auf 3×tägl. zw. d.E. z. n.
- (3) 處方
醋酐鉛 0.3 Rp. Plumb. acet. 0.3
「パントボン」 0.1 Pantopon 0.1
白糖 5.0 S. alb. 5.0
上記 爲 10 包, 毎 2 時間 1 包
宛服用
M.f. pulv. div. in dos. X.
S. 2 st. 1 Pulv. z.n.
〔註〕 鹽酸「モルヒン」0.05 ヲ「パントボン」0.1 ニ代用サル.
- (4) 處方
「カルチウム」(Sandoz) 5cc) 1 筒 Rp. Calcium (Sandoz) (5cc) 1 Amp.
上記 1 日 1—2 筒宛筋肉内注射
S. 1—2×tägl. 1—2 Amp. intramuskulär z. inj.
〔註〕 本製品ハ「グルコン」酸ノ「カルチウム」鹽. 諸種出血, 肋膜炎, 氣管支炎, 肺炎, 腺病質, 「テタニー」, 痙攣性出血ニ用フ.
【用法, 用量】 大人 1 回 5—10 cc (筋肉, 皮下, 靜脈内注射), 1 回 5.0 瓦 (粉末); 1—2 錠. 小人 1 回 2—5 cc (注射); 1 回 3.0 (末); 1 錠.
- (5) 處方
「クロナカール」 (1筒) 10cc Rp. Chlonacal (1 amp.) 10.0cc
上記靜脈内注射料
S. for intravenous injection
〔註〕 「クロナカール」(日新) ハ「クロール・ナトリウム」及「クロールカルチウム」ノ混合物.

- (6) 處方
「アンタストール」 (1.0cc) 1 筒 Rp. Antastol (1.0 cc) 1 Amp.
上記注射料
S. zur Inj.
〔註〕 「アンタストール」(武田) ハ甲状腺, 副腎, 腦下垂體後葉ノ複合製劑. 滑平筋痙攣及ビ痙攣緩解作用, 止血作用アリ. 喘息, 頑固ナ咳嗽, 各種出血ニ用フ. 錠劑アリ.
- (7) 處方 (肺結核)
「ハイルミン」 1 筒 Rp. Heilmin 1 Amp.
上記皮下注射料
S. zur subk. Inj.
〔註〕 「ハイルミン」(中村, 渡口) ハ直接ニ病竈ニ作用シテ缺損セル肺組織ヲ補乏シ, 血液凝固作用アリ, 又結核「トキシシ」ノ吸收阻止ニヨリ下熱セシムト云フ. 肺臟「エキス」劑ナリ. 粉末, 錠アリ.
- (8) 處方
「プロカノン」 (20cc) 1 筒 Rp. Brocanon (20cc) 1 Amp.
上記靜脈内注射料
S. zur intraven. Inj.
〔註〕 「プロカノン」(中外) ハ 10% 高張葡萄糖ニ 2% ノ「プローム・カルチウム」ヲ配セルモノ. 「プローム」ニハ止血作用アリ.
- (9) 處方
「タンニン」酸 0.3 Rp. Acid. tannic. 0.3
醋酸鉛 0.3 Plumb. acet. aa. 0.3
白糖 5.0 S. alb. 5.0
上記 分 10 包
毎時 1 包宛
Div. in part. aequal X.
D.S. St. 1 Pulv. z.n.

吐血

Hämatemesis (f.), Blutbrechen (n.),
hematemesis, hémátémèse.

吐血

一般ニ食道、胃(食餌道 Speiseweg)ヨリノ出血ヲ吐血ト稱シテオ
ルガ、十二指腸潰瘍ノ如キ時ニモ口腔ヲ經テ血液ガ外界ニ吐出サレルカ
ラ、此レハ嚴密ナ意味デハ吐血ノ正シイ定義デハナイ。

吐血ヲ伴フ疾患

1. 胃腸其他ノ消化器

胃潰瘍、胃癌、ulcer and cancer of the stomach、食道癌、十
二指腸潰瘍(多クハ下血)、腸脈管血栓。

2. 傳染病

ウイルス氏病、黄熱。

3. 肝及膽道疾患

急性黄色肝萎縮症、門脈鬱血 Pfortaderstauung、肝硬變症
Lebercirrhose 等。

4. 血液病及血管疾患

出血性素因(壞血病、血友病、紫斑病、白血病)顯性貧血、大動脈瘤
破裂等。

5. 心臟病 Herzleiden, cardiac diseases.

例ハバ心臟辨膜症。3.ト大體出血ノ成因ヲ同ジクスル。胃、食道ノ
鬱血、從ツテ起ル靜脈瘤ノ破裂ニヨル。

6. 中毒

(イ) 内因性 → 尿毒症、膽毒症等。

(ロ) 外因性 → 燐中毒、砒石ソノ他ノ鹽酸中毒、「アルカリ」、酸類等
ノ腐蝕劑。

7. 其他

「ヒステリー」(稀)、脊髓癆ノ「クラーゼ」、代償性月經 vikari-
rende Menstruation, vicarious menses、(月經閉止 Suppressio
mensium)腹膜炎(稀)、盲腸周圍炎(稀)、「メレナ」、外傷、器械的狭窄等。

吐血ト咯血ノ區別 (咯血ノ項參照)

吐血	咯血
(1) 惡心、上腹部胃重感 sense of weight in epigastrium アリ。	(1) 口腔内ニ鹽「カライ」味 saltish taste アリ。
(2) 血液ハ暗褐色、ヨク不消化物ヲ含有シ、酸性。	(2) 血液ハ鮮紅色 bright red、泡沫狀 frothy、「アルカリ」性。
(3) 血液ヲ吐出	(3) 血液ハ常ニ咯出 cough up サル。
(4) 便ハヨク暗色トナル。嘔吐運動ヲ伴フ。	(4) 便ノ色ハ不變。多ク咳嗽ヲ伴フ。
	(5) 咯血ヲ嚥下スレバ血液ハ暗褐色トナル。

吐血ノ療法

原因療法。絶對安靜臥床、斷食、面會謝絶。胃部氷嚢又プリースニツツ氏嚢法。後ニ氷塊、牛乳、直腸營養法。湯ニ對シテハ氷片。(水ハ咯出サセルコト)。阿片「チンキ」2—5 滴ヲ微温「カミルレ」浸(100—150)ニ加ヘテ灌腸。「パントポン」ニ「アトロピン」ヲ伍シ皮下注射。「パペリン」又「スパスマルギン」ハ幽門ノ痙攣ヲ速カニ去リ、胃内容排出ヲ容易ナラシム。「ゼラチン」ノ灌腸又ハ皮下注射。虚脱ニハ強心劑「カンフル」、「コラミン」、「カルヂアツオール」、「アクトコール」等)乏血著シキ時ハ食鹽水、葡萄糖、ロック氏溶液 鹽化「カルチウム」ノ注射。千倍「アドレナリン」ヲ加ヘレバ尚可。輸血。坐臥ハ落出血陰性トナリテ後許ス。

其他ニツキテハ一般出血ノ療法、止血劑ノ項參照。

急性中毒ニヨル吐血ノ療法ハ其項參照。

血尿

Haematuria, Hämaturie (f.) Blutharn (m.)
hematuria.

血尿 Entleerung von Blut im Harn. The discharge of bloody urine.

尿中ニ血液ノ混在スルヲ云フ。

血尿ハ分光鏡検査 Spektroskop, spectroscope ニヨリ

DトEトノ間ニ幅ノ廣イ帯線ヲ示ス。又鏡檢スレバ血球 Blut-zellen, blood-corpuses ヲ見、「ベンチデン」試験法、「クアヤツク」反應 Guajak-probe guaiacum test 陽性トナル。

(1) 血尿ノ出現 Vorkommen der Hämaturie.

(a) 泌尿路 Harnwege, urinary passages ニ出血アル時。例ヘバ腎、腎盂、輸尿管、膀胱、尿道等ノ出血。

(b) 泌尿路ニ隣接セル部分ノ出血竈ガ泌尿路ニ破裂シタ場合。

(2) 肉眼的血尿 makroskopisch erkennbare Hämaturie.

尿ニ混入スル血液ノ大量ナル時ニ見ラレ、尿ハ血液ノ色ヲ呈スル。血液新鮮ナラバ尿ハ鮮紅色ヲ、陳腐ナラバ暗赤色又ハ暗褐色ヲ呈スル。

(3) 顯微鏡的血尿 mikroskopische Hämaturie.

尿中ニ混在スル血液ガ少量ナル時ハ肉眼デハ分明シ難ク尿沈渣又ハ遠心沈澱物ヲ鏡檢シテ赤血球ヲ證明スル。之ヲ顯微鏡的血尿ト云フ。

(4) 血尿ト血色素尿ノ色

一般ニ赤血球ノ混入スル尿ハ、赤血球ナル小體ガ多數浮遊シテキルタメニ血液色ヲ呈スルガ透明デナイ。(deckfarbig)。反之血色素ノミヲ含有スル尿(血色素尿 Hämoglobinurie)ハ透明デアル。(lackfarbig)。

(5) 血液性射精物 blutiges Ejakulat.

尿道ニ開口スル貯精囊 Samenblase, 攝護腺ノ炎症、結核、新生物等ニモ尿道ニ出血スルガ、前者ノ場合ハ實ハ血液性射精物ト云ツタ方がヨイ。即チ放尿ニ關係ナク、射精ト同時ニ血液ヲ出スコトガ多イカラデアル。然シ便宜上血尿ニ含マシテ既述シタ。

(6) 血尿検査時ノ注意

(a) 婦人デハ經血(Menstruationsblut)又ハ生殖器出血ガ放尿時尿中ニ混入スルカラ、一見血尿ノ觀ヲ呈ス。故ニ時ニハ「カテテル」ニテ導尿シ檢ス。(Examination of the catheterized urine)。

(b) 藥劑服用(「センナ」、大黃等)後ノ尿ハ赤色又赤黄色ヲ呈スルコトガアル。藥劑内服ノ尋問、注意深キ檢尿ニヨリ容易ニ鑑別サル。

出血スル場所ノ鑑別 Differenzierung der Lokalisation von Blutung.

膿尿ヲ検査スルト同ジク 三「グラス」試験法 Dreigliaserversuch ヲナス。

(A) 放尿初期ノ血尿

(B) 放尿末期ノ血尿

(C) 放尿全經過中ノ血尿

(1) 尿道及之ニ隣接スル部(攝護腺、貯精囊等ノ炎症其他)ヨリノ出血。
i 放尿初期ニ血液ヲ混ズ(初期血尿 initiale Hämaturie)。
ii 又ハ最後ニ血尿ヲ見ル(終期血尿 terminale Hämaturie)。
iii 或ハ尿行作ニ無關係ニ出血ス。

(2) 膀胱出血 vesical bleeding.

血尿ハ放尿經過ト共ニ強クナル。終期ノ放尿分ハ膀胱ノ收縮ニ伴ヒ出血モ増シ、血尿ガ最モ著明ニ顯ハレル傾向ヲ示ス。然シ大量膀胱出血デハ腎臟出血(後述)ノ如ク放尿全經過中殆ンド平等ニ血液ヲ混ズ。(全期血尿 totale Hämaturie)ヨク不規則無定形血液凝塊 irregular shapeless clots ヲ見ル。

(3) 腎臟出血 renal hemorrhage.

多ク尿中ニハ血液ガ平等ニ混在シ、放尿全經過中同程度ノ血尿ヲ漏ス。然シ腎臟出血ノ大ナル時ニハ血球ガ膀胱底ニ沈ミ、放尿終期ノ尿中ニ血液ヲ比較的多ク含ムヤウナコトガアルカラ注意ヲ要ス。

又腎臟出血ノ時血液ハ尿ト共ニ比較的長ク膀胱内ニ滯留スルカラ新鮮ナ紅色(frischrot, bright red)ヲ呈セズシテ褐赤色、暗赤色ヲ呈スルコトガ多イ。之ニ反シ尿道出血 urethral hemorrhage デハ血液ハ新鮮赤色ヲ呈ス。

反應ハヨク酸性トナリ、圓柱 Zylinder, tube-casts ヲ證明スルコトガアル。又輸尿管カラ細長イ圓筒狀ノ血液凝塊(a long, worm-like coagulum)ヲ含ミ腰部ノ疼痛 pain in the loins, 腎疝痛 renal colic 等ヲ訴ヘルコトガアル。

(4) 血中ノ凝固物検査。

i 多數ノ不規則ナ圓盤様小凝固物が腎疝痛 Nierenkolik ヲ伴フ時、腎盂ヨリノ出血ヲ考フ。

ii 腎盂ニ生ジタ大ナル凝固物が輸尿管ニ嵌頓、閉塞スレバ、血尿ハ急ニ止マルコトガアル。之ガ永續スレバ「ヒドロネフローゼ」Hydronephrose ヲ起ス。

iii 血液凝固物ノヨク尿中ニ出ルノハ膀胱出血ナルコトガ多イ。凝固物ガ大ナレバ小サク破壊サレル迄長ク膀胱内ニ止マル。時ニハ尿道ヲ閉塞ス。

iv 尿道内ニ生ジタ凝固物ハ多ク絲狀ヲナス。前部尿道ニ病竈ガアルト出血ト尿行トハ多ク無關係デアル。

v 圓塊狀凝固物ハ輸尿管ヨリ生ジタモノト思ハレ、又一般ニ凝固物ハ輸尿管性ノモノガ一番多イト云フ。

vi 腎臟腫瘍 Nierentumor, tumor of the kidney. ノ凝固物
 が特ニ注意サレテキル。赤色又淡黄, 或ハ白色, 時ニ又透輝セル
 蛆様又ハ短カイ淋絲様ノ軟カイ凝固物が腫瘍ニ多ク現ハレト云
 フ。(イスラエル氏 Israel)。然シ鏡檢上ハ纖維様, 顆粒纖維素
 性ノ基質デ, 中ニ赤血球, 血球陰影, 白血球, 脂肪球, 膨大セル
 上皮細胞等が種々ノ割合ニ附着シテキルト云フ。勿論此ニ脂肪變
 性ヲナシタル腫瘍細胞モ附着シテキルコトが多い。

【血尿診斷上ノ注意】

- (1) 腎臟出血ヲ考ヘル時ハ丁寧ニ腎臟ヲ觸診スル。即チ腎臟腫瘍, 肥大,
 異常運動, 異常感覺等ヲ檢ス。勿論膀胱出血ヲ疑フ時モ膀胱ノ觸診
 ヲ注意シテ行フ。
 腎臟腫瘍デハ打診上腎濁音界異常擴大ヲ認メルコトガアル。又呼吸
 性異動ナク, 結腸後方ニ存シ, 時ニ可動性索狀物トシテ觸レル。勿
 論腎臟ノ觸診, 打診ハ左右兩側ヲ比較シ, 其疾患側ヲ決定スルコト
 が必要デアル。
- (2) 出血個所ガ腎臟デアルカ, 將又膀胱デアルカヲ決定スルタメニ 膀胱
 鏡ヲ用フ。然シ此ノ膀胱鏡檢査 Zystoskopie ハ膀胱出血アル時
 ニハ充分注意ヲ要ス。
 即チ膀胱出血ヲ大ニシ甚ダシイ時ハ, 之ガ死因トナツタコトモ報告
 サレテキル。然シ腎臟出血ヲ檢スルタメニハ比較的危險ナク用ヒラ
 レ殊ニ膀胱鏡使用ニヨリ, 腎臟ノ左右何レノ方ニ出血スルカヲ確定
 シ得。
- (3) 腎盂描寫法 Pyelographie.
 近來色々ノ造影物質ヲ膀胱鏡檢査ノ下ニ輸尿管ヲ通ジテ腎盂ニ向ヒ
 注入シ, 「レントゲン」線ヲ以テ透射シ 腎盂ノ形狀, 從ツテ腎臟腫
 瘍又ハ結石ノ有無等ヲ檢ス(Pyelographie)。又ハ造影劑ノ靜脈
 内注射(又經口の投與)ニヨリテ此等物質ノ腎ヨリ排泄セラレル狀
 態ヲ「レントゲン」寫眞ニテ檢スル法モアル。
- (4) 膀胱洗滌 Blasenspülung, bladder douche or washing ヲ
 行フニ腎出血デハ洗滌液ガ比較的清澄デアルガ, 膀胱出血デハ反之
 絶ヘズ血液性 blutig, bloody デアル。此ノ場合洗滌液ニ「アド
 レナリン」, 「タンニン」酸等ヲ入レルト出血ハ消失ス。
- (5) 血球ト共存スル上皮細胞ニヨリテ出血ノ個所ヲ知ルコトガアル。即チ
 i 多數ノ膀胱上皮 epithelial large cells ニヨリ膀胱出血ヲ
 ii 腎盂上皮細胞ノ澤山存スル時ハ腎盂出血ヲ
 iii 赤血球圓柱ノ儘多ニヨリ出血性腎炎ヲ診斷スルガ如キデアル。
- (6) 腫瘍殊ニ腎臟腫瘍ニヨル出血ハ間歇性ノコトが多い。即チ 中間期ニ
 ハ全く血液ヲ含マナイ透明ノ尿ヲ出スガ如キ場合デアル。又身體ノ
 動搖ニヨリ誘發サル、コトガアル。直腸カラ空氣ヲ送入スル腫瘍
 アル腎部ハ鼓音ヲ呈ス。
- (7) 血尿ノ急絶中止時ハ輸尿管閉塞ヲ考ヘル。輸尿管閉塞ノ時ハ腎痛,
 「ヒドロネフローゼ」等ノ症狀ヲ來スガ, 此ノ輸尿管閉塞ノ症狀
 シニ血尿ノ中止サルルハ多クノ場合腫瘍ヲ考ヘナクテハナラス。

- (8) 化學的, 顯微鏡的檢査
 血尿ノ時ハ是非必要デアル。即血尿ヲ遠心沈澱シテ上澄液ノ蛋白質
 定量ヲナス。泌尿器ニ出血アレバ血清中ノ蛋白ガ混ズルカラ, 出血
 ニ相當シテ蛋白ヲ證スルモノデアルガ, 其相當以上ニ蛋白ヲ含有ス
 ル時ハ 別ニ腎性蛋白尿ノ合併ヲ考フベキデアル。(出血性腎炎又
 ハ出血ト蛋白尿ノ併合)。
- (9) 遠心上澄液ノ粘液 Schleim.
 之ハ泌尿路粘膜ノ炎症ヲ意味スル。腎性出血 intrarenale Blut-
 ung ニハ發見出來ス。但シ圓柱, 殊ニ澤山ノ赤血球圓柱ヲ認
 ム。
- (10) 血尿デモ泌尿路炎症(膀胱炎, 腎盂炎等)及結石, 結核, 膿瘍破裂
 等ハ膿球(白血球)ヲ證スルガ, 腫瘍ニハ比較的少ナイ。又腫瘍
 Tumor tumeur デハ腫瘍細胞ヲ證明スル。
 又ハ膿瘍, 結核等デハ組織頽廢物ヲ多量ニ排出スル。時ニハ尿ハ甚
 シク汚穢スルコトガアル。輕度ノ血尿ハ「グアヤック」法, 「ベンチ
 デン」法ニテ證明出來ル。
 尿路ヲ末梢ヨリ逆ニ腎臟ニ到ル間ノ障礙ニツキ出血ノ有様ヲ述ベレバ
 次ノヤウデアル。
 a 尿道ヨリ出血スル場合 Harnröhrenblutung, urethral bleed-
 ing.
 此ノ場合ハ 尿行ト出血トハ全く關係ナシ(尿行外出血 extramik-
 tionelle Blutung)。排尿終期(尿道收縮)ニ當リ出血ヲ見ルコトガ
 アルガ(terminale Blutung)又極メテ最初ニ見ルコトモアル。
 尿道ヨリノ出血時ニ, 尿道壁自體ヨリノ出血ナルカ, 又攝護腺, 貯精囊
 ヨリ出血スルモノナルカヲ確定スル爲ニ尿道鏡檢査 Urethroscopie
 ヲ行フコトガアル。
 尿道又ハ之ニ接續セル貯精囊, 攝護腺等ノ障礙ニヨリ出血スル場合ハ
 尿道部及 會陰ノ疼痛甚シク, 膀胱刺戟ノ 甚シイ時ハ, 強度ノ尿意頻促
 Harndrang, envie d'uriner ヲ來ス。
 尿道傷害 Urethrallesion 甚シク強度ノ血尿ヲ現ハス時ニハ尿道外
 ニ漏レタ尿ガ組織ヨリ吸收サレテ尿浸潤症 Harninfiltration ヲ起ス
 コトガアル。
 尿道出血ニヨリテ起ル血尿及出血物ハ, 一般ニ新鮮血液色ヲ呈シテキ
 ル。
 b 膀胱ヨリ出血スル場合 Blasenblutung, vesical bleeding.
 ヨク膀胱炎, 膀胱結石 Blasenstein, bladderstone, calcul
 vésical, 膀胱腫瘍ニ見ルガ紫斑病 Purpura, 靜脈瘤(殊ニ妊娠時ノ
 Varizen), 第二, 三期ノ微毒 sekundäre u. tertiäre Lues der
 Blase 等ニヨリ起ツタ「カタル」性潰瘍性機轉, 高度ノ循環障礙, 萎
 縮性肝硬變症 atrophische Leberzirrhose, atrophic cirrhosis
 of the liver 等ニ來ル出血性素質ニモ見ル。脊髓癆, 脊髓空洞症
 Syringomyelie 等ノ膀胱發症 Blasenkrise, crises vesicales ノ
 時ニ血尿アリト云フ。(オルトネル氏 N. Ortnier)。
 膀胱出血ヲ起ス時ニハ多クノ場合疼痛, 尿意頻迫等ノ膀胱症狀ヲ呈ス
 ルカラ, 比較的診斷ハ容易デアル。

然シ腎臟結核デハ時ニ膀胱症狀ヲ呈スルカラ注意ヲ要ス。

c 輸尿管ヨリ出血スル場合 Ureterblutung.

輸尿管, 腎盂 pelvis of the kidney, bassinot du rein ヨリ出血スル場合トシテ結石(一般ニ廣ク腎臟結石ト云ハレルモノ)ガ一番多イガ, 又外傷 traumatism; traumatisme, blessure, 腫瘍(乳嚢腫 Papilloma, 癌腫 Carcinoma 等) 義膜性輸尿管炎 Ureteritis membranacea ニモ出血ヲ見ル。

一般ニ輸尿管炎ヨリノ出血ハ其量が少ナク, 尿沈渣, 遠心沈澱物ヲ鏡檢シテ初メテ赤血球ヲ證明スル様ナ場合モアル。

尿酸 Harnsäure, uric acid, 蓚酸 Oxalsäure, oxalic acid 等ノ結晶ニテモ此ノ顯微鏡的血尿 microscopic hematuria ヲ起スコトガアル。之等デハ多ク輸尿管痙攣 Ureterkolik ヲ伴フ。

非結核性ノ傳染性腎盂炎 Pyelitis infectiosa ニモ輕イ出血ヲ來ス。

【局所診斷】膀胱鏡検査, 輸尿管造影物質ノ注入等。

d 腎臟ヨリ出血スル場合 Nierenblutung, renal hemorrhage.

i 腫瘍

「ヒペルネフローム」, Hypernephrom, 癌腫が多イ。共ニ出血ガ比較的突發的ニ來テ又間歇的ニ來ルコトが多イ。然シ癌腫デハ永續性ニ出血スルコトモ稀デナイ。肉腫, 腎外腫物ニヨリ腎臟血管ヲ壓迫シテ血尿ヲ來ス場合モアル。肉嚢腫 Papillom モ生ズル。コノモノハ腎ト膀胱トヲ同時ニ侵スコトガアル。

惡性腫瘍デハ尙, 激シキ薦骨痛, 屢々腹水, 浮腫(下肢), 靜脈瘤腫 Varikozele 等ヲ起シ, 場合ニヨツテハ轉移モ證明サル。

ii 腎臟結核デモ肺結核ノ咯血ノ如ク血尿ヲ現ス。多クノ場合持続性デアツテ, 同時ニ膿ヲ排出スル。全身粟粒結核, 稀ニ腎臟微毒ニモ血尿ヲ來スコトアリト云フ。

iii 腎炎 Nephritis, inflammation of the kidney.

腎絲毬體ガ侵サレルノデアアルカラ, 當然血尿ヲ見ル。腎性蛋白尿 renale Albuminurie, renal albuminuria デ赤血球ヲ證明スレバ, 第一ニ絲毬體腎炎 Glomerulonephritis ヲ考ヘル。廣汎性ノモノモ, 限局性ノモノモ共ニ血尿ヲ來タス。勿論血壓亢進, 心臟肥大, 浮腫, 蛋白尿等ノ症狀モアルガ, 腎炎ノ診斷ニ血尿ハ必要ナモノデアアル。

iv 急性傳染病 acute infectious diseases, 殊ニ敗血症 Sepsis; (septicémie, pyocémie). 猩紅熱 Scarlatina, Scharlach; scarlet fever; scarlatine, 敗血性及遷延性心内膜炎 Endocarditis septica et lenta, 急性白血病, 脾脫疽 Milzbrand; anthrax; charbon pustule maligne, 「アングナ」, 熱帶「マラリア」等デ多發性ノ毛細血管栓塞 multiple Kapillarenembolien ヲ起シタ場合ニ見ル。勿論「トキシシ」ノ作用モ考ヘラ

ル。「トキシシ」ニヨリ血管 vessels ノ傷害サレルモノニ「インフルエンザ」性肺炎, 大腸菌膿瘍 Coliabscess ヲ擧ゲテキル學者モアル。

器樣突起炎ノ炎症ガ上部ノ腎臟部ヲ侵スコト血尿アリト云フ。

v 腎楔狀梗塞 Niereninfarkt.

本症デハ血尿ガ時ニ突發ス。

vi 先天性及後天性囊狀腎 kongenitale u. erworbene Zysteniere, 及遊走腎 Ren mobilis, Wanderniere, movable kidney, rein flottant.

遊走腎デ出血ノ甚ダシイノハ腎臟柄 Nierenstiel ノ捻轉ニヨル。少量出血ハ輕度ノ柄捻轉ニヨリ起ル循環障礙性ノ腎實質傷害ニヨルモノガ多イ。

vii 腎動脈硬化及血管障礙。

老人ノ腎臟出血ハ多ク之ニ因ル。血管障礙ニヨル腎臟出血ハ腎動脈瘤, 及結節性動脈周圍炎 Periarteriitis nodosa, 腎靜脈壓迫, 血栓生成等デアアル。稀ニ腹部大動脈瘤ガ腎臟ヘ破裂シタ時, 又下行大靜脈ノ壓迫, 深部靜脈叢ノ壓迫, 脊柱前彎 Lordose, 側彎 Skoliose 等ニヨル血液循環障礙ニヨリテモ來ルト云フ。

viii 一般循環障礙ノ一分症, 又ハ下行大靜脈, 腎靜脈ノ壓迫等ニヨリ腎鬱血ノ甚シイ時ハ所謂鬱血腎 Stauungsniere ヲ起シ腎臟出血ヲ起スコトアリ。

ix 「トキシシ」其他有害化學物質ノ腎血管傷害(體內性有毒物ニツイテハ既述)。

體外性有毒物(exogen-toxische Ursache)トシテ大量ノ「ウロトロピン」, 水銀, 「カンタリヂン」, 「バルサム」類, 「メチレン」青, 蓚酸, 多量ノ重曹投與ニヨリ尿ノ強「アルカリ」性トナツタ時ニ血尿ヲ見ル。

ソノ他酸中毒(鹽酸, 硝酸, 硫酸), 銅中毒等ニモ來タル。

x 行軍血尿 Marschhämaturie.

強行軍ナドノ時ニハ健康者ニ血尿ヲ來タスコトガアル。之ハ強度ノ筋肉勞働ニヨリ生ジタ筋肉崩壞產物ノ中毒症狀ト考ヘラレテキル。

xi 直立血尿 Stehhämaturie.

之ハ直立性蛋白尿 orthostatische Albuminurie ト同様血液循環ニ因ルモノト考ヘラレテキル。

xii 歩行血尿 Gehhämaturie.

運動ニヨリ身體血液分布ガ不平均トナリ, 腎臟ニ貧血(Ischämie)ヲ起シタタメデアルト云フ。

xiii 過動腎臟出血 Überanstrengsblutung (V. Leyden, Fürbringer, G. Klemperer u.s.w) 過動後ニ血尿, 蛋白尿 albuminuria, 圓柱尿ヲ來スコトハ行軍血尿(既述)ト同義デアアルガ, 健康ナル人が激烈ナ過動ヲナシテ此等ノ症狀ヲ來シタ時ハ(健康腎ヨリノ出血 Hämaturie aus gesunden Nieren) 甚ダシキ危險症狀トサレテキル。

xiv 溫熱浴, 「アナファイラキシ」, 直立性蛋白尿, 交接後等ニ血尿ヲ見ルコトアリト云フ。

xv 出血性素質 hämorrhagische Diathese.

屢々腎臟出血アリ、特ニ強度ノ黃疸、萎縮性肝硬變ノ膽毒症 Cholämie ヲ起シタ時及白血病、壞血病 Skorbut, scurvy, ウェルホーフ氏病等ニ腎臟出血ヲナスコトアリ。

血友病デハ特ニ腎臟出血ヲヨク見、又遺傳的ノコトガヨクアルト云フ。

xvi 血管運動神經性血尿 angioneurotische Hämaturie, angioneurotic hematuria.

「ヒステリー」、「シヨック」等ノ際ニ見ラル、之ハ血管擴張筋痙攣ナリト云フ。又膀胱出血ヲ來スコトアリト云フ。(「ヒステリー」性膀胱出血 hysterische Blasenblutung)。

xvii 本態的血壓亢進症 genuine Hypertonie 血管運動神經ノ「ノイローゼ」、赤血球增多症 Polycythaemia rubra ニモ腎臟出血ヲナスコトアリ。

xviii 膵臟壞疽 Pankreasnekrose ノ時ニ血尿ヲ來スコトガアルノデ膵液ト血尿トノ間ニ一定ノ關係アリト考ヘテキル學者ガアル。

xix 腎臟隣接器官ノ化膿、癒着等ガ腎臟出血ヲ起スコトアリ。

xx 本態的血尿症 essentielle Hämaturie, essential hematuria. 泌尿路(腎ソノ他)ニ器械的障礙ナクシテ來ル血尿、主ニ腎性機能性ノモノナリト云フ。

經過又ハ精密ナ検査ニヨリ限局性腎炎、狹小ノ「ヒベルネフローム」、輕度腎臟結核、先天性血管異常ニヨル腎皮膜下ノ出血ニヨルト判明スル場合が多い。

xxi 其他泌尿路ニ出血ヲ來スモノ。

(イ) 代償性出血 vikariierende Hämaturie. 月經ノ代償ニ血尿ヲ來タスコトガアリ、腎性又ハ膀胱性ノコトガアル。

(ロ) 寄生蟲 Parasiten 就中 住血吸蟲 Distomum haematobium, 「フィラリア」 Filaria sanguinis 等ニヨリ血尿ヲ來スコトアリ。

「フィラリア」デハ血液ト乳糖トヲ出ス(血液乳糜症 Hämatochylurie)。「フィラリア」ニヨル淋巴管炎、靜脈炎ガ原因デ淋巴及靜脈血ノ鬱滯ヲ來シ、ソレガ破裂スル場合が多く、腎ヨリ出血スルコトモアルガ、膀胱ヨリ出血スル方が多イト云フ。

(ハ) 風土病的血尿 endemic hematuria. 膀胱ノ「ビルハルチア」蟲症 bilharziasis ニヨル。本症ハ更ニ萎黃病、結石形成、化膿、赤痢症狀ヲモ呈ス。

〔詐〕 falsche Hämaturie, false hematuria 食物又ハ藥品ニヨル帶赤色尿ヲ云フ。

血尿ノ療法

原病治療、臥床安靜, Bettruhe, rest in bed, repos au lit. 冷飲料、寒冷應用 application of cold. 止血劑注射。例ヘバ「ゼカコルニン」20 滴宛毎日 3—5 回 或ハ皮下注射(1—2 錠)、皮下又ハ直腸ニ「ゼラチン」注入。

尿道出血ニハ冷罌法 kalter Umschlag, cold compress, 絆創膏ニテ壓搾、收斂性溶液注射。

膀胱出血ニハ膀胱洗滌 irrigation of the bladder, bladder-washing. 1 半「クロール」鐵液注射。(氷冷水 0.5 立ニ 50 滴、「アドレナリン」又ハ「ズフラレニン」溶液(1:10000)、「ズブラグラドール」液(1:1000) 1—5 錠注入。

腎出血ニハ鹽酸「ヒトラスチン」1 日 3 回 2% 溶液、30—40 滴宛皮下注射。高張葡萄糖溶液靜脈内注射。高張ノ NaCl 溶液靜脈内注射ハ腎炎性血尿ニハ禁忌。錯酸鉛 lead acetate, ergot 等ノ内用。

(止血劑及出血ノ治療法參照)

血尿ノ類症鑑別表解 (I) (腎臟或ハ輸尿管ヨリ血液ノ混ズル場合)

	血尿ノ出ル時期	血尿ノ排出状態	血液量	尿ノ外見・性状	其他診斷要綱
(輸尿管)結石	腎盂・輸尿管ヨリ出血ス	血液ハ尿トヨクク平等ニ混ジテ腎臟痛 Nierenkolik ト共ニ血尿ヲ來タスコトアリ。然シ出血ハ共ニ不定ナルコト多シ	血液量ハ僅少 時ニ血液量ノ多キコトアリ	血液ガ圓錐様ニ凝固シテ居ル場合アリ	尿沈渣検査, 「レントゲン」透射, 「ピエログラフィ」 外傷・内臓出血及腹膜炎ノ徴候, 「シヨツク」 蛋白尿, 浮腫, 尿中圓錐, 上皮細胞證明, 血壓亢進 腎臟部疼痛及血痛「レントゲン」透視, 「ピエログラフィ」 尿中ニ膿・組織類廢物ヲ證明シ, 發熱惡寒ヲ訴フ, 腎臟腫瘍ヲ證ス 週期的ニ偶發スル腎臟出血・腎臟腫瘍ノ證明・總液質・尿中細胞證明 腎臟部疼痛, 尿中ニ膿及結核菌證明, 生殖器ニ結核ノ既存及現存 腎臟其他泌尿路ニ特別ノ器的障病ヲ認メズ
腎臟外傷				赤血球ハ平等ニ尿中ニ分布サレ, 肉汁様乃至暗赤色ヲ呈ス 赤血球圓錐ヲ證ス	
出血性腎臟炎			概シテ僅少 大量ノ出血ヲナスコトアリ		
腎臟結石	膀胱ヨリ上方ノ泌尿路ニ於テテ出血スルモノナレバ放尿ノ全經過ニ血尿ヲ見ル		僅少 不定時ニ大量ナルコトアリ		
腎臟膿瘍					
腎臟蒂腫					
腎臟結核					
本態性血尿性					

血尿ノ類症鑑別表解 (II) (膀胱ヨリ血液ノ混ズル場合)

	血尿ノ出ル時期	血尿ノ排出状態	血液量	尿ノ外見性状	其他診斷要綱
膀胱炎	概シテ放尿ノ全經過中ニ血尿ヲ出スモ共ニ終期ニ近クト共ニ血尿増盛ノ傾向ヲ有ス膀胱ニ「カテーテル」ヲ挿入スル時ハ血尿ヲ排ス		血液量ハ僅少ナルモ持續性ナリ 出血ハ僅少ノコト多ク出血時モ短カシ	血尿ハ腎臟性ノ尿ト異リ平等ナラズ, 放尿ノ初期ニハ血尿ノ色淺薄ナルモ, 終期ニハ濃厚トナル, 血液ハ時ニ凝固ス, 腫瘍ニ於テハ腫瘍細胞ヲ證ス	膿尿・尿意促進・放尿障病・急性症ニハ發熱ス 陰莖ニ放散スル強度ノ疼痛ヲ訴フ, 殊ニ身體運動ニ當リテ増強ス, 又尿流ノ突然中絶スルコトアリ, 消息子ニテ結石ヲ種當テル時ハ尿流出ス 突如トシテ他ノ症状ノ現ハレザルニ出血スルコトアリ, 又急ニ出血ノ消失スルコトアリ, 腫瘍(癌腫・肉癌腫等)ノ鑑別ニハ膀胱鏡ヲ用フ, 尿中腫瘍細胞ヲ證明ス,
膀胱結石		血液ハ尿ト混ジテ出ル・排尿時ニハ疼痛ヲ膀胱部ニ訴フ			
膀胱腫瘍			不定, 不規則ノ出血		

ニ「ヘモグロビン」ヲ出ス (H. frigore). 然シ發作が不完全ナラバ惡寒モナキカ又ハ輕度デアツテ血色素尿ノ代リニ蛋白尿, 圓柱ヲ證明スル.

發作ニ關係シテカ又ハ無關係ニ腫腫, 黃疸, 肝腫大等ヲ認メルコトガアル, 又發作が反復サレレバ時ニ貧血アリ.

本症ハ人工的ニモ發作ヲ誘發サル (Ehrlich-Donath Landsteiner's Versuch) 卽チ手足ヲ氷水ニテ 10—15 分間浸シ後ニ暖メレバヨイ. 之ハ診斷ニモ役立つ.

本病患者ニハ屢微毒, 「マラリヤ」等ガアル.

微毒患者ノ血液ニハ溶血素 Hämolysin ヲ含ミ, コノモノハ寒冷ニヨリ赤血球ト結び, 温カクナレバ此レニ補體が作用シテ溶血反應ヲ起スノデアル. 此ノ溶血素ハ寒冷ニヨリ初メテ赤血球ト結び付ク點ガ普通ノ溶血素ト違フ.

ソノ他, 體働ニヨリテ誘發サレ, 變性微毒 Metalues (麻痺性尿毒, 脊髄癆等) ニモ見ル.

血色素尿ノ療法

寒冷ヲ避ケ, 原因療法 (微毒, 「マラリア」) 水治療法ニテ身體ヲ強健ナラシメ鐵砒素劑ヲ與ヘル.

「ワ」氏反應ヲ消失サセルコトハ六ヶ數シイ. ヨク先天性微毒ノ人ニ見ラル. 10% 「ヒヨロステリン」乳化態 0.5 筋肉内注射, 亞硝酸「アミール」吸入等ヲ行フ.

生殖器出血

Genitalblutung.

妊娠及ビ分娩時出血 Blutungen während der Schwangerschaft und Geburt, bleeding during pregnancy and confinement or delivery.

A. 妊娠中ノ生殖器出血 Genitalblutung, genital bleeding.

(1) 妊娠前半期ニ來ル出血

流産 Abortus, Abort, abortion, fausse couche, avortement, 葡萄狀鬼胎 Mola hydatidosa, Traubenmole, Blasenmole, hydatid or cystic mole, môle hydatiforme, 喇叭管妊娠中絶.

(2) 妊娠後半期ニ來ル出血

前置胎盤 Placenta previa, 胎盤早期剝離 frühzeitige Placentaablösung, 早産 Partus praematurus, Frühgeburt, premature labor, accouchement prématuré.

(3) 全妊娠期ヲ通ジテ來ル出血.

子宮腔部糜爛 Erosio portionis uteri, 子宮腔部潰瘍 Ulcus portionis uteri, 子宮内膜炎 Endometritis, 子宮頸部粘液「ポリープ」 Schleimpolyp des Mutterhalses, 子宮癌腫 Carcinoma uteri, Mutterkrebs, cancer of uterus, 子宮筋腫 Myoma uteri, 靜脈瘤 Varix ノ破裂.

(B) 分娩時子宮出血

(1) 分娩第一期及第二期ニ於ケル出血

靜脈瘤破裂, 子宮頸部癌又ハ息肉, 臍帶血管ノ斷裂, 子宮破裂 Ruptura uteri, rupture of uterus, 正常位置ノ胎盤早期剝離, 前置胎盤.

(2) 分娩第三期及分娩直後ノ出血

軟部産道ノ損傷, 子宮内臓症, 胎盤稽留及子宮弛緩 (Atonische Blutung).

下血(腸出血・痔核)

Blutabgang vom Anus. (Darmblutung Hämorrhoiden.)

下血

ハ色々ノ消化器疾患殊ニ腸疾患 intestinal diseases ニ於テ見ラル。糞便ニ混ジタ血液量が大量ナル時ハ糞便ハ暗赤色ヨリ黒色ヲ呈シ(瀝青—「テール」様, pechartig—teerartig) 來ル。ヨク見ラレルノハ「チフス」Typhus abdominalis, 腸間膜動脈等ノ栓塞(Embolie) 腸潰瘍 Darmgeschwür. ulcer of the intestine, 肝硬變症, 重症腸炎, 出血性素因(殊ニ紫斑病), 痔, 直腸腫瘍等デアル。

豫備知識

I. 糞便ノ一般觀察

正常糞便ハ消化吸収サレナイ食物殘片 unresorbierte Nahrungsreste, 細菌(殊ニ大腸菌), 消化分泌液ノ殘餘, 腸粘膜炎上皮細胞, 少量ノ粘液ヨリナリ一部ハ腸内ニ排泄サレル「カルテウム」鹽類及重金屬ヲ含ム, 病的ニナルト血液, 膿, 組織片, 寄生蟲等ヲ證明ス。

(a) 硬軟形狀 Konsistenz und Form des Stuhls, 正常糞便ハ軟固形, 腸詰様 festweich u. wurstförmig. 脂肪分及植物成分多ケレバ濃粥狀 dickbreiig, 軟粥便(下痢便)ハ腸蠕動機ノ亢進, 腸粘膜炎出増多ニ來タリ, 便秘便ハ硬シ。

宿便 Skybala ノ扁平, 狹小(鉛筆様糞便 Bleistift-od, Ziegenkot) ハ腸狹窄, 飢餓時, 直腸痙攣等ニ見ラル。

(b) 色澤 Farbe der Fäzes.

食餌ニ關スル。

混食ハ褐色, 肉食ハ黒褐色, 植物食ハ黄褐色, 血液ヲ含ム時ハ黒褐色ヲ呈スル。

服用セル藥物ニヨリ色ヲ異ニスル, 卽 鐵, 蒼鉛ハ黒綠色, 甘汞ハ綠褐色, 大黃ハ黄褐色, 炭末ハ黒色, 水銀鹽ハ綠色(「ビルルビン」ノ「ビルベルジン」酸化及 Hg₂O 形成), 「メチーレン」青ハ排便時變化ナキモ, 空氣ニ觸レテ青綠色トナル。

胃及十二指腸ヨリノ出血ニハ暗赤色又ハ「テール」様トナリ結腸, 直腸又ハ肛門等ヨリノ出血デハ暗赤色乃至鮮紅色ヲ呈ス。

黄疸デ胆汁色素ノ腸内ニ排泄サレナイ時ハ糞便ハ多量ノ脂肪分ヲ含ミ粘土色(Lehm-od. Tonfarbe)ヲ呈シ, 粘液, 膿等ヲ大量ニ含ム時ハ灰白色乃至灰白黄色トナル。

黄疸ヲ伴ハナイ粘土便ハ重症脾臟疾患ニ見ラレル。

(c) 臭氣 Geruch; odor; odeur 通常ハ所謂糞便臭 Kotgeruch, odor

of feces ヲ有スルガ, 攝食物ニヨリ色々デアアル。殊ニ蛋白質ヲ攝ルト臭氣ハ強イ。

下痢便ハ一般ニ臭氣弱ク, 「コレラ」患者ノ便ハ無臭ノコトスラアル。牛乳便 Milchkot モ臭氣が少ナイ。

便秘及ビ胆汁色素缺乏症ノ糞便ハ臭氣が強イ。後者デハ蛋白質分解ヲ好都合ニスル胆汁ヲ缺如スルカラデアアル。

血液, 膿, 粘液等ノ腐敗シ易イモノヲ混ズル時ハ更ニ臭氣が強イ。粘液が多量(例ヘバ 赤痢 dysentery, bloody flux) ナル時ハ精液臭 spermaartiger Geruch ヲ有シ, 含水炭素醱酵ノ著シイ時 starke Kohlehydratgärung デハ醋酸 Essigsäure 又ハ酪酸臭 Geruch nach Buttersäure アリ。

(d) 反應 Reaktion.

正常便ハ中性, 菜食者ハ酸性(含水炭素醱酵ニヨル有機酸)肉食者ハ「アルカリ」性(蛋白質分解ニヨル「アンモニア」), 腸「カタル」デハ多ク「アルカリ」性, 但シ醱酵作用強ケレバ酸性。

II. 潜在性出血 okkulte Blutung, occult blood, or bleeding.

大量ノ出血ハ糞便ヲ變色(暗褐色—「テール」様)セシムルカラ一日シテ之ヲ知り得ルガ, 少量ノ出血デハ化學的検査ニヨラナケレバナラナイ, 例ヘバ胃潰瘍, 十二指腸潰瘍, 癌腫, 結核等デモカ・ルコトが屢々アル。

検査法

1. 前處置 Vorbehandlung, Vorbereitung, preparation.

(a) 豫メ 3 日前ヨリ血液ヲ含有スル獸肉, 魚肉, 肉汁, 肉「エキス」等ヲ避ケル。

(b) 蒼鉛, 獸炭, 「アルミニウム」等ハ觸媒 Katalysator トシテ作用スルカラ之等モ豫メ投棄セズ。

(c) 衄血, 齒齦出血, 咽頭出血, 痔出血, 血尿, 經血ノ有無等ニ注意。

2. 検査術式

(a) ウーベル氏法 Weber's Methode 可檢便胡桃大ニ約 1/6 容量ノ濃醋酸ヲ加ヘヨク攪拌混和シテ充分ナル醋酸「ヘマチン」ヲ生成シ之ヲ他ノ試験管ニ入レテ數滴ノ「エーテル」ヲ加ヘヨク振盪シ, 醋酸「ヘマチン」ヲ「エーテル」ニ移行セシメ赤褐色トナス。此際 2—3 滴ノ「アルコール」ヲ加フル時ハ「エーテル」層ノ分離ヲ容易ナラシメル。此ノ「エーテル」部ヲ改メテ試験管ニ取り, 新鮮ナル「グアヤク・チンキ」ヲ數滴加ヘ「テルペンチン」油(「オゾン」ヲ含ム)ヲ十數滴(3%ノ H₂O₂ ニテ代用サル)加ヘテヨク振盪スル。

陽性ナラバ此ノ溶液ハ青紫色トラル。

注意

1) 本反應ハ膿, 乳汁, 「ヨードカリ」, 亞硝酸ニテモ陽性トナル。

2) 膿汁デハ「テレピン」油又ハ H₂O₂ ヲ加ヘナクトモ白血球 pus

- cells ノ觸媒作用ニヨリ陽性トナル。之ヲ煮沸シテ酵素ヲ破壊スレバ青變セズ。血液ナラバ煮沸スルモ青變ス。
- (b) 「ベンチヂン」法 Benzidinprobe nach Adler 可檢便少量ヲ水ニテ柔軟流動性トナシ、純「ベンチヂン」1 刀尖ヲ2—3 モノヲ之ニ加シ、氷醋酸ニ溶解シ、ソノ10—15滴ヲ3% H₂O₂ 水2 坵ニ注加セルフ。1—3 分靜置後綠色乃至綠青色ヲ呈スルモノヲ陽性トス。本法ハ鋭敏ニ過ギル傾キアリ。
- (c) ボアス氏「フェノール・フタレイン」法
 拇指頭大ノ糞ノ塊ヲ數滴ノ氷醋酸ニテ細碎混和シ、次ニ5—6ccノ「エーテル」ヲ加ヘ振盪浸出ス。之ニボアス氏試薬ヲ加ヘタル後、H₂O₂ヲ加フ、陽性ナラバ鮮紅色ヲ呈ス。

ボアス氏 Boas 試薬

「フェノール・フタレイン」	1.0
水酸化「カリウム」	25.0
亞鉛末	10.0
蒸留水	100.0

上記無色ニナル迄加熱煮沸、濾過シテ褐色瓶ニ貯フ。

〔註〕 以上ノ外「アロイン」試験法、「ボルファイリン」反應等アリ。

下血ヲ伴フ疾患

1. 消化系疾患

- (a) 胃潰瘍、胃癌、腸潰瘍、腸腫瘍(癌腫等、悪性腫瘍及「ポリープ」、纖維腫等ノ良性腫瘍) 腸炎、腸壘積、腸血管血栓。
- (b) 痔核、肛門裂創 Fissura ani.
- (c) 肝、膽道及脾臓疾患。
 肝硬變症 Lebercirrhose 門脈血栓 Pylethrombosis, 門脈炎 Pylephlebitis, 肝動脈動脈瘤。等

2. 傳染病

腸「チフス」、腸結核、「パラ・チフス」、「インフルエンザ」、敗血症、赤痢、疫痢、脾脱疽、等。

3. 中毒

- (a) 銅、「クローム」酸 等ノ中毒。
 (b) 重症自家中毒症。

4. 出血性素因。Hämorrhagische Diathese.

例ヘバ血友病。

下血ヲ伴フ重要疾患

1. 胃潰瘍

吐血及下血、疼痛、嘔吐ハ診斷上重要ナ症候デアル。疼痛ハ胃痙攣發作トナルコトガ多イ。通常上腹部ニ現ル。

吐血ハ場合ニヨツテハ全く起ラズニ血液ガ悉ク大便中ニ排泄サレルコトガアル。嘔吐ナシニ人事不省トナリ貧血ヲ起シ黒色大便ヲ排泄スル時

ハ胃潰瘍ヲ考ヘネバナラヌ。

勿論十二指腸潰瘍デモ同ジ症状ガ現ル。

潜在出血ガ痔核ノ如キ他ニ出血ノ場所ナクシテ反復サレ胃症状ガアル時ハ本症ヲ疑フ。勿論食物ニモ注意シナケレバナラヌ。但シ胃癌デモヨク潜在出血ヲ見ル。X線検査ハ必要デアル。

2. 胃癌

數日間肉類ヲ與ヘナイデ反覆、糞便中ノ潜出血ヲ檢スル。之ニヨリ陽性トナラバ胃癌ノ疑ガアル(95%ニアリト)。胃癌ノ出血ハ適當ナ療法ニヨリ次第ニ輕快スル。癌デハ一度陽性ニナルト中々陰性ニナラナイ。

3. 十二指腸潰瘍

腸潰瘍ハ傳染病(腸「チフス」、結核、赤痢等)、體質病(白血病等)、血管疾患、腸痙攣及ヒ疊積、腫瘍等ヨリ起ル。

潰瘍面カラ少量ツツノ慢性出血ガ起リ、大便中ニ出ルコトハ十二指腸潰瘍ニテ最モ著シク吐血スルコトハ割合少ナイ。下血ガ止マラナイ時ハ全身ノ貧血ヲ起ス、十二指腸潰瘍デハヨク大出血ヲ起スガ、之ハ近接部ニ大血管ガ走り、潰瘍ガコノ血管ヲ侵スカラデアル。

潜在出血ノミデ潰瘍ノ診斷ハ下シ得ラレス。鬱血性「カタール」ヲ起シ實質性腸出血ヲ起ス時ハ潰瘍ナクトモ潜出血ハ陽性トナル。

4. 肝硬變症 Leberzirrhose, cirrhosis of the liver.

本症デハ門脈ノ循環障礙ヲヨク起スガ、更ニ重要ナ障礙ハ消化管ニ鬱血ヲ起スコトデアル、スルト「カタール」ヲ喚起シ、惡心、便通不順等ヲ示シ、更ニ頑固ナ便秘又ハ下痢ヲ起スコトガアル、鬱血ガ更ニ著シクナルト出血ヲ起ス。殊ニ惡液質、「アルコール」中毒ガアレバ一層出血シ易イ、カクシテ吐血又ハ下血ヲ惹起シ時ニハ胃潰瘍ト誤診サル。直腸ノ鬱血ガ著明ナ腸出血トシテヨク現ル、吐血ハヨク食道ノ靜脈瘤破裂ニヨル。

出血ガ高度ナルカ又ハ頻發ナル時ハ失血死ヲ起ス屢々肝臓機能不全又ハ出血性素因ノ症状ノ下ニ死亡ス。

5. 直腸癌

男子、40歳以上ニ多イ。便通ハ不規則デ秘結又ハ下痢ニ傾キ、糞便中ニハ粘液、組織片、血液、膿汁等ヲ混ズ。一回ノ下痢ノ量ハ少ナク、不定的發作的ニ薦骨痛、膀胱障礙、坐骨神經痛等ヲ訴ヘ、又時ニハ急ニ「イレウス」症状ヲ呈ス。

症状ガ進メバ裏急後重ト疼痛ニ苦シム、指頭検査 Digitaluntersuchung 及ビ直腸鏡 Romanoskop ニヨリ診斷ヲ下ス。

結腸癌デハ潜出血ノ證明、線検査ヲ忘レテハナラナイ。

6. 「ポリープ」

本症デハ常ニ小出血ヲ來スガヨク看過サレル、然シ時ニハ大出血ヲ起ス潜出血ノ検査、直腸鏡検査ヲ必ず行フ。偶然ニ「ポリープ」ガ離脱サルルコトガアル。

7. 腸壘積 Invagination, Intussusception.

本症デハ急ニ血性又ハ血液粘液性便ヲ起ス。其他惡心、嘔吐、鼓腸等

が現レル。小兒ニ多イ。

8. 痔核 Hämmorrhoid.

痔靜脈ノ靜脈血性擴張 variköse Erweiterung, varicous enlargement デアル。之ニ血液が充滿シテ壓迫サレ、時ニ破裂スルカラ多量ノ出血ヲ起ス。

痔出血後患者ハ爽快ヲ感ズルガ度々起レバ貧血ヲ起ス。視診ト觸診ニヨリ診斷ハ割合容易デアル。

9. 門脈炎 Pylephlebitis.

本症ハ脈管硬化症又ハ微毒性血管疾患ノ一分症トシテ現ハレ、時々門脈栓塞ノ原因トナル。

經過ハ一般ニ早く、間歇性熱發作ト惡寒戰慄トガアツテ敗血症狀ヲ呈シ、痔腫、血便、黃疸等ヲ伴フ。

直腸検査ハ必要デアツテ、直腸周圍膿瘍、攝膜腺炎、女子生殖器化膿ヨリ本症ハヨク誘發サル。

10. 腸「チフス」

腸「チフス」ノ下血ハ第三週ニ於テヨク起ル最モ危険ナル合併症デアツテ、之ヨリ更ニ穿孔性腹膜炎ヲ起スコトガアル。

出血スルノハ潰瘍面ノ痂皮剝脱ニヨルモノデアツテ約 4—6% ニ見ラレルト云フ。多量ニ出血スレバ暗赤色ノ軟カイ血塊ヲ排泄スルコトガアルガ、腸中ニ長ク滞在スレバ黒色、「テール」様トナル。少量ヅツ出血スレバ糞便ノ色ハ變ラナイ、ヨク出血ハ反覆サル。

多量ノ出血デハ患者ハ急性貧血ノ症狀ヲ呈ス、即脈搏ハ辛ウジテ觸レ Puls kaum fühlbar, feeble pulse, 時ニハ虚脱ニ陥リ死亡ス。

時ニ出血後經過ガヨクナリ、速カニ治ルコトスラアル。

出血時體温ノ下ルコトガヨクアル。

「パラチフス」ノ腸出血ハ稀デアル。

11. 赤痢

粘液、血液時ニハ膿汁ヲ混ジタ下痢ヲ起スコトガ特有デアル、糞便ハ腐敗臭ヲ放チ、粘液ヲ混ジテキルノデ蛙ノ卵ノ様デアリ、遂ニハ純血液粘液便トナル。

時ヲ經ルト血量ハ増シテ暗赤色トナル（赤痢 rote Ruhr）又膿球ガ大部分ヲ占メルコトモアル（白痢 waisse Ruhr）。糞便中カラ赤痢菌ヲ證明サレヌ場合ガヨクアル。本症ハ大腸ニ S 字狀部、及直腸ニ主ナル病變ヲ認メル。

疫痢（早手、颯風病）デハ血液混入量ガ少ナイ。

下血ノ療法（出血ノ療法参照）

原因療法ヲ第一トスル。

例ハバ痔核ニ對スル手術的療法、胃及十二指腸潰瘍ニ對スル安静就床、食餌療法、手術療法、物理療法（洗腸、氷嚢、プリースニッツ氏電法等）其他適宜藥物療法（止血劑、血清療法、）等ヲ行フ。

藥物トシテハ收斂劑（蒼鉛、銀鹽等）、鎮痛鎮靜劑（阿片、「モルヒン」

「アトロピン」、「パピバザニリン」、「コデイン」等）。

止血劑（「ゼラチン」、「カルチウム」、食鹽、「クラウデン」、「トロンピン」等）、「アルカリ」劑（重曹、「マグネシア」、沈降炭酸「カルチウム」等）、下痢（「カルルス」泉鹽等）等ヲ用フ、要スルニ 1) 止血法 2) 基礎疾患治療ヲ講ズルコトガ第一デアル、（一般止血法参照）。

下血ニ對スル處方例

(1) 處方 Rp.
5% 葡萄糖溶液 500.0—1000. cc 5% Traubenzuckerlösung
500.0—1000.0 cc

上記皮下注射料 S. zur subk. Inj.

〔註〕 重篤ナラバ更ニ高張（8—50%）葡萄糖溶液又ハ轉化糖（「イベトン」等）ヲ靜脈内注射ス。

(2) 處方（肝硬變症） Rp.
「ヨード・カリ」 Kal, jod.
「ヨード・ナトリウム」 1.0 Natr, jod. aa, 1.0
重炭酸「ソーダ」 2.0 Natr, bicarb. 2.0
上記 1日 3回分服 D. S. aul 3× tägl, z. n.

(3) 處方（肝硬變症） Rp.
「ヨードスターリン」(Roche) Jodostarin (Roche)
3—6錠 3—6 Tab
上記 1日 3回分服 S. auf 3× tägl, z. n.

〔註〕 本劑ハ動脈硬化、微毒、「アクチノ・ミヨーゼ」、甲狀腺腫、鉛中毒等ニモ用フ。内科的療法無効ナル時ハタタル氏手術ヲナス。（網固定法 Omentofixation, Epiplapexie）。

(4) 處方（腸出血） Rp.
阿片「チンキ」 30滴 Tr. Opii gtt. XXX
上記頓用 S. Auf einmal z. n.

〔註〕 阿片「チンキ」ニヨリ蠕動抑制、凝血ヲ促ス、初メ 30 滴ヲ頓用、後ニ 1 回 5—10 滴宛毎 3—4 時間毎ニ服用。4—5 日連用。

(5) 處方（腸出血） Rp.
2% 「ゼラチン」溶液 200. cc 2% Gelatin Solution 200. cc
上記生理的食鹽水ト共ニ皮下注射 S. for hypodermic injection
with physiological saline
solution.

〔註〕 (1) 「ゼラチン」ハ又 10% 溶液ヲ 1日 3—6 食匙宛内服或ハ生理的食鹽水 300 cc 中ニ「ゼラチン」15—20 瓦ヲ入レ注腸ス。

(2) 腸「チフス」ニヨル腸出血デハ 1日 2—4 回、48—50 °C ニ温メタ 5% 「ゼラチン」溶液ヲ 250—500 錠、注腸。「ゼラチン」ノ皮下注射ハヨクナイト云フ人ガアル。温カイ「コーヒー」ニ入レ服用サセルモヨイ。

(6) 處方（腸出血） Rp.

醋酸鉛	0.02	Lead acetate	0.02
「パントポン」	0.03—0.04	Pantopon	0.03—0.04
乳糖	0.3	Sugar of milk	0.3
上記爲1包, 6包ヲ與ヘ毎2時間1包宛.		As one powder, give six doses.	
S. one dose every 2 hours.			

- 〔註〕 (1) 腸出血ニハ絶對安靜, 絶食, 腹部水置法が必要ナル。
 (2) 食餌ハ初メ直腸營養法 rectal alimentation ヲナシ, 次第ニ流動食トス, ル鹽酸シ易キ牛乳, 卵黃ハ又下痢ヲ起シ易イカラ與ヘヌ方ガヨイ。
 (3) 出血ガ強クテ虚脱ニ陥人ツテモスグニ興奮劑ヲ與ヘルノハヨクナイ。血液循環ガヨクナリ又出血シ易クナル。

(7) 處方(腸出血) Rp. (intestinal bleeding)

冷水	1000.0	Rp. Cold water	1000.0
「タンニン」酸	2.0	Tannic acid	2.0
上記注射料		S. for enema.	

〔註〕 「タンニン」酸ヲ過「クコロ」鐵液 10 滴ニテ代用シ得。又 1000 倍「アドレナリン」15 滴ヲ 1 立ノ水ニ加ヘ 24 時間ニ點滴注射スルモヨイ。

(8) 處方(腸出血) Rp.

「ゼカコルニン」	30 滴	Secacornin	30 ^g gtt
上記 1 日 3 回ニ分服		D. S. auf 3× tägl, z. n.	

〔註〕 「ゼカコルニン」ハ又皮下注射ニモ用ヒラル (1/2筒)

(9) 處方 Rp.

「ゼラチン」	15.0	Gelat, albae	15.0
食鹽	10.0	Natr, chlor,	10.0
乳酸「カルシウム」	2.0	Calc. lact.	2.0
「メント」水	8.0	Aq. Menthae	8.0
「シロップ」	8.0	S. simp.	8.0
淨水	100.0	Aq.	100.0
上記 1 日 3 回ニ分服		D. S. auf 3× tägl, z. n.	

(10) 處方 Rp.

5% 「クラウデン」	10.0 cc	5% Clauden	10.0 cc
上記静脈内注射料		S. for intravenous injection	

〔註〕 内服ニハ錠劑 (0.25) ヲ 1 日 4—8 錠, 與ヘ皮下又ハ筋肉内ニモ注射シ得。

(11) 處方 Rp.

「カリチーネ」	5—10 莖	Kalizine	5—10 ccm
上記静脈又ハ筋肉内注射料		S. zur intraven, od, intramusk. Inj.	

〔註〕 「カリチーネ」(Merck) ハ 5% CaCl₂, 10% 「ゼラチン」 溶液。

(12) 處方(胃腸潰瘍) Rp.

重碳酸「ソーダ」	6.0	Natr, bicarb,	6.0
「マグネシア」	3.0	Mag. ustae.	3.0
「ロート・エキス」	0.12	Extr. Scopoliae	0.12
上記爲 6 包, 1 日 3 回食後 30 分ニ與フ。		Als 6 Pulv.	
D. S. Auf 3× tägl, 30M. n. d. E. z. n.			

- 〔註〕 (1) 「ロート・エキス」ハ分泌抑制作用ガアルカラ過酸症ノ場合ニヨイ。「アルカリ」劑, 蒼鉛等ト伍用スル。
 (2) 胃潰瘍ニシテモ十二指腸潰瘍ニシテモ胃ノ鹽酸ヲ少クスルコトが必要ナル。之ガ爲ニハ中和, 胃分泌低下及胃ノ鹽酸ヲ作ルヤウナ物質ヲ與ヘヌコト等が必要ナル。
 (3) 胃酸中和ノ目的ナラバ「マグネシア」ガヨイ, 又牛乳中ノ蛋白質モ酸ト結合スル。「アトロピン」, 「ロートエキス」ナドハ迷走神經ヲ麻痺シ分泌ヲ少クスル。
 (4) 十二指腸潰瘍デ一部分ガ穿孔シ周圍臟器ト癒着シ疼痛アル時ハ外科的ニ處置ス。

(13) 處方(胃潰瘍) Rp.

「ベラドンナ・エキス」	0.1	Extract of belladonna	0.1
「マグネシア」	5.0	Mag. ustae	5.0
白糖	10.0	Sacch. alb.	10.0
「クエン」酸「ソーダ」	40.0	Sodium citrate	40.0
上記 1 日 3 回 1 茶匙宛		D. S. three times a day 1 teaspoonful.	

(14) 處方(胃潰瘍) Rp.

磷酸「コデイン」	0.12	Codein, phosphor	
「ロート・エキス」	0.12	Extr. Scopoliae	aa. 0.12
炭酸蒼鉛	3.0	Bism, carb	
乳糖	3.0	Sacch, lact,	aa. 3.0
上記分十包, 1 日 3 回 1 包宛		Als 10 Pulver.	
S. auf 3× tägl, z. n.			

〔註〕 潰瘍アル人ハ「ワゴトエー」Vagotonie ノ状態ニアルノデ比較的「アトロピン」ニ能ク堪ヘル。

(15) 處方(重症腸炎) Rp.

重曹	3.0	Natr, bicarb.	3.0
阿片「チンキ」	1.0	Tr. Opii	1.0
「ロートエキス」	0.04	Extr. Scopoliae	0.04
「シロップ」	8.0	S. S.	8.0
淨水	1000.0	Aq.	100.0
上記 1 日 3 回ニ分服		D. S. auf 3× tägl, z. n.	

(16) 處方(腸炎) Rp.

「タンニン」酸	0.3	Acid, tannic	0.3
阿片末	0.06	Pulv. Opii	0.06
乳糖	1.0	S. lact,	1.0
S. auf 3× tägl, z. n.			

(17) 處方		Rp.	
鹽酸「モルヒン」	0.2	Morph. hydrochlor.	0.2
硫酸「アトロピン」	0.01	Atrop. sulf.	0.01
蒸溜水	10.0	Aq. dest.	10.0
上記皮下注射料		S. zur subk, Inj.	
	0.3—0.5—1.0 瓊		0.3—0.5—1.0

〔註〕「モルヒン」ニハ鎮痛、鎮靜作用ガアリ。又精神的ニモ肉體的ニモ安
靜ノ目的ニ適シ、病苦煩悶等ヲ解除スル。
然シ迷走神經ノ緊張ヲ高メテ分泌ヲ充進スルカラ之ヲ防グ目的ニ「ア
トロピン」ヲ伍用ス。

(18) 處方		Rp.	
乳酸「カルチウム」		Calc. lact.	
「タンナルピン」		Tannalbin	
次硝酸蒼鉛	各々 3.0	Bism. subnit	aa. 3.0
上記 1日 3回食前又ハ食間ニ分服		D. S. auf 3× tägl, v. od. zw. d. E. z. n.	

(19) 處方		Rp.	
炭酸「カルチウム」	1.5	Calc. carb.	1.5
「タンナルピン」	2.5	Tannalbin	2.5
「デルマトール」	1.5	Dermatol	1.5
「ロート・エキス」	0.04	Extr. Scopoliae	0.04
上記 1日 3回食前分服		D. S. auf 3× v. d. E. z. n.	

(20) 處方(慢性直腸炎)		Rp.	
重碳酸「ソーダ」	2.0	Natr. bicarb.	2.0
大黃末	0.3—0.5	Pulv. Rhei.	0.3—0.5
「ロート・エキス」	0.04	Extr. Scopoliae	0.04
上記 1日 3回食前分服		D. S. auf 3× tägl, v. d. E.	

〔註〕 蟲様突起炎、十二指腸潰瘍デハ下劑ヲ用ヒヌ方ガヨイ。

(21) 處方(胃潰瘍)		Rp.	
硝酸銀	0.05	Argent. nitr.	0.05
「グリセリン」	20.0	Glycerin	20.0
蒸溜水	15.0	Aq. dest.	15.0
上記黑色壘ニ入レ		M. D. S. vitro nigri	
1日 3回 1食 1匙宛		S. 3× tägl, Esslöff z. n.	

(22) 處方		Rp.	
獸炭	30.0	Carb. animal.	30.0
「アドゾルピン」	5.0	Adsorbin	5.0
阿片「チンキ」	1.0	Tr. Opii	1.0
淨水	200.0	Aq.	200.0
上記 1日數回ニ分服		M. D. S. auf mehrmals, tägl, z. n.	

〔註〕「アドゾルピン」ハ珪酸「アルミニウム」吸著劑。

(23) 處方(「アミーバ」赤痢)		Rp.	
-------------------	--	-----	--

鹽酸「エメチン」	0.04—0.08	Emetin, hydrochlor.	
上記滅菌生理的食鹽水ト共ニ	1		0.04—0.08
日 1回皮下注射 4日間連續		S. für subk, Inj, einmalig tägl, mit sterilisierter phy- siologischer Kochsalzlö- sung, 4 Tage lang.	

〔註〕「アミーバ」赤痢ニヨル血便ハ大體此レニテ消失スルガ小形「アミー
バ」及囊子ノ消失スルヲ認メネバナラス。

本法ハ下痢便ノ時ヨク奏效ス、慢性トナレバ「ヤトレン」ヲ用フ、即第
1日目ニ 0.25 ヲ與ヘ 1日 3回食後 30分ニ服用、下痢ガ起レバ 8日
間連用、便秘スレバ 第2日目ニ増量 0.5 ヅツ 1日 3回投與 2日連
用、又 2%「ヤトレン」溶液ヲ 300cc 注腸又ハ 2.5% ヲ 200—500cc
注腸。

(24) 處方		Rp.	
千倍「アドレナリン」溶液		0.1% Adrenalin-lösung	
	0.5—1.0		0.5—1.0
上記皮下注射料		S. Zur subk, Inj.	

〔註〕「アドレナリン」ハ痔出血ニモ用ヒラレテキル、痔核ニハ便通ヲツケル
コトガ一番必要デアル、出血甚シキ時ハ結節ヲ切除、ボアス氏鬱血療法
モ行ハル、ソノ他止血ニハ「ゼカコルニン」ノ内用又ハ皮下注射、又ハ
「クラウデン」ヲ綿花ニ含マセテ壓迫スル事ナドガ行ハレテキル。

排尿障碍

Störungen der Harnentleerung. Disturbances of urination, micturition or water passing, troubles de miction.

膀胱ノ解剖及ヒ生理

膀胱 Vesica urinaria, Harnblase, (urinary) bladder, vessie urinaire. ハ前方恥骨縫合 Symphysis ossium pubis, symphysis, symphyse pubienne ニ、後方、直腸(男子)、子宮、膣(女子)ニ對スル内空臓器 Hohlorgan デアツテ中ニ尿ヲ一定量迄貯ヘル。從ツテ膀胱ヲ直腸、膣カラ觸診スル事が出來ル。

膀胱壁ハ粘膜 Tunica mucosa, Schleimhaut, mucous membrane (内層)、平滑筋 glatte Muskulatur (中層)、漿膜 Tunica serosa, seröse Haut, serous membrane (外層)ノ三層ヨリナリ、漿膜ハ腹膜ノ續キデアツテ膀胱ノ上部及後面 upper and back part ノ大部分ヲ被覆シテキル。

粘膜上皮(内層)ハ重層磚狀上皮 gesichtetes Pflasterepithel デアツテ多角形 polygonal ノ大キナ薄イ細胞ヨリナル。此ノ上皮細胞ハ膀胱「カタル」ノ時ニ尿中ニ澤山剝離シテ出テケルカラ、被檢尿ノ鏡檢ニヨリ粘膜層ノ炎症ノ有無ヲ知ルニ便利デアル。

筋層(中層)ハ所謂空洞筋 Hohlmuskel ヲナシ、内外筋纖維ハ縱走シ、中間筋纖維ハ輪走スル。此ノ三筋纖維層ノ緊張が高マリ膀胱收縮ガ起ルト膀胱内容ハ減少シテ其ノ内容即チ尿ガ排出サレル。

二本ノ輸尿管 Ureter, Harnleiter ト一本ノ尿道 Urethra トノ膀胱開口部ハ筋ガ輪狀 ring-form ニ走ツテキテ、括約筋ヲ形成シテキル。就中尿道開口部(内尿道口)ニ著シイ。之ヲ内括約筋 M. sphincter internus ト云ヒ、常ニ緊張ヲ以テ收縮シテ尿流出 Harnabfluss ヲ防グ、此ノ括約筋ニ對シ空洞筋 Hohlmuskel ヲ利尿筋又ハ排尿筋 M. detrusor ト云フ。

外括約筋ハ膀胱、尿道移行部ニアツテ横紋筋(隨意筋)ヨリナリ、意志ニヨル排尿調節ヲ可能ナラシメル。放尿中急ニ尿條ヲ中止シ得ルノ外括約筋ノ隨意的收縮ニヨル。此ノ外括約筋ト同様ノ作用ヲナス隨意筋ニハ坐骨海綿體筋 M. ischiocavernosus, 球海綿體筋 M. bulbo-cavernosus 等アリ。

膀胱内面ニ於テ兩側ノ輸尿管及ヒ尿道ノ出口ノ三點ヲ結ビツケル三角形ヲ膀胱三角 Trigonum vesicae ト云ヒ、刺戟ニ對シテ特ニ知覺過敏デアル。

1. 尿ノ生成

腎臟ニ於ケル尿生成ノ目的ハ血液成分、即チ反應ヲ一定ニ保タントスルノ調整ニアルカラ、尿量ハ血液中ノ水分増減ニヨリ變化スル(成人1日約 1 Liter 内外)。血液ノ滲透壓恒定(酸・「アルカリ」平衡、「イオン」關係ノ平衡保持等)ヲ保持スベク過剰分ハ尿トシテ排泄サル。尿ノ主成分ハ水分・尿素・尿酸・「クロールナトリウム」(勿論大部分ハ解離シテ居ルガ)デアツテ成分ノ大部分ハ血液中ニアルガ尿中ニハ又血液ニナイ NH₃ ヤ馬尿酸ヲ含ム。

尿生成ニハ血管内ト組織トノ間ノ滲透、擴散及特ニ血液中ノ「コロイド」ノ滲透作用ガ重要ナ役目ヲ演ズルラシク、血中ニ「グラーチン」ヲ注入スレバ尿量減ジ、血液ノ一部ヲ代用液(或ハ代用液+血球)例ヘバリンガー氏液、ロツク氏液、5% 葡萄糖液等ニテ入れ換ヘレバ血壓ト無關係ニ尿量ハ増ス。

2. 尿排出

尿ハ腎盂、輸尿管ヲ通り膀胱ニ集マル。輸尿管ハ膀胱ニ向ヒ蠕動様ニ收縮シ輸尿ヲ助ケル。膀胱ニ尿ガ 250 cc 以上蓄溜スルト膀胱壁ノ擴張ガ刺戟トナツテ(臟器感覺 Organempfindung)、特ニ三角部ノ銳敏ナ求心性、知覺性神經ヲ經テ、刺戟ハ膈ニ傳達サレ、此處ニ於テ外括約筋(隨意筋)弛緩シ、反射中樞モ興奮シテ反射的ニ内括約筋(不隨意筋)ガ弛緩シ、排尿筋ノ同時的收縮ニヨリ尿ハ外界ヘ排出サレル。

初生兒ノ神經系ハ發達ガ充分デナイカラ排尿ハ全ク反射的デアル。

輸尿管ハ膀胱壁ヲ斜メニ貫通シテキカラ、膀胱ガ收縮スルトソノ開口部モ閉鎖サレテ尿ノ輸尿管ヘ逆流スルコトヲ防グ。又尿ガ膀胱内ニ滯溜スルト輸尿管口ハ内壓ニヨリ不完全ナガラモ閉鎖サル。之ニヨリ尿ノ逆流ヲ防グノデアルガ、病的ニハ尿ガ腎盂ニ迄逆行シテ囊狀腎 Sack-niere、「ヒドロネフローゼ Hydronephrose」、「ピオネフローゼ」Pyonephrose ヲ起スコトガアル。

通常膀胱ハ恥骨縫線ヨリ上方ニ餘リ出テキナイガ、非常ニ多量ノ尿ガ膀胱内ニ滯溜スルト臍高 Nabelhöhe, navel height 以上ニ迄達スルコトガアル。此ノ時波動ヲ觸レ、腫瘤狀ニ觸診サレルノテ腹部腫瘤トノ類症鑑別ガ必要トナル。

3. 尿意 Harndrang, desire for micturition.

膀胱ニ尿ガ一定量蓄溜(250 cc 以上)シテ膀胱内壓ガ一定程度ニ達シ膀胱壁 bladder wall ガ緊張スルト尿意ヲ覺エル。尿ノ蓄溜ガ徐々ナル時ハ壁ノ擴張モ徐々デアルタメ、内壓モサホド急ニ上昇シナイカラ伸張度ガ相當ニナツテ求心性神經末端ヲ刺戟シテ尿意ヲ催ス迄ニハ相當ノ尿ガ蓄溜スルコトニナル。又尿生成ガ急ナル時ハ内壓ノ充進ガ比較的速カデアルタメ、尿量ガ少クトモ尿意ヲ催シ度々排尿ヲ餘儀ナクサレル。寒冷時、精神緊張時ニ度々尿意ヲ催スノハーツニハ膀胱ノ緊張度ガ増スタメ内壓ガ早く高マルコトニ原因スル。放尿ハ又腹筋ノ「トームス」增多ニヨリテ助成サルモノデアル。

4. 膀胱ノ神經支配 Innervation der Harnblase.

膀胱モ他ノ内臓ト同様ニ自律神經(植物性神經、生活神經) autonomic Nerven (vegetative od. Lebensnerven) ニヨリ支配サ

レテキル。自律神經ハ交感神經ト反交感神經 (parasympathische Nerven) ヨリナリ、兩者ハ相互ニ拮抗ニ作用ス。排尿筋ト内括約筋ハ共ニ自律神經ニヨリ支配サル。

排尿ニ關係アル神經支配ノ順序ハ次ノ如キデアル。

A. 自律神經 autonome Nerven, autonomic nerves.

(1) 交感神經 N. sympathicus

第三—第六腰髓 (L₃—L₆) カラ限界索 Grenzstrang ヲ經テ下腸間膜神經節 Ganglion mesenterium inferius, inferior mesenteric ganglion ニ入り、後テ下腹神經トシテ骨盤腔ニ入り下腹神經叢 Plexus hypogastricus トナツテ膀胱ニ向ヒ、膀胱ノ後下部ニアル膀胱神經叢 Plexus vesicalis ニ入りテ膀胱ニ分布ス一部ハ上腸間膜神經節 Ganglion mesenterium superius カラモ來テキル。

(2) 反交感神經 N. parasympathicus.

第二—三薦髓 (S₂—S₃) カラ出テ骨盤神經 Nn. pelvici, Beckennerven, pelvic nerves トナリ、骨盤神經叢 Plexus pelvium, 膀胱神經叢ヲ經テ膀胱ニ入ル。之等ノ神經纖維ハ共ニ無髓 (marklos) (神經節後纖維 postganglionäre Faser) デアツテ灰色ヲ呈ス。

(3) 自律神經ノ作用

(a) 下腹神經叢 Plexus hypogastricus (交感神經)。

作用:— 内括約筋緊張亢進, 利尿筋緊張減弱。

刺激:— 括約筋緊張, 利尿筋弛緩ニヨリ排尿障礙。

切斷:— 排尿が起ル。

(b) 骨盤神經 N. pelvici (反交感神經)

下腹神經叢ト全ク反對。

刺激:— 利尿筋收縮, 括約筋弛緩ニヨリ排尿。

切斷:— 利尿筋弛緩ニヨリ排尿困難。

[註] 交感神經 → 尿排泄抑制的

反交感神經 → 尿排泄促進的

排尿ノ中樞 → 第三—五薦髓 → 大脳副正中葉

自律的排尿 → 膀胱壁内神經叢ノ作用

B. 脊髄神經 Rückenmarksnerv, Spinalnerv, spinal nerve.

外括約筋, 坐骨海綿體筋, 球海綿體筋等ハ陰部神經 N. pudendus (脊髄圓椎體 Conus medullaris s. conus terminalis ヨリ出ヅ) ニ支配サル。コノ神經ノ軸索突起ハ髓ヲ有シ (markhaltig) 白色ヲ呈ス。

C. 反射中樞 Reflexzentrum.

排尿ノ中樞ハ腰薦髓 Lumbosakralmark ニアリ (Centrum vesicospinale)。隨意排尿ノ運動中樞ハ副正中葉 Lobus paracentralis ニアリ。

D. 求心性纖維

自律神經ヲ經テ、脊髄ニ入り大脳知覺中樞ニ至ルト考ヘラル。以上ノ

神經路ノ孰レカーツガ障礙サレレバ放尿ハ意志ノ下ニ行フコトガ出來ナクナリ、又「垂レ流シ」ノ状態トナル。

排尿ニ關係アル語彙

(1) 尿閉 Retentio urinae, Harnretention.

脊髄病ニヨリ起リ易イ。膀胱神經叢切斷, 膀胱知覺障礙, 昏睡, 手術後 (全身麻酔, 腰椎麻酔ノ下ニ), 分娩後等ニテ起ル。

(2) 奇異尿閉, 怪異尿閉 Ischiuria paradoxa.

尿閉甚シク, 膀胱が極端ニ尿ニヨリ充滿サレルト膀胱内壓ハ括約筋ノ緊張ニ打勝テ極少量宛排尿が起ツテケル。即チ膀胱ハ充滿シテキナガラ少量ヅツシカ排尿ハ行ハレテキナイ。之ヲ奇異尿閉ト云ヒ、屢々求心性纖維が切斷サレタ時ニ見ラレル。

(3) 尿失禁 Incontinentia urinae.

排尿機能不完ニヨル無意識的尿排泄ヲ云フ。上ニ述ベタ神經傳導路が長ク中絶シテキル時不隨意ニ起ル。例ヘバ昏睡状態 (腦出血, 腦震盪, 尿毒症, 糖尿病等) ニ見ラレル。

(4) 乏尿, 寡尿, 尿量減少 Oligurie.

(a) 腎臟病, 心臟衰弱

(b) 發汗, 重篤下痢 (「コレラ」等), 急性傳染病。

(c) 滲出液又瀝出液ノ滯溜 (肋膜炎, 腹水等)

(5) 多尿, 尿量増加 Polyurie.

(a) 糖尿病 Diabetes mellitus (2—4 立)

尿崩病 D. inspidus (9—20 立)

(b) 萎縮腎 Schrumpfnieren, contracted kidney.

腎盂炎 Pyelitis 攝護腺肥大。

(c) 滲出液, 瀝出液又浮腫液吸收時。

(d) 利尿劑服用, 多量ノ飲料攝取。

[註] 生理的尿量

健康男子 1 日 1000 cc 内外

健康女子 1 日 900 cc 内外

(6) 頻尿 Pollakiurie.

1 日 8—10 回又ハソレ以上ニ及ブ (膀胱炎等)

(7) 排尿減數 Oligakurie.

1 日ノ排尿 1—2—3 回位 (脊髄病等)

(8) 夜尿症 Enuresis (nocturna), Bettnässen.

包莖 Phimose, 膣炎 Vulvitis, 蟻蟲 Oxyuren, 膀胱炎, 糖尿病, 扁桃腺肥大 Mandelhypertrophie, 夜間癲癇及潜伏性脊椎波裂 Spina bifida occulta 精神薄弱, 發育不全等ヲ考慮スル。

(9) 夜尿 Nycturia.

(10) 晝間遺尿症 Enuresis diurna

(11) 麻痺性及痙攣遺尿 E. paralytica et spastica.

(12) 排尿困難 Dysurie.

癩瘻狹窄, 攝護腺肥大等ニヨル器械的障礙及神經性障礙ニヨリ起ル。

排尿異常 (障礙) ヲ伴フ諸疾患

(A) 尿量異常

(a) 多尿

尿崩症, 糖尿病, 萎縮腎, 攝護腺肥大, 腎臟結核 (初期ノ刺戟ノ加ハル時), 腎盂炎, 「マラリア」(Froststadium).

水腫, 滲出液, 漏出液ノ吸收, 大量液體攝取.

(b) 乏尿

腎炎, 「ネフローゼ」, 心臟辨膜症失調期, 急性心筋炎, 熱性病, 子割, 妊娠腎, 強度下痢 (「コレラ」等), バンチ氏病第二期, 第三期.

(c) 無尿 Anurie.

「コレラ」, 脊髄病, 開腹術後, 腎石症, 子宮附屬器又直腸手術後, 産褥.

(B) 排尿頻度異常

(a) 頻尿 膀胱炎

(b) 排尿減數 脊髄病

(c) 夜尿 Nykturie.

夜間排尿回數多キヲ云フ. 萎縮腎, 腎盂炎, 心臟病 (殊ニ衰弱ノ徵アルモノ) 等ニ見ラル. 夜尿症トハ全ク關係ナシ.

(C) 排尿時異常

(a) 尿意頻數 Harndrang.

始終尿意ヲ催ス. 膀胱炎, 尿道炎等ニ見ル.

(b) 排尿時疼痛 Miktionsschmerzen.

(1) 放尿終末時疼痛

膀胱結石, 膀胱結核及異物

(2) 放尿開始期ノ疼痛

膀胱炎, 淋疾

(c) 排尿困難 Dysurie.

多クハ尿閉 Ischurie ト疼痛アリ.

(1) 急性尿閉

尿道内異物, 攝護腺肥大, 流行性腦炎

(2) 慢性尿閉

尿道狹窄, 尿道癌, 周圍ヨリ尿道壓迫

(D) 尿失禁 Incontinentia urinae.

腰薦髓が大脳ト連絡ヲ斷タレルト幼兒ノ排尿機ノ如クナルタメ尿失禁ヲ起ス.

例ヘバ腦溢血, (外括約筋ノ緊張支配不能), 横斷脊髄炎 Myelitis transversa, 脊椎「カリエス」, 脊髄ノ腫瘍及硬化症, 等ニ見ラル.

更ニ括約筋ノ機械的損傷 (重症膀胱炎, 分娩後, 攝護性肥大) 一時性ニハ内因性及外因性中毒 (尿毒症, 糖尿病, 「アルコール」中毒等) 「ヒステリー」等ニ見ラル.

排尿障礙 (異常排尿) ノ療法

原因療法ヲ第一トス. 從ツテ各々場合ニヨリ異ナル. 例ヘバ腎炎ノ乏尿乃至無尿 Anurie ニハ心臟及腎臟ヲ庇護シツ、食餌療法 (蛋白, 食

鹽ノ減量) ヲナシ 利尿劑 (醋剝, 硝剝, 葡萄糖等), 強心劑ヲ用ヒ, 頻尿又ハ尿意促迫等ニハ, 安靜, 臥床, 溫坐浴, 膀胱部溫濕法, 硝酸銀ノ注入, 麻醉劑, 尿路消毒劑ノ内服等ヲナス.

排尿異常ニ對スル處方例

(1) 處方 (膀胱炎, 腎盂炎) Rp.
「ザロール」 1.5 Salol 1.5
上記 1 日 3 回ニ分服 S. auf 3×tägl. z.n.
〔註〕「ザロール」ハ食欲ヲ害スルカラ胃障アル時ハ用ヒヌ方ガヨイ.
「ザロール」ハ「サリチール」酸「フェノール」デ尿殺菌劑デアル.
(對症藥劑, 尿消毒劑ノ條參照).

(2) 處方 (膀胱炎, 腎盂炎) Rp.
「ザロール」 1.0 Salol 1.0
「ウロトロピン」 1.0 Urotropin 1.0
上記 1 日 3 回ニ分服 S. auf 3×tägl. z.n.
〔註〕「ウロトロピン」ハ尿ノ反應酸性ナルヲ要ス. 酸性ノ「メヂウム」ニ於テ「フオルムアルデヒド」ヲ分離シテ殺菌消毒ノ目的ヲ達ス.

(3) 處方 (膀胱炎, 腎盂炎) Rp.
「ウワウルシ」葉煎 (10.0) 100.0 Decoct. Foliae Uvae ursi (10) 100.0
「ウロトロピン」 1.5 Urotropin 1.5
苦味「チンキ」 1.5 Tr. amarae 1.5
「シロツプ」 8.0 S. s. 8.0
上記 1 日 3 回ニ分服 D.S. auf 3×tägl. z.n.

〔註〕尿路消毒劑ヲ服用スル時ハ飲料ノ少イ方ガヨイト云フ. 從來ハ尿路 Harnweg ノ細菌感染性炎症ニ對シテハ, 多量ノ液體ヲ與ヘテ尿路ノ洗滌ニヨリテ細菌ヲ驅逐セントカメラレタモノデアル. 近來之ニ反對シテ液體ノ攝取ヲ制限シテ濃厚ナル強キ酸度ノ尿ノ「メヂウム」ニテ細菌ノ播種ヲ抑制セントスル試ミガ行ハレテ居ル. 勿論其場合場合ニ於テ撰ヲ異ニシナクテハナラヌ. 一流ニ墮シテハナラヌ. 飲水日 Trinktage ト渴日 Dursttage トヲ交代セシムル人アリ. (イスラヘル氏) 膀胱炎ノタメノ無尿ニハ導尿が必要ナルガ消毒ハ勿論充分デナケレバナラナイ.

(4) 處方 (膀胱炎ノ尿意頻數) Rp.
「ウワウルシ」葉煎 (10.0) 100.0 Decoct. Foliae Uvae Ursi (10.0) 100.0
「ウロトロピン」 2.0 Urotropin 2.0
「パントポン」 0.05 Pantopon 0.05
「シロツプ」 8.0 S. s. 8.0
上記 1 日 3 回ニ分服 D.S. auf 3×tägl. z.n.

(5) 處方 (膀胱炎, 腎盂炎) Rp.
「ボロベルチン」 1.5 Borovertin 1.5
上記 1 日 3 回ニ分服 S. auf dreimal tägl. z.n.
〔註〕「ボロベルチン」ハ尿ノ反應ヲ顧慮スルノ要ナシ.

(6) 處方 (膀胱炎, 腎盂炎) Rp.
 「ヘルミトール」 2.0 Helmitol 2.0
 上記 1 日 3 回ニ分服 S. auf 3×tägl. z.n.

〔註〕「ヘルミトール」ハ尿反應ニ關係ナク用ヒラル, 膀胱刺戟ヲ起スコトアリ.

(7) 處方 (尿意促進)
 「パントポン」 0.1 Pantopon 0.1
 「ベラドンナ・エキス」 0.2 Extr. Bellad. 0.2
 「カカオ」 8.0 Buty, Cacao. 8.0
 上記爲坐薬 6 個, 1 日 1—2 個挿入
 Als 6 Sposit S. tägl. 1—2
 Supposit einzuführen

(8) 處方 (膀胱洗滌)
 i 2% 硼酸溶液
 ii 0.2—0.5% 「タンニン」酸溶液
 iii 0.2—0.5% 「プロタルゴール」溶液
 iv 0.01—0.1 硝酸銀溶液
 v 0.01—0.05% 過「マンガン」酸「カリ」溶液
 vi 0.5—1% 「レゾルチン」溶液
 vii 0.02% 「リバノール」溶液
 viii 2% 「サリチール」酸「ソーダ」溶液
 ix 5000 倍「トリパフラザイン」溶液

(9) 處方 (結核性膀胱炎) Rp.
 昇汞 0.01—0.02 Sublimat 0.01—0.02
 蒸留水 100.0 Aq. dest. 100.0
 上記 膀胱内點滴 S. Instillation in Blase

〔註〕一般療法モ必要ナリ.

(10) 處方 (結核性膀胱炎) Rp.
 「グアヤコール」 3.0 Guajacol 3.0
 扁桃油 60.0 Ol. Amygdal 60.0
 「ヨードホルム」 1.0 Jodform 1.0
 「オレーフ」油 100.0 Ol. Oliv. 100.0
 上記 3—5 坩排尿後滴注 S. 3—5 ccm in die entleerte Blase eintropfen.

(11) 處方 (結核性膀胱炎) Rp.
 5% 石炭酸 50 ccm 5% Karbolsäurelösung 50 ccm
 上記膀胱内注入, 5—10 分後排出 (ロルジング氏)
 S. in die Blase, und Entleerung derselb. nach 5—10 Minuten (Rorsing)

(12) 處方 (大腸菌膀胱炎) Rp.
 大腸菌「ヤトレン」 2.5 坩 Kolibazillen-Yatren 2.5 cc
 上記注射料 S. zur Injektion

(13) 處方 (慢性淋) Rp.

「コパイバ・バルサム」 Copaiva Balsam
 (0.5) 6 「カプセル」 (0.5) 6 Kapseln
 上記 1 日 6 回分服 S. 3×tägl. z.n.

(14) 處方 (尿路消毒) Rp.
 「ウロトロピン」 1.5 Urotropin 1.5
 苦味「チンキ」 2.0 Tr. amarae 2.0
 「シロップ」 8.0 S. s. 8.0
 淨水 100.0 Aq. 100.0

上記 1 日 3 回ニ分服 D.S. auf 3×tägl. z.n.
 〔註〕「ウロトロピン」ニハ「ウウウルシ」葉ト同様ニ利尿作用ガアル産褥ノ無尿症ニ本處方又ハ「ウウウルシ」葉煎ヲ用ヒテ奏效スルコトガアル. 更ニ尿閉アル時ハ體位ノ交換, 膀胱部温罨法 (産褥ニテハ子宮收縮ニ注意) 膀胱部, 薦骨部又ハ會陰部ノ通電法 (感傳, 平流) 等ヲナシ更ニ又「カテーテル」ヲ用フルコトアリ.

(15) 處方 Rp.
 「ボロベルチン」 1.5—2.0 Borovertin 1.5—2.0
 「ブローム・カリ」 3.0 Bromkali 3.0
 「シロップ」 8.0 S. s. 8.0
 淨水 至 100.0 Aq. ad. 100.0
 上記 1 日 3 回分服 D.S. auf 3×tägl. z.n.

〔註〕食慾ニ注意スベシ

(16) 處方 (尿崩症, 多尿) Rp.
 「ピツグランドール」 Pituglandol 1 ampoule
 1 「アムプレ」
 上記皮下注射料 S. for hypodermic inj.

〔註〕尿崩症ノ多尿ニハマツ原因 (微毒, 腦下垂體疾患, 「ヒステリー」等) ヲ探求シ, 液體攝取制限, 蛋白質減量 (ミンコウスキー氏) 腦下垂體「エキス」ノ筋肉内注射 (毎日又ハ隔日), 硝酸「ストリヒニン」(0.001 ヨリ増量シテ 0.01 ニ至ル) 「アンチピリン」(1 日 2—3 瓦), 「サルチール」酸「ソーダ」, 「パントポン」0.02, 腦下垂體ノ X 線照射, 手術可能ナラバ下垂體腫瘍ノ除去等ヲナスベキデアル.

「ストリヒニン」ハドノ程度マデニ尿濃度ニ影響スルカハ不明. 腦下垂體「ホルモン」ハ, 腎及組織ニ作用シテ水代謝ヲ整調シ多尿症ノ消失ヲ助成スル.

(17) 處方 (腎疾患ニヨル無尿, 乏尿) Rp.
 「デジタリス」葉浸 Inf. Fol. Digitalis
 (0.3—0.5) 90.0 (0.3—0.5) 90.0
 醋割水 8.0 Liq. Kalii acet. 8.0
 「シロップ」 10.0 S. s. 10.0
 上記 1 日 3 回毎食後 S. auf 3×tägl. n.d.E. z.n.

(18) 處方 (利尿劑) Rp.
 安息香酸「ナトリウム」 Caffeinae Sodio-Benzoes
 カフェイン 0.5 0.5
 「ロデアリン」 0.5—1.0 Rodealin 0.5—1.0

上記 1 日 3 回 = 分服 S. three times dairly.
 [註] 「ロデアリン」ハ強心利尿劑、「ヂギタリス」ノ如キ蓄積作用ナシト云フ。

(19) 處方 Rp.
 「ヂウレチン」 2.0—3.0—5.0 Diuretin 2.0—3.0—5.0
 重曹 2.0—3.0 Natr. bicarb. 2.0—3.0
 苦味「チンキ」 2.0 Tr. amarae 2.0
 「メンタ」水 5.0 Aq. Menthae 5.0
 淨水 100.0 Aq. dest. 100.0
 上記 1 日 3 回毎食後又ハ毎食間分服 D.S. auf 3×tägl. n.d.E. od. zw. d.E. z.n.

(20) 處方(強心, 利尿) Rp.
 「アグリ」 2.0 Agurin
 「ヂガレン」 2.0 Digalen aa. 2.0
 「メンタ」水 7.0 Aq. Menthae 7.0
 淨水 100.0 Aq. 100.0
 上記 1 日 3 回毎食後分服 D.S. auf 3×tägl. n.d.E. z.n.

(21) 處方(強心, 利尿) Rp.
 「ヂウレチン」 2.0—4.0 Diuretin 2.0—4.0
 「ストロファンツス・チンキ」 1.0 Tr. Strophanti 1.0
 苦味「チンキ」 1.5 Tr. amarae 1.5
 「シロツプ」 8.0 S. s. 8.0
 淨水 100.0 Aq. 100.0
 上記 1 日 3 回毎食後分服 S. 3×tägl. n.d.E.z.n.

(22) 處方(利尿・強心) Rp.
 「カフェイン」 0.6—0.8 Caffein 0.6—0.8
 「ヂウレチン」 2.0 Diuretin 2.0
 乳糖 1.0 S. lactis 1.0
 上記爲 3 包, 1 日 3 回 1 包宛 Als 3 Pulv. S. 3×tägl. z.n.

(23) (利尿) Rp.
 醋剝水 15.0 Liq. Kal. acet. 15.0
 「クレモール」 7.0 Cremor. tartari 7.0
 尿素 20.0 Ureae 20.0
 淨水 100.0 Aq. 100.0
 上記 1 日 數回分服 D.S. auf mehrmal tägl. z.n.

[註] 尿素ハ往々下痢, 嘔吐, 消化不良等ヲ起シテ利尿作用ヲ呈セザル内ニ中止シナケレバナラヌコトガアル。

(24) 處方(利尿) Rp.
 醋剝水 10.0 Liq. Kal. acet. 10.0
 硝剝 3.0 Kal. nitr. 3.0

「シロツプ」 10.0 S. s. 10.0
 淨水 100.0 Aq. 100.0
 上記 1 日 3 回 食後分服 D.S. auf 3×tägl. n.d.E. z.n.

[註] 本處方ニ強心劑(「ヂギフオリン」, 「ヂキタミン」, 「ヂガーレン」, 「パンギタール」, 「ロデアリン」等)ヲ併用スルコト屢々アリ。然シ味ハ甚シク惡クナル。又重曹ヲ伍スルコトモアル。

(25) 處方(利尿) Rp.
 硝酸「カリウム」 6.0 Kal. nitr. 6.0
 「シロツプ」 30.0 S. s. 30.0
 淨水 170.0 Aq. dest. 170.0
 上記 1 日數回 1 匙宛 S. mehrmal tägl. 1 Esslöffel.

[註] 腎ヲ刺戟スル懸念アル時ハ注意ヲ要ス

(26) 處方(利尿) Rp.
 甘汞 0.3—0.6 Calomel 0.3—0.6
 乳糖 適宜 Sacch. lactic q.s.
 上記 1 日 3 回分服 S. auf 3×tägl. z.n.

(27) 處方(利尿) Rp.
 10% 「ノヴァズロール」 1 cc 10% Novasurol 1 cc
 上記注射料 S. für Injektion.

[註] 水銀劑ノ利尿劑トシテ用法ハ注射藥ニ用フルコトガ多イ。

(28) 處方(無尿) Rp.
 25% 「ロヂノン」 50 cc 25% Lodinon 50 cc
 上記非脈内注射料 S. für intravenös. Inj.

[註] 尿毒症, 腦出血, 子癇等ノ無尿ニ「ロヂノン」(葡萄糖溶液)ヲ用フ

(29) 處方(子癇) Rp.
 15% 硫酸「マグネシウム」 20cc 15% Magn. sulf. 20.0cc
 上記靜脈内注射料 S. für intraven. Inj.

(30) 處方(尿失禁) Rp.
 「クエン」酸「カリ」 8.0 Potassii citratis 8.0
 淨水 至 100.0 Aquae destillatae ad. 100.0
 上記毎 4 時間 1 茶匙(8.0)宛 S. Dessertspoonful (8.0)
 1 食匙(15.0)ノ水ト共ニ服用 every 4 hours in a table-spoonful (15.0) of water.

[註] 尿ガ酸性デ濃厚, 暗色ヲ呈スル時上ノ處方ヲ用フ。
 When the urine is acid, concentrated and dark in color the prescription is always useful.

(31) 處方(腹水瀦溜ニヨル乏尿) Rp.
 醋酸「カリ」溶液 4.0 Liq. Lalii acet. 4.0
 硝剝 2.0 Kalii nitr. 2.0
 「ストロファンツス・チンキ」 1.0 Tr. Strophant 1.0
 「シロツプ」 8.0 S. s. 8.0

淨水 100.0 Aq. 100.0
上記 1 日 3 回ニ分服 D.S. auf 3×tägl. z.n.

(32) 處方 (尿路消毒劑) Rp.
「トリパフラヴイン」 5cc Rp. Trypaflavin 5cc
上記靜脈内注射料 S. for intravenous injection

〔註〕「トリパフラヴイン」ハ細殺菌力強ク注射後尿路管内ニ現レ、皮膚ヲ黄染シ、日光ニ當レバ暗褐色トナル。敗血症、腎盂炎、膀胱炎、氣管支擴張症等ニ用フルモ腎炎ニハ禁忌ナリ。使用中ハ尿検査ヲナスベシ。色素製劑ニテ本邦産ノモノモアリ。

(33) 處方 (尿路消毒劑) Rp.
「パンセプテン」 10 cc Panseptin 10 cc
上記靜脈内注射料 S. for intravenous injection

(34) 處方 (尿路消毒劑) Rp.
「イスラビン」(1 筒) 5 cc Isravin (1 amp.) 5cc
上記靜脈内注射料 S. für intravenöse Inj.

(35) 處方 (遺尿) Rp.
「ベラドンナ・エキス」 0.06 Extr. Bellad. 0.06
白糖 1.0 Sacch. alb. 1.0
上記 1 日 3 回毎食後分服 D.S. auf 3×tägl. n.d.E. z.n.

(36) 處方 (遺尿) Rp.
「ゼカコルニン」 1.0 Secacornin 1.0
「シロップ」 10.0 S. s. 10.0
淨水 100.0 Aq. 100.0
上記 1 日量毎食後 3 回ニ分服 D.S. auf 3×tägl. n.d.E. z.n.

〔註〕遺尿症ノ療法トシテ藥物療法モ必要デアルガ、原因探求(包皮症、寄生蟲、腺増殖症、膀胱結石、腎盂炎、腎炎等)モ必要デアツテ、香辛料ヲ禁ジ、野菜食トナシ便通ヲ計リ、液體ノ飲量ヲ制限シ殊ニ夕刻以後ハ可及的攝取セザルヤウニシ、就眠前放尿セシメテ滯留ヲ輕クシ横臥セシム。精神療法、膀胱ニ感傳電氣應用(下腹部ノ上部ニ一極ヲ會陰又ハ直腸ニ高ク一極ヲ貼ズ)膀胱頸腐蝕、輸尿管及膀胱頸ノ擴張、肘位及膝位ニテ膀胱ノ頸ヲ「マッサージ」スルコト等モ必要デアル。カテラン Cathelin 氏ノ生理的食鹽水硬膜外注射 Epiduralinjektion 法アリ。(技術篇參照)

(37) 處方 (遺尿症) Rp.
硝酸「ストリヒニン」 0.02 Strychnin, nitr. 0.02
蒸餾水 10.0 Aq. dest. 10.0
プラワツツ氏注射器 ¼-1 S. ¼-1 Pravaz-Spritz in
臀部注射 d. Sakralgeg.

〔註〕小兒デハ 2 滴ヨリ初ム。

(38) 處方 (「ヒステリー」性排尿障礙) Rp.

吉草浸 (4.0) 100.0 Inf. Valerian, (4.0) 100.0
「ブローム・カリ」 3.0 Kalii bromat. 3.0
「シロップ」 8.0 S. s. 8.0
上記 1 日 3 回毎食後分服 D.S. auf 3×tägl. n.d.E. z.n.

〔註〕「ヒステリー」ニハマツ精神療法ヲ行ヒ、食餌、生活状態、住居、物理療法等ヲ適當ニ考慮シ、藥物療法(鐵劑、砒素劑)ヲナス。

(39) 處方 (脊髄炎) Rp.
「ホミカ・チンキ」 5-10 滴 Tr. Vomicae gtt. 5-10
上記 1 日 2 回服用 S. auf 2×tägl. z.n.

〔註〕急性脊髄炎ニテハ安静臥床、脊柱冷却、灰白膏塗擦、便通調整、微温浴等ヲナス。藥物トシテハ「サリチール」酸「ソーダ」1 日 3-5 瓦「ヘキサメチレン・テトラミン」(40% ヲ 5cc)ノ靜脈内注射、「ロード・スタリン」等ヲ用フ。

慢性症ニハ冷水治療、脊柱ノ平流電氣通電法、「マッサージ」、體操、熱温泉浴、藥物トシテハ亞砒酸、「エルゴチン」、硝酸銀等。

(40) 處方 (腎石病) Rp.
蓼酸 0.3 Acid. oxalic. 0.3
重碳酸「ソーダ」 3.0 Natr. bicarb. 3.0
蒸餾水 200.0 Aq. dest. ad. 200.0
上記毎 3 時間 1 茶匙宛 8 日間 S. 3 stündl. 1 Esslöffel 8
續服(クレムベレル氏) Tage lang. (G. Klemperer)

〔註〕腎石病ニハ香辛料ヲ避ク、尿反應ニヨリ主食物ヲ變ズ。痙攣ニハ鎮痛劑、温罌法等、場合ニヨリ手術(結石碎頓)、結石大ナラザル時ハ「グリセリン」(1 日 3 回 1-3 食匙)ノ内服又ハ「ヒボグラン・ドール」ノ注射ニヨリ尿路ヨリノ排出ヲ試ム。腎機能試験ヲナスベシ。

(41) 處方 (「ノイローゼ」) Rp.
「ブローム・ナトリウム」 10.0 Potassii brom. 10
「パントポン」 0.1 Pantopon 0.1
上記 爲 10 包、1 日 2-3 包ヲ Make 10 powders. take 2-3
服用 powder for a day.

(42) 處方 (攝護腺肥大) Rp.
「ヨード・カリ」 0.2 Kal. jod. 0.2
「ブローム・カリ」 0.2 Kal. bromat. aa. 0.2
「カカオ」脂 1.5 Buty, Cacao 1.5
上記混和シ等量ノ坐藥 10 個ヲ M.f. suppos., d. tal. dos
與フ。毎日 1-2 個宛 Nr. X. S. 1-2 Stück tgl.

〔註〕攝護腺肥大 enlarged prostate ノ切除、「マッサージ」、X 線應用等ヲ施行スルコトガアル、便通調整ニ注意。止ムヲ得ザレバ導尿。

(43) 處方 (脊髄癆) Rp.
亞砒酸 0.5 Acid. Arsenicos. 0.5
黒胡椒 5.0 Piper nigr. 5.0

「アラビアゴム」漿 適宜 Mucil. Gummi arb. q.s.
 上記丸薬 100 丸ヲ作り 2 丸ヨ
 リ 10 丸ニ増量シ再ビ減量。 U.f. Pil. no. 100.
 S. Tägl. 2 Pillen bis 10 P.
 die u. zurück.

〔註〕 勿論驅癥療法ヲモ行フ。

(44) 處方 (心臓辨膜症, 機能不全症) Rp.
 亞砒酸 0.02 Acid, arsenic 0.02
 「ホミカ・エキス」 0.10 Extracti nucis Vomicae 0.10
 甘草末 適宜 Pulv. Liquir. q.s.
 黒胡椒 ,, Piper nigr. ,,
 「アラビアゴム」漿 ,, Mucil. Gummi arb. ,,
 上記混和 20 丸トナシ U.f. pilulae No. XX.
 1 日 3 回毎食後 1 丸宛 S. One 3 times daily after
 meals.

〔註〕 脊髄中樞興奮性疲働時ニ用フ。

(45) 處方 Rp.
 亞砒酸「カリ」液 (フオーレル水) Liquoris potassii arsenitis
 1.5
 「ホミカ・チンキ」 1.5 Tr. nucis Vomicae aa. 1.5
 淨水 至 90.0 Aquae destillatae ad. 90.0
 上記充分振盪 8—10 歳ノ子供ニ
 1 日 3 回 1 茶匙宛 (4.0) 服用 S. Shake well. Teaspoon-
 ful (4.0) 3 times daily
 for a child if 8 or 10 years.

(46) 處方 (「モルヒン」中毒) Rp.
 0.05% 「アトロピン」溶液 0.05% Atropin solution
 (1cc) 1 筒 (1cc) 1 amp.
 上記 1/2—1 注射筒皮下注射 S. 1/2—1 cyringe subcutane-
 ous inj.,

〔註〕 胃洗滌, 吐劑, 興奮劑, 「アンモニア」吸入, 強心劑, 「ロベリン」
 ノ注射等ヲモナス。

(47) 處方 (利尿, 驅癥) Rp.
 「ヒギトール」 (1.1cc) 1 筒 Hygytol (1.1cc) 1 Amp.
 上記注射料 S. zur Inj.

〔註〕 本劑ハ「サリチール」酸水銀ノ可溶性複鹽。

(48) 處方 (手術後尿閉, 膀胱炎等) Rp.
 「ヘサチラミン」 5 cc Hesaciramin 5 cc
 上記靜脈内注射 S. zur intravenös. Inj.

〔註〕 本劑ハ濃厚「ヘキサ・メチレン・テトラミン」溶液ニシテ「マグネシ-
 ウム」ノ複鹽ヲ含有ス。産熱, 流行性腦炎, 腦膜炎等ニ用フ。

(49) 處方 (膀胱炎, 膀胱麻痺) Rp.
 「チストール」 1.5—3.0 Cystol 1.5—3.0
 上記 1 日 3 回ニ分服 S. auf 3×tägl. z.n.

〔註〕 本劑ハ「ズルフオサリチール」酸「ヘキサメチレン・テトラミン」ノ
 「ナトリウム」鹽。

(50) 處方 (糖尿病, 無力症) Rp.
 「インテレン」 1 cc Interenin 1cc
 上記皮下注射料 S. for hypodermic inj.
 〔註〕 「インテレン」ハ副腎皮質製劑, 慢性「モヒ」中毒, 神經衰弱等ニ
 モ用フ。粉末 1 日 0.3—0.6 瓦ヲ毎食後 3 回ニ分服。

(51) 處方 (利尿) Rp.
 「タカリヂン」 1.5—3 Takalidin 1.5—3.0
 上記 1 日 3 回ニ分服 S. 3×tägl. z.n.

〔註〕 本劑ハ邦産玉黍蜀ノ有效成分。
 1 日 1.5—3.0 (5 錠—10 錠), 配合禁忌ナシ。

膿尿

Pyuria; Pyurie (f.) Eiterharn (m.) pyuria; pyurie.

(尿濁 Trübung des Harns, turbidity of the urin.)

膿尿 passing pus in urine.

尿=膿 Eiter, pus ノ混在セルヲ云フ。

故=膿尿ハ(1)腎臓ヨリ泌尿路(腎→腎盂→輸尿管→膀胱→尿道)ノ何レカノ部位ニ炎症,化膿竈アル時。(2)泌尿系ノ隣接器官ニ炎症,化膿ノ病竈アリテ泌尿路ニ破裂シタ時ニ見ラレル。

甚シイ膿尿ハ肉眼的ニモ判ルガ,確定スルニハ鏡檢シ膿球ヲ認メ,又化學的ニ證明シナケレバナラナイ。

尿中ニ膿ヲ含ム時ハ尿濁スル。

尿ノ濁濁 Trübung des Harns ハ 磷酸鹽 Phosphate, 尿酸鹽 Urate, 草酸鹽 Oxalate, 脂肪, 細菌等ニヨリテモ起ルカラ膿尿確定ニハ特別ノ検査が必要トナル。

尿濁鑑別法

(1) 10% 苛性「カリ」又「ソーダ」液ノ滴加ニヨリ透明トナリ, 粘液様膠様トナルモノ(ドンネ氏反應 Donne's Reaktion)→膿尿

(2) 冷却後淡紅色ノ沈澱ヲ生ズル酸性尿

→加熱澄明 →尿酸及尿酸鹽

→澄明ニナラズ →草酸石灰

(3) 濁セル「アルカリ」性尿

→醋酸添加ニヨリ透明 ← 磷酸土類
CO₂ヲ發セバ炭酸土類

→醋酸添加ニヨリ不溶. 2%鹽酸添加ニヨリ透明 →草酸石灰

(4) 「エーテル」1, 「アルコール」2ノ混合液注加ニヨリ透明 →脂肪。

(5) (1)-(4)迄ノ法ニテ尚濁セルモノ →細菌尿。

細菌尿ヲ透明ニスルニハ

i 弱酸性ニセル可檢尿 + 酸化「マグネシウム」

↓
磷酸「マグネシウム」ノ沈澱ト共ニ細菌沈澱

↓
濾過

ii 可檢尿 + ソノ 1/10 量ノ硫酸「マグネシウム」+炭酸「ソーダ」

↓
「アルカリ」性炭酸「マグネシウム」ノ沈澱ト

共ニ細菌沈澱

↓

濾過

(6) 尿濁 turbidity of the urine ハ又乳糜, 血液, 經血, 円柱, 上皮細胞, 白帶下等ニヨツテモ起ルカラ鏡檢が必要デアル。
乳糜尿 Chylurie, chyluria, the passage of milky colored urine ハ「フィラリア」寄生症ニヨリ來タル。稀ニ胸管 Ductus thoracicus ノ閉鎖ニヨリテモ起ル。

膿尿ノ診斷

膿尿デハ泌尿器ノ何レノ部位カラ膿ガ尿中ニ入ツテ來タカヲ決定シナケレバナラナイ。此鑑別ハ疾病ノ診斷上大切デアル。一般ニ酸性尿沈澱物ヨリハ膿球 Eiterzellen ヲ明ラカニ鏡檢出來ルガ, 「アルカリ」性尿デハ膿球ガ次第ニ時ト共ニ段々膨化シ, 鏡檢スルニソノ輪廓モ不明瞭トナリ, 終ニハ塊片トナルカラ, 「アルカリ」性尿沈澱物ノ鏡檢ハ迅速ニ行ハネバナラナイ。

(1) 尿中ニ膿ト共存スル上皮細胞 Epithelien ニヨリテ病竈ヲ知ルコトガアル。

〔例〕膀胱上皮アル時ハ膀胱炎, 腎盂上皮アル時ハ腎盂炎,

(2) 尿ノ反應ニヨリ。

「アルカリ」性ナラバ膀胱炎, 酸性ナラバ腎性炎症トス, 然シ決定的ノモノデハナイ。即腎盂炎, 膀胱炎デモ酸性又ハ「アルカリ」性ヲ呈スルコトアリ。

〔註〕腎, 腎盂疾患ニシテ尿沈澱中ノ膿球ハ「ズルフオサリチール」酸「アリサリン」ニテ赤色乃至黃色ニ染マリ膀胱ヨリノハ全ク染色シナイト云フガ, 之ハ確定的ノモノデハナイ。膀胱鏡, 輸尿管消息法等ニヨル方が確實デアル。

(3) 尿量ト尿比重トニヨリ

之ニヨリ病竈ヲ知ルコトハ餘リ重要視サレテキナイ。他ノ種々ノ條件ニヨリ左右サルルカラデアル。例ヘバ尿道炎, 膀胱炎デハ尿意頻數 Pollakiurie ヲ來スガ尿量全體ニハ餘リ影響シナイ。急性腎炎ノ尿量減少, 慢性腎炎ノ多尿アリ, 又一般ニ腎腫瘍デハ尿量ハ普通又ハ多少減ズル。腎結核モ尿量ニ及ボス影響ハ少ナイ。

(4) 放尿中 während der Miktion, od. Harnlassen; during urination or water passing.

尿ニ絶ヘズ膿ヲ含ムノハ尿道ヨリ上部デ膿ガ混入スルモノデアル。(supraurethrale Eiterung). 之ニハ三「グラス」試驗法 Dreigläserprobe ヲナス。(第一「グラス」ニハ初期排泄尿, 第二「グラス」ニハ中間尿, 第三「グラス」ニハ末期排泄尿)(1)第一「グラス」ニミ膿ヲ含ム時, 膿ハ尿道前部ヨリ發源シタモノデ(2)排尿ノ何レノ部分ニモ膿ノ含マレル時ハ尿道ヨリ上位ヨリ膿ハ發源シ(3)其膿含有度ガ各時平等ナル時ハ腎性又ハ輸尿管性デアリ(4)膿含有度ガ終尿終末期ニ近ヅキ多少増加スルノハ膀胱炎デアル。

(5) 膿尿ノ急激ニ排泄又ハ消失ハ今迄閉鎖サレテキタ「ピオネフローズ」Pyonephrose, 憩室 Divertikel, 膿瘍 Abszess ガ尿道ニ破裂

シタ際デアル。

間歇的膿尿モ閉鎖病竈ノ破裂又閉鎖ニヨル、腎臟結石及結核ニモ之ニ相當スル場合ガアル。即チ結石又ハ結核病竈組織ノ頽敗物、膿塊ガ一側ノ輸尿管ヲ閉鎖シ、續イテ其閉鎖ノ解除サレタ場合デアアル。

- (6) 排尿後膀胱部ヲ壓迫シテ濃イ膿尿ヲ排泄スルノハ、化膿セル膀胱憩室カラノ排膿ヲ意味スル。陰莖ヲシゴイテ尿道外口カラ排膿スルノハ尿道前部炎デアアル。
- (7) 放尿時尿道ニ疼痛及放尿障礙アル場合ハ膀胱炎、攝護腺炎ニ多く、攝護腺炎デハ又疼痛ノタメ排便障礙ヲモ伴フ。尿意促進、膀胱部ノ疼痛、放尿時ニ膀胱ニ疼痛ヲ感ズルノハ膀胱炎、膀胱憩室炎デアアル。腎臟痙攣 Nierenkolik ニ膿尿ノ續發スルノハ腎臟膿瘍等其腎臟性ノモノニ多イ。腎臟痙攣ハ腎臟部以外ニ、膈ノ後部、腰部、陰部、下肢等ニモヨク放散スル。

膿尿ヲ來ス場合

- (1) 腎炎 (膿尿ハ餘リ著シクナイ)、殊ニ猩紅熱腎炎ニ來ル。コレハ絲絨體ニ白血球浸潤 leukozytäre Infiltration ヲ起シタタメデアアル。腎盂炎、腎臟結核、「ピオネフローゼ」、腎臟膿瘍、腎石ノ細菌感染 infizierte Steinniere 腎臟周圍炎ヨリ腎臟膿ヲ起シタ時、腎盂腫物 (乳嘴腫等) 非炎衝性ノ鬱血尿 (極ク少量)。
- (2) 輸尿管炎 (殊ニ結石)。
- (3) 膀胱炎、膀胱憩室、膀胱結石ノ細菌感染、膿瘍。
- (4) 尿道炎 (淋疾性及單純性外傷性)、攝護腺炎、膿瘍。
- (5) 其他

蟲様突起炎後ノ盲腸周圍膿瘍ガ膀胱等ノ癒着箇所ノ融解ニヨリ泌尿路殊ニ膀胱ニ破裂シテ強度ノ膿尿ヲ來タスコトアル此場合ノ膿ハ古イカラ「ヒヨレスチリン」結晶等ヲ見ルコトアリ。

- [註] 1) 尿 1 匁中膿球 8 萬箇存スル時ハ 0.1% ノ蛋白ヲ含ムト云フ。(Posner 氏)。膿ハ濾過ニヨリ清澄トナルガ、細菌ガ多數ニ混入シテキル時ハ全ク清透トハナラナイ。
- 2) 膿尿ハ尖底「グラス」Spitzglas ニ入レテ靜置スルカ又ハ遠心沈澱スレバ上澄液層ノ下部ニ沈澱層ヲ認メル。
- 3) 既述ノ如ク膿尿ハ腎又ハ尿路ニ炎症、化膿ノアル時ニ現ハレルガ、極ク僅カノ白血球ハ正常健康尿ニモ見ル。
- 4) 膿尿ガ非常ニ輕度デ、尿沈澱又ハ遠心沈澱物ヲ鏡檢シテ辛ウジテ多核白血球即膿球ヲ認メルヤウナ 場合ヲ白血球含有ノ大ナル膿尿ト區別シテ白血球尿 Leukozyturie ト稱シテキル學者ガアル。
- 5) 比較的泌尿路上部デハ 細菌感染ノナイ膿尿 abakterielle Pyurie ヲ來タスコト多イ。

細菌感染アルトモ 大腸菌ノ如ク尿素ヲ分解シテ「アンモニア」ヲ出サ

ナイ細菌ノアル場合ハ尿ガ「アルカリ」性ニナラヌコト多イ。

[註] 蛋白定性試験ニ際シテノ注意

- 1) 輕度ノ蛋白尿 Albuminurie, Eiweisssharn ヲ單ニ腎性ノミト片付ケズニソノ成因ヲ考フ。膿尿、膿ヲ漏ラス病竈ヨリノ炎症性滲出混入等デモ蛋白ハ陽性トナル。
- 2) ヲツテ蛋白尿ハ眞性ノモノナルカ (renale Albuminurie) 即可溶性蛋白ノ腎ヨリ出デクモノナルカ、又ハ上記假性蛋白尿 falsche A, Pseudoalbuminurie ナルヤヲ充分ニ吟味スベシ。

膿尿ノ療法 Behandlung der Pyurie, treatment of the pyuria.

既ニ述ベタ様ニ膿尿ハ泌尿路ノ炎症、化膿竈等ヨリ來ルカラ原病ニ對スル處置ガ第一デアアル。勿論泌尿路ニ隣接シタ器官ノ炎症、化膿竈ガ泌尿路ニ破裂シタ場合ニモ膿尿ハ來ル。

腎盂炎 Pyelitis ニ對シテハ安靜臥床、局所ノ永囊、充分ナル液體供給、食鹽ト蛋白質ヲ減ジ、香辛料ヲモ避ケ、番茶等ヲ與ヘ。藥劑トシテハ「ザロール」、(1.0—2.0 ヲ1日3回)、「ウロトロピン」、「ボルヴェルチン」、「ヘルミトール」、「ウワ」煎、「アルプチン」、自家「ワクチン」注射、ソノ他色素製劑ヲ注射スル。

腎臟結核 Nierentuberculose デハ安靜臥床、藥物ハ腎盂炎ト同ジク此ニ準ジ得。疼痛ニハ鎮痛鎮靜劑。場合ニヨリ外科的ニ處置スル(腎切開 Nephrotomie 或ハ腎剔出 Nephrektomie)。

膿尿ニ對スル處方例 (排尿障礙ノ項及尿消毒劑ノ項參照)

- (1) 處方 (腎盂炎)、膀胱「カタル」等) Rp.

「ウロトロピン」	10.0	Urotropin	10.0
「ザロール」	5.0	Salol	5.0
上記分 30 包、1 日 3—6 包		M.f. pulv. div. in dos XXX.	
宛服用 (ブルーム氏)		S. 3—6 Pulv. tägl. (V. Blum)	
- (2) 處方 Rp.

安息香酸「ソーダ」	4.0	Natr. benzoic	4.0
甘草末又蒸	適宜	Pulv. et. succ. Liquir.	q.s.
上記 30 丸子トナシ、毎 2 時間		U.f. pil. No. XXX.	
ニ 3 丸子宛		S. 2 stündl. 3 Pillen. z.n.	
- (3) 處方 Rp.

「アルプチン」	3.0	Albutin	3.0
「シロップ」	10.0	S. simp.	10.0
淨水	100.0	Aq.	100.0
上記 1 日 3 回ニ分服		D.S. auf 3×tägl. z.n.	
- (4) 處方 Rp.

「ボロベルチン」	1.5	Borovertin	1.5
上記 1 日 3 回ニ分服		S. auf 3×tägl. z. n.	
(5) 處方 (淋疾)		Rp.	
「サンチール」(Knoll)		Santyl (Knoll)	6 Cap.
6「カプセル」			
上記牛乳又ハ「コーヒー」ト共ニ		S. take three a day with	
1 日 3 回ニ分服		milk or coffee.	
〔註〕「サンチール」ハ白檀油ノ「サリチール・エステル」デアツテ胃及腎			
刺戟ナシト云フ。1「カプセル」= 0.4.			
(6) 處方		Rp.	
「ウロトロピン」	1.5—2.0	Urotropin	1.5—2.0
苦味「チンキ」	1.5	Tr. amarae	1.5
「シロップ」	8.0	S. s.	8.0
淨水	100.0	Aq.	100.0
上記 1 日 3 回毎食後分服		D.S. auf 3×tägl. n. d. E.	
		z. n.	
(7) 處方		Rp.	
「ヘサチラミン」(5.0cc) 1 筒		Hesaciramin (5.0cc) 1 Amp.	
上記静脈内注射料		S. zur intraven. Inj.	
(8) 處方		Rp.	
重碳酸「ソーダ」	2.0	Natr. bicarb.	2.0
「ザロール」	1.5	Salol.	
「ボロベルチン」	1.5	Borovertin.	aa. 1.5
「ゲンチアナ」末	0.3	Pulv. Gent.	0.3
上記 1 日 3 回ニ分服		D.S. auf 3×tägl. z. n.	
(9) 處方 (慢性膀胱炎)		Rp.	
0.2% 硝酸銀溶液		0.2% silver nitrate solution	
上記 膀胱内注入		S. for injection into the bladder.	
(10) 處方 色素製劑 (静脈内注射料)	1 回用量		
1) 「イスラビン」	5.0—10.0cc		
2) 「イスラビン・ロヂノン」	10.0 cc		
3) 「パンセプチン」	5.0—10.0cc		
4) 「パンセカール」	5.0—10.0cc		
5) 「ホモフラヴィン」	5.0—10.0cc		
6) 「フラヴィノール」	5.0—10.0cc		
7) 「トリパフラヴィン」	5.0—10.0cc		
8) 「チロトロピン」(Schering)	5.0 cc		
9) 「ウロトロプロカノン」	20.0cc		
10) 「ネオチストール」	5.0—10.0cc		
11) 「チフェラミン」	5.0cc		

浮腫

Oedema, Hydrops, Ödem (n.) Wassersucht (f.)
dropsy, edema, hydrops; oedème,
hydropisie.

浮腫

浮腫トハ組織内ニ水分ガ病的ニ滯溜シテ居ル状態ヲ云フ。而カモ此ノ滯溜液ハ主トシテ組織細胞間隙 interzelluläre Gewebslückeニ遊離ノ状態ニアル。從ツテ浮腫組織ヲ切開スレバ浮腫液ハ點々滴下スルワケデテル。然シ乍ラ生理的ニハ皮下組織 subkutanes Gewebe, subcutaneous tissueニハ斯カル廣イ間隙ハナク、浮腫ガ起ツテ始メテ出來ルモノデアツテ、カ、ル状態ハ淋巴液ノ集散其度ヲ得ナイタメニ起ルモノデアアル。

1. 淋巴液循環

動脈性毛細血管→組織淋巴液→組織細胞膨化→組織細胞縮化→組織液ノ細胞外浸透→(静脈性毛細血管淋巴管)

2. 前浮腫或ハ潜在性浮腫 Präödem, latentes Ödem, Organ-od, Gewebshydrops.

外面ヨリ看取シ得ル浮腫ナク、身體ノ含水量ガ病的ニ増加シタ場合ヲ云ヒ、眞ノ浮腫ノ發現ヨリモ早ク現ル。

組織細胞中ニ結合サレテセル膨化水 Quellungswasserノ増加ニヨルモノデアアル。

3. 後浮腫 Postödem.

前浮腫ト同ジ状態ガ浮腫 (manifestes ödem) 消退後遅ク迄残ツタ場合デアアル。前浮腫ト同ジク肉眼的ニ浮腫ヲ看取出來ナイガ、體重測定ニヨツテ推定シ得ル。

組織内水分ガタ、膨化水トシテ原形質内ニ留マラズ組織基質間小空隙ニ滯溜融合シテ大ナル組織間隙滯水トナレバ浮腫ガ肉眼的ニ見ラル。(表現性浮腫 manifestes ödem).

4. 硬結性浮腫 Sklerödem.

深性或ハ恒存性浮腫ニヨリ壓ヲ加フレバ容易ニ凹陷ヲ生ジ、又一度出來レバ容易ニ消失シナイモノヲ云フ。

5. 浮腫素因又ハ浮腫傾向 Ödembereitschaft od. Hydropsie-tendenz.

皮下等ニ現在尙浮腫、潜在性浮腫ガナイガ組織ノ機能低下シ何等カノ

要約ニヨリ容易ニ浮腫ヲ起ス傾向ニアル状態ヲ云フ (浮腫準備状態).

身體内水分分布状態

水ハ全體重ノ65%ヲ占メ生理的ニハ次ノ如ク分布シテキル.

筋肉	56.8 %
皮膚	6.66 %
血液	4.7 %
肝臟	2.8 %

諸臟器自身ノ水分

筋肉	73.53 %
皮膚	63.86 %
血液	77.98 %
肝臟	70.79 %

以上ニヨリ水ハ筋肉中ニ最モ多ク, 全身ノ水ノ過半ハソノ内ニアル. 病的ニ水分ガ體內ニ滯溜スル時ニモ其分配ハ大體正常時ノ分配状態ト一致スルガ. 皮下鬆疎結締織, 漿膜腔内ニハ特ニ多量滯溜スルモノデア.

身體内鹽類(殊ニ食鹽)分布状態

鹽類ノ消長ハ水ノ消長ト平衡スル. 生理的ニハ最モ多ク皮膚内ニ含マレ (全量ノ2/5; 28-77%) 病的ニハ皮膚内ニ正常時ノ3倍, 筋肉内ニハ2倍モ含有サレルニ至ル.

浮腫液ノ性状

食鹽ハ血清ヨリモ其含有率ハ若干高イ.

- (1) 淡黄透明, 「アルカリ」性, 非凝固性.
- (2) 血液中ノ異常成分(尿素, 膽汁色素等)ハ移行シ易イ.
- (3) 水腫(浮腫)部組織細胞ノ剝脫遊離セルモノ, 粘液, 脂肪等ヲ混合スル事カ多イ.
- (4) 食鹽含有率. (心臟性及腎臟性ナルニ大ナル關係ナシ)

	上界	下界
浮腫液	0.64	0.573 g/dl
血清	0.61	0.54 g/dl

浮腫ノ臨床的症狀

1. 一般性状
2. 浮腫ノ種類
3. 類症鑑別
4. 臨床的意義
5. 豫後

1. 一般性状

局所腫脹, 容積增加, 指壓痕殘留, 捏粉樣硬度 teigig; weiche Härte, 無彈力性, 光澤ヲ有シ滑カデア, 然シ各種類ニヨツテ多少共状態ヲ異ニスルモノデア.

2. 浮腫ノ種類

(A) 心臟性浮腫

kardiales Ödem, cardiac edema 或ハ鬱血性浮腫 Stauungs-ödem, edema due to obstruction; oedème cardiaque.

心臟作業能 Herztätigkeit 低下(調節不全 Dekompensation)→血液循環不調→ $\left\{ \begin{array}{l} \text{靜脈血壓上昇} \\ \text{動脈血壓低下} \end{array} \right\}$ 鬱血→血管内被細胞ノ機能障礙, 血液水分血管外(組織内)漏出→心臟性浮腫

(1) 心臟性浮腫ヲ増強スル因子

- (a) 濾出液ノ毛細管, 淋巴管壓迫→組織細胞營養障礙
- (b) 循環障礙→肺内「ガス」不足 $\left\{ \begin{array}{l} \text{血中炭酸蓄積} \\ \text{張力増大} \end{array} \right\}$ →血管運動神經中樞刺戟→最小乃至小動脈攣縮→高壓鬱血 (Hochdruck nach Sahli)→靜脈性鬱血増強.

(2) 心臟浮腫ノ發現

- (a) 血栓形成 Thrombusbildung, Thrombose.
- (b) 周圍ヨリ靜脈ヘノ壓迫.
- (c) 淋巴還流障礙.
[例] 象皮病 Elephantiasis.
栓塞 Embolie.
- (d) 肺臟ノ變化
(イ) 肺ノ壓迫(例. 肋膜滲出液, 氣胸等)
(ロ) 肺自身ノ萎縮, 彈力性減退→靜脈血還流障礙.
- (e) 左心ノ機能減弱
各種心臟疾患
- (f) 肋膜腔内異物發生
(イ) 肋膜炎, 心囊炎ノ滲出液→上下大
(ロ) 胸内腫瘍(特ニ縱隔囊腫瘍 Mediastinaltumor)→
靜脈直接壓迫→心臟内靜脈血還流障礙.

(3) 靜脈性鬱血ニヨル浮腫發生要約.

- (a) 靜脈系血壓亢進→側枝血行路 (Kollateralbahn) 形成皆無
- (b) 靜脈系血行緩徐→
- (c) 淋巴排泄減少.

(4) 心臟性浮腫ノ症狀

- (a) 心臟代償機能失調→ $\left\{ \begin{array}{l} \text{「チアノーゼ」} \\ \text{呼吸困難} \\ \text{心臟性皮膚色 Teint cardiaque.} \end{array} \right.$
- (b) 重症→肝鬱血→輕度ノ黃疸(皮膚蒼白, 貧血)

(5) 鬱血性(心臟性)浮腫ヲ伴フ疾患

- (a) 心筋衰弱心臟瓣膜障礙増悪ニヨル調節不全症. 之ノ場合ニハ皮膚浮腫ノ外内臟(殊ニ肝, 脾, 腎)ニ鬱血症狀ヲ呈ス. (一般循環障礙 allgemeine Zirkulationsstörung).
- (b) 血栓靜脈炎 Thrombophlebitis.
- (c) 靜脈内炎性血栓 Phlebothrombose.
- (d) 閉塞性動脈炎 Arteriitis obliterans (特ニ下肢)
- (e) 肥胖セル人 Fettsucht.

末梢血流障礙→鬱血傾向

(f) 老年者 alte Leute.

組織弾力性消失→
皮下脂肪組織減退→
靜脈循環不整調

此等ノ場合ハ末梢性ノ鬱血浮腫ヲ現ハス.

之等心臟性浮腫ハ循環機能ヲ整調セシムレバ消失スルモノデアルガ、然ラザル時ハ全身浮腫 allgeneine Anasarka 腔水腫 Hydrops (胸水 Hydrothorax, 腹水 Ascites, Hydroperitoneum, 水腫 Hydrocephalus, 聲門水腫 Glottisöden 等) 或ハ内臓 (肺浮腫 Lungenödem, ソノ他腸等)ニ浮腫ヲ起ス.

(B) 腎臟性浮腫 renales Ödem.

【成因】

(a) 全身細小血管(皮膚, 皮下組織等) 及ビ

(b) 腎臟血管ノ傷害サレテソノ機能が不全トナルニ基クモノデアル.

血管系統障礙ガ腎病的變化(蛋白尿等)ヨリ早期ニ現レソノ結果浮腫ガ先ヅ現出シ、數日後蛋白尿ヲ認メ或ハ認メヌ事ガアル(無蛋白尿性腎炎 Nephritis sine albuminure). 之ハ水、食鹽ガ腎障礙ヨリ體內ニ停滯シ浮腫ヲ生ジタノデハナク組織血管ヨリ浮腫液トシテ滲出作用ニヨリ組織内ニ出デ、組織細胞ノ機能モ障礙サレテ組織淋巴ノ代謝ガ失調サレタノデアル(水及食鹽ノ腎臟外蓄積 extrarenale Retention od. Historetention des Wassers u. Kochsalzes).

故ニ腎絲毬體及組織毛細管内被細胞ハ同一系統ノモノデアルト考ヘル人ガアル腎炎末期デハ循環系モ侵サルルカラ心臟性浮腫ヲモ伴フヤウニナル.

腎硬化症 Nephrosklerose ノ如キ血管障礙性疾患デハ下肢ニ浮腫ノ來ルコトガ多く、硬固デ壓陷サレ難ク皮膚色ハ「リビード」livid ヲ呈ス.

浮腫ハ云ハバ又ツノ生體防禦作用ト考ヘラル慢性腎炎ノ尿毒症素因(尿毒症發現準備狀態 Urämiebereitschaft) アル時ニ利尿劑(殊ニ腎性利尿劑)ヲ投與スル時尿毒症發現ヲ促シ、又尿毒症症狀ガ浮腫ノ増強ニヨリ軽減スル事ガアル.

之ハ血液中ノ有毒物質(殘餘窒素等)ガ組織中ニ浮腫液トシテ移行サレ生體代謝ヲ調和スルタメデアル. カ、ル意味カラ組織ハ前置腎 Vorniere ト云ハレテキル.

即チ尿毒症ヲ起ス有毒有害物が液體ニ稀釋サレテ浮腫トシテ細胞間或ハ體腔ニ滯溜スル時ハ其ノ自家中毒症狀ガ緩和・抑制サルルモノト考ヘラル.

蛋白尿ヲ伴フ腎疾患類症別鑑別表

主 候	尿 性 状	心 臟 肥 大	浮 腫	尿 毒 症	死 因
「ネフロローゼ」	蛋白多量、血液含有少量尿ヨリ白血球、脂化圓柱、尿量減少。	初メナシ 萎縮腎(末期)ヲ起セバアリ	強度、屢々頑固	多クナシ	衰弱、惡液質、水腫、敗血症等
腎 炎	血液含有量多量、蛋白量ハ「ネフロローゼ」ヨリ減少	初期ハハナシ 慢性ニナレバ著明	比較的輕シ 慢性ニナレバ強	眞性尿成分蓄積性尿毒症ニ變ハル	尿毒症、肺水腫
血管硬化性腎炎 (血管硬化性腎萎縮腎)	蛋白少量、硝子樣圓柱、比重低シ、ソノ他著變ナシ、尿固形成成分排出ノ低下、尿量普通又ハ多量	アリ、 硬化症狀ヲ伴フ	末期心臟衰弱ヲ起ス迄ナシ	動脈硬化性尿毒症、混合型尿毒症	尿毒症、腦出血、心臟衰弱
鬱血腎	尿量減少、暗赤色、比重高シ、蛋白中等度カ不定、硝子樣圓柱、赤血球ノ僅少	原因ニヨル	心臟性浮腫	認メズ	心臟衰弱、栓塞

(C) 消耗性浮腫 kachektisches Ödem od, marantisches Ödem.

- (1) 浮腫病 Ödemkrankheit.
(饑餓浮腫或ハ戦争浮腫 Hungerödem, od. Kriegsödem) 世界大戦ノ際 獨逸ニ於テ食物閉鎖ノタメ食物ノ量的及質的缺陷ニ基キ全身營養障礙ヲ惹起シテ現ハレタ浮腫デ 1916 年冬カラ 1917 年春迄ハ殊ニ多數ノ患者ヲ出シタ。三大徴候(脈搏減少, 多尿, 浮腫)ノ外 羸瘦 Abmagerung, emaciation; amaigrissement, 衰弱 Schwäche, debility; debilité, 血壓下降, 血色素及ヒ赤血球減少ヲ伴ハザル血清蛋白量減少, 下肢疼痛, 神經壓點ノ存在, 夜盲症, 膝蓋腱反射減弱等ガアル。浮腫ハ心臟型(内足踝, 下肢等ノ浮腫)又ハ腎臟型(顔面, 全身ノ浮腫ヲ取り, 極メテ速カニ消長スルノガ特徴デアアル。浮腫液ハ特ニ蛋白及窒素ニ乏シク, 比較的「クロール・ナトリウム」ニ富ム。
- (2) 小兒穀粉營養障礙 Mehlährschaden.
- (3) 「ビタミン」缺乏ニヨル浮腫
脚氣, 壞血病ノ浮腫
- (4) 水分蓄留ニヨル浮腫 Wasserretentionsödem, 又ハ燕麥浮腫 Haferödem.
糖尿病患者 Diabetiker ニ多量ノ含水炭素ヲ與フル時, 殊ニ燕麥療法 Haferkur ヲ行フ時ニ見ラル。之ハ顔面, 下肢ニ比較的一過性ニ來リ營養障礙ニ基ク。糖尿病ヲ「アチドーゼ」Acidose (血中豫備「アルカリ」減少)ノ強イ時ニ浮腫ヲ見ル事ガアル。燕麥浮腫ノ一原因ハ少クトモ「アチドーゼ」ニ關係ガアルト云フ。
- (5) 「ソーダ」浮腫 Sodaödem.
糖尿病患者ニ「アルカリ」ヲ多量ニ與ヘル時ニ起ル。
- (6) 小兒腹部結核症 (腸及腹膜結核)ニ於ケル浮腫。
此場合心腎ハ健全デアツテ浮腫ノ來ル事ガ割合多イ。營養障礙ト結核菌毒ニヨル血管障礙ニ起因ス。
- (7) 消耗性浮腫 kachektisches Ödem, (惡液質性浮腫 (dyskrasisches Ödem).
惡性腫瘍(殊ニ消化器系), 結核, 急性傳染病(腸「チフス」, 赤痢, 「マラリア」等), 諸種重症貧血症, 諸種中毒(「ヒニン」, 「サリチール酸」, 「カルシウム」等)。

(D) 其他種々ノ成因ニヨルモノ

- (1) 肝臟疾患
肝臟疾患ハ腎疾患ト同様ニ體內水分滯溜ヲ惹起シ易イ (Gilbert, Lerebonille u. a.)
- (イ) 微毒性肝臟炎 Hepatitis syphilitica.
- (ロ) 急性或ハ惡急性黃色肝臟萎縮 akute od. subakute gelbe Leberatrophie.
- (ハ) 肝疝痛時ノ内足踝部浮腫 (Guéneau, Massy).

- (ニ) 肝臟疾患前驅症狀トシテノ浮腫 (Hanot).
- (ホ) 「カタル」性黃疸時ノ乏尿 Oligurie 輕快時ノ多尿 Polyurie (Mautner, Adler; Tiergerstedt, Mautner; Pick 等ノ動物實驗 Vollhard 氏水試驗ニヨル水排泄障礙) 肝臟ハ水代謝 Wasserhaushalt ニ關係ガアル, (G. Cori, H. Mautner, Pick etc.)

之ニハ肝臟「ホルモン」説, 肝臟閉鎖説 Lebersperre (肝靜脈血管筋弱弛緩, Pick, Mautner 氏), 肝臟自家中毒説 (Le Damany) 網狀織内被細胞系 (retikuloendotheliales System) 機能説 (Saxl, F. Donath) 及肝臟實質細胞説 (Epinger, O. Klein, u. E. Lang) 等ガアル。

近來脾臟閉鎖 Milzperre (N. Henning) ヲ唱ヘル人ガアルガ之ハ網狀織内被細胞ノ機能ニヨトル云フ (Saxl, Donath).

(2) 内分泌性浮腫

- (イ) 粘液浮腫 Myxödem, myxedema, cachexie pachydermique.
甲狀腺機能減弱 Hypothyreoidismus ニヨル。皮膚蒼白, 肥厚, 浮腫狀, 皮下組織充實緊張, 皮膚乾燥, 彈性柔軟性皆無乃至僅少。他ノ場合ノ浮腫液ト異ナリ「ムチン」ヲ含有ス, 從ツテ指壓ニヨリ凹陷ヲ示サナイ。
- (ロ) 「インシュリン」浮腫 Insulinödem 重症糖尿病患者ニ「インシュリン」注射療法ヲ行ヘバ體內水分滯溜シ, 急激體重増加ヲ見ル。注射ヲ止メレバ浮腫ハ消退スル。(v. Noorden, Isaac) 肝臟ニ「グリコーゲン」ガ多クナレバ水分滯溜シ, 減少スレバ水分モ減ズトル云フ。此ノ水分體內滯溜及浮腫ハ腎臟外(即組織)ニアルト云フ。(Falta, O. Klein)
- (ハ) 月經前及月經中ノ水分滯溜 (Heilig)
妊娠時ノ浮腫素因 (Zangenmeister)
内分泌性水代謝障礙デアアルガ發生機轉ハ不明デアアル。
- (ニ) 血管神經性浮腫 Oedema angioneuroticum, angioneurotisches Ödem. 蕁麻疹狀ヲ呈シ皮膚粘膜ニ現ル, 神經性ノ局所的血管擴張の影響ニヨル。發生機轉不明。クイネク氏浮腫 Quinckesches Ödem (消長迅速ナルヲ特有トス)ハ之ニ屬シ一時性浮腫 Oedema fugax トシテ咽喉部ニクル時ハ窒息ノ危險ヲ齎スコトガアル。腦ニ來リ腦膜症狀 Meningismus ヲ呈スル事モアル。
- 多發性神經炎 Polyneuritis, 營養神經症 trophische Neurose (例, Hydrops articulorum intermittens) 「ヒステリー」患者ニ見ル事ガアル。又浮腫原因ナク家族的, 遺傳的ニ下肢ニ輕度ノ浮腫ヲ見ル事ガアル (Milroy's Krankheit).
- 腎神經支配脱落ハ尿機能緩徐(殊ニ尿濃縮能低下)ヲ起スト云フ。(Asher 等)
- 脊髓空洞症 Gliomatosis spinalis, Syringomyelie, medullary gliomatosis; syringomyelie, 脊髓炎 Myelitis..

脊髓癆 Tabes dorsalis, 卒中後ノ半身不隨 postapoplectische Hemiplegie(麻痺側浮腫)坐骨神經痛 Ischias 等ニ見ル。

(ホ) 象皮病 Elephantiasis, Filariasis.

原發性ニハ「フィラリア」蟲 Filaria sanguinis hominis ニヨリ, 續發性ニハ反復セル炎症(丹毒, 淋巴管炎, 靜脈炎等), 腫瘍類ノ壓迫, 靜脈又ハ淋巴管環流妨礙, 四肢ノ慢性炎症(微毒, 化膿性疾患等)等ヨリ來ル。

(ハ) 炎症性浮腫 entzündliches Ödem.

充血 Hyperämie, 血行緩徐ニヨリ血漿滲出 Extravasation ヲ起セル時ニ來タル。急性「レウマチス」, 急性皮膚炎(蝨刺等), 筋炎等ニハ皮膚上ニ屢々浮腫ヲ見ル。

身體深部ニ炎症殊ニ化膿竈アレバ局所皮膚發赤腫脹, 疼痛, 灼熱アリ(副行浮腫 kollaterales Ödem), 蟲様空起炎, 盲腸炎, 腹膜炎, 蓄膿症, 中耳炎等ニ見ラル。

炎症性浮腫ハ炎症ニヨリ酸發生, 局所膨大, 血管ノ壁變性ヨリ滲出容易, 淋巴液鬱積等が起ルカラデアル。

(ト) 「アナフィラキシー」性浮腫 anaphylaktisches Ödem.

刺戟療法 Reiztherapie ノ際ニ屢々見ラル。

異種蛋白注射ニヨリ起サレタ組織障碼ニヨル。

(チ) 中毒性浮腫 toxisches Ödem. 中毒(蛇毒, 昆蟲刺傷, 細菌毒, 芥子, 毒, 蟹等ノ食用後)ニヨリ起ル。

(リ) 貧血特ニ惡性貧血 Anaemia perniciosa.

3. 浮腫ノ類症鑑別

(333 頁表ヲ参照)。

4. 浮腫ノ臨牀的意義

各個ノ場合ニ於テ異なるが大體次ノ如ク云ヘル。

- (1) 浮腫ノ發現ハ原病ノ重篤ヲ指示ス
(2) 一定成因ニヨリ生ズル浮腫ハ顯著ナルモノ程原病ノ重症ナルヲ指示ス。但シ例外アリ。

〔例〕 眞性尿毒症 echte Urämie ノ前驅症狀トシテノ重症慢性腎炎ニ於ケル再度出現セル浮腫ハ屢々一般症狀ヲ輕快シ尿毒症ノ危險ヲ脱却セシメル事がアル。

- (3) 浮腫ノ原病が治癒サル可キモノナル時, 浮腫ハ必ズシモ豫後不良デナイ。
(4) 消耗性浮腫又ハ惡液質浮腫 marantisches oder kachektisches Ödem ハ循環營養障碼ニヨリ起ルモノデ浮腫ノ強度ト豫後ノ程度トハ竝行スル。癰腫, 結核等ノ末期ニヨク足背ニ起ルモノデアル。
(5) 心臟機能不全性浮腫 Ödem infolge Herzinsuffizienz, edema due to heart insufficiency.
之モ豫後ハヨクナイ。
(6) 腎臟性及貧血性浮腫ハ原病治癒が不可ナル時豫後不良デアルが, 腎疾患ノ浮腫ハ必ズシモ豫後不良トハ云ヘナイ。即チ尿毒症素因 Urämie-bereitschaft ノ際ニ於ケルが如ク一種ノ中毒防止作用デアルト考ヘラルル事スラアル(既述)。

浮腫類症鑑別表

Table with 6 columns: 浮腫ノ種類, 皮膚ノ色, 浮腫ノ性状, 臨牀診斷要綱, 浮腫ノ種類, 浮腫ノ性状. It details various types of edema such as hemorrhagic, renal, consumptive, vascular, lymphatic, and inflammatory, listing their characteristics and diagnostic criteria.

- (7) 脚氣浮腫, 「インシュリン」浮腫, 燕麥浮腫等モ大體ニ於テ不良ノモノデナイ。

5. 浮腫ノ豫後

(1) 心臟性浮腫

可及の早期ニ循環機ヲ整調セシメル。之ニハ強心劑ノ投與が必要ナル。病變高度ノタメ強心劑ノ無効ナ時ニハ勿論豫後不良トナル。浮腫ヲ放置スレバ全身浮腫 allgemeine Anasarca, 腔水腫 Hydrops, 内臓器官浮腫等ヲ起シ機能障礙ヲ招クカラ, 出來得レバ未然ニ防グ可キデアアル。

(2) 腎臟性浮腫

腎臟炎(糸球體症)ト「ネフローゼ」(細尿管進行變性)ニヨルモノトガアル。

豫後ハ心臟性ノモノヨリモ悪ク, 種々ノ利尿劑モ心臟性浮腫ニ對スルモノ程有效デナイ。

腎炎ニハ醋劑ヲ, 「ネフローゼ」ニハ尿素ガ屢々用ヒラル。

(3) 消耗性浮腫

此ノ場合ノ浮腫ハ癌, 結核等ノ如キ慢性消耗性疾患, 惡液質ニ見ラレ, 發現ハ心臟性浮腫ニ似ル。原病ガ重篤ナ事ガ多ク從ツテ豫後不良ノ事ガ多イ。浮腫ノ強イ程豫後不良デアアル。

重症傳染病, 産褥時等ニ見ル疲憊浮腫 Erschöpfungsödem ハ種々要約ニヨリ生成スルガ此ノ「カテゴリー」ニ屬ス。

(4) 栄養障礙ニヨル浮腫

「ビタミン」缺乏症 Avitaminose (脚氣, 壞血病等) 新陳代謝障礙(糖尿病), 栄養障礙(小兒穀粉栄養障礙, 浮腫病 Ödemkrankheit) 貧血等ニ見ル。組織機能低下ガ主因デアアルカラ原因療法ニヨリ消滅スル。(脚氣ニ對スル「ビタミン」B, 饑餓浮腫ニ對スル食物改良等)。

(5) 血管神經性浮腫

比較的無害トサレテキルガ腦浮腫(腦膜症狀)聲門水腫等ヲ起セバ危險デアアル。

(6) 炎症性浮腫

炎症ニヨル。豫後ハ色々デアツテ急性皮膚炎(整刺等), 急性「レウマチス」, 筋炎, 蟲様突起炎等ニ見ラレルカラ, 原病處置が必要デアアル。

(7) 其他ノ浮腫

肝臟, 脾臟, 内分泌腺疾患等ノ浮腫ハ原病ガ難治デアアルカラ豫後不良ノ事ガ多イ。此ノ「カテゴリー」ハ今後ノ研究題目デアアル。

浮腫ノ成因

1. 浸濾 Transsudation.

正常血液々狀成分ガ一程度滲透性ヲ有スル血管壁ヲ通ジ組織間隙内ニ出ル機轉ヲ浸濾ト云フ。此液ガ淋巴 Lymph デアル。

浸濾ニハ次ノ要約が必要デアアル。

- (1) 血壓ニヨル濾過作用 Filtrationsvorgänge.
- (2) 滲透壓差ニヨル交流作用 Diffusionsvorgänge, Osmose.

- (3) 血管内被細胞ノ能動的作用 aktive Tätigkeit der Gefäßendothelien.
- (4) 血管運動神經ノ作用

2. 浮腫發現

淋巴液循環ヲ司ル濾過, 交流, 血管内被細胞分泌機失調, 血管運動神經異常作用ニヨリ毛細管ヨリノ液體滲出(或ハ分泌 Sekretion)増加, 或ハ血管, 淋巴管内ヘノ還流減少又ハ兩者(即液體排除トノ代謝平衡障礙)ヲ惹起シ組織ニ淋巴ノ滲溜スル時ニ浮腫ガ生ズル (Ödembildung). 浮腫ハ一定程度以上ニ進マズ事ガアル。(浮腫固定狀態 Ödembeharrung) 之ハ組織ニ於ケル淋巴液體運動(滲出, 吸收)ガ平衡ヲ保ツテキルカラデアアル。滲出ヨリモ吸收ガ盛ニナルト浮腫ハ減退スル (Ödemlösung).

3. 浮腫材料 Ödem-material (水及食鹽) 代謝

水 } → 消化管(吸收) → 循環系(血液) → 全身組織(毛細管ヲ
食鹽 }
經テ組織内一時蓄積, 皮下, 腎等) → { 大部分腎臟
一部分皮膚, 肺, 腸
→ 體外排泄(水及食鹽ノ腎臟外排出 extrarenale Elimination).

組織内滲溜 Historetention (Strauss)

必要ニ應ジ組織ハ水分及食鹽ノミヲ過剩ニ保持シ得ル。例ヘバ皮膚ハ生理的, 病的(浮腫)ニモ比較的少量ノ水, 食鹽ヲ有スル。之ヲ組織内滲溜 (Strauss) ト云ヒ, 體液内滲溜 Seroretention ニ對セシメテキル。

乾性食鹽滲溜 trockene Kochsalzretention.

食鹽ノミ比較的少量ニ滲溜スル場合ヲ云フ。(乾性浮腫 trocken Ödem, Widal). 水ノミ比較的少量ニ滲溜スル事ガアル。

浮腫材料ト浮腫トノ關係

水ヨリモ食鹽ノ方ガ浮腫ノ發生ニ密接ナ關係ヲ有ス。食鹽ノ排泄路(主ニ腎)ハ水ノ排泄路(皮膚, 肺, 腸管等)ヨリモ限ラレテキルカラデアアル。

4. 淋巴液ト組織液又ハ組織汁

淋巴液ハ淋巴管内ヲ流レル内容物ヲ云ヒ, 組織液 Gewebssäftigkeit od. Gewebssaft ハ組織内殊ニ組織細胞間ニアル。組織ノ灌漑, 栄養供給ヲナシ血管, 淋巴管, 靜脈ヨリ動脈ニ入ル。

淋巴液 { 毛細血管 → 毛細淋巴管 → 淋巴管 → 淋巴腺 → 淋巴管 → 胸管 } 靜脈血

5. 浮腫成因ノ膠質化學的説明

血管中ヨリノ水分滲出 → 組織細胞原形質中ノ膨化水 → 縮化機轉 Entquellung (凝縮離水現象 Synäresis) ニヨリ細胞ヨリノ拆出 → 血管及淋巴系ニヨル排除不全 → 組織間隙内水分滲溜 → 浮腫發生ノ一因。

(1) 毛細管内皮細胞及組織細胞障礙ノ膠質化學的考察

生理的ニ毛細管壁ハ水, 「ガス」(酸素, 炭素「ガス」), 晶質體 Kry-

含水炭素、脂肪ヲ主食トス。馬鈴薯ハ「ナトリウム」排除作用アル「カリウム」ヲ多量ニ含ムカラ浮腫ヲ減少セシメル。白肉ハ赤肉ヨリ脂肪含有量少ナク調理ニ食鹽ヲ餘リ要セズ。

(3) 食餌療法施行上ノ注意

- (a) 減鹽食ハ間歇的ニ與フレバ殊ニヨク奏效ス。生體ハ直チニ持續的減鹽食餌ニ適應シ易シ。
- (b) 間歇的減鹽食餌ニヨリ食鹽代用品ヲ節約(特ニ巧妙ナル食品調理ニヨリ)シ得。
- (c) 食鹽調理上注意ス可キハ食鹽ヲ最も多量ニ含ミタル食品(鹽漬、味噌漬、醬油漬等)ナリ。
- (d) 使用食品中ノ食鹽含有ヲ知り置ク可シ。
- (e) 水分、食鹽制限ハ可及的急速ニ行フ可トス。但シ腎臟性浮腫ヲ除ク。即チ急速制限ハ組織刺戟トナル爲ナリ。
- (f) 食物中ノ含有水分ヲ考ヘテ食餌療法ヲ施ス可シ。
- (g) 腎臟性浮腫ニハ蛋白質ヲ禁ズ。但シ長期ニ亘ル時ハ營養障礙ニヨル全身衰弱 allgemeine Schwäche, general debility ヲ妨グ目的ニ(營養維持 maintenance of nutrition)強ク嚴禁スルノ要ナシ。
- (h) 「アルコール」性飲料 Alkoholgetränke, alcoholic beverages 濃厚ナ茶、「コーヒー」、「ココア」等ヲ禁ズ。香辛料モ禁ズルベキデアル。

(B) 理學的療法 Physiotherapie, physiotherapy

(1) 器械的療法 Mechanotherapie.

- (a) 安靜臥牀 Betruhe, rest in bed.
輕症ハ之ノミニテ治癒ス。
- (b) 體位 Körperlage, position of the body.
浮腫素因アル時ハ立臥ヨリモ横臥ノ方が利尿サル。
特ニ直立性蛋白尿 orthostatische Albuminurie ニテ然リトス。
- (c) 下肢舉上。體位ト同意義ニヨイ。
- (d) 皮膚ノ衛生 Hygiene der Haut, hygiene of skin.
浮腫アル皮膚ハ細菌感染(丹毒等)ヲ起シ易イ。
- (e) 「マッサージ」
餘リ效果ハナイ。然シ患者ハ快感ヲ覺ヘルカラ靜カニ行フ。
- (f) 皮膚穿刺 Hautpunktion od. Hautdrainage.
スーセー氏針 Southey's Nadel 又ハ フレンケル氏針 Fränkel's Nadel クルシュマン氏套管 Curschmann's Troikart ヲ大腿、下腿、腹壁ニ挿入シテ「ゴム」管ヲ付ケ他端ヲ低ク垂レテ毛細管「サイフォン」作用ニヨリ滴下セシム。局所ハ細菌感染ヲ受ケ易イカラ特ニ注意シテ消毒モ嚴重デナケレバナラス。通常兩脚ニ一針ヅツ同時ニ用ヒ 24—36 時間放置ス。無効ナル時ハ穿刺針ヲ刺シ換ヘ又ハ「マンドリン」ヲ改メテ突き刺シ「フィブリン」Fibrin ノ凝固等ニヨル針ノ閉鎖ヲ除ク事等試ミル。
- (g) 皮膚亂切法 Skarifikation.
皮膚穿刺ノ無効ナ時 充分ナ消毒、滅菌ノ下ニ行フ。外科用小刀

Skalpelle, scalpele ヲ用ヒテ例ヘバ下腿外側ニ 4—6 ノ刺傷 Stiche ヲ作り、後ニハ 1日 1—2 回ノ割合ニ繃帶交換ヲナス。

- (h) 漿液膜腔穿刺
腔水腫 Hydrops (例、腹水)アレバ穿刺ヲナス。腹水デハ腹膜癒着ナキヲ條件トス(急性穿孔性腹膜炎ノ危険)。

(2) 瀉血療法 Aderlass, Venesektion, Venenpunktion, Phlebotomie, Venesection.

循環系加重負擔ノ緩和及之ニヨル反射的血管擴張性充血ト血壓下降ヲ來スカラ腎臟性浮腫ヨリモ心臓性浮腫ニヨク奏效スル。有害物質排除 Giftentziehung 及稀釋 Giftverdünnung、血液滲透壓 osmotischer Druck 動搖及血液殘餘窒素ヘノ影響ハ何レモ少イ。

一般ニ皮膚血行狀態變化ハ凡テ浮腫液血行内還流ヲ促進ス。

- (a) 普通 200—300 珎ヲ注射器ヲ用ヒテ肘靜脈ヨリ採血ス。
- (b) 注射針ハ比較的太ク針ノ内腔ハヨク磨カレタルモノヲ用フ。此ノ目的ニ Strauss 氏瀉血針アリ。固定板及把柄ヲ有ス。
- (c) 血液凝固ヲ防グ爲ニ注射器、注射針ヲ消毒「クエン」酸鹽、羧酸鹽液、消毒流動「パラフィン」等ニテ豫メ濕ストヨイ。
- (d) 注射針ヲ「オレーフ」油中ニテ加熱消毒ヲナシテ同時ニ血液凝固ヲモ妨止シテオク。此ノ血液凝固防止ノ操作ヲナシテ置カネバ充分採血シ得ズ。又靜脈存在ノ認め難イ時ハ靜脈切開ヲナス。
- (e) 瀉血ヲナス以上ハ可及的大量(200—300珎)ヲ採血スル。200 珎以下ハ殆ンド無効デアル。然シ全血液量ハ體重ノ約 1/13 ヲ占メテキテ、此ノ 1/10 以上採血スル事ハ危険デアルト云フ。瀉血ハヨク一定間隔ヲ置キ 2—3 回反復スル。

(f) 瀉血適應ト效果

- i 自家中毒(尿毒症、糖尿病昏睡等)及他ノ中毒(炭酸「ガス」硫化水素等)。
- ii 心臓機能不全殊ニ肺浮腫 Lungenödem ヲ伴フ場合。其他靜脈鬱血ヲ伴フ循環障礙。
- iii 骨髓刺戟(v. Noorden 氏)血中脂肪體及「リポイド」ノ増加(Aderlasslipämie)作用(非特異性刺戟療法 unspazifische Reiztherapie)。
- iv 流血中ノ「ホルモン」様物質增量(Hermann, Freund 氏)血液凝固性昂進(フアンデン・ウエルデン V. d. Velden)、血清免疫價亢進(Hahn, Langer, Joette 氏等)等ノ一般原形質賦活作用 Protoplasmaaktivierung。

(g) 瀉血ノ種類

- i 刺絡
- ii 水蛭 Blutegel, od. —igel, leech, hirudo medicinalis.
常用水蛭 1 匹ノ最大吸血量(丸クナリ落下スル程度)ハ約 2 瓦(西洋水蛭デハ 4 瓦)デアル。
- iii 亂刺
觀血的吸角 blutiges Schropfen。

(3) 發汗療法 Schwitzkur, treatment by sweating.

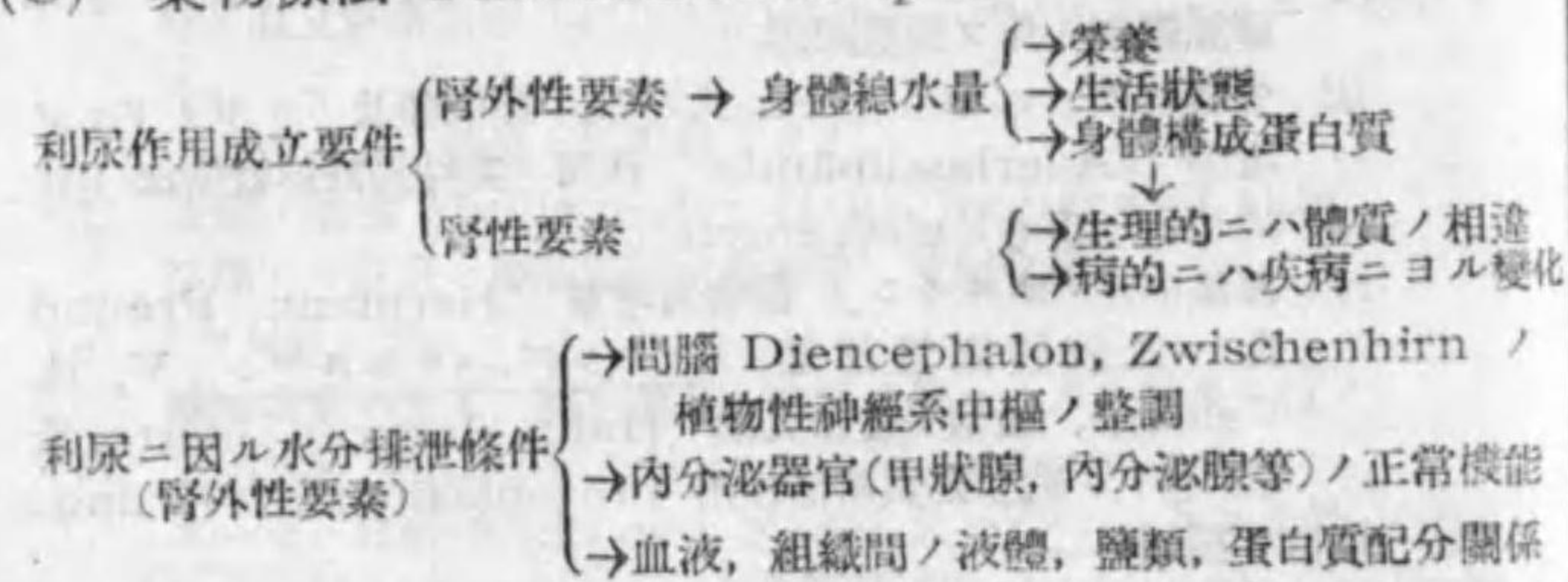
- (a) 巧妙ニ發汗療法ヲ行ヘバ、水 100 珎、食鹽 2.0—3.0 瓦ヲ排除シ

- 得 (v. Noorden).
- (b) 腎及皮膚血管ハ血管運動神經ノ關係ヨリ云ヘバ同位置ニアリ、即皮膚血行變化ハ組織液吸收反射的腎血行變化ヲ起ス。
 - (c) 故ニ溫浴、脚湯、海水浴等ニテ尿量増加ヲ見ル事アリ。
 - (d) 發汗セシメズニ單ニ毛細管刺戟ニハ 35—37°C ノ溫浴ヲ毎日又ハ隔日ニ 15 分間位行フ、灼熱電光浴 Glühlichtbad モ可。
 - (e) 解熱劑 (「アスピリン」等) ハ皮膚毛細管ニ餘リ影響シナイカラ發汗シテモ無意味デアル。
- (4) 腸誘導療法 Ableitungstherapie.
- 體內水分ヲ腸ニ誘導シ浮腫ヲ減退セシメル目的ニ下劑ヲ與ヘルガ效果ノ不定、患者ノ衰弱等ヲ來ス事ガアルカラ用ヒラレナイ事ガ多イ、但シ便秘ニハ緩下劑ヲ投與ス。

【處方例】

(1) 處方 (Leube 氏)		Rp.	
大黃根末	20.0	Pulv. Rad. Rhei	20.0
乾燥硫酸「ソーダ」	15.0	Natr. sulf.	15.0
重曹	5.0	Natr. bicarb.	5.0
上記毎夕 1 茶匙宛服用		D.S. teelöff. abend. z.n.	
(2) 處方		Rp.	
「センナ」葉末	10.0	Fol. Senn. pulv.	
「マグネシア」	10.0	Mag. ustae	
白糖	10.0	Sacch. albi	
糖製酒石	10.0	Tartar. deputrat.	
精製硫黃	10.0	Sulfur. deputrat. aa.	10.0
上記研和 1 日 3 回 1 茶匙分服		D.S. auf 3× teelöffelweise z.n.	

(C) 藥物療法 Pharmakotherapie.



1. 藥劑ノ反應性

病的ニハ利尿作用ハ非常ニ變化錯雜スル、例ヘバ

- (1) 尿素ハ生理的ニハ殆ンド利尿作用ナク、病的ニハ特ニ有效ニ働ク。
- (2) 水ハ生理的利尿劑ト見做シ得ルガ、病的ニハ全ク此ノ作用ヲ失フ事アリ。

2. 利尿劑ニヨル物質排泄關係

- (1) 食鹽排泄量最モ多シ、水ハ之ニ次グ。

- (2) 硫酸鹽, 磷酸鹽, 尿素等ハ増加セル尿量ニヨリ多量ニ洗ヒ出サルルガ如キ感アリ。

3. 利尿劑 Diuretica, harntreibende Mittel.

利尿ヲ増シ生理的排泄機能ヲ鼓舞シ尿量ヲ増加スル藥劑ヲ利尿劑ト云フ。

腎臟機能

- (1) 血液滲透壓 ($\Delta = -0.56^\circ\text{C}$) ヲ一定度ニ保ツ。
- (2) 體內ニ生ジタ有害物質代謝產物ヲ尿ト共ニ排泄スル。
- (3) 體內ニ生ジタ生理的異常過剩成分排泄。
- (4) 以上ニヨリ血液成分ヲ一定ニ保ツ。
- (5) 内分泌作用アリ。
- (6) 體質的關係アリ。即利尿急速者ト緩慢者トアリ。兩者ハ絕對的ノモノニアラズ、同一人ニテ程度ハ互ニ變化ス。
- (7) 單ナル水血症ノミニテ利尿サレズ。
- (8) 腎ハ靜脈内注射 intravenöse Injektion, intravenous injection ニヨル刺戟ト經口的投與ニヨル刺戟トニ對シテ反應ヲ異ニスル事アリ。
- (9) 藥劑ノ分量ガ腎臟機能ニ影響スル事アリ。

利尿ノ起ル因子

- (1) 分泌機能 (腎絲體體及細尿管上皮細胞)
- (2) 腎内血液循環 (腎内通過血液量ニ正比例ス)
 - i 腎血管横斷面異常ナキ時ハ血壓ト流血量ハ正比例ス。
 - ii 血壓一定時ニハ血管横斷面ニ比例ス。
 - iii 血壓ハ心力ニ關係アリ。
 - iv 子割, 癩癩等ニテハ全身血管收縮 (腎血管モ勿論) シ利尿ヲ減ズ。
- (3) 血液成分
 - 組織營養障礙 (貧血, 粘液浮腫, 酸毒症等) ニテハ血液成分血管外溢出アルタメ尿トナル。
 - 肝ノ門脈系循環障礙ニヨル腹膜腔内血液水分滲出, 腹膜炎, 肋膜炎ニヨル各腔内炎症性滲出物蓄溜時ニハ血液水分不足ニヨリ尿量減ズ。

利尿劑ノ分類

(A) シュライエル Schlayer 氏分類法

- (a) 生理的利尿劑 → 水, 鹽類, 尿素, 葡萄糖。
- (b) 藥物的利尿劑 → 鹽類利尿劑 (芒硝等) 「プリン」體利尿劑 (「カフェイン」, 「テオプロミン」等), 水銀劑, 動植物性利尿劑 (海葱等)

(B) フレックスエーデル R. Fleckseder 氏分類法

- (a) 腎性利尿劑 Diuretica renalis.
一次的腎絲球體擴大作用アル藥劑ハ之ニ屬ス。「ヂギタリス」其他ノ強心劑、「カフェイン」、「テオブロミン」、「テオチン」等ノ「プリン」屬、「アルコール」屬、亞硝酸鹽其他二三ノ植物性利尿生藥)
- (b) 組織性利尿劑 Gewebsdiuretica, 又腎外性利尿劑 Diuretica extrarenalis.
水血症 Hydrämie ニ次ギ腎絲球體擴大ヲ起ス。即チ組織乃至毛細管(腎臟外)ニ主トシテ作用スルモノデアル。鹽類利尿劑 Salzduretica, 甘汞, 「ノヴァズロール」等ノ水銀劑, 甲狀腺劑
〔注意〕 1) 腎性利尿ト云ツテモ、之ハ單ニ腎臟機能ニヨツテノミ起ルノデハナクテ全身機能(特ニ皮下組織, 血液, 腎神經, 淋巴系等)ノ相關聯錯綜ノ結果起ル。
2) 揮發油ハ腎上皮細胞ヲ直接刺戟シ利尿ヲ助ク(刺戟性利尿劑 Diuretica acria)。

利尿劑分類表

- (A) 腎性利尿劑
 - (1) 「ヂギタリス」劑
 - (2) 「プリン」屬利尿劑
 - (3) 血管擴張劑
 - (4) 植物性利尿劑
- (B) 腎外性利尿劑
 - (1) 生理的利尿劑。(水, 尿素, 食鹽, 葡萄糖)
 - (2) 藥物的利尿劑。(鹽類, 水銀劑, 蒼鉛劑, 甲狀腺劑, 「ビタミン」劑)
- (C) 作用機轉不明ナル利尿劑(植物性利尿生藥, 蛋白體療法)。

1. 心臟性利尿劑 cardiale Diuretica.

(A) 「ヂギタリス」劑 Digitalispräparate.

【作用】

- i 腎血管擴大(少量)
- ii 心搏出血量増大
- iii 動靜脈系壓差増大(動脈血壓亢進, 靜脈血壓低下) → 組織液還流容易 → 利尿促進
- iv 神經中樞ニヨリ直接ニ毛細管壁, 組織等ニ働イテ水ノ交換作用ヲ促シ浮腫ヲ減退セシムルト云フ。故ニ血行障礙ノ著明ナラザル時(乏尿性腎炎等)ニモ用ヒラル。「ストロファンチン」、「カンフル」モ同様ノ作用アリ。
- v 適應症:— 腎炎, 「ネフローゼ」, 微毒性澱粉様變性腎 luetische Nierenamyloid.

A. 「ヂギタリス」葉 Folia Digitalis.

1 回 0.05—0.1: 1 日數回浸劑, 散劑又ハ丸劑トシテ與フ。極量
1 回 0.2, 1 日 1.0

【用法, 用量】

- i 「ヂギタリス」葉ハ全量 4.0 瓦ニ達スルヲ限度トス。1—2 週間ノ間隔ヲ置キ再ビ反復スベシ。
- ii 心臟性浮腫ニ奏效著シク, 他ノ利尿劑ト伍シ腎臟性浮腫ニモ用ユ。
- iii 胃粘膜炎ヲ刺戟スルカラ必ず食後ニ與フ。
- iv 消化液ニヨリ效力破壞サレ, 高度ナル浮腫ニテハ一般ニ「ヂギタリス」劑ハ内服, 注射共ニ吸收ノ惡キ缺點アリ。ヨツテ時ニハ直腸療法ヲ行フ。
- v 「カルチウム」ハ「ヂギタリス」ノ作用ヲ高メ, 「キニーネ」ハ之ガ拮抗劑タリ(O. Loewi, Pistrowski, 及 Zondek 等)。
- vi 「ヂギタリス」末ノ缺點:— 局所刺戟, 作用時間發揮長時間後(1—2 日後)連用ニヨル中毒(脈搏緩慢, 不整, 眼華閃發, 幻覺, 惡心, 嘔吐, 眩暈, 散睡, 體溫下降, 虛脫等), 效力不定。

【處方例】

- (1) 處方(心臟性浮腫) Rp.
「ヂギタリス」葉浸 (1.0) 180.0 Inf. Foliae. Digit. (1.0) 180.0
「シロップ」 20.0 S.s. 20.0
上記 1 日 3 回食後分服 D.S. auf 3×tägl. n.d. E.
〔註〕 心臟衰弱甚シク慢性經過ヲ取ルモノハ「ヂギタリス」其他ノ強心劑 Cardiac tonic ハ無効ノ事ガアル。カ、ル心臟豫備力 reserve Kraft ノ缺如時ニハ却ツテ心臟ヲ庇護シテ刺戟, 瀉血等ニヨリ奏效スル事ガヨクアル。
- (2) 處方 Rp.
「ヂギタリス」葉末 0.1 Foliae Digit. Pulv. 0.1
「アンナカ」 0.2 Caffeino-Natri. benzoic. 0.2
乳糖 適宜 Sacc. lact. q.s.
上記 爲 1 包, 1 日 3—5 包ヲ Als 1 Pulv. 3—5 Pulv. tägl. 食後内服 n.d.E.z.n.
- (3) 處方(主ニ心臟性浮腫) Rp.
「ヂギタリス」葉浸 (0.5—0.8) 100.0 Inf. Foliae Digit. (0.5—0.8) 100.0
重曹 3.0 Natr. bicarb. 3.0
「シロップ」 8.0 S. s. 8.0
上記 1 日 3 回毎食後分服 D.S. auf 3×tägl. n.d.E. z.n.
- (4) 處方(主ニ心臟性浮腫) Rp.
「ヂギタリス」葉浸 (1.0) 150.0 Inf. Foliae. Digit. (1.0) 150.0
「ヂウレチン」 5.0 Diuretin 5.0
橙皮「シロップ」 20.0 S. Aurant. cort. 20.0
上記 1 日數回 1 食匙宛服用 Sig. several times dairly a teaspoonful.

〔註〕「ヂウレチン」(「サリチール」酸「ナトリウム・テオプロミン」)ハ「テオプロミン」約50%ヲ含ム有力ナ利尿劑デアアルガ腎上皮刺戟作用ガアルカラ急性腎炎ニハ用ヒラレナイ。又「テオプロミン」ニハ「カフェイン」ノ如キ興奮作用ヲ缺ク。

【配合禁忌】 酸

【適應症】 腎性及心臟性浮腫、狭心症、冠狀動脈硬化症。

(5) 處方 (腎性及心臟性浮腫) Rp.
 「ヂギタリス」葉浸 (0.3—0.5) 90.0 (0.3—0.5) 90.0
 醋酸「カリウム」液 8.0 Liq. Kalii acetici 8.0
 「シロップ」 10.0 S. s. 10.0
 上記1日3回毎食後分服 D.S. auf 3×tägl. n.d.E.z.n.

〔註〕 醋劑ハ鹽類利尿劑ニ屬シ、水血症ヲ起シ細尿管内ノ逆吸收 Rück-resorption ヲ妨ゲ、「ナトリウム」、「クロール」ノ排泄ヲ促ス。

(6) 處方 (心臟性浮腫) Rp.
 「ヂギタリス」葉末 1.0 Fol. Digit. pulv. 1.0
 白糖 0.5 S. alb. 0.5
 上記爲4包、1日4回分服 S. Als 4 pulv. 4×tägl. z.n.

(7) 處方 (心臟性浮腫) Rp.
 「ヂギタリス」葉浸 (1.0) 150.0 Inf. Foliae Digit. (1.0) 150.0
 海葱醋密 15.0 Oxymel. Scillae 15.0
 「シロップ」 10.0 S. s. 10.0
 上記1日數回1食匙宛服用

(8) 處方 Rp.
 「ヂギタリス」葉末 0.05 Fol. Digit. pulv. 0.05
 甘汞 0.02 Calomel 0.02
 乳糖 0.3 S. l. 0.3
 上記爲1包、1日3回1包宛 D.S. 3 mal tägl. 1 Pulv.

〔註〕 甘汞ノ利尿作用ハ不定デアアルガ、一般ニ心臟性浮腫ニヨク奏效スルト云フ。ヨク阿片 0.02—0.05 (1日) ト共ニ與ヘラレル。

(9) 處方 (心臟性浮腫) Rp.
 「ヂギタリス」葉末 0.3 Fol. Digit. pulv. 0.3
 樟腦 0.3 Camphor aa. 0.3
 乳糖 1.5 S. l. 1.5
 上記1日3回内服 D.S. auf 3×tägl. n.d.E.z.n.

〔註〕 「カンフル」ハ腦、心臟刺戟發生中樞、血管運動神經中樞・呼吸中樞ヲ刺戟・興奮セシメル。「カンフル」ノ此等藥理作用ハ、體內ニ輸入サレタル「カンフル」ノ一定酸化機程ヲ受ケタル產物ニヨルモノデアアル。「ヴァイタカンファー」ハ此ノ「カンフル」ノ一定酸化機程ノ有效成分ヲ含ム「カンフル」製劑ト云ハル(對症別藥劑強心劑ノ項參照)。

(10) 處方 Rp.
 「ヂギタリス」葉末 0.1 Fol. Digit. pulv. 0.1

安息香酸「ナトリウム・カフエイン」 0.2 Coffein. natriobenz. 0.2
 乳糖 0.3 Sacch. lactis 0.3
 上記爲1包、1日3—5回 1包宛服用 Sig. as one powder, three or five times dairly.

(11) 處方 Rp.
 「ヂギタリス」葉末 0.05 Fol. Digit. pulv. 0.05
 「ヂウレチン」 0.5 Diuretin 0.5
 乳糖 0.1—0.2 Sacch. lact. 0.1—0.2
 上記爲1包、「パラフィン」紙 M.f. pulv. D. ad. char. cer.
 二包ミテ投與 S. 3×tägl. 1 Pulver 30 Min.
 1日3回1包宛 食後30分服用 nach d. E. z. n.

B. 「ヂギタリス・チンキ」
 「ヂギタリス」葉ノ10%「アルコール・エキス」
 【藥用量】 1回10—20滴(大人)
 【用法、用量】 1回1.5, 1日5.0 (1瓦=約54滴)

〔處方例〕
 (1) 處方 Rp.
 「ヂギタリス・チンキ」 1.0 Tr. Digit. 1.0
 「ストロファンツス・チンキ」 5.0 Tr. Strophanth 5.0
 「エーテル」性吉草「チンキ」 15.0 Tr. Valerian. aeth. 15.0
 上記混和1日3回15滴宛服用 D.S. 3×tägl. 15 Tropfen z.n.

〔註〕 「ストロファンツス」中ノ配糖體 Glycosid ハ「ヂギタリス」糖原質ト同一ノ效ヲ有スルガ吸收、排泄共ニ速カデアアルカラ奏效早ク蓄積作用モ少イ。タゞ效力ハ持續シナイ。

(2) 處方 Rp.
 「ヂギタリス・チンキ」 2.0 Tr. Digit. 2.0
 「ローレル」水 5.0 Aq. Laurocerasi 5.0
 上記1日3回15滴宛服用 S. 3×tägl. 15 Tropf. z.n.

(3) 處方 Rp.
 「ヂギタリス・チンキ」 10.0 Tr. Digit. 10.0
 苦味「チンキ」 10.0 Tr. amarae 10.0
 「ゲンチアナ・チンキ」 10.0 Tr. Gentian. aa. 10.0
 上記1日3回20—30滴宛 S. 3 mal tägl. 20—30 Tropfen.

C. 「ヂガーレン」 Digalen (Cloetta) (Roche) (Digitoxin soluble)
 「ヂギタリス」葉ノ總有效成分ヲ含ミ Cloetta氏「グリコシード」ナル可溶性「ヂキトキシ」ノ溶液。
 本品 1 gr. = 「ヂギタリス」葉 0.15 gr.
 1錠 (0.5 gr.) = 「ヂギタリス」葉 0.075 gr.
 胃腸障礙ナク、奏效迅速、普通量(全量25蓄滿ニテ中止)以下デハ

積作用ナシ、單味、牛乳、赤酒、蔗糖水ト共ニ服用スレバ速效アリ。

【用法、用量】

1 回 液 1.0; 1—2 錠
 1 回極量 液 2.0; 4 錠
 1 日量 液 6.0; 12 錠
 注射 1「アンプル」(1.1cc) 筋肉又ハ靜脈内
 必要アレバ 30—60 分後第 2 回同量注射

【處方例】

處方 Rp.
 「デガレーン」 2.0 Digalen 2.0
 「シロップ」 8.0 S. s. 8.0
 淨水 100.0 Aq. 100.0
 上記 1 日 3 回食後分服 D.S. auf 3×tägl. n.d.E.

D. 「デギフォリン」 Digifolin (Ciba)

「デギタリス」葉ノ全有效「グリコシード」(「デキタレイン」, 「デギトキシシン」, 「デギタリン」)ヲ含ミ奏效迅速、持續性、石鹼素(粘膜ヲ刺戟ス)ヲ含有セザルタメ、胃、皮下組織等ヲ刺戟セズ、利尿作用アリ。

1 錠=1 cc (液)=標準「デギタリス」葉 0.1

【用法、用量】 1 回 0.2; 1 cc. 1 日 0.6; 2—3.0 cc.
 通常用量 1 日 3—4 錠 (0.3—0.4)

【處方例】

(1) 處方 Rp.
 「デギフォリン」 Digifolin
 1「アンプル」(1.0cc) 1 Ampulla (1.0 cc)
 上記 皮下注射(又筋肉内、靜脈内) S. subk. zu inj. (od. intramusk., intravenös)

(2) 處方 Rp.
 「デギフォリン」 2.0 Digifolin 2.0
 「シロップ」 8.0 S. s. 8.0
 淨水 至 90.0 Aq. ad. 90.0
 上記 1 日 3 回 2 食匙宛服用 S. 3×tägl. 2 Esslöffel.

E. 「デギプラーツム」 Digipuratum (Knoll)

「デギタリス」葉ノ總有效「グリコシード」(Vollpräparat der Digitalis) 效力不變、有效成分含有量一定、胃腸無害(「デキトニン」等含有セズ)、排泄迅速、無害、蓄積作用ナシ。

1 錠 (0.1)=1.0cc (液)=1 アンプル (1.0cc 入)
 =0.1「デギタリス」葉力價

【用法、用量】

溶液 1 日 3 回 0.5 (20 滴)—0.75 (30 滴) 食後 30 分以内可。
 蓄積作用少キモ 25 錠=至ラバ中止、錠劑 1 日 4 錠; 2 日 3 錠、3 日 2 錠—1 錠(持續)。
 注射ハ靜脈内又ハ筋肉内、皮下ハ刺戟サレテ疼痛ヲ發ス。

F. 「デギザリン」 Digisalin (Comet)

「デギタリス」葉ノ有效「グリコシード」分含有、「サポニン」ハ含有

セズ、強心利尿作用アリ。

【用法、用量】 大人 1 回 1.5—1.0; 極量 2.0 1 日 6.0 cc.

G. 其他「デギタリス」製劑

- (1) 「パンギタール」(三共)
 1 回 0.5—1.0; 1 日 1.5—3.0
 注射 1 回 0.5—1.0 (皮下、靜脈内)
- (2) 「デキタミン」 Digitamin (鹽野義)
 1 回 0.5—1.0; 1 日 1.5—3.0
 注射 1 回 1.0 cc (皮下、靜脈内、筋肉内)
- (3) 「デギトール」 Digitol (三共)
 1 回 0.5—1.0; 1 日 2.0—5.0
- (4) 「デギタリン」 Digitalinum verum (Kiliani)
 1 回 0.001; 1 日 0.002—0.005
- (5) 「デギタリザーツム」 Digitalysatum (Bürger)
 1 回 10—20 滴; 1 日 30—60 滴
- (6) 「デギタロン」 Digitalon (Parke davis)
 1 回 0.5—1.0; 1 日 1.0—2.0 1 回 15 滴迄。
 皮下注射 0.5—1.0 cc (8—15 滴)
- (7) 「デギタリス・デアリザート」 Digitalis dialysat (Golaz)
 1 日 10—15 滴; 1 日 20—50 滴
 注射 1 回 1.0cc (靜脈内)
- (8) 「デガロゲン」 Digalogen
 1 回 1.0cc; 1 日 3.0 cc
 極量 1 回 2.0 cc; 1 日 6.0 cc
 注射 1 回 1.0 cc (皮下、筋肉内)
- (9) 「デギカール」 Digical (三共)
 1 回 1 錠; 1 日 2—3 錠
- (10) 「デギカーデン」 Digicardene
 1 回 1 cc; 1 日 2—3.0 cc
 注射 1 回 1.0—2.0 cc
- (11) 「デゴチン」 Gigotin (Gehe)
 1 回 20 滴; 1 日 2—3 回
 1 回 1 錠; 1 日 3 回
 注射 1 回 1 cc (皮下、靜脈内、筋肉内)
 3—5 日間毎日、重症ニハ 1.0 cc 宛 1 日 3—4 回
- (12) 「リキタリス」 Liquitaris (Gehe)
 1 日 2 cc (1 アンプル=1 cc) 靜脈内、筋肉内、皮下、
 35 滴(液)=「デギタリス」葉 0.15 瓦

(B) 「ストロファンツス」屬製劑

「ストロファンツス」ハ中央「アフリカ」ニテ矢毒トシテ用ヒタ。「ストロファンツス」屬ノ中ニハ無晶形「ストロファンチン」、結晶形「ゲラツス・ストロファンチン」ナル糖原質ヲ含ミ、共ニ吸收排泄迅速ナルタメ速カニ奏效シ、效力モ短時間デアリ、蓄積作用モ少イ。「デギタリス」糖原質ト同様ノ作用ヲ有シ、血壓亢進、脈搏減少等ヲ呈スルガ、尿管狭小ヲ起サズ從ツテ動脈硬化症ニモ用ヒラル。

【處方例】

(1) 處方 (肺浮腫) Rp.
 「デジタリス」葉浸 (1.5) 150.0 Inf. Fol. Digit. (1.5) 150.0
 「ストロファンツス・チンキ」 2.0 Tr. Strophant. 2.0
 醋剥水 20.0 Liq. Kalii acetic 20.0
 橙皮「シロップ」 20.0 S. Aurant. cort. aa. 20.0
 上記毎 2 時間 1 食匙宛服用 M.D.S. 2 stündl. 1 Esslöffel

(2) 處方 (心臓衰弱ニヨル浮腫, 急性腎炎, 「ネフローゼ」ニテ尿高度ナルモノ)

Rp.
 「デジタリス」葉浸 (0.5) Inf. Foliae Digit. (0.5) q.s.
 海葱浸 (2.5) 各適宜 Inf. Bulb. Scill. (2.5) q.s.
 「ストロファンツス・チンキ」 2.0 Tr. Strophant. 2.0
 上記 1 日 6 回分服 D.S. auf 6×tägl. z.n.

〔註〕 海葱中ノ有效分ハ「スチライン」Scillain ナル「グリコシード」デアツテ心臓作用ハ「デジタリス」ニ似ル。

(3) 處方 (心臓性浮腫) Rp.
 「デジタリス」葉末 0.1 Fol. Digit. pulv. 0.1
 「ストロファンツス・チンキ」 0.05 Tr. Strophant. 0.05
 醋酸「ナトリウム」 0.2 Natr. acet. 0.2
 「コフエイン」 0.1 Coffein. 0.1
 上記 爲 1 錠, 1 日 3 回食後 1 錠宛分服 Sig. as one pill, one pill after meals dairly.

(4) 處方 (腹水) Rp.
 「ヂウレチン」 3.0—5.0 Diuretin 3.0—5.0
 「ストロファンツス・チンキ」 1.0 Tr. Strophant. 1.0
 苦味「チンキ」 2.0 Tr. amarae 2.0
 淨水 100.0 Aq. 100.0
 「シロップ」 8.0 S. s. 8.0
 上記 1 日 3 回服用 S. auf 3×tägl. z.n.

(5) 處方 (腹水, 心臓機能不全) Rp.
 「ストロファンツス・チンキ」 15.0 Tr. Strophant. 15.0
 吉草「チンキ」 15.0 Tr. Valerian. aa. 15.0
 上記 1 日 3 回 12—15 滴宛 D.S. auf 3×tägl. 12—15 Tr.

(6) 處方 (心臓機能不全) Rp.
 「デジタリス」葉浸 (0.3—0.5) 100.0 Inf. fol. Digit. (0.3—0.5) 100.0
 「ストロファンツス・チンキ」 1.0 Tr. Strophant. 1.0
 「シロップ」 8.0 S. s. 8.0
 上記 1 日 3 回毎食後分服 S. 3×tägl. n.d.E.

(7) 處方 Rp.
 「ストロファンチン」 Strophantini
 「アムプレ」(1.0ccm) 1 Amp. (1.0cc)

上記静脈内注射 S. zur intravenösen Injektion.

〔註〕 心臓病末期ノ水腫著明ナルモノ, 腎疾患ニテ血中ニ多量ノ尿素ヲ證明スル時ハ禁忌. 動脈硬化症ニハ使用法注意. 之ハ 10 ccm ノ生理的食鹽水 (20—30% 葡萄糖最良)ニ溶解シ静脈内ニ注射スル. 辨膜障碼ニヨル浮腫デ心臓ニ豫備力ノアル時ハ特ニ有效デアツテ高壓鬱血 Hochdruckstauung nach Sahli デハ瀉血後「ストロファンチン」ノ注射がヨイ. 少量カラ用フレバ危険ハ少イ (0.15 ヨリ 1.0ccm 迄).

本劑ヲ使用スル時ハ 1—2 日前「デジタリス」劑ノ中止ヲ必要トスル. 注射ハ 5 分間位ニ徐々ニナス.

(C) 海葱 Bulbus Scillae.

Urginea (Scilla) maritima (Meerzwiebel) ノ截片. 無臭, 苦味. 中ニハ糖質「スチライン」Scillain ヲ有シ「デジタリス」ニ類似ノ作用ヲ呈ス. 局所刺戟性強ク, 大量ハ嘔吐セシメル. (少量ヲ袪痰劑トス)腎刺戟作用アルタメ非腎臟性浮腫ニ用フ. 「デジタリス」ノ無効ナ時ニ奏效スル事アリ.

【用法, 用量】 1 回 0.02—0.2—0.5.

【處方例】

(1) 處方 Rp.
 「スチラーレン」 Rp. Scillaren 1 Amp.
 1「アムプレ」(1.0 錠) (10 cc)
 上記注射料 (静脈内) S. zur Injektion (intravenös)

〔註〕 「スチラーレン」(「シラレーン」) (Sandoz) ハ海葱ヨリ抽出セル純結晶性「グリコシード」デアツテ胃腸障碼ナク「デジタリス」, 「ストロファンツス」ヨリ蓄積作用少イタメ長期間用ヒラレル. 「デジタリス」ト異ナリ心臓擴張ヲ強大ニシ, 又右心房收縮力ヲ増ス. 急性腎炎ニハ禁忌.

【用法, 用量】 1 回 1—2 錠 (15 滴); 1 日 3—4 錠 (50—60 滴) 注射 1 日 1 回 1「アムプレ」.

(2) 處方 Rp.
 海葱末 0.05 Bulb. Scill. pulv.
 「デジタリス」葉末 0.05 Fol. Digit. pulv. aa. 0.05
 白糖 0.3 S. alb. 0.3
 上記 爲 1 包, 10 包ヲ與ヘ 1 日 S. als 1 Pulv. gebe 10 Pulv.
 數回 1 包宛 mehrmal tägl. 1 Pulv.

(D) 硫酸「スパルテイン」Sparteinum sulfuricum.

「エニシダ」Spartium scoparium 中ノ類鹽基. 白色稜柱狀又ハ顆粒狀粉末, 可溶苦味, 血管收縮, 心機能亢進, 脈搏整調, 血壓上騰, 利尿等「デジタリス」ニ類似ノ作用アリ. 刺戟傳導ヲ徐々ニスルタメ恒久性不整脈ニ用ヒラレル. 他ノ強心利尿劑ノ無効ナ時奇效ヲ奏スルコトアリ.

【用法,用量】 1回 0.03—0.05; 1日 0.1—0.3
 Poulsson 氏法 1回 0.05—0.1—0.2; 1日 0.6
 靜脈内 0.02 以下
 皮下又ハ筋肉内 0.2—0.4 (ロシベルヒ)

【處方例】

(1) 處方
 酸酸「スパルテイン」 0.1—0.2 Rp.
 樟腦 0.5 Sparteini sulf. 0.1—0.2
 Camphorae tritae 0.5
 上爲 爲 1日量, 3回分服 D.S. auf 3×tägl. z.n.

(2) 處方 (心臟機能不全) Rp.
 硫酸「スパルテイン」 0.03 Spartein, sulf. 0.03
 「シロツブ」 8.0 S. s. 8.0
 淨水 100.0 Aq. 100.0
 上記 1日 3回分服 S. auf 3×tägl. z.n.

(3) 處方 Rp.
 硫酸「スパルテイン」 0.2 Spartein, sulf. 0.2
 「テオチン」 0.6 Theocin 0.6
 上記 1日量, 「カプセル」ニ入 D.S. auf 3×tägl. in Kapsel
 レ食後 3回ニ分服 n.d.E.z.n.

(E) 「コンヴァロン」 Convalon.

主成分ハ鈴蘭 (君影草) Herba Convallariae majalis, Meiblu-
 menkraut ノ有効成分タル「グリコシード」タル Convallsamarin
 デアツテ「デギタリス」ト同様, 強心, 利尿, 呼吸中樞興奮, 末梢血管
 收縮等ノ作用ヲ有シ, 吸収排泄迅速ナルタメ蓄積作用ハナイト云フ。但
 シ經口の效力ハ不定。

「コンヴァロン」ハ「カフェイン」ヲ含有ス。

局所作用 (疼痛, 炎症等) ナシ。

【處方例】

(1) 處方 Rp.
 「コンヴァロン」 1.0 錠 Convalon 1.0 ccm
 上記皮下 (又ハ靜脈内) 注射料 S. for hypodermic (or
 intravenous) injection

〔註〕「コンヴァロン」ハ 經口の效果不定ナルタメ注射料トナシタ方がヨ
 イ。

【用法,用量】 1回 0.5—2.0 錠 (皮下又靜脈内)

1回 1.0—3.0; 1日 3.0—9.0 (内服)

〔注意〕 内服ニハ多量ヲ要シ, 他薬トノ配合禁忌ナシ。又少量ヲ用
 フル人アリ。

1回 0.5—2.0; 1日 1.5—4.5 (内用)

(2) 處方 Rp.
 「カルチオトニン」 6 錠 Cardiotonin 6 Pillen
 上記 1日 3回ニ分服 D.S. auf 3×tägl. z.n.

〔註〕「カルチオトニン」ハ「コンヴァリン」溶液ニ安息香酸「ナトリウ

ム・カフェイン」5.5% ヲ加フ。
 1日 3回 25—30 滴 (1回 1—2 錠; 1日 6 錠—12 錠)
 心臟病, 心臟「ノイローゼ」等ニ用ユ。

(F) 「アドニス」草 Herba Adonidis.

Adonis vernalis 又ハ A. amurensis 採集乾燥物。「アドニチン」
 Adonidin ナル「グリコシード」ヲ含ミ, 水ニ可溶, 胃障礙ナシ。「ス
 トロファンツス」ト「デギタリス」ノ中間ニ位スル作用ヲ有シ。奏效迅
 速, 迷走神經ヲ刺戟シ, 蓄積作用ナシト云フ。初期鬱血 (特ニ小循環)
 ニ用フ。血壓降下作用アルタメ, ヨク「テオプロミン」ト伍ス。
 1回 0.3—0.7; 1日 1.5—3.0。

【處方例】

處方 Rp.
 「アドニス」草 (4.0—8.0) 200.0 Inf. Hebr. Adonidis
 (4.0—8.0) 200.0
 上記 1日數回 1食匙宛 D.S. auf mehrmal tägl. 1
 Esslöff.

(G) 「チマリン」Cymarin

米産大麻 Apocynum Cannabinum ノ有効成分。苦味結晶體, 難溶。
 【作用】 強心利尿。蓄積作用ナク效果消失迅速。右心房過負擔, 「デギタ
 リス」, 「カフェイン」, 「テオプロミン」等ノ無効ノ時ニヨク奏效
 ス。

【用法,用量】

- i 靜脈内 1回 0.0002 (=液 0.2 兎)
 - ii 強心劑 1回 0.0005—0.001 (液 0.5—1.0)
 - iii 經口的 1回 0.0003—0.001 日 2—5 回 1日 1.5 迄
 極メテ少量ヨリ始メ 0.0003 ニテ耐ヘタル時ニ限ル (滿腹時
 與ヘ, 錠劑ハ便利ナリ)
 - iv 直腸内 1回 0.0005—0.001 「カカオ」脂ト共ニ坐薬トス。
- 〔注意〕 靜脈内注射デハ注射針ヲヨク清拭シ皮下ニ液ヲ透出セシメ
 ヌ様ニスル。然ラザレバ疼痛ヲ發ス。注射ハ 6 日以上續
 ケヌコト。

(H) 精製樟腦 Camphora depurata.

【作用】

腦, 心臟, 血管運動中樞ノ刺戟。從ツテ血壓上昇 (血管收縮) 迷走神經
 緊張整調, 肺血管擴張, 呼吸量増大等ヲ發ス。

樟腦ハ直接心筋ヲ麻痺スルケレドモ, 体内デ酸化シテ「パイオキノカ
 ンフル」トナレバ心筋ヲ興奮セシムル。

「カンフル」ハ吸収後酸化シテ「カンフェロール」トナリ, 短時間内
 ニ「グリクロン」酸ト結合シテ「カンフオグリクロン」酸ニナリ效力ヲ
 失フカラ, 效力ヲ續ケントスルニハ反復シテ注射シナケレバナラヌ。

短時間内ニ反復注射スルモ中毒死 (蓄積作用!) ハ少イ。然シ心臟衰弱
 デハ皮膚ノ血行不良ナルタメ吸収不充分トナリ奏效ノ著明ナラザル事ガ
 アル。皮膚血行良好トナレバ奏效スル。

又「カンフル」ノ吸收迅速ナルタメ有効成分ニ酸化サレヌ時ハ心臟衰弱ヲ惹起スル事ガアルカラ注意スベキデアル。

【用法、用量】 1回 0.05—0.2; 1日 0.3—0.4

【處方例】

(1) 處方 Rp.
 研末樟腦 0.2 Camphor. trit. 0.2
 乳糖 0.3 S. l. 0.3
 上記爲 1 包, 10 包ヲ與ヘ 1 日 Als 1 pulv, gebe 10 Pulv,
 數回 1 包宛服用 mehrmal tägl. z.n.

〔註〕 内服用ニハ「カンフル」ハ胃粘膜ヲ刺戟スルカラ速用ハ望マレナイ。

(2) 處方 Rp.
 精製樟腦 1.0 (2.0) Camph. depurat. 1.0 (2.0)
 「オレーフ」油 9.0 (8.0) Ol. Oliv. 9.0 (8.0)
 上記皮下注射用, 爲 10 筒分, 1 日 S. zur subkutanen Inj.,
 數回 1 乃至 2 筒宛 mehrmal tägl. 1—2 Spr.

〔註〕 「カンフル」ハ最も屢々皮下注射ニ用ヒラル。注射後皮下ニ於テ一定酸化機轉ヲ經テ初メテ藥理的有效成分ガ生成サルモノト思ハル。

(3) 處方 Rp.
 樟腦 1.0 Camphor. 1.0
 「オレーフ」油 5.0 Ol. Oliv. 5.0
 上記 10 筒分, 毎 2—3 時間ニ 2 S. 2—3 Spritzen. alle 2—3
 —3 筒皮下注射 St. zur Subk. inj.

(4) 處方 (急性心臟衰弱ニ, 興奮劑トシテ) Rp.
 樟腦 0.3 Camphor. depurat. 0.3
 「コニアク」 10 滴 Cognac 10 gtt.
 「アラビア・ゴム」漿 10.0 Mucilag. Gummi arab. 10.0
 「シロップ」 10.0 S. s. 10.0
 淨水 100.0 Aq. 100.0
 上記 1 日數回 1 茶匙宛服用 S. mehrmal tägl. 1 Ess-
 löffel.

(5) 處方 Rp.
 研末樟腦 0.5 Camph. trit. 0.5
 卵黃 1 個 Vitelli ovi. 1
 淨水 100.0 Aq. 100.0
 上記混和乳劑トナシ灌腸料(2—3 回分) S. als Emulsion, für 2—3
 Klysmen.

(6) 處方 Rp.
 樟腦 1.0 Camphor. 1.0
 「アラビアゴム」粘劑 20.0 Mucil. Gummi arab. 20.0
 井水 200.0 Aq. fontanae 200.0
 上記混腸 2 回分 S. für 2 Klysmen.

(7) 處方 Rp.
 精製樟腦 0.1 Camph. dep. 0.1

「オレーフ」油 1.0 Ol. Oliv. 1.0
 上記混和注射料トナシ「アプム M.f.l. a inject. Det, ad
 プレ」ニ入レ投與 vitr. amp.
 1 日 1—2—5 ccm 皮下注射 S. 1—2—5 ccm subk. z. inj.

(I) 「カデヒヨール」Cadechol (Ingelheim). Campher-desoxycholsäure, Kampfer-choleinsäure)

「カンフル」含有量約 28%。水ニ不溶, 「アルカリ」性液ニノミ可溶, 腸ニテ「ナトリウム」鹽トナリ溶解吸收サル, 胃障礙ナシ。

内服用樟腦製劑

内服後 1—3 時間ニ奏效ス。

【用法、用量】 單獨ニカ 又ハ他ノ強心劑 (「デギタリス」, 「コフエイン」, 「ヂウレチン」等) ト共ニ食後ニ與フ。脂肪性食餌ハ可及的避ク。
 1 回 0.1—0.2 (1—2 錠); 1 日 0.3—0.6 (3—6 錠)

〔注意〕 i) 本劑ハ夜尿症ニ著效アリト云フ。(1 日 4 回 朝, 晝各 1 錠, 夕食後 2 錠又ハ晩ニ與フ)
 ii) 本劑ハ 2 週間持續シ數週間休止ス。
 iii) 「カンフオヒヨール」 Camphochol モ本劑ト同ジ作用, 用法, 用量, 適應症ヲ有ス。

「カデヒヨール」ノ經口の投與ニツキテ

- 1) 心力ノ衰弱セルモノ, 呼吸, 血管中樞ノ衰弱者ニ用ヒラル。
- 2) 其外近來前房「フリンメルン」Vorhofsflimmern 恒久性不整脈 Arhythmia perpetua 夜尿症ニ奏效スト。
- 3) 急性肺炎ニ屢々奏效ス。
- 4) 「カデヒヨール」ハ「カンフル」ト同作用ヲ有スルモ 作用ハ一過性ナルヲ以テ相當ノ間隔ヲ置キ用フベシ。
- 5) 「アルカリ」性「メヂウム」ニノミ「カデヒヨール」ハ溶解スルカラ「アルカリ」劑(重曹等)ト伍用セマ方がヨイ。
- 6) 「ペリヒヨール」Perichol ハ「カデヒヨール」0.1, 「パバヴェリン」0.03 ノ合劑デ心冠狀動脈ヲ擴張シ狭心症ニ著效アリ。

(J) 其他ノ強心興奮利尿劑

- (1) 「ヘキセトン」Hexeton (Bayer)
 「カンフル」ノ同分異性體ナルモ利尿作用不明。
 「メチールイソプロピールテクロ・ヘキセノン」ノ「サリチール」酸「ソーダ」水溶液。
 1 回 1—2 筒 (1 筒 1.2 cc 及 2.2 cc 入) (靜脈又ハ筋肉内)
- (2) 麝香 Moschus.
 【用量】 1 回 0.1—0.5 (大人), 1 日數回散又ハ乳劑トシテ與フ。
 以下ハ主トシテ利尿ノ目的ニ使用サル。
- (3) 「タカリヂン」Takalidin.
 邦産 Glumiforae 屬植物ヨリ抽出ス。胃腸障礙ナシ。
 【用法、用量】 1 日 1.5—3.0 (大人)

〔注意〕 難溶性ナルタメ單味又ハ健胃劑ト伍シ食後ニ與フ。配合禁忌ナシ。

(4) 「ピスチン」 Pistin (三共)

玉蜀黍雌蕊ヨリ得タル暗褐色芳香性液。

【用法,用量】 1日 10—20 cc (大人); 1日 3回

(5) 「ビグシン」 Bigsin

「キササゲ」(Fructus Catalpae Bignoniaceae) 實ヨリ抽出セル—新劑, 芳香甘味アル液, 副作用ナシ。

「ビグシン」1 gr = 生薬「キササゲ」1 gr.

【用法,用量】 1日 6—12 gr. (大人); 1日 3回
時ニハ 20—30 gr ヲ用フ。

【配合薬品】 「チウレチン」, 苦味「チンキ」, 「ウワ」煎, 硫苦, 「リモナーデ」, 重曹, 「メンタ」水, 「シロップ」臭剝, 沃剝, 醋剝, 祛痰劑。

〔注意〕 沈澱ヲ生ズルコトガアルガ差支ハナイ。

2. 腎性利尿劑 renale Diuretica.

「プリン」誘導體 Prinderivate.

「プリン」製劑ハ特ニ心臟性浮腫ニ有效ナコトガアル。

A. 作用機轉

- (1) 腎内皮細胞刺戟説 (シュレーデル v. Schröder 氏) → ハイデンハイン氏ノ尿分泌説 Sekretionstheorie nach Heidenheinニ基ク。
- (2) 腎絲體血管擴大説 (マイエル Hans H. Meyer) → ルードウィツヒ氏尿濾過説 Filtrationstheorie nach Ludwigニ基ク。
- (3) 腎細胞酸素消費説 Sauerstoffverbrauch (パークロフト・ストラブ Barcroft u. Straub) 氏ハ「カフェイン」利尿時ニハ腎細胞酸素消費ガ鹽類利尿殊ニリンゲル氏液利尿 Ringerdiureseニ比シ甚大ナルヲ以テ「カフェイン」屬腎刺戟興奮作用ヲ認ム。
- (4) 組織作用説 (ウエーベル, ファイル, スピロー, レウイー Weber, Veil, Spiro, Löwy) 「プリン」製劑ハ腎臟外組織ニ作用シ利尿ヲ促スト云フ。
サクスル氏 Saxl ノ如キハ「プリン」體ノ利尿作用ハ組織作用ヲ第一トシテキル。

B. 「プリン」誘導體ノ一般作用

- (1) 腎血管擴張 → 尿水分増加
- (2) 細尿管刺戟機能亢進 (曲細尿管一分泌増加; 直細尿管—逆吸收抑制), 絲體上皮刺戟 (濾過増加) → 「クロール」, 含窒素性尿成分 harnfähige Substanzen, Schlackenbestandteile ノ排泄増加。
- (3) 強心, 血壓上昇。

(A) 「カフェイン」屬 Kaffeingruppe.

「カフェイン」ニハ心力強盛, 血壓亢進, 腎血管擴張, 利尿等ノ作用以外ニ神經中樞刺戟 Stimulating of psychic centers アリ。更ニ呼吸, 血管運動神經, 反射機 respiratory, vasomotor centers and reflexes モ刺戟興奮ス。

故ニ脊髓 spinal cord ノ血管運動神經ヲ興奮シテ反射的ニ腎血管收縮ヲ見ル事アリ。故ニ血管運動中樞ヲ麻痺スル藥物(例ヘバ抱水「クロラール」等)ヲ豫メ與フルカ又ハ伍用スレバヨク奏效スル。「カフェイン」ハ水ニ不溶性デアアルガ, 「サリチール」酸「ナトリウム・カフェイン」, 安息香酸「ナトリウム・カフェイン」ハ複鹽デアツテ水ニ可溶性デアアル。

【用法,用量】 1回 0.05—0.2(大人); 1日 0.6—1.0 ヲ數回ニ分服。
極量 1回 1.0, 1日 3.0。
1日數回 散, 錠, 丸劑トシテ與フ。

【處方例】

(1) 處方 (急性心臟性浮腫, 慢性腎性浮腫殊ニ「ネフローゼ」) Rp.
安息香酸「ナトリウム・Coffeinonatr. benz. 0.8
カフェイン」 0.8
抱水「クロラール」 2.0 Chloral. hydrat. 2.0
苦味「チンキ」 2.0 Tr. amarae 2.0
「シロップ」 8.0 S. s. 8.0
淨水 100.0 Aq. 100.0
上記 1日 3回毎食後分服 D.S. auf 3×tägl. n.d.E.z.n.
〔註〕 安息香酸「ナトリウム・カフェイン」(アンナカ) 1回 用量 0.2—0.3; 1日 0.6—0.8。

(2) 處方 (急性心臟性浮腫及腎性浮腫) Rp.
安息香酸「ナトリウム・Coffeinonatr. benz. 0.5—0.8
カフェイン」 0.5—0.8
乳糖 適宜 S. lactis q. s.
上記 爲 3包, 1日 3回毎食後分服 Sig. as 3 powders, thrice a day after meals.

(3) 處方 Rp.
安息香酸「ナトリウム・Coffein-Natr. benz. 0.8—1.0
カフェイン」 0.8—1.0
「デジタリス」浸 (0.4) 100.0 Inf. Foliae Digit (0.4) 100.0
苦味「チンキ」 1.5 Tr. amarae 1.5
「シロップ」 8.0 S. s. 8.0
上記 爲 1日量, 食後 3回ニ分服 D.S. auf 3×tägl. n.d..E. z.n.

(4) 處方 Rp.
安息香酸「ナトリウム・Coffeini natriobenz. 0.6
カフェイン」 0.6
「デジタリス」末 0.3 Pulv. Foliae Digit. 0.3
乳糖 0.5 S. lact. 0.5
上記 爲 1日量分 3包, 毎食 M.D.S. auf 3×tägl. n.d.E.

後分服 (6 日連用) z.n. (6 Tage lang)

(5) 處方 (腹水, 心臟性及腎性浮腫) Rp.

「デギタリス」浸 (1.5) 150.0	Inf. Fol. Digit. (1.5) 150.0
「アンナカ」 2.0	Coff. natriobenz. 2.0
「ストロファンツス・チンキ」 5.0	Tr. Stroph. 5.0
醋剝水 60.0	Liq. Kalii acet. 60.0
甘草浸 5.0	Succ. Liquiritae 5.0
上記 一日 5 食匙服用	M.D.S. tägl. 5 Esslöffel. z.n.

(6) 處方 Rp.

「デギタリス」葉末 0.1	Fol. Digit. pulv. 0.1
安息香酸「ナトリウム・カフエイン」 0.05	Coff. natriobenzoic 0.05
上記爲 1 包, 1 日 1—2 回 1 包宛服用	S. als 1 Pulv. 1—2 mal. tägl. z.n.

(7) 處方 Rp.

安息香酸「ナトリウム・カフエイン」 2.0	Coffein. natriobenz. 2.0
精製樟腦 1.0	Camphor. depurat. 1.0
乳糖 2.0	D. lactic. 2.0
上記爲 6 包, 1 日 3 回 1 包宛服用	S. Als 6 Pulv. 3×tägl. z.n.

(8) 處方 Rp.

20% 安息香酸「ナトリウム・カフエイン」 1 筒	20% Coff. natriobenz. 1 Amp.
上記 1/2—1 筒宛 1 日數回皮下注射	S. 1/2—1 Amp. z. subk. inj. mehrmal tägl.

【注意】「サリチール」酸「ナトリウム・カフエイン」ハ「アンナカ」ト同量同用法デアルが多クハ水劑トシテ用フル。

(9) 處方 (心臟性浮腫) Rp.

「サリチール」酸「ナトリウム・カフエイン」 1.8	Coff. natriosalicyl. 1.8
「デギタリス」葉末 0.6	Fol. Digit. pulv. 0.6
乳糖 0.5	S. l. 0.5
上記爲 6 包, 1 日 3 回服用	S. Als 6 Pulv. 3×tägl. z.n.

(10) 處方 Rp.

「サリチール」酸「ナトリウム・カフエイン」 0.2	Coffeino-Natrii benz. 0.2
「カカオ」油 2.0	Ol. Cacao 2.0
上記坐藥爲 1 個, 15 個ヲ與フ用法 1 日 3 個宛肛門ニ適用	M.f. suppositoria No. XV. D. tal. dos. No. XV nach Bedarf., 3 Zäpfchen tägl. einzuführen.

【註】急性心臟性及腎性浮腫ニシテ内服ニ耐ヘ難キ時用フ。

(11) 處方 Rp.

「コフェイン」 0.05	Coffein. puri 0.05
白糖 0.3	S. alb. 0.3
上記混和 1 包量, 等量 12 包ヲ與ヘ 1 日 2 包宛服用	M. fiat pulvis. Dent. tal dos aeq. No. XII. S. Tägl. 2 Pulv.

(B) 「ヂウレチン」 Diuretin, Theobrominum natrio-salicylicum.

強力利尿強心劑。持長スル時ハ腎ヲ刺戟シ胃腸ヲ害スルヲ以テ注意スベシ。

「アグリニン」, 「テオフヒリン」等ノ如ク血管收縮作用(脊髄反射興奮性充進)少ク腎作用強キタメ麻醉劑(抱水「クロラール」等)ノ投與ヲ必要トセズ。

冠狀動脈硬化症, 狹心症, 間歇性跛行性 intermittierendes Hinken ニモ奏效ス。

【用法, 用量】 1 回 0.5—1.0; 1 日 2.0—5.0.

【配合禁忌】 酸類。

【處方例】

(1) 處方 (ストラウス氏) Rp. (Strauss)

「ヂウレチン」 0.5	Diuretin. 0.5
上記爲 1 包, 1 日 4—6 回内服	Als 1 Pulv. 4—6 mal tägl. z.n.

(2) 處方 (腹水) Rp.

「ヂウレチン」 3.0	Diuretin 3.0
「ヂガレーン」 3.0	Digalen aa. 3.0
「シロツプ」 8.0	S. s. 8.0
淨水 100.0	Aq. 100.0
上記 1 日量 3 回分服	D.S. auf 3×tägl. z.n.

(3) 處方 (腹水) Rp.

「ヂウレチン」 1.0	Diuretin 1.0
「デギタリス」葉末 0.1	Fol. Digit. pulv. 0.1
白糖 0.3	S. alb. 0.3
上記 1 包量, 10 包ヲ與ヘ 1 日 3 回服用	Als 1 Pulv. dent. tal. dos aeq. Nr. X Sig. 3×tägl. z. n.

【註】リヒトウイッツ氏 Lichtwitz ハ「ヂウレチン」ノ少量投與ヲ不確實トナシ大量ヲ短時間ニ與フ (1 日 4.0 ヲ 3 日間連用)。

(4) 處方 (腎臟性浮腫) Rp.

「ヂウレチン」 2.0—3.0—5.0	Diuretin 2.0—3.0—5.0
重碳酸「ソーダ」 2.0—3.0	Nat. bicarb. 2.0—3.0
苦味「チンキ」 2.0	Tr. amarae 2.0
「メンタ」水 5.0	Aq. Menthae 5.0

淨水 100.0 Aq. 100.0
 上記 1 日 3 回毎食後分服 (或ハ食間分服)
 D.S. auf 3×tägl. n.d.E. z.n. (od. zw. d. E.)

〔註〕「ヂウレチン」ハ腎上皮刺戟作用アルタメ急性腎炎ニハ使用セズ。

(5) 處方 (心臟性、腎性浮腫) Rp.
 「ヂギタリス」葉末 0.05 Fol. Digit. pulv. 0.05
 鹽酸「モルヒネ」 0.003 Morph. hydrochlor. 0.003
 「ヂウレチン」 1.0 Diuretin 1.0
 上記 爲 1 包, 1 日 3 回 1 包 宛服用
 Sig. as one powder, three times dairly.

(6) 處方 Rp.
 「ヂウレチン」 5.0 Diuretin 5.0
 海葱醋密 20.0 Oxymel. Scillae 20.0
 淨水 至 200.0 Aq. ad. 200.0
 上記 毎 3-4 時間 1 食匙宛服用
 D.S. 3-4 stündl. 1 Esslöffel.

(7) 處方 Rp.
 「ヂウレチン」 2.0 Diuretin. 2.0
 「メンタ」水 20.0 Aq. Menthae 20.0
 淨水 至 100.0 Aq. ad. 100.0
 上記 1 日 3 回 2 食匙宛食後服用
 M.D.S. 3×tägl. 2 Esslöffel n.d.E.z.n.

(8) 處方 Rp.
 「ヂウレチン」 4.7 Diuretin. 4.0
 「ヂガレーン」 2.0 Digalen 2.0
 大黃「チンキ」 2.0 Tr. Rhei 2.0
 「シロツプ」 8.0 S. s. 8.0
 淨水 100.0 Aq. 100.0
 1 日 3 回食後分服
 D.S. auf 3×tägl. n.d.E.z.n.

(9) 處方 Rp.
 「ヂウレチン」 4.0 Diuretin. 4.0
 重曹 3.0 Natr. bicarb. 3.0
 苦味「チンキ」 1.5 Tr. amarae 1.5
 「シロツプ」 8.0 S. s. 8.0
 淨水 100.0 Aq. 100.0
 上記 1 日 3 回食後ニ振盪分服
 D.S. auf 3×tägl. n.d.E.z.n. (nach Schütteln!)

(10) 處方 Rp.
 「ヂウレチン」 3.0 Diuretini 3.0
 「ストロファンチン」 1.0 Strophantini 1.0
 苦味「チンキ」 1.5-2.0 Tr. amarae 1.5-2.0
 「シロツプ」 8.0 S. s. 8.0
 淨水 100.0 Aq. 100.0

上記 食後 3 回ニ分服 D.S. auf 3×tägl. n.d.E.z.n.

(11) 處方 (心臟性又ハ腎性浮腫) Rp.
 「ヂウレチン・カルシウム」 2.0-3.0 Calcium-diuretin 2.0-3.0
 乳糖 1.0 Sacc. lactic. 1.0
 上記 爲 3 包, 1 日 3 回毎食後 (又ハ食間)
 Sig. als 3 Pulv. 3×tägl. n. d.E. (od. zw. d. E.)

〔註〕「カルシウム」ハ利尿作用アリト。(佛學者ハ「カルシウム」鹽ノ大量ニ水分及食鹽少キ食餌ヲ與ヘテ利尿ヲ導イタト云フ。然シ獨、奧ノ學者ハ之ヲ無効ト云ツテキル) 「カルシウム・ヂウレチン」(Knoll) ハ白色無臭ノ粉末、水、「アルコール」ニ難溶。「カルシウム」11%、「テオプロミン」48%、「サリチール」酸 38% ヲ含ム。腸内吸收ハ迅速ナリ。「カルチウム」ハ「ヂギタリス」、「ストロファンチン」、「コカイン」、等ノ作用ヲモ増強セシム。近來ニ至リ催眠劑ノ作用ヲモ増強セシムムルト云フ。

【用法、用量】 1 回 0.5-1.0; 1 日 1.5-3.0.

(12) 處方 Rp.
 「ヂウレチン」 3.0 Diuretin. 3.0
 「ヂガレーン」 2.0 Digalen 2.0
 淨水 100.0 Aq. 100.0
 「シロツプ」 8.0 S. s. 8.0
 上記 1 日 3 回毎食後分服
 D.S. auf 3×tägl. n.d.E.z.n.

(13) 處方 Rp.
 「ヂギタリス」浸 (0.5) 100.0 Inf. Digit. (0.5) 100.0
 「ヂウレチン」 2.0 Diuretin. 2.0
 「メンタ」水 10.0 Aq. Menthae 10.0
 上記 1 日 3 回毎食後分服
 D.S. auf 3×tägl. n.d.E.z.n.

(C) 「アグリニン」 Agurin, Theobrominum natrio-aceticum.

「テオプロミン」約 60% ヲ含ム白色可溶性粉末、苦鹹、引濕性アリ、胃障碍少シ。但シ不純製劑(特ニ酸性ヲ呈スルモノ)ハ胃部疼痛、嘔吐等ヲ來ス。

【用法、用量】 1 回 0.5-1.0 (大人); 1 日 3 回 1.5-5.0

- 〔注意〕 1) 「ストロファンツス」、「ヂギタリス」、「カフェイン」等ト併用スレバ利尿著シ。
 2) 使用前ニ醋酸「テオチン・ソーダ」ヲ與ヘテ利尿ヲ促進シオケバ利尿作用長シ。
 3) 酸性液(果汁、「シロツプ」、「ゴム」液等)ヲ避ケ「メンタ」水、桂皮水ニ溶解シ用フ。
 4) 濕氣、空氣ノ浸入ヲ防ギ貯フ。

【處方例】

(1) 處方 Rp.

「アグリン」錠 (0.5) 10個
1日3回1錠宛服用
Tabl. Agurin (0.5) Nr. X
S. 3×tägl. 1 Tablette.

(2) 處方 Rp.
「アグリン」 1.0 Agurin 1.0
「デギタリス」葉末 0.1 Fol. Digit. pulv. 0.1
白糖 適宜 Sacch. alb. 0.3
等量10包ヲ與ヘ、1日3回
1包宛「オブラート」ニテ服用
D. t. d. No. X.
S. auf 3×tägl. 1 Pulv. in
Oblaten.

(3) 處方 Rp.
「アグリン」 1.5 Agurin 1.5
「デギタリス」葉末 0.2 Fol. Digit. pulv. 0.2
「アンナカ」 0.5 Coffein. natriobenz. 0.5
1日3回水ニ混和シ用フ
D.S. auf 3×tägl. in Wasser
z.n.

(4) 處方 (慢性腎炎ノ浮腫) Rp.
「アグリン」 1.5—3.0 Agurin 1.5—3.0
「デギタリス」葉末 (0.5) 100.0 Inf. Foliae Digit. (0.5) 100.0
苦味「チンキ」 2.0 Tr. amarae 2.0
「シロップ」 8.0 S. s. 8.0
上記1日3回分服
D.S. auf 3×tägl. z.n.

〔註〕 グロスマン氏 Grossmann ハ「テオプロミン」ハソノ鹽類
〔「チウレチン」, 「アグリン」等〕ヨリモ純粹ノ「テオプロミン」ノ方
ガ奏效スルト云フ。

(D) 「テオチン」 Theocin (Bayer) 「テオフィリン」
Theophyllin (Böhringer)

「テオフィリン」ハ茶葉ヨリ, 「テオチン」ハ人工的ニ作ツタ「テオフィリン」デアツテ共ニ「テオプロミン」ノ異性體デアル, 「テオプロミン」屬中最モ有效ナモノデアルガ效果持續セズ, 藥後效果ハ早く消失スル。

白色, 結晶性粉末, 水ニ不溶, 醋酸「ナトリウム・テオフィリン」, 醋酸「ナトリウム・テオチン」ノ方ヲ多用フ。

【用法, 用量】 1回 0.1—0.2; 1日 0.3—0.6
極量 1回 0.5; 1日 1.5

〔注意〕 1) 用量ヲ可及的少クシ持長ヲ避ケル。腦興奮作用, 胃粘膜刺激作用等アルタメ 抱水「クロラル」ノ如キヲ伍用シ食後ニ與フ。

2) 少量ニテ中毒死ヲ起セシ事アリト云フ。

3) 連用後必要アレバ他ノ利尿劑 (「チウレチン」等) ヲ代用ス。腎實質疲勞スルヲ以テナリ。

4) 急性腎炎ニハ禁忌。

5) 1日 1.0 ヲ用ヒテ 癲癇素因アル者ニ癲癇様作發ヲ起セ

シ報告アリ。ヨツテ1日 0.8 位迄トスルヲ可トス。
6) 「プリン」屬中ニテ最モ強キ利尿作用アリ。

【處方例】

(1) 處方 (腎性浮腫特ニ萎縮腎, 「ネフローゼ」性ノモノ) Rp.
「テオチン」 0.3—0.6 Theocin 0.3—0.6
乳糖 適宜 Sacc. lactis. q. s.
上記研和 6包トナシ 1日 6回
1包宛内服
D.S. als 6 Pulv. 6 mal
tägl. 1 Pulv. z.n.

(2) 處方 (前同斷) Rp.
「テオチン」 0.6 Theocin 0.6
硫酸「スパルテイン」 0.2 Spartein, sulfurici 0.2
上記1日量, 「カプセル」ニ入
レ食後分服
D.S. auf 3×tägl. in Kap-
seln n.d.E.z.n.

(3) 處方 (前同斷) Rp.
醋酸「ナトリウム・テオチン」 0.8 Theocin. natrioacet. 0.8
橙皮「シロップ」 6.0 Sirup, Aurant. cort. 6.0
淨水 100.0 Aq. 100.0
上記1日3回毎食後分服
D.S. auf 3×tägl. n.d.E.z.

〔註〕 醋酸「ナトリウム・テオチン」(Bayer) ハ白色結晶性, 水ニ可溶。
【用法, 用量】 1回 0.2—0.5; 1日 0.6—1.0 1日量 1.5 以下
酸類ハ配合禁忌。

(4) 處方 Rp.
醋酸「ナトリウム・テオフィリン」 Theophyllin. natrioacet. 0.15
「デギタリス」葉末 0.05 Fol. Digit. pulv. 0.05
白糖 0.3 S. alb. 0.3
上記研和 1包ト爲シ, 1日 3
回毎食後 1包宛服用
D.S. als 1 Pulv. 3×tägl.
n.d.E.z.n.

(5) 處方 Rp.
醋酸「ナトリウム・テオチン」 0.3 Theocin-Natr. acet. 0.3
「カカオ」脂 2.0 But. Cacao 2.0
上記爲坐藥 1個, 1日 2回 1
個宛 (3日間持續)
M. f. supp.
S. 2 mal tägl. ein Stuhl-
zäpchen einzuführen (3
Tage lang)

〔註〕 醋酸「ナトリウム・テオフィリン」ハ水ト共ニ食後ニ與フレバ「テオフィリン」ヨリ胃障礙少シ, 水劑, 注腸注射トシテ用フ。
【用法, 用量】 1回 0.2—0.3; 1日 3回。

(6) 處方 Rp.
「アビタン」 (5cc) 1筒 Avitan (5cc) 1 Amp.
上記靜脈内注射料
S. zur intravenösen Injek-
tion

〔註〕 「アビタン」(興醫社) ハ 3% 醋酸「ナトリウム・テオチン」水溶液
溶血現象ナク, 注射後 30分ニテ奏效シ, 2—3時間ニシテ效果最

高トナリ、數時間後ニ消失ス。

尿量ハ本劑ノ注射ニヨリ 3—5 倍ニ達シ數日間連用スルモ無害ナルモ效果ハ多ク使用スルニツレ減弱ス。頑固ナ尿閉症ニヨシトイフ。冷暗所ニ貯フ。

(7) 處方 (心臓性、腎性浮腫) Rp.
「オイフィリン」 3 錠 (0.3) Euphyllin 3 Tabl.
上記 1 日 3 回服用 D.S. auf 3×tägl. z.n.

〔註〕「オイフィリン」1 錠ハ 0.1 = 相當ス。「テオフィリン」78% ヲ含有シ腎血管冠狀動脈ヲ擴張シ利尿ヲ増ス。

【用法、用量】 1 回 0.1; 1 日 0.3
水、錠、坐藥、注射料トシテ用フ。

〔注意〕「テオチン」、「オイフィリン」ノ注射ハ 3—4 回ヨリ以上ハ無効トナルカラ、少クトモ 1 週間ノ間隔ヲオキ再ビ試ミルベキデアル。尿量増加ノ著明トナル時ハ、水分ノミナラズ食鹽又尿素ノ排泄モ著シク増加スル。

(8) 處方 Rp.
「テオラクテン」 1.0 Theolactin 1.0
乳糖 適宜 S. lactis q.s.
上記 1 日數回内服 D.S. auf mehrmal tägl. z.n.

〔註〕「テオラクテン」(Zimmer) ハ リューデルス氏 (1907) ノ創製「テオ・プロミン・ナトリウム」ト乳酸「ナトリウム」ヨリナル重複鹽、白色、引濕性、苦味アル粉末、水溶性、嘔吐、食慾減退等ヲ見ル事ガアルカラ灌腸料トシタ方ガヨイ。

【用法、用量】 1 日 1.0; 數回ニ分服。

(9) 處方 Rp.
「テアチロン」 1.5 Theacylon 1.5
上記 1 日 3 回ニ分服 D.S. auf 3×tägl. z.n.

〔註〕「テアチロン」(Merck) ハ「セチール・サリチール・オキシ・テオプロミン」(Theobrominum acetosalicylicum) デアツテ酸性ナルタメ胃腸障礙ガ少イト云フ。

【用法、用量】 1 回 0.5—1.0; 1 日 2—3—4—6 回
サクスル Saxl ハ本劑ヲ賞用ス。

(10) 處方 (心臓性、腎性浮腫、腹水) Rp.
「テオチゾール」 10 cc Theocisol 10 cc
上記靜脈内注射料 S. for intravenous injection.

〔註〕「テオチゾール」ハ醋酸「テオチン・ソーダ」(Bayer) ヲ消毒滅菌シテ靜脈内注射料トセルモノ、1 回 5—10 cc (靜脈内)「ヂウレチン」、「アンナカ」以上ニ奏效スルコトガアルト云フ。

(11) 處方 Rp.
「テオノール」 (10 cc) 1 筒 Teonol (10cc) 1 Amp.
上記靜脈内注射料 S. zur intravenösen Injek-

tion.

〔註〕「テオノール」(日新醫學) ハ「テオフィルリン」ノ有機酸「カフェイン」鹽複合滅菌注射液、強キ作用ヲ有スルタメ數日休止シテ再ビ用フ。

(12) 處方 Rp.
「オイステニン」 1.5 Eustenin 1.5
上記 1 日 3 回ニ分服 D.S. auf 3×tägl. z.n.

〔註〕「オイステニン」ハ「テオプロミン」51.1%、「ヨード・ナトリウム」42.6% ヲ含ム白色苦味アル粉末ニシテ水ニ可溶。冠狀動脈擴張、血液粘度ヲ減ズ。

【用法、用量】 1 回 0.5; 1 日 1.5—5.0 水劑トシテ用フル時ハ「サツカリン」ト橙皮「チンキ」ヲ用ヒ「シロップ」ヲ禁ズ。

「プリン」屬使用上ノ注意

- (1) 「プリン」屬利尿劑ハ大量ヲ短時日間ニ用フルヲ原則トス。又同一製劑ヲ長ク使用セザル事。同一劑ノ持續ハ却ツテ腎ヲ疲勞セシム。
- (2) 内分泌性及神經性浮腫以外ノ浮腫ニハ凡テ試ミテ見ルベシ。同時ニ心臓ノ處置ヲ忘ル可カラズ。
- (3) 動脈硬化性腎疾患 原發性及二次性萎縮腎 primäre od. genuine Schrumpfnieren, u. sekundäre Schrumpfnieren ノ末期ニ於テ心臓衰弱ニヨル水分滯溜アル時ハ奏效著シ。
- (4) 子癇性尿毒症 eklamptische Urämie, 「ネフロゼ」ニモ卓効アリ、然シ時ニ興奮性ヲ増スコトガアルカラ、時ニハ鎮靜劑・睡眠劑ヲ伍ス。
- (5) 「プリン」屬利尿劑ハ水、食鹽、尿素及其他ノ尿性物質 harnfähige Substanzen ヲモ排泄ス。
- (6) 禁忌
 - (イ) 刺戟強キタメ急性腎炎ニハ注意シテ使用シナケレバ却ツテ尿中蛋白増加、時ニ血尿ヲ起シ更ニ水、鹽類、尿素ノ排泄ヲ障礙スル事アリ。
 - (ロ) 「サリチール」酸トノ結合體ハ蛋白尿ヲ増スカラ用ヒス方ガヨイ。
 - (ハ) 肋膜炎、腹膜炎等ノ炎症性水分滯溜ニハ餘リ奏效セヌ。
 - (ニ) 中樞興奮作用トシテ癲癇様發作ヲ起ス事アリ、大量ハ用ヒス可トス。

3. 血管擴張劑 Vasodilatatoria.

血管擴張、血壓下降、血行緩徐作用アル藥物デアツテ、「アルコール」、亞硝酸鹽類 Nitrite, 抱水「クロラール」、「アミール・ニトリット」Amylnitrit, 「ニトログリセリン」Nitroglycerin 等ハ之デアル。亞硝酸鹽類ハ腎血管攣縮ニヨル尿量減少時ニ有效デアアルカラ、腎臟結石 Nierenstein ニヨル反射性無腎 Reflexanurie, 血管硬化性攣縮、急性感冒性腎炎 akute Erkältungsnephritis ニ於ケル腎貧血ニヨイ、血管擴張劑ハ他ノ利尿劑ト伍シ又ハ前後シテ用フルコトガ例デアル。

【用法、用量】

- 1) 亞硝酸「アミール」Amylium nitrosum.